NEC

リファレンス

もっと使いこなすための パソコン百科

- ▶便利なアプリケーションの使い方
- ▶トラブルを防ぐための アプリケーション
- ▶アプリケーションの追加と削除
- ▶ハードウェアの機能を覚える
- ▶パソコンを使いやすく設定する

CEREB NX

このマニュアルは、Windows 95対応です。ご利用になる前に、別冊の『他のマニュアルをご覧になる前に』を必ずお読みください。

PC98-NX SERIES

CEREB NX

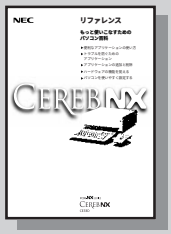
マニュアルを読む順序

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

1 まずこれ!

2 次にこれ!

3 目的に合ったマニュアルを選んで読む



添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい …… STEP 1　接続と準備
トラックボールの使い方を知りたい …… STEP 2　入門
キーボードで文字を打ってみたい …… STEP 2　入門
テレビや地上波データ放送を見たい …… STEP 3　活用
DVD を再生したい、音楽 CD を聴きたい …… STEP 3　活用
デジタルビデオカメラで撮った映像を編集したい …… STEP 3　活用
インターネットを利用したい …… インターネット入門
ビデオやオーディオ機器を接続したい …… 拡張の手引き
プリンタやオプション機器を取り付けたい …… 拡張の手引き
Windows 95 について知りたい …… STEP 3　活用
パソコンの中に入っているソフトを使いたい …… リファレンス
このパソコンの機能について詳しく知りたい …… リファレンス
パソコンが思うように動かない …… 困ったときの Q&A
パソコンをお手入れする方法を知りたい …… 困ったときの Q&A
再セットアップしたい …… 困ったときの Q&A

はじめに

この本は、『STEP 1　接続と準備』、『STEP 2　入門』、『STEP 3　活用』を読み終えた方を対象にしています。

この本には、あなたのパソコンの設定を変更したり、内蔵されたアプリケーションの使い方を調べたりするときに役に立つ情報が満載されています。

はじめてパソコンを使う方にとっては、他の本に比べると少し難しい所もあるかもしれませんが、この本があなたのパソコンのすべてを知るための道案内をしてくれます。この本を利用して思う存分に、パソコンを使いこなしてください。

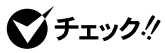
1998 年 6 月　初版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

⚠注意	注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示します。
	注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の各モデル(機種)を指します。 型名　　型番 CE33D/SZ model CD2　　PC-CE33DSZCD2 CE33D/SZ model DD2　　PC-CE33DSZDD2
一太郎モデル	一太郎8 、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルのことです。model CD2が該当します。
Wordモデル	Word98、Excel97、Outlook97があらかじめインストールされているモデルのことです。model DD2が該当します。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
プリンタ、コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。
BSワイドディスプレイテレビ	別売のBSワイドディスプレイテレビのPK-DH32W2、PK-DH28W2を指します。

◆画面メッセージなどで「マウス」と表記されている場合

このパソコンにはマウスは標準添付されていませんが、ワイヤレスキーボードおよびメディアコントローラにはトラックボールがあり、マウスと同様に働きます。画面メッセージなどで、「マウス」を操作するように説明されている場合、「トラックボール」と読み替えてご利用ください。

◆本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。

また、実際の画面とは多少異なることがあります。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
一太郎、一太郎8	一太郎8 Office Editoin /R.2
一太郎Office8	一太郎Office8 /R.3
Excel、Word、Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 97 for Windows®（Outlook™ 98バージョンアップCD-ROM添付）
Microsoft Internet Explorer 4.01、Internet Explorer 4.01	Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows®95 and Windows NT®4.0 日本語版

■技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。なお、専用回線等との接続は、一般のお客様には行えませんので、必ずご購入元にご相談ください。

認定機器名：PC-CE33DSZ[ ]
認 定 番 号
　電話回線：S98-0044-0
※認定機器名の[ ]内には、モデルによってCD2またはDD2が入ります。

■高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波ガイドライン適合品です。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置の本体は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

■瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準（JIS・C-6802、IEC825）クラス1適合のDVD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie, NetMeeting、Outlook、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Pentiumは Intel Corporationの登録商標です。
一太郎、ATOKは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎Office8」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。
商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。
NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の登録商標です。
アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLの登録商標です。
「ANGEL LINE」および「エンジェルライン」は、NTTの登録商標です。
VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。
インターネット カラオケキングは(株)ミュージックネットワークの商標です。
Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995
Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。
MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。
YAMAHA、XGworksは、ヤマハ株式会社の商標および登録商標です。
Media Studio ProはUlead System, Inc.の商標です。
Bitcastおよびビットキャストの名称、ロゴは、株式会社インフォシティの登録商標です。
ADAMS(TV-Asahi Data And Multimedia Service)は、テレビ朝日データ株式会社によるWebデータを配信するデータ多重放送サービスです。
Canopusは、カノープス株式会社の登録商標です。
3D Rage Proは、ATI Technologies Inc. の商標です。
K56flexは、Lucent TechnologiesとRockwell Internationalの商標です。
BIGLOBE Walkerは、日本電気株式会社の登録商標です。
PC-VANナビゲータ、BIGLOBEサインアップナビは、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

目次 CONTENTS

はじめに i
このマニュアルの表記について ii

アプリケーションの紹介 1

アプリケーションの紹介 2
グループ「プレーヤ」 2
グループ「クリエイティブ」 3
グループ「ワーク」 4
グループ「インターネット&パソコン通信」 4
グループ「ユーティリティ」 5
グループ「ユーザ」 6
インストールが必要なソフト 6
添付CD-ROMから起動するソフト 7

PART 1

便利なアプリケーション 9

音楽CD/ビデオCD/フォトCDの再生〈プレーヤ-NX〉 10
音楽CDを聴く 10
ビデオCD(カラオケCD)を見る 13
フォトCDを見る 14
DVD VIDEOディスクの再生〈DVDプレーヤ〉 17
概要 17
DVDプレーヤの起動 17
各部の名称と役割 17
DVDの設定 20
DVDプレーヤを使用するときの注意 22
カーナビCDの再生〈MapPlayer-NX〉 24
カーナビゲーション用地図CD-ROMを見る 24
地図を見るために必要なボタン 24
ランドマークを利用する 26
IIS(Integrated Information Services)を利用する 29
電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉 32
TELFAX-NXについて 32
TELFAX-NXを起動する 32

電話をかける 33
電話を受ける 34
FAXの送受信をテストする 34
FAXを送る 38
FAXを受ける 41
留守番電話機能を使う 43
スキャナで読み込んだ文書をFAXする 48
各種の設定 49
アドレス帳の使い方 51
TELFAX-NXを使用するときの注意 52
タイマー機能〈Timer-NX〉 56
概要 56
タイマプログラムを設定する 56
タイマプログラムを設定するときの注意 59
リングを設定する 60
自動的に電源を切る 64
「Timer-NX」を利用するときの注意 65
クラシックを楽しむ〈Classic100選〉 67
起動と終了 67
選曲した曲を再生する 68
「オプション」ウィンドウでの設定 69
絵画の鑑賞〈RMNデジタル・アートセレクション
ルーヴル美術館　絵画と宮殿〉 70
概要 70
ルーヴル美術館を起動する 70
はがきの印刷〈筆ぐるめ〉 72
概要 72
住所録の新規作成 72
住所録への追加 74
差出人の登録 74
はがきのオモテ面を作成する 75
はがきのウラ面を作成する 76
郵便番号の桁数を変更する 78
電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉 79

目次
CONTENTS

通信設定 79
電話番号検索サービスを利用する 79
「Angel Line アドレス帳」の利用 81
ランチ -NX の設定 82
「ランチ -NXの設定」ウィンドウ 82
グループを編集する 85
アプリケーション起動ボタンを編集する 88
CD の自動起動〈CD ランチ〉 94
CDの自動起動について 94
起動と終了 94
アプリケーションの起動 94
CDランチの設定 95
CD-ROMが自動起動しないように設定する 95
英語モードフォントの使用 97
概要 97
英語モードフォントを使用する 97
日本語モードフォントへの切り替え 98
テキストリーダの使用 99
テキストリーダの起動 99
セットアップされていないアプリケーションの使用 102
セットアップが必要なアプリケーションや機能 102
セットアップする前に 103
セットアップする 104
削除する 108

PART 2

インターネット＆パソコン通信 113

音声入力でのメールの送信〈しゃべっていいメール 〉 114
概要 114
準備 114
設定 119
メールを読む 122
メールを書いて送る 122
メールを書くときに使用できる音声コマンド一覧 126

画像のメールを送る 126
ボイスペンを使う 130
ホームページを探す〈ジェットサーファー〉 132
概要 132
使用する前に 133
ホームページを分析して結果を表示する 134
文字列を検索したページをブラウザに表示する 136
分析したページからファイルをダウンロードする 137
利用料金の管理、オートパイロット
〈インターネットアクセスマネージャ〉 139
概要 139
利用環境を設定する 140
インターネットアクセスマネージャでの基本的な接続 143
オートパイロットを利用する 144
接続時間管理・料金管理 152
オートダイヤル 154
URL情報の登録・整理 156
ログファイルを見る 156
パソコン通信 159
概要 159
BIGLOBE Walkerを利用する 159
AOLを利用する 161
NIFTY SERVEを利用する 161
ダイヤルアップネットワーク 163
既存のダイヤルアップネットワークの確認 163
新しいダイヤルアップネットワークの作成 164

PART 3

パソコンを守るアプリケーション 167

パソコンを守るアプリケーション 168
本機のシステムを守る 168
Windows 95の利用環境を限定する(CyberTrio-NX) 168
Windows 95の動作環境を監視する(CyberWarner-NX) 168
ウイルスを検査、駆除する(VirusScan for Windows 95) 169
利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉 170

モードの種類 170
モードの変更 170
ベーシックモード 171
カスタムモード 172
Windows 95 の動作の監視〈CyberWarner-NX〉 175
起動と終了 175
警告メッセージ 175
バックアップファイル 176
ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉 178
概要 178
常に検査する(VShield) 178
スクリーンセーバ実行中に検査する(ScreenScan) 179
定期的に検査する(VirusScanコンソール) 179
すぐに検査する(VirusScan) 180
ウイルスを駆除する 180

PART 4

アプリケーションの削除と追加 181

アプリケーションの削除 182
概要 182
「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する 183
CD-ROMを使って削除する 196
アンインストール機能を使って削除する 198
削除したアプリケーションの再追加 200
概要 200
アプリケーションCD-ROMを使用する 200
一太郎バックアップCD-ROMを使って追加する
(一太郎モデルのみ) 210
Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROMを使って追加する
(Wordモデルのみ) 211
Internet Explorer 4.01の追加 213

PART 5

ハードウェア 217

ワイヤレスキーボードの設定 218
メディアコントローラユーティリティで設定する 218
「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定 218
トラックボールの設定 220
メディアコントローラの設定 223
メディアコントローラユーティリティで設定する 223
トラックボールの設定 223
ハードディスク 224
概要 224
スキャンディスク 224
デフラグ 225
ドライブスペース 226
フロッピーディスク 229
使用できるフロッピーディスクの種類 229
フロッピーディスクのバックアップ 229
Windows起動ディスク 230
ディスプレイ 232
概要 232
ディスプレイを使う場合 233
解像度と表示色の変更 233
パワーマネージメント機能について 235
ディスプレイに合わせて設定する 236
本機にディスプレイとテレビを接続した場合の設定 237
別売の17インチディスプレイ（PK-DH172）の画面調整 238
画面表示調整スイッチ 238
画面表示の調整 238
サスペンド/レジューム機能 241
概要 241
サスペンド状態にする 241
サスペンド状態から電源が入っている状態にする 242
BIOS セットアップユーティリティで省電力の設定をする 243
Windowsのスタートメニューでサスペンド状態にする 244

目次
CONTENTS

「電源のプロパティ」ウィンドウでの設定 245
サスペンド状態にするときの注意 245
サウンド機能 247
概要 247
ボリュームコントロール 247
「ヤマハ DS-XG 設定」について 248
サウンド全般についての注意 250
マイクロホン 251
ボリューム調節 251
サウンドレコーダー 252
FAX モデムボード 254
概要 254
FAXモデムボードを使用するときの注意 255
デバイスマネージャ 257
起動 257
デバイスドライバの変更 257
デバイスのリソース設定の変更 258
CD-ROM などの取り扱い 260
概要 260
非常時のメディアの出し方 260
エラーメッセージについて 260

PART 6 本機の設定を変更する 261

BIOS セットアップユーティリティ 262
BIOSセットアップユーティリティでできること 262
BIOSセットアップユーティリティを使う 262
各種の設定 263
パスワードの設定 266
割り込みレベルと DMA チャネル 269
概要 269
リソースの競合 270
本機を拡張するときの注意 271

付　録 273

Windows 95 で MS-DOS モードを利用する 274
MS-DOSモードを利用する..... 274
CD-ROMドライバ（本機内蔵DVD-ROMドライブ） 274
本体の各部の名称..... 276
キーとボタンの名称と役割 282
キーの役割 282
キーとボタンの名称 282
PC-9800シリーズのキーボードとのキーの違い 284
メディアコントローラの各ボタンの名称と役割 285
ボタンの役割 285
メディアコントローラ操作早見表 287
共通の操作 287
ビットキャストブラウザの操作..... 288
プレーヤ-NXの操作 289
TELFAX-NXの操作 289
Timer-NXの操作 290
MapPlayer-NXの操作 290
DVDプレーヤの操作 290
機能仕様 291
FAX モデムボード機能仕様 294
AT コマンド 296
コマンドの構成 296
コマンド一覧 296

索　引 305

アプリケーションの紹介

● アプリケーションの紹介

アプリケーションの紹介

本機には、いろいろなソフトが入っています。ここでは本機に入っているランチ-NXを使って、おもなソフトを紹介しましょう。

グループ「プレーヤ」

テレビ&bitcast browser:テレビを見たり、テレビの画像をパソコンに取り込んだりすることができます。また、テレビ電波の隙間(VBI)を利用するデータ放送であるビットキャスト放送をテレビ映像と一緒に見ることができます。

参照
テレビの使い方→『STEP3 活用』の「PART 1 テレビ/地上波データ放送を見よう」
bitcast browserの使い方→「ビットキャストブラウザ オンラインマニュアル」
→『インターネット入門』のPART 8「 ビットキャストブラウザでホームページを見る」
→『STEP3 活用』の「PART 1 テレビ/地上波データ放送を見よう」

ADAMS:テレビ電波の隙間 (VBI)を利用するデータ放送であるADAMS放送を見ることができるアプリケーションです。

参照
使い方→『STEP3 活用』の「PART 1 テレビ/地上波データ放送を見よう」

モジモジ-NX:テレビ電波の隙間 (VBI)を利用する、文字と静止画のデータ放送である文字放送を見ることができるアプリケーションです。

参照
使い方→『STEP3 活用』の「PART1 テレビ/地上波データ放送を見よう」

プレーヤ-NX(CDプレーヤ):音楽CDやビデオCD、フォトCDを再生するためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1 「音楽CD/ビデオCD/フォトCDの再生〈プレーヤ-NX〉」
→『STEP3 活用』の「PART 3 CDを再生しよう」

DVDプレーヤ:DVDに入っている映像を再生するためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1 「DVD VIDEOディスクの再生〈DVDプレーヤ〉」
→『STEP3 活用』の「PART 2 DVD VIDEOディスクを見よう」

MapPlayer-NX(カーナビCD):カーナビゲーション用のCD-ROMの内容を見るためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1「カーナビCDの再生〈MapPlayer-NX〉」

メディアプレーヤ:動画データや、音声データ、音楽データなどを再生するためのアプリケーションです。

参照
使い方→「メディアプレーヤ」のヘルプ

Classic100選:MIDIデータで作られたクラシック100曲を静止画像と一緒に楽しむことができるアプリケーションです。ジャンル別、作曲家別などで曲を選択できます。

参照
使い方→PART 1「クラシックを楽しむ〈Classic100選〉」

カラオケキング:インターネットを使って、カラオケデータを受信し、演奏する通信カラオケのアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「カラオケキング」-「ヘルプ」

TELFAX-NX（FAX&電話）：FAXの送受信や留守番電話の機能を使うためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1 「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」

グループ「クリエイティブ」

グループ「クリエイティブ」には、画像を編集したり、動画を取り込んだり、音楽を楽しむためのアプリケーションが集められています。

DVDeck：デジタルビデオの画像を取り込み/書き出しすることができるアプリケーションです。

参照
使い方→『STEP3 活用』の「PART 4 オリジナルビデオを作ろう」

VideoEditor（動画編集）：ビデオを自由に編集して、オリジナルビデオを作ることができるアプリケーションです。

参照
使い方→『STEP3 活用』の「PART 4 オリジナルビデオを作ろう」

MPEGSTUDIO ストリーム合成：複数のMPEG1ファイルを1つのファイルに合成するアプリケーションです。個々のデータを1つにつないで、長時間のMPEG1ファイルを作成できます。

参照
使い方→「MPEGSTUDIO ストリーム合成」のヘルプ

MPEGSTUDIO ファイル圧縮：デジタル形式のビデオデータ（AVI）やオーディオデータ（WAV）をMPEG1形式のファイルに圧縮するアプリケーションです。

参照
使い方→「MPEGSTUDIO ファイル圧縮」のヘルプ

PictureStudio(静止画編集)：各種静止画フォーマットに対応した画像編集ソフトです。ホームページ用の画像を作成するのに適したアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「PictureStudio」-「オンラインマニュアル」
→『STEP3 活用』の「PART 6 デジタルカメラのデータを使おう」

MorphStudio：モーフィング（1つの画像から別の画像へスムーズな変化をさせる）の効果を利用して動画を作成するアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「PictureStudio」-「オンラインマニュアル」

AnimationStudio：ホームページ用などのアニメーションGIFを作成するアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「PictureStudio」-「オンラインマニュアル」

VideoStudio：動画や静止画を取り込むことができるアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「PictureStudio」-「オンラインマニュアル」

XGworks（シーケンサー）：手軽に作曲や編曲ができるアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「YAMAHA XGworks Ver.2.0」-「XGworks取扱い説明書」
→『STEP3 活用』の「PART 5 作曲してみよう」

ThumbsStudio：複数枚の静止画像を一覧表示できるアプリケーションです。

参照
使い方→『STEP 3 活用』の「PART 6 デジタルカメラのデータを使おう」

グループ「ワーク」

ランチ-NXのグループ「ワーク」には、一般的によく使うアプリケーションが集められています。

一太郎モデルのみに入っているもの

一太郎8：文字はもちろん、表や図形などを文書の中に描いたり、画像を貼り付けたりすることのできる日本生まれのワープロです。

三四郎8：縦横に並んだ数字を計算したり、集計したりする「表計算」と呼ばれるアプリケーションです。グラフも簡単に作ることができます。

FullBand：画面に表示されるシステム手帳を使って、スケジュールやアドレス、メモなどの情報を管理することができます。

参照
使い方→『STEP2 入門』の「PART 3 ワイヤレスキーボードに慣れよう（一太郎編）」
→「Office8＋Value Pack Plus」パッケージに含まれているマニュアル
→PART 1「セットアップされていないアプリケーションの使用」

Word モデルのみに入っているもの

Microsoft Word：高度な日本語処理技術と文章表現力を持ち、世界中で使われているワープロです。

Microsoft Excel：数式の入力やグラフの作成などが簡単にできる「表計算」アプリケーションです。作成した表はWordの文章の中に入れることができます。

Microsoft Outlook：電子メールをはじめ、スケジュールやアドレスなどの情報をまとめて管理することができます。

参照
使い方→『STEP2 入門』の「PART 4 ワイヤレスキーボードに慣れよう（Word編）」
→「Word&Excel&Outlook」パッケージに含まれているマニュアル
→PART 1「セットアップされていないアプリケーションの使用」

いずれのモデルにも入っているもの

筆ぐるめ：毛筆の書体で年賀状などを作成するアプリケーションです。送付先の住所を管理することもできます。

参照
使い方→PART 1「はがきの印刷〈筆ぐるめ〉」

駅すぱあと：指定した駅間を移動するための乗り換え方や所要時間、運賃などを調べてくれるアプリケーションです。路線図も見ることができます。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「駅すぱあと全国版」-「駅すぱあとオンラインマニュアル」

翻訳アダプタII CROSSROAD：英日、日英翻訳をするアプリケーションです。インターネットの英語ホームページを見るときにも利用できます。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 8「英語のホームページを見る」

TELFAX-NX（アドレス帳）：知人、友人の住所や電話番号、FAX番号を管理するためのアプリケーションです。はがきの宛名の印刷もできます。

参照
使い方→PART 1 「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」の「「Angel Lineアドレス帳」の利用」

グループ「インターネット＆パソコン通信」

グループ「インターネット&パソコン通信」には、インターネットやパソコン通信を楽しむためのアプリケーションが集められています。

BIGLOBE 入会申込：インターネットの入口となるアプリケーションです。NECパーソナルメディアサービス「BIGLOBE」（ビッグローブ）に入会できます。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 3「BIGLOBEの入会手続きを行う」

AOLへのご招待：パソコン通信サービス「America OnLine」の紹介と、新規ユーザーとして登録するためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 2の「AOLを利用する」
→『AOLハンドブック』

ニフティサーブへようこそ：パソコン通信サービス「ニフティサーブ」の紹介と、新規ユーザとして登録するためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART2の「NIFTY SERVEを利用する」

インターネットチュータ：インターネットがどのようなものかをプロバイダに接続しないで体験できるアプリケーションです。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 1「インターネットチュータで練習してみる」

インターネットエクスプローラ：インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 2「いよいよインターネット」

BIGLOBE Walker：NECパーソナルメディアサービス「BIGLOBE（ビッグローブ）」や「BIGLOBE PC-VAN」をご利用いただくためのアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「BIGLOBEツール」-「BIGLOBE Walker」-「クイックマニュアル」

インターネットアクセスマネージャ：インターネットからの情報収集をより便利にするためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 2「利用料金の管理、オートパイロット〈インターネットアクセスマネージャ〉」

ジェットサーファー：インターネットのリンク先を簡単な操作で集めることのできるアプリケーションです。

参照
使い方→PART 2「ホームページを探す〈ジェットサーファー〉」

しゃべっていいメール：声でインターネットの電子メールを作成する音声認識アプリケーションです。

参照
使い方→PART 2の「音声入力でのメールの送信〈しゃべっていいメール〉」

Outlook Express：インターネット上で電子メールの送受信を行うためのアプリケーションです。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 6「 電子メールをやりとりする」

翻訳アダプタII CROSSROAD：英日、日英翻訳をするアプリケーションです。インターネットの英語ホームページを見るときにも利用できます。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 8「英語のホームページを見る」

グループ「ユーティリティ」

グループ「ユーティリティ」には、ちょっとしたときに便利なアプリケーションや、パソコンなどの設定を行うためのアプリケーションが集められています。

Timer-NX（スケジューラ）：本機の電源のオン／オフや任意のアプリケーションの起動などをタイマーを使って指定するアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1「タイマー機能〈Timer-NX〉」

VirusScan（ウイルスチェッカー）：コンピュータウイルスの感染を調査し、治療をするアプリケーションです。

参照
使い方→PART 3「ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉」

CyberTrio-NX(利用者モード):ハードディスクやソフトを、操作ミスやいたずらなどから守るために、Windows 95の機能を制限するソフトです。

参照
使い方→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

メディアコントローラユーティリティ:メディアコントローラやワイヤレスキーボードを快適に使用するために、それぞれの機能を設定するときに使います。

参照
使い方→PART 5「メディアコントローラの設定」

Angel Line(電話案内):パソコンで電話番号を調べるサービスを利用するためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1「電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉」

Angel Line(電話帳):Angel Line(電話案内)で検索、保存したデータを見るためのアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1「電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉」の「「Angel Line アドレス帳」の利用」

ペイント:絵を描くためのアプリケーションです。

参照
使い方→「ペイント」のヘルプ

電卓:関数電卓としても使える電卓アプリケーションです。

参照
使い方→「電卓」のヘルプ

アプリケーションの追加と削除:アプリケーションをインストールするときや、インストール済みのアプリケーションを削除するときに使います。

参照
使い方→「PART4 アプリケーションの削除と追加」

画面の設定:画面の色や細かさ、背景などの設定を変更するときに使います。

参照
使い方→PART 5「ディスプレイ」

パソコン用語集:パソコンで使ういろいろな用語を辞書形式で解説しています。

グループ「ユーザ」

**購入時にはグループ「ユーザ」にはトラックボールの操作の練習用に使うゲーム、「ソリティア」が登録されています。
またこのグループには、自由にアプリケーションを登録することができます。**

**ソリティア:場に出ているカードを順番に積み重ねていくゲームです。このゲームを使ってトラックボールの操作の練習をします。
不要になった場合はランチから削除することができます。**

参照
**使い方→「ソリティアのヘルプ」
ランチ-NXからの削除→PART 1「ランチ-NXの設定」
トラックボールの操作の練習→『STEP 2 入門』の「PART 2 トラックボールに慣れよう」**

インストールが必要なソフト

以下のソフトは、このパソコンに付属しているソフトですが、出荷時にはインストールされていません。これらのソフトを使いたいときは、インストールの作業を行ってください。

NIFTY MANAGER

パソコン通信NIFTY SERVEにアクセスするためのアプリケーションです。

参照
- **インストール方法→PART 1「セットアップされていないアプリケーションの使用」**
- **使い方→PART 2「パソコン通信」**

■ AOL
パソコン通信AOLにアクセスするためのアプリケーションです。

参照
・インストール方法→PART 1「セットアップされていないアプリケーションの使用」
・使い方→PART 2「パソコン通信」
→『AOLハンドブック』

■ テキストリーダ
日本語を読み上げるアプリケーションです。

参照
・インストール方法→PART 1「セットアップされていないアプリケーションの使用」
・使い方→PART 1「テキストリーダの使用」

■ Hover
敵に自分の旗をすべてとられる前に、敵のすべての旗を集めていくゲームです。

参照
・インストール方法→PART 1「セットアップされていないアプリケーションの使用」
・使い方→「Hover」のヘルプ

■ 一太郎8バリューパックプラス(一太郎モデルのみ)
一太郎8をより使いやすくするための機能があります。

参照
・インストール方法→『一太郎8バリューパックプラス セットアップ』
・使い方→『一太郎8バリューパックプラス オーバービュー』

■ Microsoft Outlook 98(Wordモデルのみ)
電子メールをはじめ、スケジュールやアドレスなどの情報をまとめて管理することができます。

参照
インストール方法、使い方→Outlook 98の『お使いになる前に』

■ Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic(Wordモデルのみ)
CD-ROM辞書です。

参照
・インストール方法、使い方→「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMに付属のマニュアル

添付CD-ROMから起動するソフト

以下のソフトは、このパソコンに添付されている、それぞれのCD-ROMをDVD-ROMドライブにセットしてお楽しみください。

■ PhotoMuseum
MIDIサウンドをバックに、美しい風景写真を鑑賞するアプリケーションです。

参照
使い方→「PhotoMuseum」CD-ROMケースに記載の説明文

■ ルーヴル美術館
精密に再現されたルーヴル美術館を巡り、100点の作品をインタラクティブに鑑賞するアプリケーションです。

参照
使い方→PART 1「絵画の鑑賞〈RMNデジタル・アートセレクション ルーヴル美術館 絵画と宮殿〉」

PART

1

便利なアプリケーション

- 音楽 CD/ビデオ CD/フォト CDの再生〈プレーヤ-NX〉
- DVD VIDEOディスクの再生 〈DVDプレーヤ〉
- カーナビCDの再生 〈MapPlayer-NX〉
- 電話やFAXを使う 〈TELFAX-NX〉
- タイマー機能〈Timer-NX〉
- クラシックを楽しむ〈Classic100選〉
- 絵画の鑑賞 〈RMNデジタル・アートセレクション ルーヴル美術館 絵画と宮殿〉
- はがきの印刷〈筆ぐるめ〉
- 電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉
- ランチ-NXの設定
- CDの自動起動 〈CDランチ〉
- 英語モードフォントの使用
- テキストリーダの使用
- セットアップされていないアプリケーションの使用

音楽CD/ビデオCD/フォトCDの再生〈プレーヤ-NX〉

「プレーヤ-NX」は、音楽CD、ビデオCD（カラオケCD）、フォトCDを再生することができます。

「プレーヤ-NX」が対応しているCDの規格は次の通りです。規格外のCDは再生できない場合があります。CDのケースやパッケージに記載されている規格をご覧の上、使用してください。

・音楽CD（オーディオCD）
・ビデオCD(Ver. 1.1)/カラオケCD(Ver. 1.1)
・ビデオCD(Ver. 2.0)
・フォトCD
・フォトCDポートフォリオ

CDの再生や停止などの基本的な操作は、メディアコントローラからも行えます。

参照
付録「メディアコントローラ操作早見表」

音楽CDを聴く

音楽CDとはオーディオCDとも呼ばれ、音楽を楽しめるCDのことです。

音楽CDをDVD-ROMドライブにセットすると、自動的に「プレーヤ-NX」が起動し、次のウィンドウが表示されます。

本機は「プレーヤーNX」起動時にCDを自動再生するように設定されています。

チェック!!

音楽CDをDVD-ROMドライブにセットしたまま、本機を起動または再起動すると、「プレーヤ-NX」が自動起動することがあります。

参照
CDの自動起動→PART 1「CDの自動起動」

基本的な使い方

(再生)ボタン
クリックすると再生が始まります（ボタンの形が (一時停止)に変わります）。

(一時停止)ボタン
再生中にクリックすると再生が一時停止します（ボタンの形が (再生)に変ります）。

この状態で、 (再生)をクリックすると、一時停止した場所から再生が再開します（ボタンの形が (一時停止)に変わります）。

(停止)ボタン
再生中または一時停止中にクリックすると、再生を停止または一時停止状態を解除して、最初のウィンドウに戻ります。

(巻き戻し)ボタン
再生中または一時停止中にクリックし続けると、その曲の範囲内で巻き戻しを始めます。ボタンを離すと、その場所から再生を再開します。曲の先頭に戻るとそこで巻き戻しは停止します。

(早送り)ボタン
再生中または一時停止中にクリックし続けると、その曲の範囲内で早送りを始めます。ボタンを離すと、その場所から再生を再開します。曲の最後まで送られるとそこで早送りは停止します。

ボタン
再生中または一時停止中にクリックすると、再生中の曲または一時停止したときの曲の先頭に戻って再生を再開します。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が戻り、クリックを止めた場所から再生を再開します。

停止中にクリックすると、最後の曲（次の画面では「トラック10」の曲）の先頭に戻り、再生を始めます。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が戻り、クリックを止めた場所から再生を始めます。

■ ⏭ ボタン

再生中または一時停止中にクリックすると、再生中の曲または一時停止したときの次の曲から再生を再開します。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が進み、クリックを止めた場所から再生を再開します。

停止中にクリックすると、最初から2番目の曲（次の画面では「トラック2」の曲）から、再生を始めます。また、連続してクリックすると、一曲ずつ曲が進み、クリックを止めた場所から再生を始めます。

■ ⏏ （取り出し）ボタン

停止中にクリックすると、トレイが出てきて、音楽CDを取り出すことができます。そのとき、次のようなウィンドウになります。

もう一度クリックすると、トレイが収納されます。

「Option」ボタンの使いかた

「Option」ボタンを押すと、次のウィンドウが表示されます。

■ 🔁 （リピート）ボタン

クリックするたびに、次のように変わります。

「リピートなし」

▼

「一曲リピート」

▼

「全曲リピート」

▼

「リピートなし」

⋮

■ ◷ （演奏時間表示）ボタン

クリックするたびに、時間表示が現在の曲の演奏経過時間と残り演奏時間に交互に切り替わります。

「演奏経過時間表示」

▼

「残り演奏時間表示」

▼

「演奏経過時間表示」

■「Program」ボタン

クリックすると「プログラム予約」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、演奏させたい曲を演奏させたい順に選んでプログラムすることができます。ただし、プログラムの再生中と、一時停止中は「Program」ボタンは使用できません。

ここで、「トラック」から曲を選んで「追加」をクリックしてプログラムを作成します。
（例「Track 1」→「Track 3」→「Track 5」の順に再生するプログラムの作成）

① 曲を選んで「追加」をクリック。
（「Track 1」を選んでクリック）
「予約された曲」の欄に「Track 1」が表示されます。

② 同様に曲を順に選ぶ。

選んだ曲を削除したいときは、「予約された曲」の欄から削除したい曲を選んで、「削除」をクリックします。

③「OK」をクリック。
「Player-NX」ウィンドウのディスプレイに「Program」が表示されます。

この後、（再生）ボタンをクリックすると、プログラムで指定した通りに演奏を開始します。
プログラムを解除するには、「プログラム予約」ウィンドウを開いて、「全削除」→「OK」をクリックします。

■（ミュート）ボタン

左右の音声出力を同時にOFFにします。「Player-NX」ウィンドウのディスプレイから が消えます。

ミュート中にこのボタンをクリックすると、ミュートが解除されます。
ただし、CDの再生中はこのボタンは使用できません。

■（左チャンネルミュート）ボタン

左チャンネルの音声出力をOFFにします。「Player-NX」ウィンドウのディスプレイから が消えます。
ミュート中にこのボタンをクリックすると、ミュートが解除されます。
ただし、CDの再生中はこのボタンは使用できません。

■（右チャンネルミュート）ボタン

右チャンネルの音声出力をOFFにします。「Player-NX」ウィンドウのディスプレイから が消えます。
ミュート中にこのボタンをクリックすると、ミュートが解除されます。
ただし、CDの再生中はこのボタンは使用できません。

■「元の画像サイズで表示」ボタン

オーディオCDでは使用できません。（→この項の「ビデオCD（カラオケCD）を見る」）

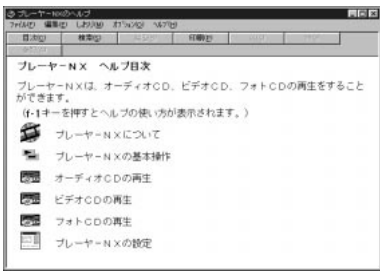
■「カラオケ一覧表示」ボタン

オーディオCDでは使用できません。（→この項の「ビデオCD（カラオケCD）を見る」）

■「状態設定」ボタン
クリックすると、「状態設定」ウィンドウが表示されます。

購入時の状態では「プレーヤ-NX」起動時に自動的に再生が始まるように設定されています。
自動的に再生しないように設定する場合は、「自動再生」のチェックを外してください。
「画像再生時にスクリーンセーバーを起動しない」の設定/解除はできません。

■「Help」ボタン
クリックすると、「プレーヤ-NXのヘルプ」ウィンドウが表示されます。



ビデオCD（カラオケCD）を見る

ビデオCD（カラオケCD）とは、動画と音声が楽しめるCDのことです。

ビデオCD（カラオケCD）をDVD-ROMドライブにセットすると、自動的に「プレーヤ-NX」が起動し、次のウィンドウが表示されます。

自動的に起動しないときは、「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「プレーヤ-NX（CDプレーヤ）」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「プレーヤ-NX（CDプレーヤ）」をクリックします。

本機は「プレーヤーNX」起動時にCDを自動再生するように設定されています。

チェック!!
ビデオCD（カラオケCD）をDVD-ROMドライブにセットしたまま、本機を起動または再起動すると、「プレーヤ-NX」が自動起動することがあります。

参照
CDの自動起動→PART1「CDの自動起動」

基本的な使い方

基本的な操作は、音楽CDとほとんど同じです。（→この項の「音楽CDを聴く」）

チェック!!
- ビデオCDの再生中にビデオが表示されているウィンドウをワイヤレスキーボードなどでドラッグすると、ウィンドウのサイズを変更できます。ただしウィンドウサイズをひんぱんに変更すると、ビデオの表示が乱れることがあります。このようなときは、「プレーヤ-NX」をいったん終了させて再起動すると、表示が正常に戻ります。
- プレイバックコントロール機能に対応したビデオCDの再生時には、頭出し機能は利用できません。

「Option」ボタンの使いかた

「Option」ボタンを押すと、次のウィンドウが表示されます。

各ボタンの機能は、「音楽CDを聴く」の場合とほとんど同じです。
ここでは、「音楽CDを聴く」と異なる点と、注意点を説明します。

■ (リピート)ボタン
プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケCDでは、このボタンは使用できません。

■ (演奏時間表示)ボタン
ビデオCDでは使用できません。

■「Program」ボタン
プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケCDでは、このボタンは使用できません。

■ (ミュート)ボタン/ (左チャンネルミュート)ボタン/ (右チャンネルミュート)ボタン
カラオケCDでは、カラオケ演奏とボーカル音声は、左右どちらかのチャンネルに分かれて録音されています。ボーカル音声を消すときは、左右どちらか、ボーカル音声が録音されているチャンネルの音声を消す必要があります。左右どちらかの音声を消すときは、 (左チャンネルミュート)ボタンまたは、 (右チャンネルミュート)ボタンをクリックします。また、 (ミュート)ボタンをクリックすると、両方の音声を消すことができます。

■「元の画像サイズで表示」ボタン
ビデオCDの再生時に、ウィンドウのサイズを起動時のサイズに戻します。

■「カラオケ一覧表示」ボタン
カラオケCDの曲目が一覧表示されます。再生した曲目をクリックし、さらに「演奏」ボタンをクリックすると、すぐに再生が始まります。
プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケCDでは、このボタンは使用できません。

■「状態設定」ボタン
購入時の状態では、「プレーヤ-NX」の起動時に自動的に再生が始まるように設定されています。
自動的に再生しないように設定する場合は、「自動再生」のチェックを外してください。
「画像再生時にスクリーンセーバーを起動しない」を選ぶと、ビデオCDの再生時にスクリーンセーバーを起動させないようにします。

■ プレイバックコントロールの使い方
プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの再生時には、「プレーヤ-NX」とともにプレイバックコントロールウィンドウが表示されます。

- 画面を表示します
- 前画面に戻ります。
- 次画面に進みます。
- メニュー画面に戻ります。
- 1～0
数値を選ぶときに使います。
1～0の数字ボタンで番号を決定して ボタンをクリックすると、画面を表示します。
- プレイバックコントロールウィンドウをアイコン化します。
- 00
番号表示部分をクリックすると、数字ボタンで選んだ番号をキャンセルします。

チェック!!
各ボタンの機能は、ビデオCDにより多少異なっていますので、ビデオCD添付の説明書をご覧ください。

フォトCDを見る

フォトCDとは、写真をデジタルデータに変換してCDに記録したものです。

フォトCDをDVD-ROMドライブにセットすると、自動的に「プレーヤ-NX」が起動し、次のウィンドウが表示されます。同時に、最初の写真も表示されます。

「Player-NX」ウィンドウ

最初の写真

自動的に起動しないときは、「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」または「ランチ- NX 」→「プレーヤ」→「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」をクリックします。

基本的な使い方

■ ▶(自動表示)ボタン
クリックすると、順にフォトを表示していきます。

「Player-NX」のウィンドウ

2番目の写真

■ ■(停止)ボタン
自動表示中にクリックすると、自動表示を停止します。

■ ⏮(巻き戻し)ボタン
クリックすると、巻き戻します(ポートフォリオの再生時のみ)。

■ ⏭(早送り)ボタン
クリックすると、早送りします(ポートフォリオの再生時のみ)。

■ ⏮ボタン
クリックすると、1つ前の写真に戻ります。

■ ⏭ボタン
クリックすると、次の写真を表示します。

■ ⏏(取り出し)ボタン
停止中にクリックすると、トレイが出てきて、CD-ROMを取り出すことができます。そのとき、次のようなウィンドウになります。

もう一度クリックすると、トレイが収納されます。

チェック!!

トレイが出た状態では、コントローラ受光部が隠れてしまい、キーボードの位置、角度によっては、キー操作ができなくなることがあります。

「Option」ボタンの使いかた

「Option」ボタンを押すと、次のウィンドウが表示されます。

■ 「Open」ボタン
クリックすると、フォトCDに記録されている写真のファイル名一覧を表示します。表示したいフォトCDのファイル名を選び、「OK」をクリックします。

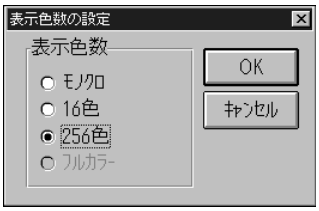
■ 「List」ボタン
クリックすると、フォトCDに記録されている写真を縮小一覧表示します。写真をクリックすると、拡大表示できます。

■「Size」ボタン

クリックすると、「PhotoCD画像サイズの設定」ウィンドウが表示されます。
画像のサイズを選べます。

■「Color」ボタン

クリックすると、「表示色数の設定」ウィンドウが表示されます。
色数を選べます。



■「Copy」ボタン

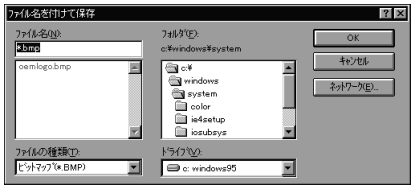
クリックすると、表示されている写真をクリップボードにコピーします。クリップボードにコピーされたデータは、通常の「貼り付け」操作で、他の場所へ「貼り付け」できます。

「ペイント」へ「貼り付け」した例

「Copy」ボタンをクリックするたびに、新しい写真データがクリップボードに上書きされ、前にコピーしたデータは消えてしまいます。コピーしたデータは次のコピーを行う前に必ず保存してください。

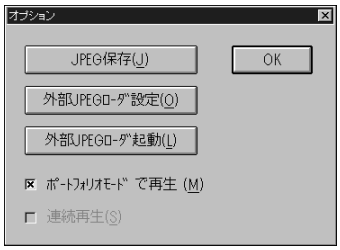
■「Save」ボタン

クリックすると、「ファイル名を付けて保存」ウィンドウが表示されます。ファイル名を指定して、写真をビットマップ形式のファイル（拡張子は「.bmp」）として保存できます。



■「Extension」ボタン

JPEGに関する各種の設定ができます。詳しくは、「プレーヤ-NXのヘルプ」をご覧ください。

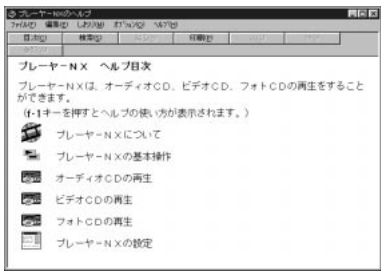


■「状態設定」ボタン

購入時の状態では、「プレーヤ-NX」起動時に自動的に再生が始まるように設定されています。
自動的に再生しないように設定する場合は、「自動再生」のチェックを外してください。
「画像再生時にスクリーンセーバーを起動しない」は使用できません。

■「Help」ボタン

クリックすると、「プレーヤ-NXのヘルプ」ウィンドウが表示されます。



DVD VIDEOディスクの再生〈DVDプレーヤ〉

「DVDプレーヤ」の起動方法や各部の名称と役割（操作方法）、設定方法について簡単に説明します。

概要

本機にはDVD-ROMドライブが搭載されています。「DVDプレーヤ」を使うと市販のDVD-VIDEOディスク、およびDVD Videoメディア（以下、DVD VIDEOディスク）を再生することが可能です。

チェック!!

「DVDプレーヤ」ではDVD VIDEOディスク以外は再生できません。

参照
DVDプレーヤの基本操作→『STEP3 活用』「PART2 DVD VIDEOディスクを見よう」

「DVDプレーヤ」の再生や停止などの基本的な操作は、メディアコントローラからも行えます。

参照
付録「メディアコントローラ操作早見表」

DVDプレーヤの起動

DVD VIDEOディスクをDVD-ROMドライブにセットすると自動的に「DVDプレーヤ」が起動し、次のようなウィンドウが表示されます。

自動的に起動しないときは、「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「DVDプレーヤ」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「DVDプレーヤ」をクリックします。

チェック!!

- DVD VIDEOディスクをDVD-ROMドライブにセットしたまま、本機を起動または再起動すると、「DVDプレーヤ」が自動起動することがあります。
- ビットキャストブラウザでテレビを表示させているときは、DVD VIDEOディスクを再生できません。

参照
CDの自動起動→PART1「CDの自動起動」

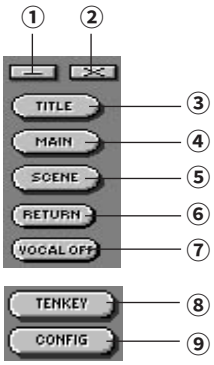
各部の名称と役割

操作パネル

操作パネルの各部の名称と役割は次の通りです。

DVDプレーヤを制御するボタン

次のボタンがあります。



① 最小化
「DVDプレーヤ」の操作パネルを最小化します。

② アプリケーションの終了
「DVDプレーヤ」を終了します。

③ TITLE タイトルメニュー
DVD VIDEOディスクに収録されているタイトルメニューを表示します。

④ MAIN メインメニュー
DVD VIDEOディスクに収録されているメインメニューを表示します。

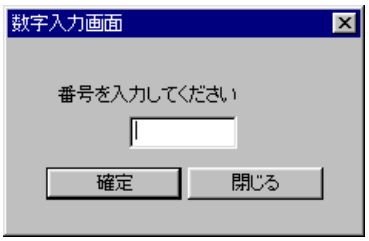
⑤ SCENE シーンメニュー
DVD VIDEOディスクに収録されているシーンメニューを表示します。

⑥ RETURN リターン
メニュー(タイトル、メイン、シーン)を表示する前の再生状態へ戻します。

⑦ VOCAL OFF ボーカルON/OFF(カラオケ機能)
カラオケのボーカル音声の切り替え(ON/OFF)を行います。

チェック!!
ボーカル音声をOFFにしてもボーカルがOFFにならない場合は、「音声の変更」機能により切り替えてください。

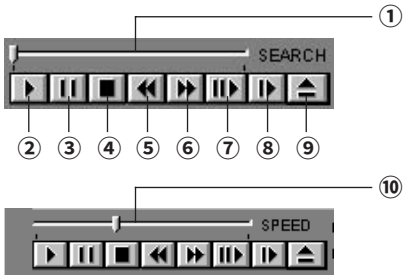
⑧ TENKEY テンキー
メニュー項目などを番号にて選択する「数字入力画面」を表示します。



チェック!!
メニューに表示されている項目の位置番号を入力してください。
メニューの先頭項目の位置番号が、「1」になります。
メニューに表示されているチャプターなどの番号と異なる場合があります。

⑨ CONFIG DVDの設定
いろいろな設定を行う「DVDの設定」ウィンドウを表示します。
詳しくは、後述の「DVDの設定」をご覧ください。

■ 再生時に使用するボタン
次のボタンがあります。



① サーチ(スライダー)
再生中のタイトルの再生位置(時間)を表示します。また、スライダーのバーのつまみをトラックボールで移動することにより、お好みの位置から再生できます。

② 再生
現在のタイトル(作品)を再生します。また、早送り/早戻し再生・スロー再生・一時停止状態から標準再生に切り替えます。

③ 一時停止
再生中にクリックすると一時停止します。一時停止状態でクリックすると再生が再開します。

④ 停止
再生を停止します。

⑤ 早戻し再生
早戻しでタイトル(作品)を再生します。

⑥ 早送り再生
早送りでタイトル(作品)を再生します。

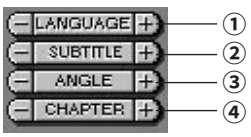
⑦ スロー再生
スローでタイトル(作品)を再生します。

⑧ コマ送り再生
コマ送りでタイトル(作品)を再生します。

⑨ EJECT
DVD-ROMドライブのトレイの出し入れを行います。

⑩ SPEED
早送り/早戻し/スロー再生時の再生速度を変更します。

■ 音声/字幕/アングル/チャプターの選択ボタン
次のボタンがあります。

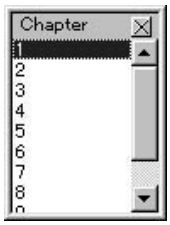


①(−)[LANGUAGE](+)音声の変更
DVD VIDEOディスクに記録されている音声の種類を変更します。
「(−)」 : 一つ前の音声
「(+)」 : 次の音声
「LANGUAGE」 : 音声の変更

②(−)[SUBTITLE](+)字幕の変更
DVD VIDEOディスクに記録されている字幕の種類を変更します。
「(−)」 :一つ前の字幕
「(+)」 :次の字幕
「SUBTITLE」 :字幕の変更

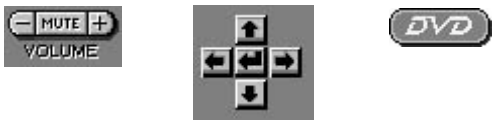
③(−)[ANGLE](+)アングルの変更
DVD VIDEOディスクに記録されているアングルを変更します。
「(−)」 :一つ前のアングル
「(+)」 :次のアングル
「ANGLE」 :アングルの変更

④(−)[CHAPTER](+)チャプターの変更
現在再生中のタイトル(作品)のチャプターを変更します。
「(−)」 :一つ前のチャプター
「(+)」 :次のチャプター
「CHAPTER」 :チャプターの変更



■ 音量調整、メニューカーソルの移動/選択ボタン
次のボタンがあります。

① ② ③

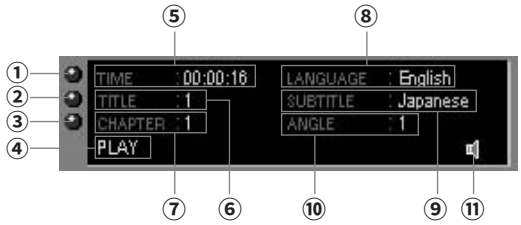


①(−)[MUTE](+)音量調整
音量の調整を行います。
「(−)」 :ボリュームダウン
「(+)」 :ボリュームアップ
「MUTE」 :再生音の消去や消去の解除を行います。

②(↑)(←)(↵)(→)(↓)メニューカーソルの移動/選択
「(↑)」 :メニューカーソルを上へ移動
「(←)」 :メニューカーソルを左へ移動
「(↓)」 :メニューカーソルを下へ移動
「(→)」 :メニューカーソルを右へ移動
「(↵)」 :選択されている項目を決定し、再生します。

③(DVD)バージョン情報
「DVDプレーヤ」のバージョンと著作権などの情報を表示します。

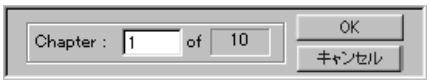
■ コントロールパネル
コントロールパネルでは、「DVDプレーヤ」や再生しているタイトル(作品)の状態を表示します。



① タイムサーチ
再生開始時間を指定できます。お好みの時間から再生できます。
「タイムサーチ」ボタンをクリックすると、次のような設定画面が表示されます。

② タイトルサーチ
再生するタイトルを指定できます。
「タイトルサーチ」ボタンをクリックすると、次のような設定画面が表示されます。

③ チャプターサーチ
再生するチャプターを指定できます。
「チャプターサーチ」ボタンをクリックすると、次のような設定画面が表示されます。



④ 状態表示
再生中、スロー再生中、早送り/早戻し再生、停止中等の状態を表示します。

⑤ TIME
タイトル毎の時間を表示します。

⑥ TITLE
再生中のタイトル番号を表示します。

⑦ CHAPTER
再生中のチャプター番号を表示します。

⑧ LANGUAGE
選択されている音声の状態を表示します。

⑨ SUBTITLE
選択されている字幕の状態を表示します。

⑩ ANGLE
選択されているアングルの状態を表示します。

⑪ VOLUME
現在のボリュームの状態を表示します。

DVD の設定

操作パネルの「CONFIG」ボタン(CONFIG)をクリックすると次のような「DVDの設定」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでDVDプレーヤの設定を行うことができます。

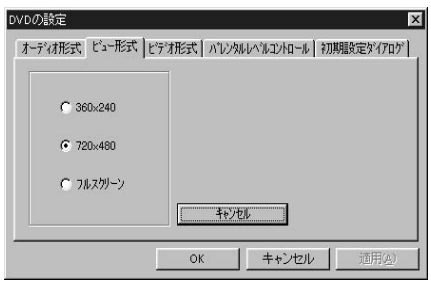
オーディオ形式

DVD VIDEOディスク再生時のストリームタイプの表示AC3ダウンミキシング(アウトプットスピーカ付加機能)オーディオタイプを変更することができます。

・ストリームタイプの設定
再生中の音楽仕様が選択表示されます。
・AC3 ダウンミキシング/スピーカの数の設定
ストリームタイプがAC3(ドルビーデジタル)の場合のみ選択できます。

ビュー形式

ビデオディスプレイのサイズを変更することができます。



・再生画面のウィンドウサイズを設定します。

■ ビデオ形式
ビデオフォーマットを変更します。

・ディスプレイモードの設定
1.レターボックス ：画像表示部の縦横比を16:9で表示します。
2.パンスキャン ：画像表示部の縦横比を4:3で表示します。
3.AUTO ：再生するDVD VIDEOディスクの収録画面サイズで表示します。

■ パレンタルレベルコントロール
パレンタルレベル（視聴制限レベル）の設定をします。

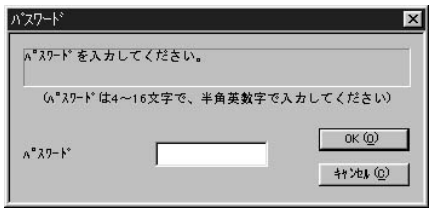
・パレンタルレベルの設定
「パレンタルレベルコントロール」タブをクリックすると、次のようなウィンドウが表示されます。

チェック!!
パレンタルレベルコントロールの初回選択時は、パレンタルレベルのパスワードの設定が必要です。
詳しくは後述の「パスワードの初期設定」をご覧ください。

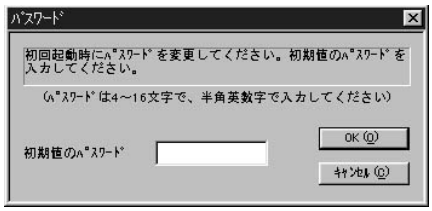
レベルを設定することにより、再生映像に制限を持たせてお子さまなどに見せたくない成人向けソフトの再生を禁止することができます。ただし、視聴制限レベルが記録されているDVD VIDEOディスクに限ります。

レベルの説明（視聴制限レベル）
Level1：子供向
Level2：
Level3：
Level4：
Level5：
Level6：一般向
Level7：
Level8：成人向

・パスワードの入力
パレンタルレベルを設定または変更する場合は、パスワードの入力が必要です。



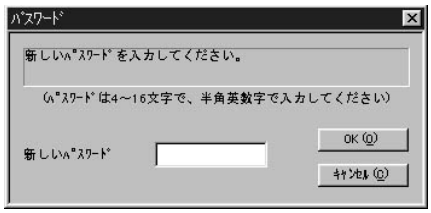
■ パスワードの初期設定
パレンタルレベルを設定または変更するためのパスワードを設定します。



チェック!!
設定したパスワードはパレンタルレベルを変更するときに必要です。パスワードを忘れるとパレンタルレベルを変更できなくなります。

・パスワードの設定

① 初期値のパスワード「welcome」を入力する。
「新しいパスワードを入力してください。」というメッセージが表示されます。



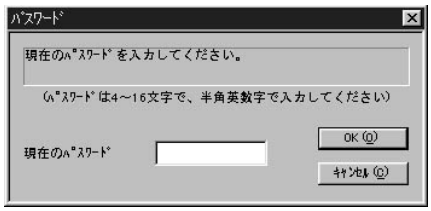
チェック!!

パレンタルレベルのパスワードの初期値は「welcome」が設定されています。

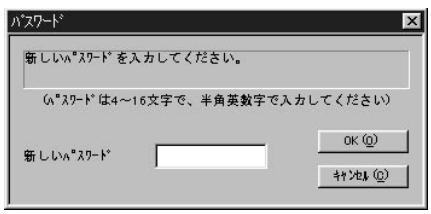
②文字数が4～16文字、半角英数字で任意のパスワードを入力する。
③「OK」をクリック。

■ パスワードの変更

すでに設定されているパスワードを変更します。
①「パスワードの変更」をクリック。
次のようなウィンドウが表示されます。



②すでに設定されているパスワードを入力する。
③「OK」をクリック。
入力したパスワードが正しければ、次のようなウィンドウが表示されます。



④新しいパスワードを入力する。
⑤「OK」をクリック。

■ パスワードを忘れてしまった場合

パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードの初期化を行います。

①「DVDプレーヤ」が起動している場合は、操作パネルの×をクリックして 「DVDプレーヤ」を終了する。
②本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットする。
③「¥DVD¥Ndvdpscl.exe」を起動する。
「DVDプレーヤのパレンタルレベルで設定したパスワードを初期化します。よろしいですか?」のメッセージが表示されます。
④「OK」をクリック。
これでパスワードが初期化されます。この場合、パスワードは初期値のパスワード「welcome」に設定し直されます。

■ 初期設定ダイアログ

国別コード、メニュー言語の設定を変更します。

・国別コードが表示されます。
「JAPANESE」固定

・メニュー言語の設定
DVD VIDEOディスクに記録されているメニュー言語を変更します。

DVD プレーヤを使用するときの注意

・DVD VIDEOディスクの再生中は、DVD VIDEOディスクをトレイから出し入れしないでください。DVD VIDEOディスクを出し入れする場合は、必ず再生を停止してください。

・DVD VIDEOディスクをDVD-ROMドライブにセットした後、再生可能となるまで多少時間がかかります。

・「画面のプロパティ」で「ディスプレイの詳細」(カラーパレット、デスクトップ領域のサイズ)を変更する場合は、「DVDプレーヤ」を終了させてから行ってください。

・「DVDプレーヤ」は、以下のディスプレイ解像度/色数の場合に再生することができます。

・256色の場合：640×480、720×480、800×600、848×480、864×480、1024×600、1024×768、1152×864、1280×1024

・High Color(16bit)の場合：640X480、720X480、800×600、848×480、864×480、1024×600、1024×768、1152X864

・True Color(24bit)の場合：640X480、720X480、800X600、848X480、864×480、1024X600、1024X768

・True Color(32bit)の場合：640X480、720X480、800X600、864×480、848X480、1024X600

その他の解像度/色数の場合は再生できません。

・DVD VIDEOディスクによっては、早送り/早戻し再生、スロー再生中に、標準再生となる場合があります。

・DVD VIDEOディスクによっては、操作パネルの各ボタンを選択しても動作しない場合があります。

・16:9画面サイズで字幕のあるタイトル(作品)を再生すると、字幕の下部が切れる場合があります。このような場合は、「DVDの設定」のビデオ形式でレターボックスを選んでください。

・「DVDプレーヤ」再生中は、サスペンド/レジューム機能を使用することはできません。また、「自動スリープ制御」や「ディスプレイの省電力機能」は使用しないでください。

・本「DVDプレーヤ」は、DVD VIDEOリージョン管理(ローカル番号2)により、海外で購入したDVD VIDEOディスクによっては、再生できないものがあります。

・DVD VIDEOディスク以外(DVD-ROM)は、再生できません。

・「DVDプレーヤ」のオンラインヘルプはありません。

・「DVDプレーヤ」では、音楽CD、ビデオCD、フォトCDを使用できません。これらのCDを使用する場合は、「プレーヤ-NX」を使用してください。

参照

「プレーヤ-NX」→PART1「音楽CD/ビデオCD/フォトCDの再生〈プレーヤ-NX 〉」

・本機にテレビを接続してDVD VIDEOディスクを再生するときにメディアコントローラの「フル画面」ボタンを押した場合、および、映像ウィンドウを最大化した場合は、フルスクリーン表示モードでDVD VIDEOディスクのみの出力となり、より高画質の映像でお楽しみいただけます。ウィンドウ表示モードに戻るには、もう一度、メディアコントローラの「フル画面」ボタンを押してください。また、「画面のプロパティ」の「テレビ出力」が「オフ」の場合は、テレビにはフルスクリーン表示モードにしたときしか表示されません。「テレビ出力」が「オン」の場合は、ウィンドウ表示モードでも再生は可能ですが、映像上にノイズが発生することがあります。フルスクリーン表示モードで再生することをおすすめします。「テレビ出力」を「オン」にする手順は次の通りです。

1 タスクバーのインジケータ領域のをダブルクリック。
2 「テレビ」の☐をクリックして☑(オン)にする。
3 「OK」をクリック。

なお、テレビに表示する場合は、解像度を640×480、800×600または848×480にしてください。

参照

「テレビ出力」→『困ったときのQ&A』PART1「テレビを使おうとしたら・・・」

カーナビCDの再生〈MapPlayer-NX〉

「MapPlayer-NX」では、ナビゲーションシステム研究会統一フォーマットに準拠したカーナビゲーション用地図CD-ROMを利用できます。

地図の表示変更やスクロールなど、MapPlayer-NXの基本的な操作は、メディアコントローラからも行うことができます。

参照
付録「メディアコントローラ操作早見表」

カーナビゲーション用地図CD-ROMを見る

ここでは、「ゼンリンソフト　首都圏ROAD & TOWN NAVI III」の地図CD-ROMを使用して説明しています。

このCD-ROMは本機には添付されていません。別途購入してお使いになるときは、そのCD-ROMの使用許諾条件に従って使用してください。
© ZENRIN

対応CD-ROMについて

地図CD-ROMは、ナビゲーションシステム研究会Ver2.01、2.1に準拠した日本国内用のCD-ROMを使用してください。ナビ研S規格には対応しておりません。また、ナビゲーションシステム研究会Ver2.1に含まれている「経路検索情報」を利用した経路検索はできません。

チェック!!

- Windows　95のCD-ROMファイルシステムが32bitモード以外の場合、「MapPlayer-NX」は使用できません（購入時の状態では32bitファイルシステムモードです）。
- 市販のCD-ROMキャッシュソフトをインストールすると、「MapPlayer-NX」が使用できない場合があります。「MapPlayer-NX」を使用する場合は、CD-ROMキャッシュソフトを削除してください。

「MapPlayer-NX」の起動

地図CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットすれば、自動的に「MapPlayer-NX」が起動します。もし、自動的に起動しない場合は次の操作を行ってください。

① 地図CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする。

② 「Map Player-NX」を起動する。
（「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「MapPlayer-NX（カーナビCD）」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「MapPlayer-NX（カーナビCD）」）
オープニング画面が表示されます。

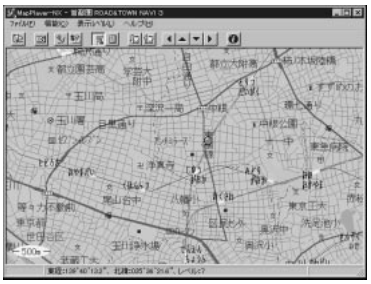
「MapPlayer-NX」が地図CD-ROMから必要なデータを読み込むと、地図画面が表示されます。

地図を見るために必要なボタン

地図画面の上部には、いくつかのアイコンが横に並んでいるツールバーがあります。この中で、地図を見るための基本操作に不可欠なボタンについて説明します。

■ (レベルメーターの表示/非表示切り替え)ボタン
クリックすると、次のようなレベルメーターを表示します。もう一度クリックすると、レベルメーターは画面から消えます。

現在のレベルメーターの表示は「7」です。対応する地図は次の通りです。



レベルメーターの「8」をクリックします。「8」が選ばれます。

すると、地図はさらに詳しくなります。

レベルメーターの表示を1だけ大きくする(表示範囲が狭くなり、表示内容が詳しくなる)ことは、を1回クリックする操作とまったく同じです。

逆にレベルメーターの「6」をクリックします。「6」が選ばれます。

すると、地図の表示範囲は東京都のいくつかの区を含む程度に広がります。

レベルメーターの表示を1だけ小さくする(表示範囲が広くなり、表示内容が大まかになる)ことは、を1回クリックする操作とまったく同じです。

また、レベルメーターはメニューバーの「表示レベル」のプルダウンメニューで選ぶこともできます。

■ (スクロールパネル表示/非表示)ボタン
クリックすると、次のようなスクロールパネルを表示します。もう一度クリックすると、スクロールパネルは画面から消えます。

矢印をクリックすると、その矢印の方向の表示範囲が広がるように地図がずれます。

地図上のある地点を中心に表示する

例えば次の地図で、右下にある「船の科学館」を中心に表示したいときは、「船の科学館」にポインタを当てて、ダブルクリックします。「船の科学館」が地図の中心になるように表示が変わります。

▼

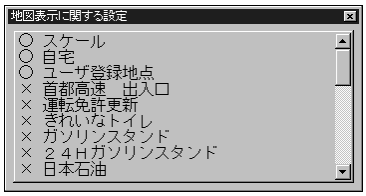
ランドマークを利用する

地図上には、いろいろな情報を示す印があります。これをランドマークと呼びます。

ランドマークの表示/非表示を設定する

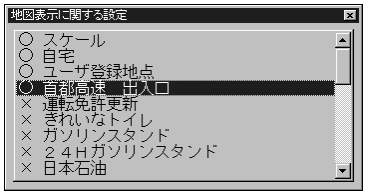
ランドマークの表示/非表示の設定ができます。ランドマークが表示できる表示レベルは、自宅は全レベル、ユーザー登録点は、登録時に表示可能と示されたレベル、その他は使用する地図により異なります。また、スケールに表示されている距離は参考用です。多少の誤差が生じる場合があります。

① ツールバーの をクリック。
「地図表示に関する設定」ウィンドウが表示されます。

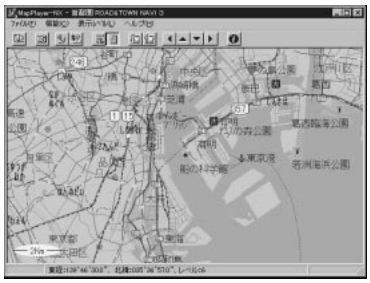


○:表示　×:非表示

② 表示したい項目をダブルクリック。
（例 首都高速 出入口）
「×」印が「○」印に変ります。地図には、「首都高速出入口」が表示されるようになります。

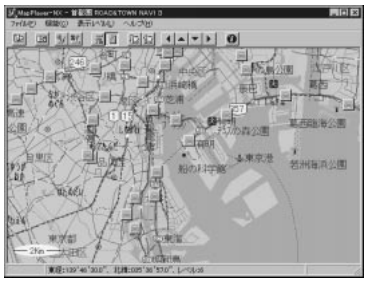


首都高速の出入口が表示されていない地図



▼

首都高速の出入口が表示されている地図

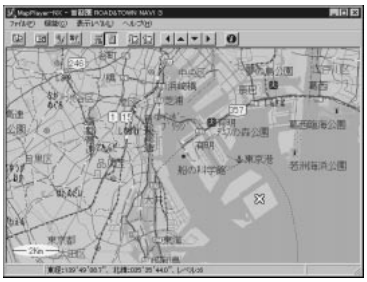


拡大図

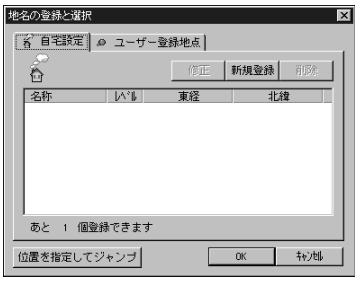
ユーザー用ランドマークを設定する

自宅や任意の地点を地図上に登録できます。ここでは、「ユーザー登録地点」として「屋台のラーメン屋」を登録してみます。ユーザー登録地点は、最大64カ所です。

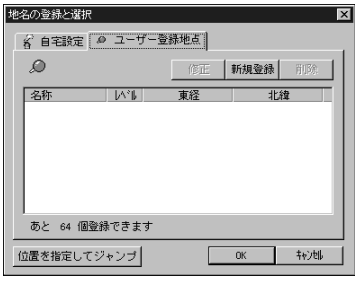
① 地図上で、登録したい場所をクリック。
地図上に「×」印が表示されます。



② ツールバーの をクリック。
「地名の登録と選択」ウィンドウが表示されます。

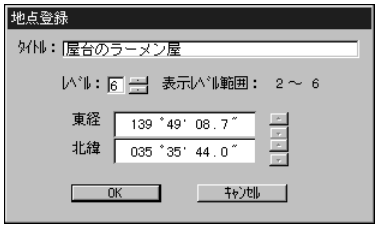


③「ユーザー登録地点」をクリック。
「ユーザー登録地点」タブのウィンドウが表示されます。

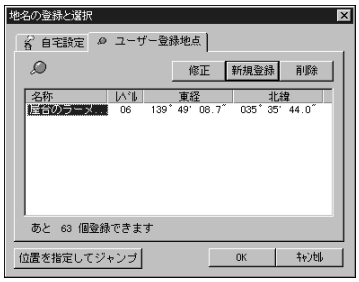


④「新規登録」をクリック。
「地点登録」ウィンドウが表示されます。

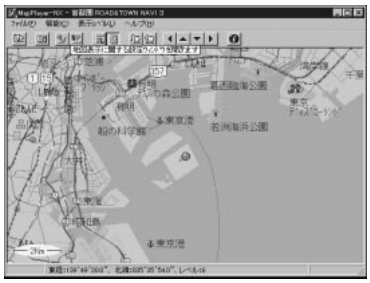
⑤ 地名を入力する。
（例「屋台のラーメン屋」）



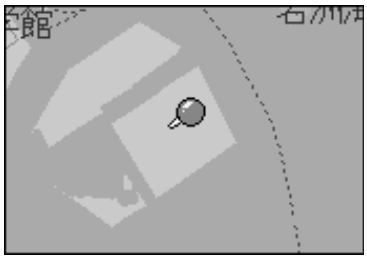
⑥「OK」をクリック。
「地名の登録と選択」ウィンドウに地名などが登録されます。



⑦「OK」をクリック。
地図に登録されました。

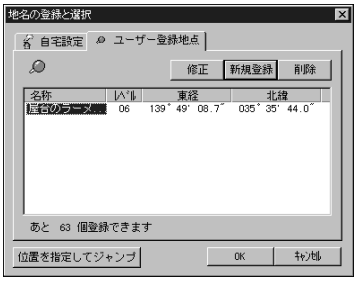


拡大図



■ ユーザー登録地点の修正/削除

① をクリックして、「地名の登録と選択」ウィンドウを表示する。



② 「修正」または「削除」をクリック。
「修正」をクリックした場合

ここで、「タイトル」や「レベル」を修正して「OK」をクリックします。

「削除」をクリックした場合

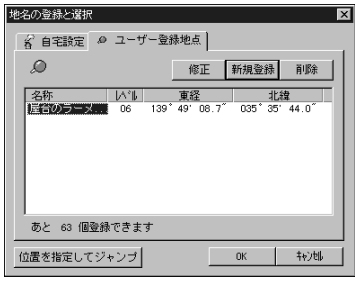
「OK」をクリックすると削除できます。

登録した地名から地図を表示する

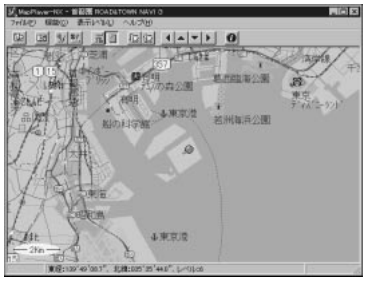
登録した地名から、その地点がある地図を表示できます。また、緯度経度を指定して任意の地点を表示することもできます。

■ 登録した地名から表示する
「ユーザー登録地点」の「屋台のラーメン屋」を表示してみます。

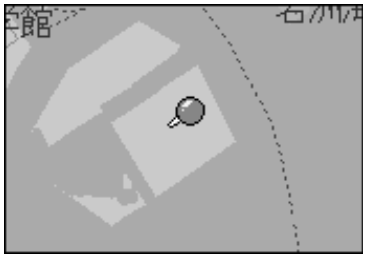
① をクリックして、「地名の登録と選択」ウィンドウを表示する。



② 「地名」をダブルクリック。
（例 「屋台のラーメン屋」）
ユーザー登録地点（屋台ラーメン屋）のある地図が表示されます。

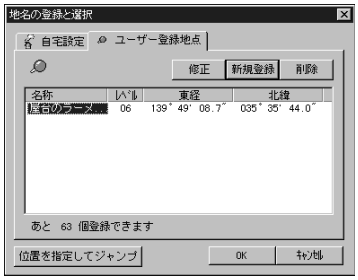


拡大図



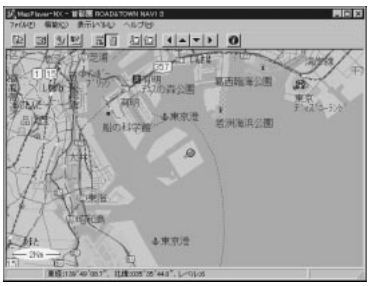
■ 登録した地名から表示する
「ユーザー登録地点」の「屋台のラーメン屋」を表示する、別の方法を説明します。

① をクリックして、「地名の登録と選択」ウィンドウを表示する。



② 「位置を指定してジャンプ」をクリック。
「ジャンプ先」ウィンドウが表示されます。

③ レベル、経度、緯度を入力して「OK」をクリック。
（「ジャンプ先」ウィンドウには、「地名の登録と選択」ウィンドウで、選ばれている地名のレベル、経度、緯度が表示されています。）
ユーザー登録地点（屋台ラーメン屋）のある地図が表示されます。



「ジャンプ先」ウィンドウで、あらたにレベル、経度、緯度を指定してジャンプすることもできます。

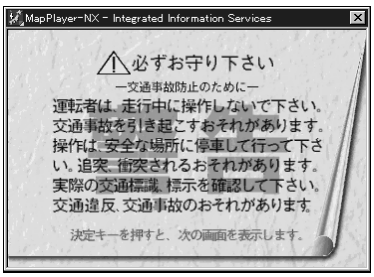
IIS(Integrated Information Services)を利用する

IISを利用すると、サービステキストやマークを使って、各種の情報を簡単に入手できます。

IISを最初から見る

ここでは、例として首都高速の「高速都心環状線」のひとつの出入口である「江戸橋出入口」を表示してみます。

① ツールバーのIISをクリック。
次の画面が表示されます。



② 画面をクリック。
（カーナビゲーション装置の「決定キー」や「エンターキー」押すことは、ここでは、クリックを意味します。）
IISの初期画面が表示されます。

③ 「首都高速」をクリック。
次のメニューが表示されます。

④ 「出入口案内」をクリック。
次のメニューが表示されます。

⑤ 「高速都心環状線」をクリック。
次のメニューが表示されます。

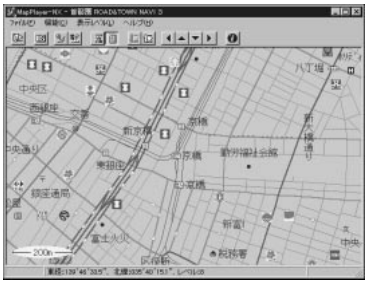
⑥「江戸橋出入口」をクリック。
「江戸橋出入口」に印が付けられた地図が表示されます。

拡大図

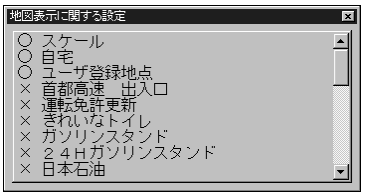
IISマークを利用して地図から表示させる

ここでは、例として京橋の近くのきれいなトイレを探してみます。

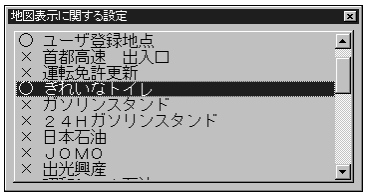
① 目的の地点を中心にした地図を表示する。

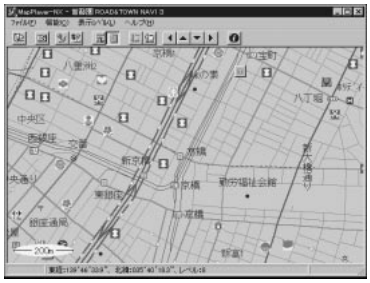


② ツールバーの をクリック。
「地図表示に関する設定」ウィンドウが表示されます。

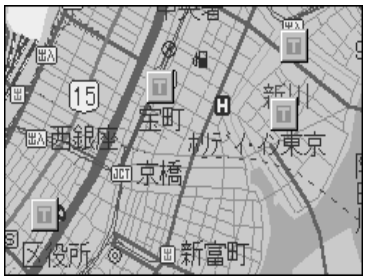


③「きれいなトイレ」をダブルクリック。
「×」印が「○」印に変わります。地図には、「きれいなトイレ」を示す「T」マークが表示されます。





拡大図



④ 京橋の右上の方向にある「T」マークをクリック。
「きれいなトイレ」の名前が表示されます。

IISを使用するときの注意

IISは本来、カーナビゲーションシステムで再生することを前提に設計されているため、次の点に注意してください。

- IISにおける画面上のボタンの操作方法や動作は、Windows 95と異なる場合があります。
- カーナビゲーションシステムでのみ使用を許されているデータなど、「MapPlayer-NX」では一部扱えないデータがあります（ここで使用している「首都圏ROAD & TOWN NAVI III」では電話番号データが該当します）。
- IISはCD音声を使用してタイミングをとるため、ほかにCD音声を使用するアプリケーションと同時に起動できません。

電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉

「TELFAX-NX」では電話とFAXの送受信ができます。電話は、本機に接続した外付けの電話機あるいは、別売のマイクロホンとスピーカを使用してかけられます。また、留守番電話機能での電話やFAXの自動受信などもできます。

TELFAX-NXの起動や留守録メッセージの再生などは、メディアコントローラからも行うことができます。

参照
付録「メディアコントローラ操作早見表」

TELFAX-NXについて

「TELFAX-NX」は本機をFAX、電話、留守番電話として使うためのアプリケーションです。本機がFAXや電話機として機能するといっても、FAXで送る用紙を差し込む給紙口があるわけではないし、電話といっても受話器やダイヤルがあるわけではないので、戸惑う方もいるかもしれません。そこで、そのことについて少し説明します。

本機のFAX機能とは、通常のFAXのように送受信を紙面で行うのではありません。本機にインストールされているいろいろなアプリケーションを利用して、送信する原稿を画面上で作成し、そのデータを送信して相手先のFAXの用紙に出力します。また、受信も相手から送られてきた内容を本機に取り込み、それを画面で表示して確認します。もちろんプリンタが本機に接続されていれば、受信したFAXを印刷することもできます。

通常の電話機の受話器には、相手に向かって話をする送話口と相手の声が聞こえる受話口があります。本機で電話機能を利用するときは、本機に接続されたマイクロホン（別売）が受話器の送話口の役目を果たし、スピーカ（別売）が受話口の役目を果たします。また、ダイヤルは画面に表示される実際の電話機のイラストにある番号を順番にクリックしていくか、キーボードの数字キーから入力します。

本機は電話としてだけでなく、留守番電話機能としても利用できます。本機では応答メッセージや相手のメッセージをメモリやハードディスクに録音できます。

本機を使用しているときでも、思い立ったときにFAXを送ったり、電話をかけたりすることがかんたんにできます。また、本機を使用していないときは、留守番電話機として利用できます。「TELFAX-NX」はこのように非常に便利で役に立つアプリケーションです。

TELFAX-NXを起動する

「TELFAX-NX」を使用する前に、本機と電話回線が正しく接続されていることを必ず確認してください。

参照
・電話回線との接続→『STEP1　接続と準備』PART2「電話回線に接続する」

チェック!!

「TELFAX-NX」は本機の内蔵FAXモデムボード以外では動作しません。

チェック!!

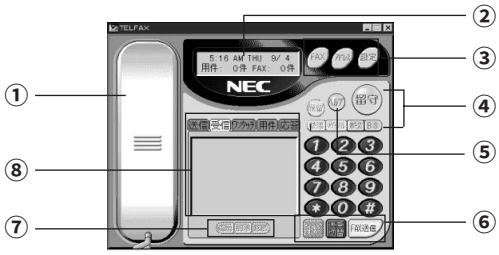
通話（送話/受話）するには、別売のマイクロホンと別売のスピーカ、またはヘッドホンが必要です。

TELFAX-NXの起動

「TELFAX-NX」は次のいずれかの方法で起動します。

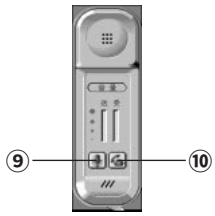
・「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX（FAX＆電話）」
・「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX（FAX&電話）」

各部の名称と役割



① 受話器ボタン
スピーカホンから電話をかけるためのボタンです。また、通話中の場合には、音量の調整ができます。このボタンは、動作状態によって表示とその意味が違います。

電話回線を使用しない状態です。



スピーカとマイクロホンで電話する状態です。

② 情報表示パネル
電話やFAXの操作状態などが表示されます。

③ 機能呼び出しボタン
セットアップ機能、FAXマネージャ、アドレス帳を呼び出すためのボタンです。

④ テレホン機能ボタン
電話機に関しての各種の機能を持つボタンです。

⑤ ヘルプボタン
オンラインヘルプを表示します。操作方法は、通常のWindowsのヘルプと同じです。

⑥ FAX機能ボタン
FAXを送受信するためのボタンです。

⑦ 音声操作ボタン/ログ操作ボタン
ログ表示パネルに表示されているログを操作するためのボタンです。また、留守番電話の受信ログや応答ログを操作します。

⑧ マルチ表示パネル
FAXの送受信ログや留守番電話の受信履歴の表示、および留守番電話や応答メッセージの音声データの操作、ワンタッチダイヤルの操作などができます。

⑨ スピーカホン切替ボタン
本機に接続した電話機で通話中に、スピーカホンでの通話に切り替えます。

⑩ 切断ボタン
通話を終了します。

電話をかける

チェック!!

- **通話(送話/受話)するには、別売のマイクロホンと別売のスピーカ、またはヘッドホンが必要です。**
- **本体前面のマイクボリュームつまみは中央に設定してください。購入時は一番左(最小)になっています。**

① 「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」)

② 「受話器ボタン」をクリック。
「受話器ボタン」がスピーカホンモードの形に変わります。

③ 電話番号をクリック。
（例　1234-5678をダイヤルする場合、12345678をクリックする）

電話番号は、キーボードからも入力できます。

④「ダイヤル」をクリック。
相手先へダイヤルします。相手が電話に出たら、マイクロホンから話します。相手の声は、スピーカから聞こえます。必要に応じて受話器ボタンにあるボリューム調整ツマミをドラッグして、送話、受話の音量を変えることができます。また、外付け電話機の受話器を取ると、その電話機で通話ができます。

チェック!!

電話がかからない場合は、次の2項目を確認してください。

- 本機と電話回線が正しく接続されているか。
- 回線の種別(トーン/パルス)が正しく選択されているか。

参照

- 回線の種別の設定→後述の「各種の設定」の「基本設定」

⑤ 電話が終了したら、をクリック。
通話を終了します。

チェック!!

- 相手が先に回線を切っても、自分側は通話中のままなので、必ずをクリックして電話を切ってください。
- 本機に接続した電話機で通話中は、FAX送受信および保留、撃退はできません。「受話器ボタン」をクリックして、スピーカホンでの通話に切り替えてからFAX送受信および保留、撃退をしてください。

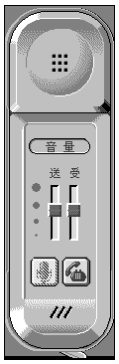
電話を受ける

「TELFAX-NX」が起動されていることを確認してください。

チェック!!

- 通話(送話/受話)するには、別売のマイクロホンと別売のスピーカ、またはヘッドホンが必要です。
- 本体前面のマイクボリュームつまみは中央に設定してください。購入時は一番左(最小)になっています。

① 電話がかかってきたら、「受話器ボタン」をクリック。
「受話器ボタン」の形が次のように変わります。



② 通話する。
マイクロホンから話し、相手の声はスピーカから聞こえます。必要に応じて受話器ボタンにあるボリューム調整ツマミをドラッグして、送話、受話の音量を変えることができます。また、外付け電話機の受話器を取ると、その電話機で通話ができます。

③ 通話が終了したら、をクリック。
電話が切れます。

FAXの送受信をテストする

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」でFAXの送受信のテストができます。
「NECパソコンFAXテスト交信サービス」宛にFAXを送信し、うまく届けば、折り返し「NECパソコンFAXテスト交信サービス」からFAXが届きます。なお、本テストを行う前に、「TELFAX-NX」から電話が正しくかけられることを必ず確認してください。

チェック!!

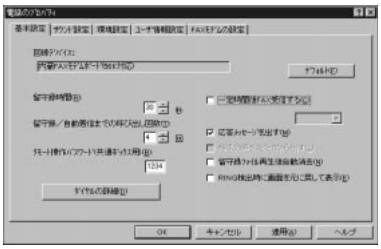
「NECパソコンFAXテスト交信サービス」は、「TELFAX-NX」に対応しています。
ほかのアプリケーションからは利用できません。

テストの準備をする

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」へ送信するFAX内容の作成と、折り返されるFAXを受信するための準備をします。

① 「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」)

② 「設定」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



③ 「ユーザ情報設定」タブをクリック。
次のようなウィンドウが表示されます。

④ 必要な事項を入力する。
- 「ユーザ名」
  あなたの名前
- 「住所[1行目]」/「住所[2行目]」
  あなたの住所
- 「電話番号」
  あなたの電話番号(FAXモデムの電話番号と同じ場合は省略できます)
- 「FAXモデムの電話番号」
  本機を接続した電話回線の番号

入力例

チェック!!

「FAXモデムの電話番号」は「NECパソコンFAXテスト交信サービス」より折り返しFAXするための情報なので、数字と「ー」(ハイフン)を使って市外局番から正確に入力してください。

⑤ 「OK」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが閉じ、「TELFAX」ウィンドウが表示されます。

⑥ 留守をクリック。
「留守」ボタンが赤色に点灯して、留守録モードになります。

チェック!!

本機に外付け電話機を接続している場合は、外付け電話機の留守設定を解除しておいてください。

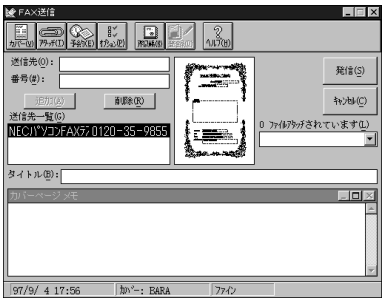
テストを開始する

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」宛にFAXを送信します。

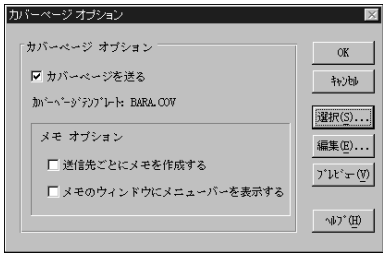
① 「TELFAX」の「アドレス」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

② 「NECパソコンFAXテスト交信サービス」をクリック。
「NECパソコンFAXテスト交信サービス」が反転表示されます。

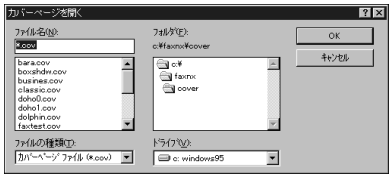
③ (ダイアル)をクリック。
「FAX送信」ウィンドウが表示されます。



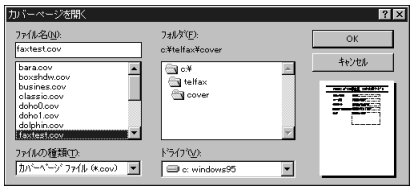
④ (カバー)をクリック
「カバーページオプション」ウィンドウが表示されます。



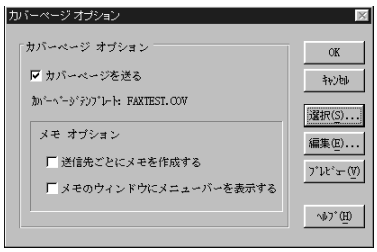
⑤ 「選択」をクリック。
「カバーページを開く」ウィンドウが表示されます。



⑥ 「ファイル名」から「faxtest.cov」をクリック。
「faxtest.cov」が反転表示されます。



⑦ 「OK」をクリック。
「カバーページオプション」ウィンドウに戻ります。



⑧ 「カバーページオプション」の「OK」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウに戻ります。

⑨ 「発信」をクリック。
送信が始まります。

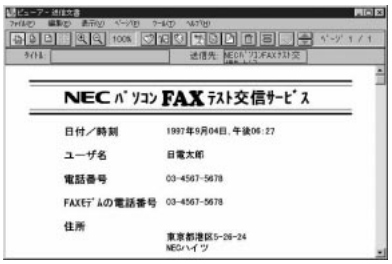
⑩ 「アドレス帳」を終了する。
右上の×をクリックすると「アドレス帳」ウィンドウが閉じます。

送信を確認する

正常に送信できたかどうかを確認します。

①「TELFAX」の「送信」をクリック。
「マルチ表示パネル」の一番上の欄に送信結果が表示されます。
「済み」と表示されている場合は正常に送信されているので手順②へ進みます。
「待ち」と表示されている場合は、しばらくすると（2～3分後）再度送信します。そのままお待ちください。

②「マルチ表示パネル」の「済み」の欄をダブルクリック。
「ビューア」ウィンドウが表示され、送信したFAXが表示されます。



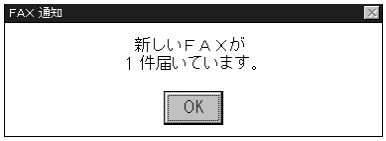
③「ビューア」を終了する。
右上の×をクリックすると「ビューア」ウィンドウが閉じます。

受信を確認する

「NECパソコンFAXテスト交信サービス」宛にFAXを正常に送信できると、通常10分以内に折り返し「NECパソコンFAXテスト交信サービス」からFAXが届きます。折り返し時間は、そのときの「NECパソコンFAXテスト交信サービス」の混み具合によって多少異なります。
また、「NECパソコンFAXテスト交信サービス」では、本機を接続した電話回線が使用中などでつながらない場合は、数分後にFAXを再送します（2回まで）。

ここでは、「TELFAX-NX」は留守録モードに設定されているのでFAXを自動的に受信します。

FAXの自動受信が完了すると、次のようなメッセージが表示されます。



①「OK」をクリック。

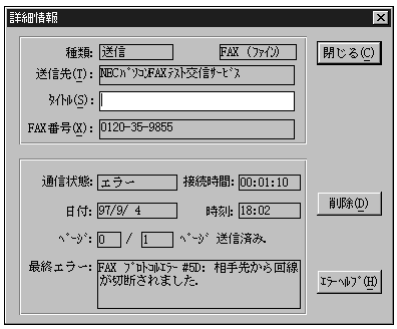
②「TELFAX」ウィンドウの「受信」をクリック。
「マルチ表示パネル」の一番上の欄に受信結果が表示されます。「未読」と表示されている場合は、正常に受信されています。

③「マルチ表示パネル」の「未読」の欄をダブルクリック。
「ビューア」ウィンドウが表示され、自動受信したFAXが表示されます。

送信が「異常」になった場合

次の操作手順に従ってください。

①「マルチ表示パネル」の「異常」をダブルクリック。
「詳細情報」ウィンドウが表示されます。



「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。
「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。

送信はうまくいったがFAXが届かない場合

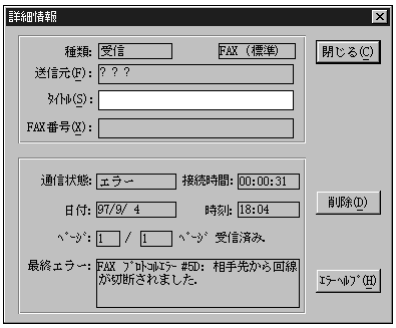
送信が「済み」になってから10分程度たってもFAXが届かない場合は、「テストの準備をする」の項をご覧になり次の項目を確認し、もう一度、テストをやり直してください。

- 「FAXモデムの電話番号」の番号が間違っていないか。
- 「TELFAX-NX」が留守録モードになっているか。
- 外付け電話機の留守設定を解除しているか。

受信が「異常」になった場合

次の操作手順に従ってください。

① 「マルチ表示パネル」の「異常」をダブルクリック。
「詳細情報」ウィンドウが表示されます。



「通信状態」が「エラー」の場合、「最終エラー」にエラーメッセージが表示されています。
「エラーヘルプ」をクリックして、原因と対処方法を調べてください。

FAXを送る

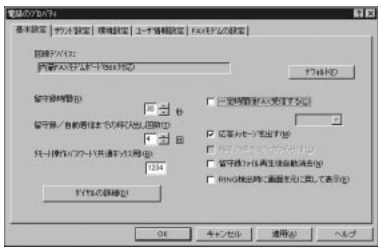
「TELFAX-NX」専用のFAX用紙に相当する「FAX送信」ダイアログで作成したメモや、本機のアプリケーションを利用して作成した文書などを、FAXとして送信できます。

FAXを送る準備

FAXを送る前に、ユーザ情報を登録する必要があります。ユーザ情報の内容は、カバーページなどの発信元に自動的に表示されます（一度ユーザ情報を登録しておけば、FAXを送信する度に発信元を入力する必要はありません）。ユーザ情報の登録方法は次の通りです。

① 「TELFAX-NX」を起動する。
「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX（FAX&電話）」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX（FAX&電話）」

② 「設定」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



③ 画面上部のタブから「ユーザ情報設定」タブをクリック。

④ 必要な事項を入力する。

- 「ユーザ名」
  あなたの名前
- 「住所[1行目]」/「住所[2行目]」
  あなたの住所
- 「電話番号」
  あなたの電話番号（FAXモデムの電話番号と同じ場合は省略できます）
- 「FAXモデムの電話番号」
  パソコンを接続した電話回線の番号

入力例

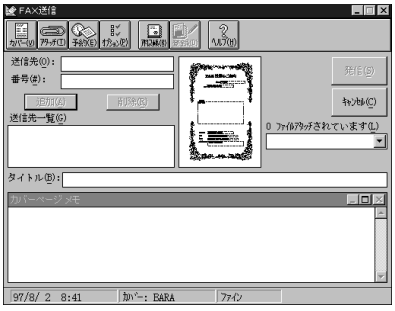
⑤「OK」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

メモを送る

ここでは、メモ書き程度の簡単な文を送ってみます。

①「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」)

②「FAX送信」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウが表示されます。



③ 次の項目に必要な事項を入力する。
少なくとも、次の3項目に入力します。

- 「送信先」
  送信相手の名前
- 「番　号」
  送信相手のFAX番号
- 「カバーページメモ」
  伝えたいメモなど

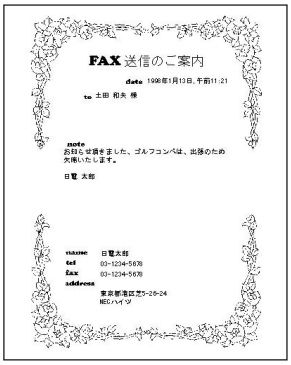
入力例

カバーページによっては、「送信先」の名前の後に、「様」や「殿」などが自動的にはつかない場合もあります。必要に応じて入力してください。

チェック!!

カバーページのプレビューをクリックすると、送信する内容を確認することができます。

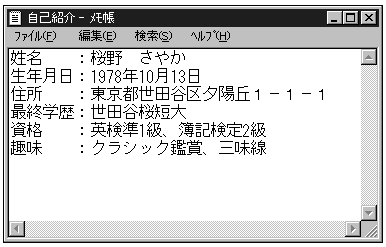
④「発信」をクリック。
送信が始まります。
相手先には、次のようなFAXが届きます。



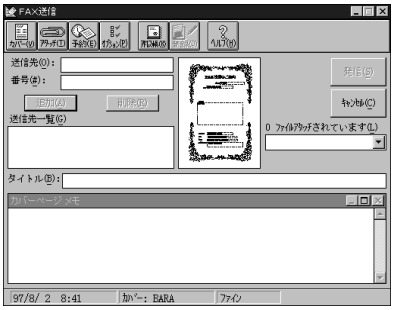
作成した文書を送る

ここでは、「メモ帳」で作成した文書を送信してみます。

① 文書を作成する。
（例　自分のデータを入力し、「自己紹介」というファイル名を付けて保存）



② 「TELFAX」の「FAX送信」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウが表示されます。



③ 「送信先」「番号」「カバーページメモ」を入力する。

④ ウィンドウ上部の「アタッチ」をクリック。
「ファイル選択」ウィンドウが表示されます。

⑤ 送信するファイルを選んで、「追加」をクリック。
「自己紹介」ファイルが「選択されているファイル」欄に表示されます。

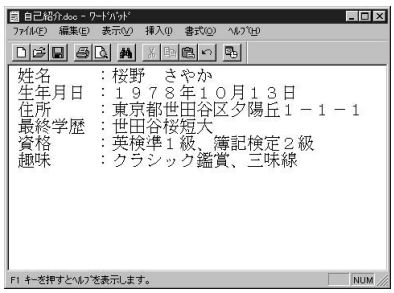
⑥ 「OK」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウに戻ります。

⑦ 「発信」をクリック。
カバーページと「自己紹介」ファイルが送信されます。

アプリケーションから文書を送る

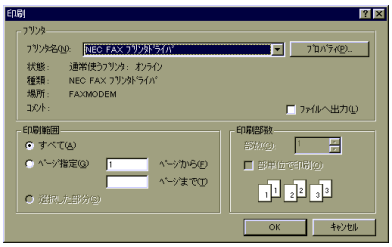
アプリケーションから文書を送信するには、アプリケーションで印刷する場合と同じ手順で行います。ここでは、「ワードパッド」から文書を送信してみます。

① アプリケーションを起動して、FAXを送信する文書を開く。
（例「ワードパッド」で「自己紹介」ファイルを開く）
ファイルの種類が「.TXT」の場合は、「すべてのファイル(＊.＊)」を選ぶ必要があります。



② メニューバーの「ファイル」をクリック。
メニューが表示されます。

③「印刷」をクリック。
プリンタ名に「NEC FAX プリンタドライバ」が設定されていることを確認してください。



④「OK」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウが表示されます。

⑤「送信先」「番号」「カバーメモ」を入力する。

⑥「発信」をクリック。
カバーページと「自己紹介」ファイルの印刷イメージが送信されます。

FAX を受ける

FAXを受信するときは、次の3通りの場合が考えられます。

・自動受信する
いつ送られてきても自動的に受信します。
また、Timer-NXでリング機能を設定しておくと、本機の電源が切れていてもFAXを受信できます。

・通話中に受信する
電話で通話中にFAXを受信できます。

・FAX情報サービスから受信する
FAX情報ボックスなどから、欲しい情報を選んで受信できます。

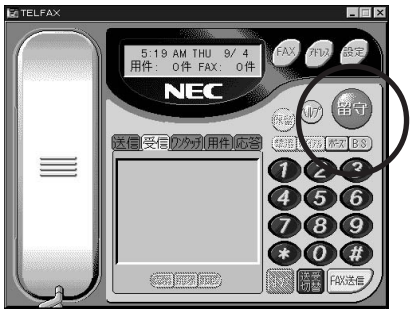
自動受信する

本機の電源が入っている状態でFAXを自動受信するためには、「TELFAX-NX」を起動しておき、留守録モードにします。

チェック!!

サスペンド状態でFAXを自動受信するには、サスペンドする前に「TELFAX-NX」を起動して、留守録モードにしておいてください。
サスペンド状態でFAXを受信すると、自動的にレジュームし、受信が終了するとサスペンド状態になります。

①「TELFAX」の留守をクリック。
「留守」ボタンが赤く点灯して、留守録モードになります。
この後、FAXが送られてくると、自動受信します。



自動受信したFAXがあるときは、次のようなメッセージが表示されます。

②「OK」をクリック。

③「TELFAX」のマルチ表示パネルの「未読」の欄をダブルクリック。
自動受信したFAXが表示されます。

このFAXを印刷あるいは別ファイルとして保存したいときは、メニューバーの「ファイル」をクリックして、プルダウンメニューで指定できます。

留守録モードを解除するときは、もう一度留守をクリックします。

本機の電源が切れているときに自動受信する

本機の電源が切れているときに、FAXを自動受信したい場合は、電源を切る前に、次の手順を行います。

① 「TELFAX-NX」の留守をクリック。
留守録モードになります。

② 「Timer-NX」を起動して、リング機能を設定する。

参照
・「Timer-NX」のリング機能→PART 1「タイマー機能<Timer-NX>」の「リングを設定する」

FAXを受信すると、自動的に本機の電源が入り、受信が終了すると、本機の電源は自動的に切れます。

通話中に受信する

通話中にFAXを受信することができます。FAXが送られてくると、FAXの信号音がスピーカまたは受話器から聞こえてきます。外付け電話機の受話器を上げたままのときは、受信が終わると続けて通話できます。

① 通話中、FAXが送られてきたら「TELFAX」の右下の「送受切替」をクリック。
「送受切替」ボタンの右の「FAX送信」ボタンが「FAX受信」ボタンに変わります。

② 「FAX受信」をクリック。
FAXの受信を開始します。

チェック!!

受信を開始するために「FAX受信」ボタンをクリックしても、電話回線の制御がモデムに切り替わるまでに、少し時間がかかります。「カチッ」という音が聞こえるまで、外付けの電話を切らないようにしてください。

FAX情報サービスから受信する

「TELFAX-NX」を使って、FAX情報サービスを利用するときは、外付け電話機からのダイヤルはできません。

① 「TELFAX」の「受話器ボタン」をクリック。
「受話器ボタン」の形が次のように変わります。

② FAX情報サービスのFAX番号を入力して「ダイヤル」をクリック。
FAX情報サービスの音声での案内が聞こえてきます。

③ 音声案内にしたがって、操作する。
このとき、必ず最後は「ダイヤル」をクリックします。
ただし、パルス(ダイヤル)回線のときは、番号を入力する前に、まず＊をクリックしてください。＊をクリックした後は、通話が終わるまで＊をクリックする必要はありません。
例えば、「2シャープを押してください」という音声案内に対しては次のように操作します。

トーン(プッシュ)回線の場合
「2」→「#」→「ダイヤル」

パルス(ダイヤル)回線の場合
「＊」→「2」→「#」→「ダイヤル」

④「スタートボタンを押してください」という内容のメッセージが聞こえたら、「送受切替」を2回クリック。
「TELFAX」の右下にある「送受切替」ボタンの右の「FAX送信」ボタンが「FAX受信」ボタンに変わります。

チェック!!

「スタートボタン」はFAX情報サービスによっては「受信ボタン」とか「通信ボタン」などと表現することもあります。

⑤「FAX受信」をクリック。
受信を開始します。

FAXの受信が終了すると、自動的に回線が切れます。

留守番電話機能を使う

ここでは留守番電話機能の基本的な操作について説明します。詳しい操作方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

留守番電話機能

①「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」)

②留守をクリック。
「留守」ボタンが赤色に点灯して、留守番電話機能がセットされます。このとき、応答メッセージがスピーカから聞こえます。

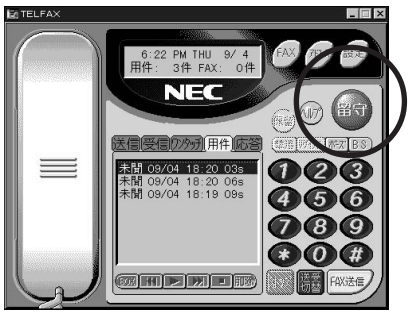
チェック!!

外付け電話機を本機に接続して使用する場合、外付け電話機の呼び出し回数が「TELFAX-NX」で設定している回数以下で留守設定を行っていると、「TELFAX-NX」の留守番電話機能は使用できません。留守番電話機能を使用するときは、本機に接続している外付け電話機の留守設定を解除しておいてください。

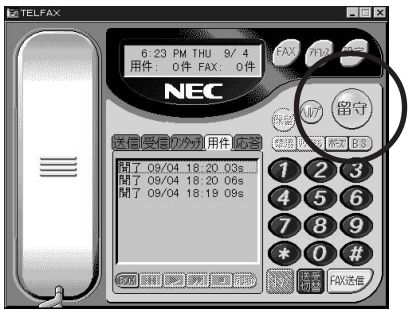
留守番電話に録音されたメッセージを再生する

留守番電話にメッセージが記録されているときは、「留守」ボタンが点滅しています。

①留守が点滅していることを確認する。
「情報表示パネル」に録音されたメッセージの件数が「用件　×件」と表示され、用件をクリックすると「マルチ表示パネル」には、「未聞」という文字の後に、受信時間などが表示されます。また、FAX受信したときは「FAX　　×件」と表示され、「未読」という文字が表示されます。



②留守をクリック。
録音されたメッセージが再生されます。
再生後は「用件　0件」となり、「未聞」は「聞了」という表示に変わります。



チェック!!

留守録メッセージの再生はメディアコントローラからも操作できます。

参照
付録「メディアコントローラ操作早見表」

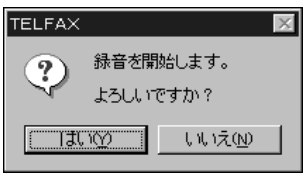
応答メッセージの録音

留守番電話機能の応答メッセージを自分で録音できます。あらかじめ録音するメッセージを準備しておきます。

① 「TELFAX」で「応答」をクリック。
「マルチ表示パネル」の表示が次のようになります。

② 「新規登録」をクリック。
「新規登録」が反転表示になります。

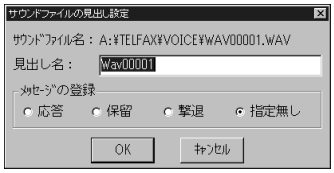
③ 画面の下端の をクリック。
次のメッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると録音を開始します。

④ 「OK」をクリックして、マイクロホンから応答メッセージを入れる。

⑤ 終了したら、 をクリック。
「サウンドファイルの見出し設定」ウィンドウが表示されます。



⑥ 「メッセージの登録」で「応答」を選んで「OK」をクリック。
応答メッセージが録音されます。

チェック!!

「TELFAX-NX」の応答メッセージが長すぎると、FAXがうまく受信できない場合があります。このようなときは、応答メッセージを10秒程度にしてください。

留守録モードから通話する

留守録モードの状態でも通話できます。

チェック!!

- 留守録モードで電話を受けたときは、指定した呼び出し回数より前に外付け電話機の受話器を取れば、そのまま通話できます。
- 留守録が始まった後でも、「受話器ボタン」をクリックすることで、留守録を中止して通話できます。

メールボックス

同じパソコンを家族などで共同で使用する場合に、各人がそれぞれの留守録ボックスを作成することで、個人専用の留守番電話機として使うことができます。

留守番電話にかけてきた相手は、ボックス番号を指定してメッセージを残すことができます。つまり、応答メッセージで、「ボックスを利用するときは、ボックス番号とシャープを押してください」という内容がアナウンスされますので、相手に自分のボックス番号をあらかじめ教えておけば、自分専用の個人ボックスにメッセージを残してもらうことができます。指定されたボックス番号に録音されたメッセージを再生するには、パスワードが必要なので、プライバシーを守ることができます。

個人ボックスの作成

① 「TELFAX-NX」を起動する。
（「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX（FAX&電話）」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX（FAX&電話）」）

② マルチ表示パネルの上にある「用件」をクリック。

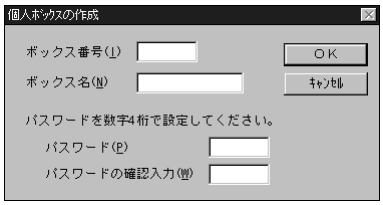
③ 「BOX」をクリック。
「BOX一覧」ウィンドウが表示されます。

「共通ボックス」が自動的に作成されています。

チェック!!

共通ボックスのパスワードは「1 2 3 4」に設定されています。このパスワードはこの後で説明するリモート操作に必要です。

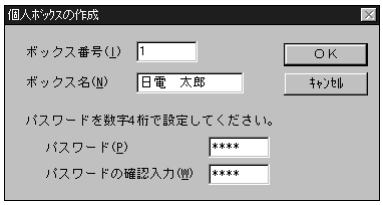
④ 未使用のボックスを選んでクリック。
「個人ボックスの作成」ウィンドウが表示されます。



⑤ 必要な項目に入力する。

- 「ボックス番号」
  1～9の中から選びます。
- 「ボックス名」
  全角7文字（半角14文字）以内で入力します。
- 「パスワード」
  4桁の数字を入力します。

入力例

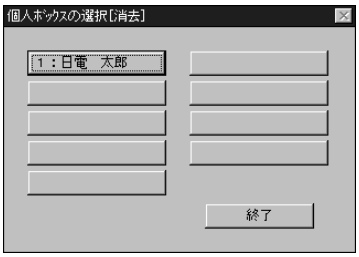


⑥ 「OK」をクリック。
個人ボックスが作成され、「マルチ表示パネル」には、ボックス番号とボックス名が表示されます。

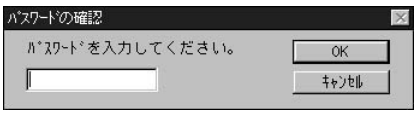
個人ボックスの削除

不要になった個人ボックスは削除できます。

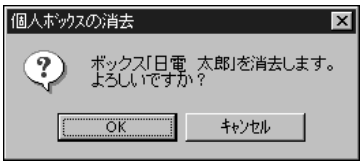
① 「BOX一覧」ウィンドウが表示されているときに「TELFAX」ウィンドウで「消去」をクリック。
「個人ボックスの選択[消去]」ウィンドウが表示されます。



② 削除したいボックスをクリック。
「パスワードの確認」ウィンドウが表示されます。



③ パスワードを入力して「OK」をクリック。
「個人ボックスの消去」ウィンドウが現れ、消去の確認メッセージが表示されます。



④ 「OK」をクリック。
指示した個人ボックスが削除されます。

個人ボックスを使うときの「留守」ボタンの表示

個人ボックスを使っていないときは、留守電が録音されていれば、「留守」ボタンは点滅します。個人ボックスを使っているときは、次のようになります。

- 留守電一覧の表示中は、選んだボックス内に「未聞」ログがあれば、「留守」ボタンは点滅します。
- ボックス一覧または他の表示パネルが選ばれている場合は、共通ボックスに「未聞」ログがあれば「留守」ボタンは点滅します。
- 「未聞」ログがないボックスを開いているときは、「留守」ボタンの点滅は停止します。

留守電一覧とボックス一覧は、次の操作で切り替えることができます。

◎留守電一覧→ボックス一覧

① BOXをクリック。
ボックス一覧の表示になります。

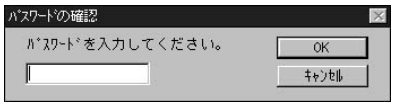
「未聞」ログがあるボックスには「☆」マークがつきます。

◎ボックス一覧→留守電一覧（共通ボックス）

① 「0：共通ボックス」をクリック。
留守電一覧の表示になります。

◎ボックス一覧→留守電一覧（個人ボックス）

① 「1：日電　太郎」をクリック。
「パスワードの確認」ウィンドウが表示されます。



② パスワードを入力し、「OK」をクリック。
留守電一覧の表示になります。

■ 一括再生についての注意

・留守電一覧の表示中に一括再生を行うと、選んだボックス内の「未聞」ログを再生し、それ以外の場合は、共通ボックス内の「未聞」ログを再生します。

・リモート操作で用件を再生する場合は、共通ボックスの留守録に関しては、再生後も「未聞」のままです。これは、複数の人が聞くことができるようにするためです。また、個人ボックスの留守録に関しては、最後まで再生しても、スキップしても「聞了」になります。

・本機から直接用件を再生する場合は、共通ボックスも個人ボックスも、最後まで再生しても、スキップしても「聞了」になります。また、留守ログを選んで、右クリックすると、「未聞」と「聞了」の状態を変更できます。

リモート操作

外出先からリモート操作を行って、留守録を聞いたり、FAX文書を転送することができます。電話を切ると、リモート操作は終了します。

チェック!!

この操作を行うには、留守録モードであることが必要です。「TELFAX」ウィンドウの「留守」ボタンをクリックして、留守録モードにしておいてください。
また、リモート操作を利用するには、トーン信号を発信できる電話機から電話する必要があります。

リモート操作ができる状態にする

外出先から電話をかけて、リモート操作ができる状態にすれば、あとは各機能に対応するコードを入力することで、いろいろな機能を利用できます。

① 外出先から電話をかける。
「TELFAX-NX」の応答メッセージが聞こえます。

② 電話機の「#」を押す。
メッセージが聞こえます。

チェック!!

留守録が始まって7秒以内に「#」を押してください。

③ メッセージに従って、ボックス番号を入力する。

④ メッセージに従って、パスワードを入力する。
新しい用件とすべての用件、「未読」または「未聞」の数がアナウンスされます。
しばらくして、操作コード入力待ちの状態になります。
この先は、各機能に対応するコードを入力して、機能を利用することができます。
なお、用件再生中には、次の機能が利用できます。

・「3」「#」を押す：　再生中の用件を最初から再生します。

・「4」「#」を押す：　再生中の用件の1件前の用件を再生します。

・「5」「#」を押す：　再生中の用件の1件次の用件を再生します。

・「6」「#」を押す：　再生を終了します。

■ 新しい用件を再生する
新しい用件と録音された日時を古い用件から順番に再生できます。

① 操作コード入力待ちの状態で、「1」「#」を入力する。
新しい用件と録音された日時を古い用件から順番に再生します。すべての用件の再生が終了すると、再び、操作コード入力待ちの状態に戻ります。電話を切ると、リモート操作を終了します。

■ すべての用件を再生する
すべての用件と録音された日時を古い用件から順番に再生します。

① 操作コード入力待ちの状態で、「2」「#」を入力する。
すべての用件と録音された日時を古い用件から順番に再生します。すべての用件の再生が終了すると、再び、操作コード入力待ちの状態に戻ります。電話を切ると、リモート操作を終了します。

■ メールボックスを選ぶ操作まで戻る
メールボックスを選ぶ操作の前まで戻ることにより、別のボックスを選べます。

① 操作コード入力待ちの状態で、「7」「#」を入力する。
メールボックスを選ぶ操作の前まで戻ります。別のボックス番号を入力して、そのボックスを選べます。

■ 「未読」の受信文書を取り出す
外出先にFAXがある場合、「TELFAX-NX」が受信した文書を外出先へ転送できます。

① 操作コード入力待ちの状態で、「8」「#」を入力する。
転送するFAXデータの作成が始まります。

② 作成が終了したら、メッセージに従ってFAXの「スタート」（または「受信」）を押す。
FAXが転送されます。

「未読」の受信文書を指定先へ転送する

「TELFAX-NX」が受信した文書を指定先のFAXへ転送できます。

① 操作コード入力待ちの状態で、「9」「#」を入力する。
転送するFAXデータの作成が始まります。

② 作成が終了したら、メッセージに従って転送先のFAX番号を入力する。
処理が終了すると、自動的に回線が切れます。
指定先のFAXへ、「未読」の受信文書がすべて転送されます。

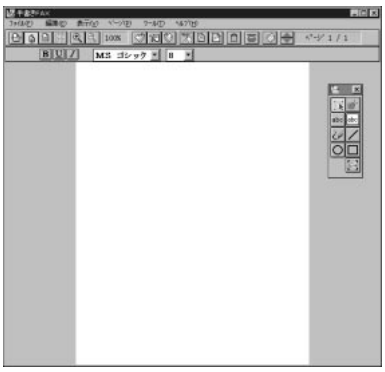
スキャナで読み込んだ文書をFAXする

別売のスキャナで読み込んだ文書を「TELFAX-NX」を使ってFAXすることができます。

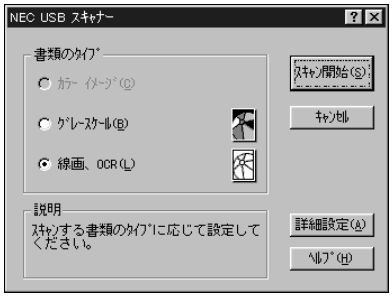
① 「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」)

② 「送受切替」をクリック。
FAX送信が に切り替わります。

③ をクリック。
「手書きFAX」ウィンドウが表示されます。



④ メニューの「スキャナ入力」をクリック。
「スキャナ読込み」ウィンドウが表示されます。



この画面は接続したスキャナによって異なります。
ツールバーの「スキャナ入力」ボタンをクリックしても、このウィンドウを表示できます。

⑤ 文書をスキャナにセットして読込みを開始する。
読み込んだ文書が「手書きFAX」ウィンドウに表示されます。

⑥ メニューの「FAX送信」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウが表示されます。

⑦ 送信先の名前、FAX番号を入力する。

⑧ 「発信」をクリック。

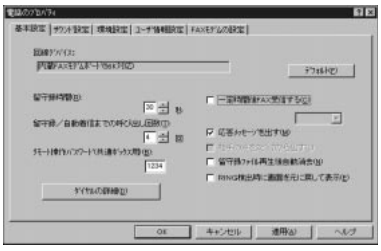
文書がFAX送信されます。

各種の設定

「TELFAX-NX」では電話機能、FAX機能、留守番電話機能などに関していろいろな設定ができます。
設定は、「電話のプロパティ」ウィンドウ上の各設定ウィンドウで行います。
各設定ウィンドウ上の表示のしかたは次の通りです。

① 「TELFAX-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX(FAX&電話)」)

② 「設定」をクリック。
「電話のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



③ 画面上部のタブから目的の設定ウィンドウを選ぶ。
次の設定ウィンドウを選ぶことができます。

・基本設定
ダイヤルの詳細、留守録時間、応答メッセージ使用の可否など、「TELFAX-NX」の基本的な動作に関する設定を行います。

・サウンド設定
応答メッセージ、保留メッセージなど、「TELFAX-NX」で使用するサウンドファイルに関する設定を行います。

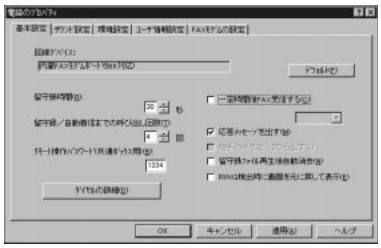
・環境設定
受信時の通知方法、受信文書の印刷先プリンタなど、FAX受信文書の処理に関する設定を行います。

・ユーザ情報設定
ユーザ名、住所など、「TELFAX-NX」を使用するユーザ情報の設定を行います。

・FAXモデムの設定
通信速度、リダイアル回数など、FAX送受信に関する設定を行います。

④ 各設定ウィンドウにおいて必要な設定を行った後、「OK」ボタンあるいは「更新」ボタンをクリックして設定内容を登録する。
各設定ウィンドウでは次の項目を設定することができます。

◎基本設定



・回線デバイス
使用しているモデム名が表示されます。

・留守録時間
留守番電話機能での、録音メッセージの最大時間を秒単位で設定します。

・留守録/自動着信までの呼び出し回数
電話がかかってきてから、留守録音あるいはFAX受信が始まるまでの呼び出し回数を設定します。ただし、実際の呼び出し回数とは、多少異なる場合もあります。

・リモート操作(パスワード(共通ボックス用))
リモート操作を行うために必要なパスワード(共通ボックス用)を設定します。

・ダイヤルの詳細
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウを表示し、電話回線の種別を設定します。回線の種別がわからないときは「パルス」を選んで時報の「117」にダイヤルしてみます。電話がつながったときは「パルス」のままで、つながらなかったときは「トーン」に切り替えて使用してください。この設定を間違えると、ダイヤルはできないので必ず設定を行ってください。

・一定時間後FAXにする
FAXには手動送信時にFAX信号を出さないタイプ

のものがあります。相手が無音のときに、FAX受信を行うかどうかを設定します。この設定をしたときは、設定した秒数だけメッセージを録音した後、FAX受信を行います。メッセージ録音時間の設定がここで設定した時間以下のときは、この設定は無効になります。

・応答メッセージを出す
留守番電話状態のとき、応答メッセージを出すか、応答メッセージなしですぐに録音状態にするかを設定します。

・留守録ファイル再生後自動消去
録音メッセージの再生後、自動的に消去するかどうかを設定します。

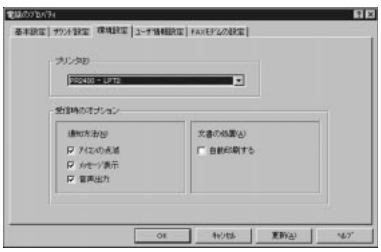
・RING検出時に画面を元に戻して表示
アイコン状態になっているときに、電話がかかってくると、画面(ウィンドウ)を元に戻して表示するよう設定することができます。

◎サウンド設定

・ファイル選択
応答メッセージ、保留メッセージなどに割り当てられたサウンドファイルの見出しから使用するサウンドファイルを選びます。

・サウンドファイル名と見出し
「TELFAX-NX」で使用するサウンドファイルの追加、削除、見出し名の変更などを行います。またサウンドファイルを選び「テスト」ボタンをクリックすると、サウンドファイルの内容を確認することができます。

◎環境設定



・プリンタ
FAX受信時に自動印刷を行う場合の出力先プリンタを選びます。

・通知方法
FAX文書を受信したときに、受信したことを通知させる方法を設定します。アイコン状態のときにアイコンを点滅させたり、受信時に受信メッセージを表示させたり、音声で受信したことを通知させたりといった方法で通知させることができます。

・文書の処置
FAX文書を受信したときに、通常のFAXのようにその文書を自動的に印刷する設定ができます。

◎ユーザ情報設定

ユーザ情報の設定を行うことができます。ここで入力した情報はFAX送信文書のカバーページ上の「発信者」フィールドに表示されます。

◎FAXモデムの設定

・リダイアル回数
相手先FAXが通話中などの場合にリダイアルを行う回数を設定します。この設定を「0」にするとリダイアルは行いません。

・最大送信速度/最大受信速度
相手先と通信を行うときの通信速度(ビット/秒)を設定します。回線品質が悪いため通信がうまくいかない場合はこの設定を変更してください。通常は「FAXモデムの最大速度」に設定しておいてください。

・モニタスピーカ
FAX通信中に通信音をスピーカから流すかどうかについて設定します。通常はこの値は「キャリア検出まで」に設定してください。

・コールプログレス
「TELFAX-NX」はダイアルを行う際に回線発信音（受話器を取り上げたときの「ツー」という音や話し中の「ツーッ、ツーッ」という音）を聞き分けて現在の通話状態をある程度チェックしています。ここではそのときどのようにチェックを行うかを設定します。一部の特殊な回線では、通信を行うときにこの設定を変更する必要があります。通常はこの設定は「両方を検出」にしておいてください。

アドレス帳の使い方

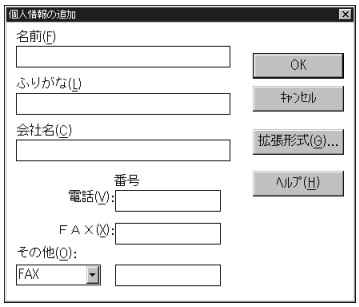
「TELFAX-NX」を使って電話をかけたり、FAXを送ったりするときに、アドレス帳を利用すると番号を入力する手間が省けます。

「アドレス帳」への登録

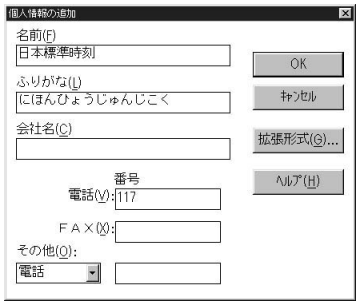
①「TELFAX-NX」を起動する。
（「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「TELFAX-NX（FAX&電話）」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「TELFAX-NX（FAX&電話）」）

②「アドレス」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

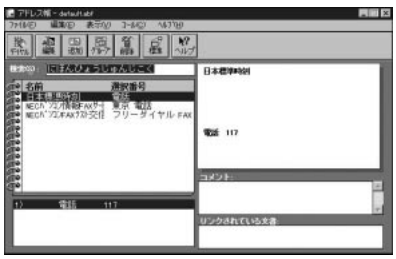
③「追加」をクリック。
「個人情報の追加」ウィンドウが表示されます。



④ 登録すべき事項を入力する。
（例 標準時刻の「117」を登録）



⑤「OK」をクリック。
「日本標準時刻」が登録されます。



「アドレス帳」を利用して電話をかける

①「TELFAX」ウィンドウで、「アドレス」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

② 電話をかけたい相手を選んで、「ダイヤル」をクリック。
「TELFAX-NX」が表示され、登録された番号がダイヤルされます。

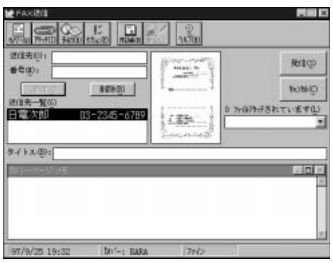
③ 通話が終了したら、をクリック。
電話が切れます。

「アドレス帳」を利用して FAX を送信する

① 「FAXを送る」の「FAXを送る準備」の手順①～⑤を行う。

② 「TELFAX」ウィンドウで「アドレス」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

③ FAXを送りたい相手を選んで「ダイヤル」をクリック。
「FAX送信」ウィンドウが表示されます。



④ 「カバーページメモ」に伝えたいメモを入力する。

⑤ 「発信」をクリック。
送信が始まります。

TELFAX-NX を使用するときの注意

TELFAX-NX を使用するには

- 「TELFAX-NX」を使用するには「TELFAX-NX」を起動しておく必要があります。
- 留守番電話、FAX自動受信機能を使用するときは留守録モードにする必要があります。留守録モードにした状態でシステムを終了すると、次回システム起動時に「TELFAX-NX」が自動的に起動します。
- 「TELFAX-NX」を使用するときはMS-FAXなどのFAX自動受信を行うアプリケーションや、留守番電話機能を行うアプリケーションおよびNetMeetingのような受信待ちをするアプリケーションを終了してください。

他のアプリケーションとの同時利用

次のような場合に「TELFAX-NX」を動作させると、メモリ容量不足のため、送信や受信が正常に行えないことがあります。このような状態を避けて使用してください。

- ほかのアプリケーションを起動し、大容量または多数のファイルを一度に開いている場合（特にビットマップファイルの操作時）

他の通信ソフトの利用

PC-VANナビゲータなどの通信ソフトを使用する場合は、「TELFAX-NX」を終了してから、通信ソフトを使用してください。

Windows の終了について

留守録中やFAX送受信中、また通話中など、電話回線を使用している最中には、Windowsを終了しないようにしてください。また、FAX送信ログにFAX送信待ち状態のログが残っているときにWindowsを終了すると、もう一度WindowsをFAX送信は行われません。

FAX 送受信ログについて

- 「TELFAX-NX」のログ表示パネルに表示されているログエントリはFAXマネージャ上の「送信」「受信」ログの内容を表示しています。FAXマネージャで「送信」「受信」ログの削除または名称変更を行うと、「TELFAX-NX」のログ表示パネルにログエントリを表示できなくなりますので、削除や変更が必要な場合以外は削除または名称変更は行わないようにしてください。誤って削除してしまったときは、削除する前と同じ名前でログを作成してください。
- 「TELFAX-NX」の送受信ログに表示可能なログエントリ数は「送信」「受信」合わせて500件が最大となります。500件を超えたときは、不要なログエントリを削除するかフォルダに移動してください。

エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、オンラインヘルプに一覧と対処方法が記載されていますので、オンラインヘルプをご覧ください。

FAX 送受信時のエラー

FAX送受信中に回線異常などのエラーが発生したり、受信原稿の一部が欠けたりするときは、「FAXモデムの設定」で「最大送信速度」または「最大受信速度」の設定を低くして、もう一度送信または受信してください。

サウンドドライバの同時使用について

他のアプリケーションがWAVEファイルを再生のためにサウンドドライバを使用中のときは、留守録/FAXの自動受信、メッセージの再生/録音を行うことはできません。

回線異常の発生

回線異常により送信を中断したとき、中断後、電話回線が使えるようになるまでに時間がかかることがありますが、故障ではありませんので、しばらくお待ちください。

キャッチホンサービス使用時の注意

キャッチホンサービスを使用していると、FAX送受信中に、通信相手以外から電話がかかってくる場合がありますが、このときのデータの保証はできません。

FAX を送信するときの注意

- FAXの送信中に、他の新たな送信を行おうとしたり、他のアプリケーションを動作させると、送信が切れることがあります。FAXの送信中は、新たな送信や複数のアプリケーションを起動した状態でのFAXの送信は行わないでください。
- 大量の原稿を送信する場合は、できるだけ分割して送信してください。
- 同報通信は、400件までです。400件を越えると正常に送信されない場合があります。

アタッチメントファイル送信時の注意

- 選んだ文書を利用できるアプリケーションがない場合は、ファイルはアタッチ（添付）されません。
- アタッチメントファイルをFAX送信する場合、そのファイルを利用するアプリケーションが起動していると、FAXが送信できなかったり、起動中のアプリケーションが確認なしに終了することがあります。このような場合は、各アプリケーションの印刷機能を使用してFAX送信を行ってください。
- データ量の多い文書（ビットマップでA4 5ページ以上）をアタッチでFAX送信する場合、文書の途中までしか送信できないことがあります。データ量の多い文書は、それぞれのアプリケーションの印刷機能を使用してFAX送信してください。

参照
- アプリケーションの印刷機能を使用したFAX送信→この項の「FAXを送る」の「アプリケーションから文書を送る」

アプリケーションの印刷機能を使用したFAX送信での注意

・リーガルサイズでテキストファイルの印刷を行う場合は、「メモ帳」を使用せず「ワードパッド」かほかのワードプロセッサを使用してください。

・「ペイント」で印刷したとき、一部のビットマップでは印刷結果が白紙になる場合があります。このようなビットマップについては「ワードパッド」に貼り付けて印刷するようにしてください。

FAX送受信可能な用紙サイズ

・「TELFAX-NX」で送受信可能な用紙サイズは、A4とB5です。B4サイズの文書は受信のみ可能ですが、受信時にA4サイズに縮小されます。

・テキストファイルをA4より小さな用紙サイズでFAX送信する場合は、[ワードパッド]などのワープロの印刷機能を使ってFAX送信してください。

参照
・アプリケーションの印刷機能を使用したFAX送信→このPARTの「FAXを送る」の「アプリケーションから文書を送る」

カバーページの使用

・「TELFAX-NX」には、あらかじめ多くのカバーページテンプレートが添付されています。これらは修正できます。また、新しいカバーページを新規に作成することもできます。カバーページの詳しい使い方については、オンラインヘルプをご覧ください。

・カバーページを使用するとき、文書の全ページ数や同報通信時の複数の宛先をカバーページに書き込むには、次のように操作してください。

① FAX送信画面の「オプション」メニューで「送信前にプレビューを行う」にチェックマークをつけて、「OK」ボタンをクリック。

② 送信先や番号などを入力して、「発信」ボタンをクリック。

③「FAX文書のプレビュー」画面で「プレビュー」を選び、「ツール」メニューの「マークアップツールを表示」でページ数、宛先などを追記する。

・カバーページによっては、タイトルが入力されないデザインのものがあります。送信前にプレビューで確認してください。

留守番電話機能について

・留守録モードでの動作は、次の状態により異なります。それぞれ、電話がつながった後、留守録/FAXの受信/リモート操作を開始します。使用する用途に合わせてお使いください。

電源が入っている状態
電話の呼び出し音で、すぐに電話がつながります。

サスペンド状態
電話の呼び出し音により、レジューム機能が働き、Windows 95を復帰した後、電話がつながります。

電源が切れている状態
電話の呼び出し音により、本機の電源が入り、Windows 95を起動した後、電話がつながります。

・本機の電源が入っている状態やサスペンド状態で留守番電話機能、FAXの自動受信機能、リモート操作機能を利用する場合は、「TELFAX-NX」を起動し、留守録モードに設定しておく必要があります。

・本機の電源が切れている状態で留守番電話機能、FAXの自動受信機能、リモート操作機能を利用する場合は、あらかじめ「TELFAX-NX」を留守録モードに設定し、「Timer-NX」のリング機能を使用する必要があります。また、「Timer-NX」のタイマー機能により、自動的に電源を切ることもできます。

参照
・「Timer-NX」のリング機能、タイマー機能→PART1「タイマー機能＜Timer-NX＞」

・留守録モードに設定し、本機の電源を切った状態で電源ケーブルを抜いたり、停電になったりした場合、留守録モードは無効になります。

・留守録モード中は、「留守」ボタンが赤く点灯しています。

・もう一度「留守」ボタンをクリックすると、留守録モードは解除されます。

・留守録音中にFAXが送られてくると、留守録音を中断してFAXを受信します。受信が終わると留守録モードに戻ります。このとき、FAXの信号音が3秒程度、録音されます。

・「TELFAX-NX」がアイコン化（最小化）されている状態でＦ Ａ Ｘ を受信すると、タスクバーの「TELFAX-NX」アイコンが点滅して、FAXの受信を通知します。

・留守録モードのまま「TELFAX-NX」を終了したときに、次に「TELFAX-NX」を起動すると、留守録モードのまま起動します。

電話機能について

外付けの電話を上げた状態でスピーカホン通話に切り替える場合は、通話が始まってから行ってください。

アドレス帳について

アドレス帳に登録可能なアドレスは500件です。

「アドレス帳」ではがき印刷をするときの注意

「アドレス帳」を使って、はがきの宛名印刷をすることができます。（はがき印刷については、「アドレス帳」のオンラインヘルプをご覧ください。）なお、はがき印刷での「差出人」タブウィンドウでは、次のことに注意してください。

・住所は1行に全角、半角を含めて64文字以内で記述してください。はがきに印刷するとき、半角文字を全角文字に変換するため、64文字を超えると正しく印刷できません。また、5行まで改行して文字を入力できますが、改行すると、そこで改行文字を入力したことになりますので、その分の入力できる文字は少なくなります。

・部門は全角、半角を含めて32文字以内で記述してください。

その他の注意

・Microsoft Wordで作成した文書をFAX送信するとき、網掛けを使用し、背景色を黒にした場合、モノクロ表示のため文字が表示されなくなります。背景色には黒以外を指定してください。

・海外とのFAX送受信については、回線ディレイなどの違いにより、使用できない場合があります。

タイマー機能〈Timer-NX〉

タイマー機能とは、本機の電源を、指定した時刻に自動的に入/切したり、指定した時刻にサスペンド/レジュームしたりする機能です。

概要

タイマー機能は「Timer-NX」で設定します。「Timer-NX」を使うと、指定した時刻に本機の電源を入れたり、切ったりできます。また、電話やFAXを受信したときに、本機の電源を自動的に入れて、留守録したり、FAXを受信したりできます。

「Timer-NX」でできること

「Timer-NX」には次の機能があります。

・タイマー機能
本機の電源を指定した時刻に入れ、指定したアプリケーションを起動することができます。

・リング機能
リングとは、電話やFAXが送信されてきたときの呼び出し音のことです。リング機能を設定すると、電話やFAXを受信したときに、自動的に本機の電源を入れ、指定したアプリケーションを起動することができます。

・オフタイマ機能
タイマー機能およびリング機能は、終了時刻を指定すると、自動的に本機の電源を切る(またはサスペンドする)ことができます。

「Timer-NX」ウィンドウの表示方法

「Timer-NX」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

① 「Timer-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Timer-NX(スケジューラ)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「Timer-NX」)

タイマプログラムを設定する

タイマプログラムは「Timer-NX」ウィンドウで設定します。各項目を指定した後は、「OK」をクリックします。

曜日を指定する

「Timer-NX」の「曜日指定」欄で曜日をクリックします。毎日のときは「毎日」をクリックします。指定した曜日は黄色で表示されます。
(例 「毎日」を指定)

タイマプログラムの番号を指定する

タイマプログラムとは、予定表のようなものです。ユーザーが作成したこの予定表（タイマプログラム）に従って「Timer-NX」は動作します。タイマプログラムは、ひとつの曜日に3つまで指定することができます。
（例 「タイマ1」を指定）

起動するアプリケーションを指定する

起動するアプリケーションを「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」メニューで指定します。「テレビ」、「CDプレーヤ」および「DVDプレーヤ」は実行ファイルとして最初から登録されています。指定するとそれぞれ「bitcast browser ver 1.5.1（TVモード）」、「プレーヤ-NX（CDプレーヤ）」および「DVDプレーヤ」を起動することができます。

① 「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄の▼をクリック。
起動を指定できるアプリケーションの一覧メニューが表示されます。

② 起動するアプリケーション（CDプレーヤ）をクリック。
「実行ファイル」の欄に選ばれたアプリケーションの名前が表示されます。

起動するアプリケーションの「実行ファイル」メニューへの登録

メニューに起動するアプリケーションがない場合は、「実行ファイル」のメニューに、起動するアプリケーションを登録します。
（例 「TELFAX-NX」を登録）

① 「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄の▼をクリック。
起動を指定できるアプリケーションの一覧メニューが表示されます。

② メニューの一番下の「任意指定」をクリック。
次の画面が表示されます（最初にこの画面がでないときは、▼、📁で登録したいアプリケーションがあるフォルダを開きます）。

③ 登録したいアプリケーション（TELFAX-NX）を指定して「開く」をクリック。
「実行ファイル」メニューに、新たに指定したアプリケーションの名前が表示されます。

「電源オン」と「電源オフ」の時刻を指定する

（例 「7:00」に本機を「電源オン」にして、「8:00」に本機を「電源オフ」にする）

① 「Timer-NX」ウィンドウで「電源オン」をクリック。
「電源オン」ボタンが赤色の枠線で囲まれ、「現在時刻」の右に⏰が表示され、タイマーが設定されたことを表します。

② 「電源オン」にする時刻を設定する。
数字にポインタを合わせ左クリックすると、時刻が進みます。右クリックすると、時刻が戻ります。

例 7:00

③ 「電源オフ」をクリック。
「電源オフ」ボタンが赤色の枠線で囲まれます。

④ 「電源オフ」にする時刻を設定する。
時刻の設定のしかたは、手順②と同じです。

例 8:00

タイマプログラムの設定例

タイマプログラムを設定する操作を説明します。個々の設定方法については、前述の各項目の設定を参照してください。

① 「Timer-NX」ウィンドウを表示する。

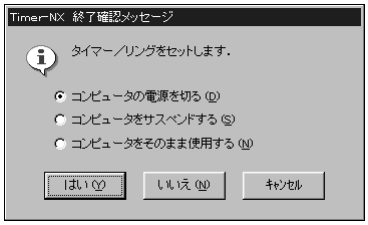
② 曜日を設定する。

③ タイマプログラムの番号を指定する。

④ 起動するアプリケーションを指定する。

⑤ 「電源オン」/「電源オフ」の時刻を指定する。

⑥ 各項目の指定が終了したら、「OK」をクリック。
次の画面が表示されます。



◎終了確認メッセージの各項目の説明

・コンピュータの電源を切る
「Timer-NX」を終了して、Windowsを終了した後、本機の電源を切ります。

・コンピュータをサスペンドする
「Timer-NX」を終了して、本機をサスペンド状態にします。

・コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」のみを終了して、本機はそのまま使うことができます。

⑦ ⑥で表示された項目の中から、指定したい項目を選んで「はい」をクリック。
タイマプログラムの設定が有効になります。
「いいえ」をクリックすると、設定を破棄して「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。

「テレビ」の設定について

起動するアプリケーションを指定する際に、最初から登録されている「テレビ」または任意指定で「bitcast browser ver 1.5.1」、「ADAMS」または「モジモジ-NX」を指定すると、「Timer-NX テレビの設定」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでタイマーオン時のテレビ（VHF、UHF）やCATVのチャネルを設定することができます。

例：次のようなタイマプログラムを設定できます。

曜日/タイマプログラム	時間	実行ファイル名	テレビの設定
月曜日/プログラム1	21:00－	テレビ	テレビ(VHF,UHF)、01
火曜日/プログラム1	19:30－	テレビ	CATV、13

チェック!!

「ADAMS」および「モジモジ-NX」では「ビデオ」および「CATV」は指定できません。
「bitcast browser ver 1.5.1」でCATVが使用できないときは、「テレビの設定」でもCATVの指定はできません。
「実行ファイル」メニューで「テレビ」、「bitcast browser ver 1.5.1」、「ADAMS」または「モジモジ-NX」の各項目を指定しても「テレビの設定」が起動しない場合は、「実行ファイル」メニューを開いた状態で、各項目をダブルクリックしてください。

タイマプログラムを設定するときの注意

タイマプログラムで「電源オン」/「電源オフ」を設定するときの注意

タイマプログラムで電源を入れると、指定した時刻の本機の状態によって次のようになります。

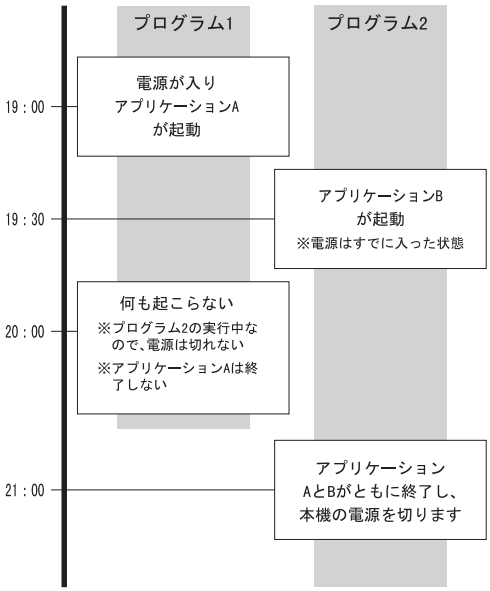
- 本機の電源が切れている場合
  タイマプログラムで指定した時刻に本機の電源が入り、指定されたアプリケーションを起動します。
- 本機の電源が入っている場合
  タイマプログラムで指定した時刻に、指定されたアプリケーションを起動します。
- 本機がサスペンド状態の場合
  タイマプログラムで指定した時刻に本機をレジュームし、指定されたアプリケーションを起動します。

タイマプログラムでの「電源オフ」は、必ずしも本機の電源を切るわけではありません。タイマプログラムの「電源オン」機能が働いたときの本機の状態によって、次のようになります。

- 本機の電源が切れていた場合
  アプリケーションを終了し、本機の電源を切ります。
- 本機の電源が入っていた場合
  本機の電源は入ったままになります。アプリケーションも終了しません。
- 本機がサスペンド状態になっていた場合
  本機をサスペンドします。アプリケーションは終了しません。

例えば、電源が切れているときに次のようなプログラムが実行された場合、本機の状態は次の図のようになります。

曜日/タイマプログラムの番号	電源入/切の時刻	起動するアプリケーション
毎日/プログラム1	19:00-20:00	アプリケーションA
毎日/プログラム2	19:30-21:00	アプリケーションB



チェック!!

「電源オフ」で指定した時刻にアプリケーションを終了するには、指定した時刻に本機の電源が切れるように、タイマプログラムを設定してください。

複数のタイマプログラムで「電源オフ」を指定する場合は、指定する時刻や起動するアプリケーションに注意してください。

タイマプログラムを設定するときの注意

タイマプログラムの設定例

曜日/ タイマプログラム	時刻	アプリケーション
毎日/ プログラム1	7:00ー8:00	プレーヤ-NX
毎日/ プログラム2	22:30ー25:00	VirusScan注1
毎日/ プログラム3	22:00ー23:00	プレーヤ-NX注2
月曜日/ プログラム1	22:00ー25:00	インターネットエクスプローラ
火曜日/ プログラム1	12:00ー	BIGLOBE Walker注3

注1: 毎日/プログラム2は、月曜日/プログラム1と時刻が重なっています。この場合は、22:00に「インターネットエクスプローラ」が起動し、その後22:30に「VirusScan」が起動します。25:00に電源が切れます。

注2: 毎日/プログラム3は、月曜日/プログラム1と時刻が重なっています。この場合は、22:00にタイマーオンになり、「プレーヤ -NX」と「インターネットエクスプローラ」が同時に起動します。電源の切れ方は終了時刻の遅い方が優先されます。この場合は、25:00が電源の切れる時刻となります。

注3: 火曜日/プログラム1は、終了時刻が指定されていません。この場合は、12:00に電源が入った後、電源は切れません。

タイマプログラムで指定できる時刻

タイマプログラムでは、2日間にまたがる設定が可能です。
例えば、当日の23:00に電源を入れ、翌日の3:00に電源を切る場合は、次のように設定します。

「電源オン」 23:00
「電源オフ」 27:00 ← 翌日の午前3時を表します。

この設定方法では、最大で次の設定が可能です。

「電源オン」 00:00
「電源オフ」 47:59 ← 翌日の午後11時59分を示します。

チェック!!

タイマプログラムを設定する曜日を「毎日」にする場合は、電源を入れてから切るまでの時間が、24時間を超えないようにしてください。
例えば、次のように設定してください。

「電源オン」00:00　　「電源オン」01:00
「電源オフ」23:59　または　「電源オフ」24:59

24時間を超える設定をすると、電源を切る前に電源を入れることになってしまいますので、電源を切ることができません。

「電源オン」/「電源オフ」する時刻を設定するときの注意

- タイマプログラムでの「電源オフ」は、電源を入れたときの本機の状態に戻す機能で、必ずしも本機の電源を切るわけではありません。
- 電源を切る時刻を指定しない場合は、自動的に電源が入っても、自動的に電源を切ることはできません。
- 自動的に電源を切らない場合は、「電源オフ」ボタンをクリックせずに、ボタンが上がった状態にしてください。

リングを設定する

「Timer-NX」には電話やFAXを受信したときに自動的に本機の電源を入れたり、またはレジュームする機能があります。この機能をリング機能といいます。リング機能を設定するときに、指定したアプリケーションを起動したり、終了時刻を設定することもできます。

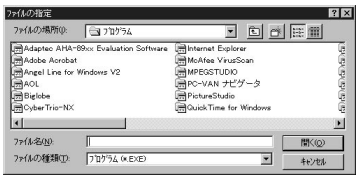
ここでは、電話がかかってきたときに、「プレーヤ-NX」を起動し、10分後に本機の電源を自動的に切る、という設定を例に説明します（レジューム機能で本機が起動した場合は、電源は切れずに、サスペンド状態になります）。本機の電源を切るまでの時刻は自由に設定できますが、電話がかかっている間、つまり通信中に本機の電源が切れないようにするために、余裕を持って十分に長く設定してください。また、「プレーヤ-NX」のパス（所在地またはインストール先）は 「C:¥WINDOWS¥スタートメニュー¥プログラム¥アプリケーション」とします。

チェック!!

「プレーヤ-NX」の場合は、あらかじめ音楽CDなどをセットしておき、「プレーヤ-NX」の「Option」→「状態設定」で「自動再生」を選んでおく必要があります。これは、ほかのアプリケーションについても同じで、タイマで電源が入ったときに、アプリケーションが起動できる状態になっていることが必要です。

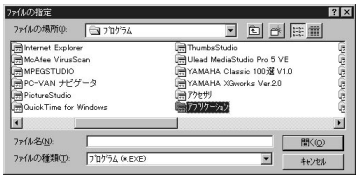
①「Timer-NX」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Timer-NX(スケジューラ)」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「Timer-NX」)

②「実行ファイル」をクリック。
「プログラム」フォルダのウィンドウが表示されます。



「実行ファイル」ボタンは「Timer-NX」ウィンドウの左下にあります。

③「アプリケーション」をクリック。
「アプリケーション」が反転表示になります。

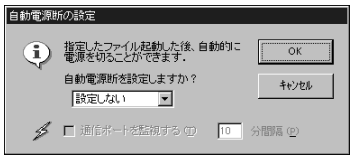


④「開く」をクリック。
「アプリケーション」フォルダのウィンドウが表示されます。

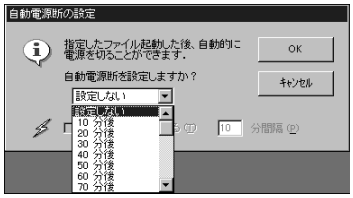
⑤「プレーヤ-NX」をダブルクリック。
「Timer-NX」ウィンドウの「実行ファイル」の欄に、「プレーヤ-NX」が表示されます。

⑥ をクリック。
電話が黄色く表示されます。

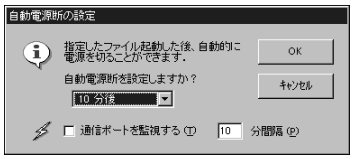
⑦「OFF」をクリック。
「自動電源断の設定」ウィンドウが表示されます。



⑧「自動電源断を設定しますか?」の下の をクリック。
プルダウンメニューが表示されます。



⑨「10分後」をクリック。
「10分」が設定されます。

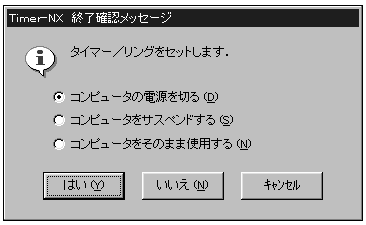


チェック!!

監視する通信ポートは内蔵FAXモデムボードが使用するCOMポートです。

⑩「OK」をクリック。
「Timer-NX」ウィンドウに戻ります。

⑪「OK」をクリック。
次のような画面が表示されます。



◎終了確認メッセージの各項目の説明

・コンピュータの電源を切る
「Timer-NX」を終了後にWindowsを終了して、本機の電源を切ります。

・コンピュータをサスペンドする
「Timer-NX」を終了し、本機をサスペンド状態にします。

・コンピュータをそのまま使用する
「Timer-NX」を終了します。本機をそのまま使うことができます。

⑫ ⑪で表示された項目の中から指定したい項目を選んで「はい」をクリック。
設定が完了します。

「いいえ」をクリックすると、設定を破棄し、「Timer-NX」を終了します。

「キャンセル」をクリックすると、設定画面に戻ります。

リング機能を使用するときの注意

・Timer-NXでは、リング機能でレジュームした後、一定時刻が経過すると自動的に電源を切る、またはサスペンドする設定を行うことができますが、通信中にサスペンドしないようにサスペンドするまでの時刻は、十分に長く設定してください。通信中にサスペンドした場合、回線が接続されたままになります（電話機の受話器を上げた状態と同じです）。このため、長時間パソコンを離れる場合には、自動でサスペンドする設定にはしないでください。

・リング機能は、本機の電源が切れている状態、またはサスペンド状態のときに動作します。本機の電源が入っているときには、動作しません。

・「TELFAX-NX」で留守録を設定すると、次回起動時に自動起動するので、実行ファイルとして指定する必要はありません。

・通信が終了しても、自動着信指定されたFAXソフトなど、通信ポートを使用し続けるアプリケーションを使用する場合、「通信ポートを監視する」を設定すると、いつまでも自動でサスペンド（または電源を切る）されません。このようなアプリケーションを使用してサスペンド（または電源を切る）機能を利用する場合は、「通信ポートを監視する」を設定しないようにしてください。

・リングのセット後、サスペンドした場合は、すぐに本機が動作状態に移行できるように一部の電源が入った状態で待機しています。

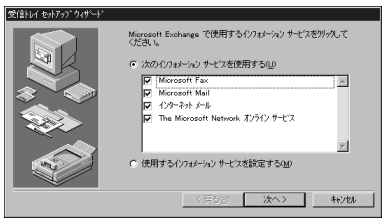
・リングのセット後、本機の電源を切った場合は、Windowsの起動に時間がかかりますが、消費電力をより節約できます。

Microsoft FAXを使用するときの注意

リング設定の実行ファイルに「Microsoft FAX」を指定し、モデムの着信応答の設定を変更すると、本機の電源を切った状態でもFAXの自動着信ができます。

実行ファイルにMicrosoft FAXを指定し、モデムの着信応答の設定を変更する場合、あらかじめ次の作業が必要です。

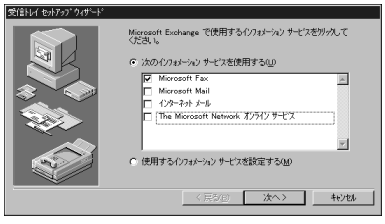
① デスクトップの受信トレイアイコン をダブルクリック。
Microsoft Exchange が起動し、次のような画面が表示されます。



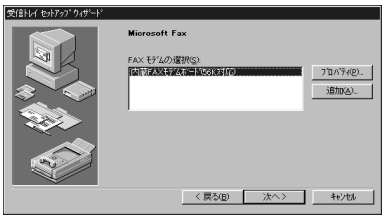
※この画面はモデルによって異なります。

すでに受信トレイのセットアップをしてあるときは、手順⑪へ進んでください。

② 「Microsoft Fax」以外のチェックをはずす。



③「次へ」をクリック。
FAXモデムを選ぶウィンドウが表示されます。



「内蔵FAXモデムボード（56K対応）」が選ばれていることを確認します。

④「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。

特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

⑤「次へ」をクリック。
名前とFAX番号の入力ウィンドウが表示されます。

必要な事項を入力します。

⑥「次へ」をクリック。
「個人用アドレス帳」を作成または指定するウィンドウが表示されます。

特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

⑦「次へ」をクリック。
「個人用フォルダ」を作成または指定するウィンドウが表示されます。

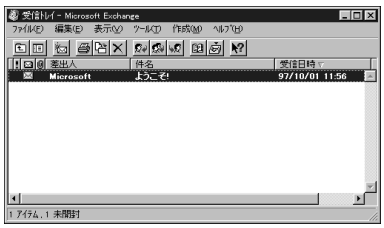
特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

⑧「次へ」をクリック。
「スタートアップ」グループに受信トレイを追加するかどうかの設定ウィンドウが表示されます。

特に設定を変更する必要がなければ、このままにしておきます。

⑨「次へ」をクリック。
セットアップ完了のウィンドウが表示されます。

⑩「終了」をクリック。
「受信トレイ－Microsoft Exchange」ウィンドウが表示されます。

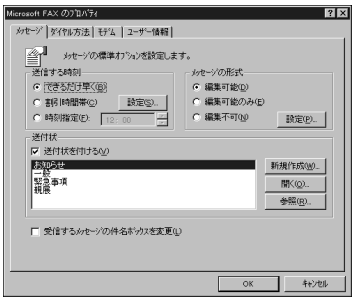


⑪「ツール」をクリック。
プルダウンメニューが表示されます。

⑫「サービス」をクリック。
「サービス」ウィンドウが表示されます。

「Microsoft FAX」が選ばれていることを確認します。

⑬「プロパティ」をクリック。
「Microsoft FAXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



⑭「モデム」タブをクリック。
「モデム」タブのウィンドウが表示されます。

「内蔵FAXモデムボード（56K対応）」が選択されていることを確認します。

⑮「プロパティ」をクリック。
「FAXモデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

⑯「応答までのコール数」にチェックマークをつけ、呼び出し音の回数を指定する。

⑰「OK」をクリック。
手順⑭のウィンドウに戻ります。

⑱「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。

⑲「OK」をクリック。
メールプログラムの再起動で完了です。

自動的に電源を切る

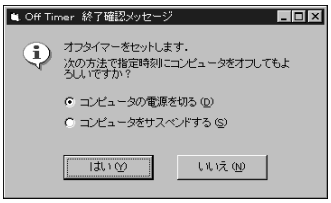
オフタイマ機能を使うと自動的に電源を切る、またはサスペンド状態にすることができます。

①「Timer-NX」を起動する。
（「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Timer-NX（スケジューラ）」または「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「Timer-NX」）

②「オフタイマ」をクリック。
「Off Timer」ウィンドウが表示されます。

③ 電源を切る時刻を設定する。
（例 午前10:10に設定）

④「OK」をクリック。
「Off Timer終了確認メッセージ」ウィンドウが表示されます。



電源を切るか、サスペンド状態にするかを選びます。

⑤「はい」をクリック。
タイマがセットされ、「オフタイマ」がタスクバーに表示されます。

「いいえ」をクリックすると、設定を解除します。

タイマ設定の確認/キャンセル

タイマを設定した後に、設定内容を確認したいときや、設定を解除したときは、次のように行います。

① タスクバーの「オフタイマ」をクリック。
「Off Timer」ウィンドウが表示されます。
設定されているときは、「OK」ボタンが黄色になっています。

「キャンセル」をクリックすると、設定は解除されます。

オフタイマ機能を利用するときの注意

「Timer-NX」で電源を切るときに、編集中のファイルを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されるなど、終了時になにか操作の必要なアプリケーションが起動している場合は、電源は切れません。タイマを設定した後、長時間本機から離れるときは、「Timer-NX」以外のアプリケーションを終了して、作成中のデータや編集中のファイルがないことを確認してください。オフタイマ設定が機能して、電源が切れるときに、メッセージが表示された場合は、メッセージに従って操作し、Windowsを終了させてください。

「Timer-NX」を利用して自動的にサスペンド状態にした場合は、次の方法で自動的にレジュームすることができます。

- 「Timer-NX」でリングを設定し、電話やFAXを受信するとレジュームします。
- 「Timer-NX」でオンタイマを設定し、指定した時刻になるとレジュームします。

タイマー設定を行っても、次の場合はオフタイマ機能は実行されません。

- 「Off Timer」を終了した場合
- 「スタート」メニューや電源スイッチでWindowsを終了させたりサスペンドしたりした場合

「Timer-NX」を利用するときの注意

- 「Timer-NX」は、本機内蔵の時計を使って動きます。「Timer-NX」を使用する前に本機の日付と時刻が正しいかどうかを確認してください。日付と時刻はタスクバー右下の「時刻」をポイントすると確認できます。日付と時刻の設定を変更したい場合は、「時刻」をダブルクリックして表示される画面で設定してください。
- Windows 95を起動するときに、パスワードを入力する画面（ネットワークの設定などを行うと表示されます）が表示されるように設定していると、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れることはできません（パスワード入力待ちの状態で止まってしまいます）。

・BIOSセットアップユーティリティで、「ユーザーパスワード」「スーパーバイザーパスワード」を設定している場合、「Timer-NX」を使用して本機の電源を入れることはできません（パスワード入力待ちの状態で止まってしまいます）。

・「Timer-NX」で自動的に本機の電源を入れる場合は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしないようにしてください。

・タイマプログラムで指定した時刻とほぼ同じ時刻に手動で電源を入れた場合は、タイマーで起動したものと判断される場合があります（2～3分の誤差があります）。

・タイマプログラムを複数の曜日に設定している場合は、Windowsの終了時に次回起動予定の曜日が保存されます。このため、手動で電源を入れ、「Timer-NX」を起動すると、次回起動予定の曜日が初期値として表示されます。

・設定を行い電源を切った状態で本体の電源ケーブルを抜いたり、停電になったりした場合は無効になります。ただし、もう一度電源を入れ、Windowsが起動すると再設定されます。

クラシックを楽しむ〈Classic100 選〉

MIDIデータで作られたクラシック100曲を、静止画像や解説を見ながら楽しむことができます。
また、Classic 100選には、バーチャルアコースティック音源を使用した曲も収録されています。

ここでは、「Classic 100選」の基本的な使い方を説明します。
詳しい操作方法については、「Classic 100選」のオンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプは、メインパネルの [?] をクリックすると表示されます。

起動と終了

Classic 100選の起動

① 「Classic 100選」を起動する。
(「ランチ-NX」→「プレーヤ」→「Classic 100選」または「スタート」→「プログラム」→「YAMAHA Classic 100選 V1.0」→「Classic 100選」)
次のようなウィンドウが表示されます。

Copyright©1998 YAMAHA CORPORATION All rights reserved.

しばらくすると次のようなウィンドウが表示されます。

② ウィンドウ内をクリック。
(ウィンドウ内のどこでもかまいません)
メインパネルが表示されます。
このウィンドウは起動するたびに異なります。

メインパネル

全収録曲(100曲)がランダムに再生されます。
画面下には、再生している曲の解説も表示されます。
「解説」ボタンをクリック (黄緑色表示を解除)すると、解説が表示されなくなります。

再生、停止、スキップ、リピート、ランダム再生、ボリュームコントロールなどの操作は、メインパネルの左上にあるコントロールパネルで行います。
操作方法については、オンラインヘルプの「コントロールパネル」をご覧ください。

コントロールパネル

チェック!!
コントロールパネルが表示されていない場合は、メインパネルの上部にポインタをもっていくと表示されます。

Classic 100選の終了

① メインパネルの「終了」をクリック。
「Classic 100選」が終了します。

選曲した曲を再生する

「Classic 100選」起動時は、収録されている100曲がランダムに再生されますが、選曲した曲のみを指定した順序で再生することもできます。
ここでは、J.S.バッハの曲のみを選曲して再生してみましょう。

参照
使い方→オンラインヘルプの「選曲ウィンドウ」

① メインパネルの「選曲」(選曲)をクリック(黄緑色表示)。
「選曲」ウィンドウが表示されます。

② 「クリア」をクリック。
「エントリーリスト」の曲がすべて消去されます。

チェック!!

- 「エントリーリスト」の曲をすべて消去しても、「Classic 100選」を再起動すると、再度100曲すべてがランダムに登録されます。
- 「Classic 100選」を再起動すると、選曲した内容は消去されます。
- 「エントリーリスト」内の曲名を反転させて「クリア」をクリックすると、その曲のみを「エントリーリスト」から消去することができます。

③ 選曲するメニュー(「曲名」「地域」…「曲調」)の右の▼をクリックする。
(例「作曲者名」の▼をクリック)
「作曲者名」の一覧が表示されます。

④ 選曲する作曲者(例「J.S.バッハ」)をクリック。
「選曲リスト」にJ.S.バッハの曲が一覧表示されます。

⑤ 再生する順にJ.S.バッハの曲をクリック。
「エントリーリスト」に、クリックした順にJ.S.バッハの曲が登録されます。

チェック!!

- 「エントリーリスト」へ登録した後に、選曲した曲の順序を変更する場合は、もう一度、手順 ②、⑤を行ってください。
- その他のメニュー(「曲名」「地域」…「曲調」)からも同様に選曲できます。

⑥「OK」をクリック。
メインパネルに戻ります。

⑦ ▶ をクリック。
選曲した曲が、指定した順序で再生されます。

「オプション」ウィンドウでの設定

① メインパネルの「オプション」(オプション)をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでは、次の設定ができます。

- 再生MIDIチャンネル
- 音声切替
- テンポ
- 移調
- リバーブ
- コーラス
- MIDIドライバー設定

設定方法については、オンラインヘルプの「オプションウィンドウ」をご覧ください。

チェック!!

「オプション」ウィンドウは、しばらくすると自動的に閉じます。

絵画の鑑賞

〈RMN デジタル・アートセレクション
ルーヴル美術館　絵画と宮殿〉

パソコンで美術・工芸品を鑑賞することができます。
添付されているCD-ROMをDVD-ROMドライブにセットして使用します。

概要

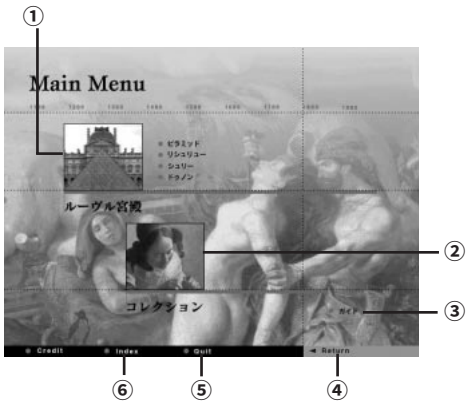
35万点にも及ぶ、美術・工芸品の膨大なコレクションが集められた美術館であり、数世紀に渡る歴史を経て完成された世界最大級の宮殿ルーヴル。
このルーヴルに所蔵されているコレクションから「モナ・リザ」など著名な100点の作品を厳選して収録しました。
丹念に撮影された館内の写真と正確な間取り図をもとに再現されたルーヴル館内をインタラクティブに巡ることができます。ナレーションは森山周一郎が担当しています。
気に入った絵の案内を聞き、その画家についての解説をひもといたり、フランスの歴史やルーヴルを巡る権力者たちの素顔を研究したり、宮殿探索を楽しみながら、美術、歴史などの知識を自然に身につけることができます。

ルーヴル美術館を起動する

① 添付の「ルーヴル美術館」CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする。
次のウィンドウが表示されます。

Copyright© Montparnasse Multimedia/Reunion Des Musees Nationaux. All rights reserved.
©フジテレビ/インフォシティ1995

② 「実行」をクリック。
「Main Menu」ウィンドウが表示されます。



① ルーヴル宮殿
ルーヴル宮殿の歴史と、現在のルーヴル美術館を見ることができます。

② コレクション
ルーヴル美術館が所蔵している絵画100点を見ることができます。

③ ガイド
ルーヴル美術館のガイドを見ることができます。

④ Return
一つ前に見ていた画面に戻ります。

⑤ Quit
ルーヴルを終了します。

⑥ Index
このCD-ROMの内容を索引で見ることができます。画面上に表示されているテキストや絵をクリックすると、そのテキストや絵に関連する色々な画面にジャンプできます。
これによって、知りたい事柄や見たい絵などに素早くアクセスし、物事の関連を把握することができます。

■ 各種機能

「ナレーション」　：一つの作品の基本的な事項を音声で解説します。

「アニメーション」：作品構成をアニメーションや関連図版を表示し解説します。

「ディテール」　：細部をクローズアップしつつ作品の内部について、音声で詳しく解説します。

「人物解説」　：それぞれの人物についてテキストで詳しく解説します。

「エピソード」　：作品を巡るこぼれ話を、テキストで解説します。

「用語解説」　：専門用語をテキストで詳しく解説します。

収録画家、重要な関連人物、文書中の重要な用語や専門用語、歴史的事件などはそれぞれの解説テキストへ相互にリンクするようになっています。

はがきの印刷〈筆ぐるめ〉

年賀状や暑中見舞い、さらに、四季折々のはがきなど、プライベートからビジネスまでの幅広い分野でのコミュニケーションに役立つはがきを作ることができます。

概要

「筆ぐるめ」を使うと、パソコンで年賀状や暑中見舞いなどのハガキを作成できます。

「筆ぐるめ」は通常のはがきを作成する手順と同じ感覚で操作できます。「筆ぐるめ」での操作の流れは大まかに説明すると、次のようになります。

① 住所録を作成する。
住所録を作成しておくと、宛名書きのときに便利です。

② 宛名を書く。
住所録を利用することも、その場で実際に宛名を入力することもできます。

③ はがきの種類を選ぶ。
官製はがき、年賀状、かもめーる、絵はがきなどの種類を選べます。

④ 文字の種類を選ぶ。
楷書体、行書体、隷書体、ペン字体、毛筆体などの文字を選べます。

⑤ 差出人を設定する。
差出人を個人の名前や、家族の連名、職場一同などに設定します。

⑥ はがきの裏面を作成する。
添付されているレイアウトやイラストを利用することも、自分で自由に作成することもできます。

⑦ 印刷する。
はがきに印刷して完了です。

チェック!!

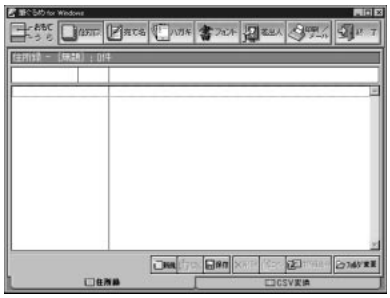
はがきを印刷するために、プリンタを利用できるように準備しておいてください。

参照
・プリンタの設定→『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」

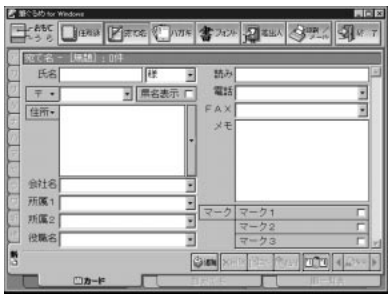
住所録の新規作成

新しい住所録ファイルを作成します。

① 「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ワーク」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。



② カード下部の 新規 (新規)をクリック。
新しい住所録入力用のカードが表示されます。



③ 「氏名」「住所」などを入力する。

・「氏名」の後につづく敬称(「様」「殿」「御中」など)をリストボックスから選べます。

・「県名表示」では、住所を都道府県から始めるかどうかを指定できます。

・「〒(郵便番号)」7桁を入力すると、該当する住所(ただし、市町村名まで)をリストボックスから選べ、入力の手間が省けます。

・「会社名」を入力すると、住所の次に表示されます。

・「所属1」「所属2」は会社名の次に表示されます。

・「役職名」は名前の上、文字数が多いときは「所属」の次に表示されます。

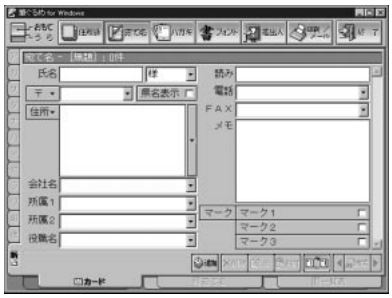
「役職名」の文字数が多いとき

・「氏名」を入力すると「読み」が自動的に設定されますが、必要に応じて「読み」を変更してください。

・「メモ」欄は自由に使えます。

・「マーク」欄は、送るはがきや荷物の種類により「年賀状」「お歳暮」「暑中見舞」のように分類したり、付き合い関係により「会社関係」「友人関係」「親戚関係」などのように分類するときに利用できます。

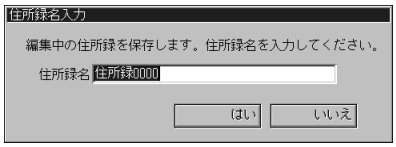
④ 次のカードを入力するには、カード下部の「追加」をクリック。
新しい住所録入力用のカードが表示されます。



⑤ 手順③と④を繰り返す。

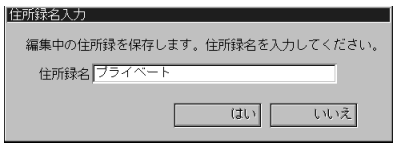
⑥ 入力が終了したら、ウィンドウ上部の「住所録」をクリック。
最初の画面に戻ります。

⑦ 画面下部の「保存」をクリック。
「住所録名 入力」ウィンドウが表示されます。



住所録は、「プライベート」「サークル」「ビジネス」などのように、分類して作成しておくと便利です。

⑧ 住所録の名前を入力する。
(例「プライベート」)



⑨「はい」をクリック。
「プライベート」という住所録が登録されます。

住所録への追加

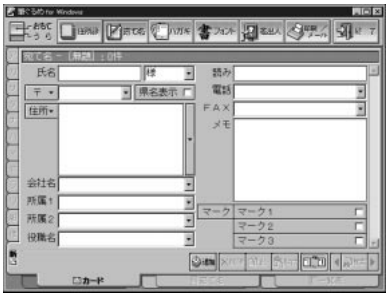
すでに作成してある住所録へ、あらたに追加することができます。

① 「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ワーク」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。

新規に作成した「プライベート」の住所録が表示されています。

② 開く (開く)をクリック。
「プライベート」に登録されている最初のカードの宛名が表示されます。

③ カード左下隅の「新」タブをクリック。
新しい住所録入力用のカードが表示されます。



④ 「氏名」「住所」などを入力する。

⑤ 入力が終了したら、「住所録」をクリック。
最初の画面に戻ります。

⑥ 「保存」をクリック。
これで住所録への追加作業の終了です。

差出人の登録

はがきの差出人として5通りの設定ができます。宛先により、個人名にしたり、家族全員の連名にしたり、会社の一員としての肩書きを含めたりできます。

① 「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ワーク」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。

新規に作成した「プライベート」の住所録が表示されています。

② 開く (開く)をクリック。
「プライベート」に登録されている最初のカードの宛名が表示されます。

③ ハガキ(ハガキ)をクリック。
はがきの種類などを選ぶウィンドウが表示されます。
はがきの種類によっては、次の手順の「差出人」をクリックできないものがあります。

④「差出人」をクリック。
差出人を入力するカードが表示されます。

⑤ 必要な箇所に入力します。

⑥ 同様に「差出人2」「差出人3」・・・と必要に応じて入力する。

⑦ 入力が終了したら「住所録」をクリック。
最初の画面に戻ります。

⑧「保存」をクリック。
これで、差出人の入力が終了です。

はがきのオモテ面を作成する

「筆ぐるめ」では、まず、宛名を住所録から選んでから、はがきや文字の種類を選びます。

①「筆ぐるめ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ワーク」→「筆ぐるめ」または「スタート」→「プログラム」→「筆ぐるめ for Windows 95」→「筆ぐるめ Version4.0」)
「筆ぐるめ for Windows」ウィンドウが表示されます。

新規に作成した「プライベート」の住所録が表示されています。

② 開く(開く)をクリック。
「プライベート」に登録されている最初のカードの宛名が表示されます。

③ ハガキ(ハガキ)をクリック。
はがきの種類などを選ぶウィンドウが表示されます。

はがきの種類や、宛名のレイアウト、「たて置き」「よこ置き」も選べます。

④ はがきの種類とレイアウトを選ぶ。
（例「年賀ハガキ」）

チェック!!

「郵便番号」を「5桁」表示に変更する場合は、後述の「郵便番号の桁数を変更する」をご覧ください。

⑤ フォント（フォント）をクリック。
文字の種類を選ぶウィンドウが表示されます。

文字の種類は、ハガキの文字をクリックして選ぶことにより、「住所」、「氏名」、「郵便番号」を別々に指定できます。

チェック!!

一太郎モデルの$JSゴシック、$JS明朝など、一部の特殊なフォントを使用すると、正しく表示されない場合があります。

⑥ 文字の種類を選ぶ。
（例「住所」を「有澤楷書」に、「氏名」を「江戸勘亭流」に指定）

⑦ 印刷/メール（印刷/メール）をクリック。
印刷を指定するウィンドウが表示されます。

⑧ はがきをプリンタにセットする。
セットの方法はプリンタにより異なります。プリンタに添付のマニュアルをご覧ください。

⑨ 印刷（印刷）をクリック。
年賀状のオモテ面が印刷されます。

はがきのウラ面を作成する

オモテ面を印刷した後は、次のようなウィンドウが表示されています。

続いて、添付されているレイアウトを利用して年賀状のウラ面を作成してみましょう。

① ウィンドウの左上の「うら」をクリック。
レイアウトの一覧が表示されます。

② レイアウトを選んでクリック。
（例 「fg010020」の「新年おめでとうございます」を選ぶ）

差出人を自分に直す必要があります。

③ 文章（文章）をクリック。
はがきのウラ面が編集できる状態になります。

④ 年度を変更する。

⑤ 氏名の部分をクリック。
「氏名」の変更ができる状態になります。

⑥ 氏名を変更する。

⑦「住所」の部分をクリック。
「住所」の変更ができる状態になります。

⑧ 住所を変更する。

⑨ 住所や名前の枠の位置/大きさを調整する。
住所や名前が長いと、すべて表示されません。
このような場合は、住所や名前の枠の大きさを広げてください。住所や名前の枠は、ドラッグ&ドロップで移動することができます。

（変更例）

⑩ (背景)をクリック。
背景を指定するウィンドウが表示されます。

⑪ 背景を選んでクリック。

⑫ (印刷)をクリック。
印刷を指定するウィンドウが表示されます。

⑬ はがきをプリンタにセットする。
セットの方法はプリンタにより異なります。プリンタに添付のマニュアルをご覧ください。

⑭ (印刷)をクリック。
年賀状のウラ面が印刷されます。

チェック!!

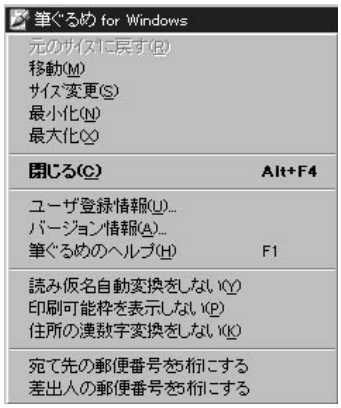
編集作業などを行った後に「筆ぐるめ」を終了すると、「レイアウトデータが更新されています。保存しますか。」というメッセージが表示されます。保存する場合は「はい」をクリックしてください。

「筆ぐるめ」では、独自のレイアウトを作成し、登録しておくこともできます。レイアウト作成、登録についてはヘルプをご覧ください。

郵便番号の桁数を変更する

① をクリック。

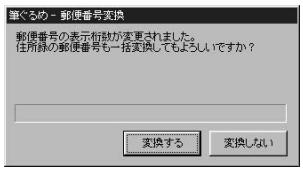
次のメニューが表示されます。



・差出人の郵便番号を5桁にしたい場合
メニューの中の「差出人郵便番号を5桁にする」をクリックしてください。

・宛て先の郵便番号を5桁にしたい場合
メニューの中の「宛て先郵便番号を5桁にする」にマウスポインタを移動してクリックしてください。

次のメッセージが表示されます。



② 「変換する」をクリック。
しばらくすると5桁に変換されます。

チェック!!

・郵便番号データが、はがきに表示されていない場合は、この画面は表示されません。

・ 宛先や差出人の郵便番号を7桁に戻す場合は、同様に「宛先の郵便番号を7桁にする」、「差出人の郵便番号を7桁にする」を選んでください。

電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉

パソコンで電話番号検索サービスを受けることができます。

「Angel Line for Windows」を使用する前に、本機と電話回線が正しく接続されていることを必ず確認してください。

参照
・電話回線との接続→『STEP 1 接続と準備』PART 2「電話回線に接続する」

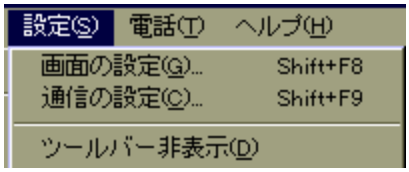
通信設定

初めて「Angel Line for Windows」を使う場合は、通信の設定を行います。

① 「Angel Line for Windows」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Angel Line(電話案内)」または「スタート」→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」→「Angel Line Ver2.04」)
「Angel Line for Windows」ウィンドウが表示されます。

Copyright© 1996-1997 NTT

② 「設定」をクリック。
「設定」のメニューが表示されます。



③ 「通信の設定」をクリック。
「通信システム設定」ウィンドウが表示されます。

④ 必要な設定を行う。
特に、「回線種別」「外線発信」などの設定に注意してください。他の設定も必要に応じて行います。

⑤ 設定が終了したら、「OK」をクリック。
「Angel Line for Windows」ウィンドウに戻ります。

電話番号検索サービスを利用する

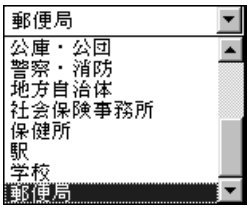
例として、東京都港区芝にある郵便局の電話番号を調べてみます。さらに、検索結果の中から、必要な電話番号はコメントを付けて保存しておきましょう。

① 「Angel Line for Windows」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Angel Line(電話案内)」または「スタート」→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」→「Angel Line Ver2.04」)
「Angel Line for Windows」ウィンドウが表示されます。

② 「地域検索」をクリック。
「入力（地域検索）」ウィンドウが表示されます。

③ 「機関名」欄の「大分類」の▼をクリック。
「機関名」の一覧メニューが表示されます。

④ 「郵便局」を選んでクリック。



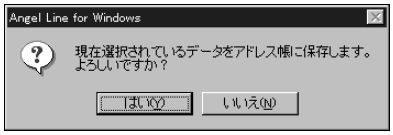
⑤ 「都道府県」欄に「トウキョウト」、「市郡」欄に「ニイサンク」、「区町村」欄に「ミナトク」、「町・大字」欄に「シバ」と入力。
▼のある項目は、▼をクリックして表示される一覧から選ぶこともできます。

漢字は使えません。文字はひらがな、カタカナ、英数字のいずれかを使用してください。

⑥ 「検索」をクリック。
NTTのセンターに電話をかけて検索を行い、検索結果を表示します。

⑦ 保存しておきたい郵便局を選ぶ。
選んだ郵便局が反転表示になります。
（例 「芝公園郵便局」を選ぶ）

⑧ 「保存」をクリック。
次のメッセージが表示されます。

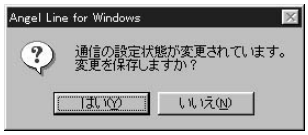


⑨ 「はい」をクリック。

⑩ メニューバーの「ファイル」をクリック。

⑪ 「終了」をクリック。
次のメッセージが表示されます。

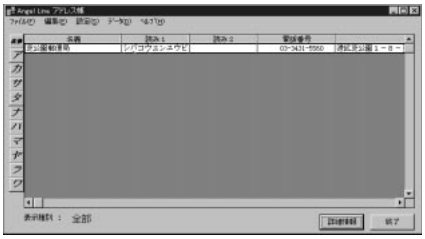
⑫ 「はい」をクリック。
通信の設定を変更した場合は、次のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。



「Angel Line for Windows」が終了します。

「Angel Line アドレス帳」の利用

① 「Angel Line アドレス帳」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「Angel Line(電話帳)」または「スタート」→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」→「アドレス帳」)
「Angel Line アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

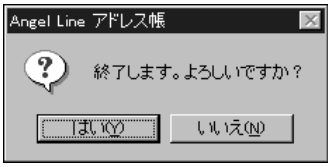


② 詳細を見たい行をクリックしてから「詳細情報」をクリック。
「詳細情報」ウィンドウが表示されます。
ここでは、コメントなどを入力できます。

③ 詳細情報を確認したら、「取消」をクリック。
「Angel Line アドレス帳」ウィンドウに戻ります。

「詳細情報」の内容を変更したときは、「更新」をクリックし、その後の画面の指示に従ってください。

④ 「終了」をクリック
次のメッセージが表示されます。



⑤ 「はい」をクリック。
「Angel Line アドレス帳」が終了します。

ランチ-NXの設定

「ランチ-NX」では登録されているグループやアプリケーション起動ボタン、その他の編集ができます。自分で使いやすいように「ランチ-NX」を設定してください。

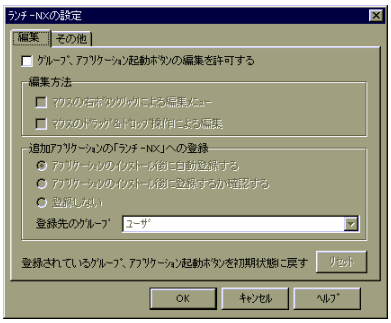
参照
・「ランチ-NX」の使い方→『STEP2　入門』PART2「ランチ-NXは、ソフトの発射台」

「ランチ-NXの設定」ウィンドウ

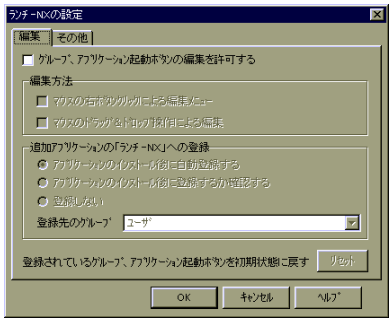
「ランチ-NX」に関する設定や編集は、「ランチ-NXの設定」ウィンドウで行います。「ランチ-NXの設定」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

① 「ランチ-NX」が起動している場合は、 （設定ボタン）をクリック。
（起動していない場合は、「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「ランチ-NX」をクリックし、「ランチ-NX」起動後に をクリック）

「ランチ-NXの設定」ウィンドウが表示されます。



「編集」タブでの設定



グループボタン、アプリケーション起動ボタンの編集ができるようにする

「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつけると、グループやアプリケーション起動ボタンの追加/削除、名前や順序の変更などができるようになります。

チェック!!

- 購入時の状態ではチェックボックスにチェックがついていないため、グループやアプリケーション起動ボタンの編集はできません。
- 「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスをチェックすると、連動して「その他」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスもチェックされます。

ワイヤレスキーボードでの編集方法を選ぶ

① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集方法」で、次の2つのどちらかを選ぶ。
2つとも選ぶこともできます。

- 「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」
ワイヤレスキーボードの右クリックボタンをクリックして表示されるメニューからグループボタンやアプリケーション起動ボタンを編集できるようになります。
- 「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」
ワイヤレスキーボードのドラッグ&ドロップ操作でグループボタンやアプリケーション起動ボタンを編集できるようになります。

③ 「OK」をクリック。

追加したアプリケーションのランチ-NXへの登録

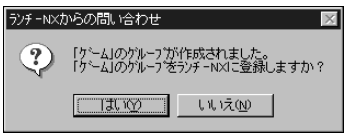
アプリケーションをインストールしたときに、「スタート」メニューの「プログラム」に登録されたアプリケーションのグループを、ランチ-NXに自動的に登録するかどうかを設定します。設定方法は次の通りです。

① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「追加アプリケーションのランチ-NXへの登録」で次の3つから1つを選ぶ。

- アプリケーションのインストール後に自動登録する
「アプリケーションのインストール後に自動登録する」を選ぶと、アプリケーションをインストールしたとき、「スタート」メニューの「プログラム」に新しいフォルダが追加されると、そのフォルダが「ランチ-NX」に自動的に登録されます。

- アプリケーションのインストール後に登録するか確認する
「アプリケーションのインストール後に登録するか確認する」を選ぶと、アプリケーションをインストールしたとき、「スタート」メニューの「プログラム」に新しいフォルダが追加されると、ランチ-NXに登録するかどうかを確認するウィンドウが表示されます。



追加されたグループとアプリケーションをランチ-NXに登録する場合は「はい」を、登録しない場合は「いいえ」をクリックします。

- 登録しない
「登録しない」を選ぶと、アプリケーションがインストールされてもランチ-NXには登録されません。

③ 「登録先のグループ」を選ぶ。
購入時の状態では「ユーザ」グループに設定されています。

④ 「OK」をクリック。

チェック!!

- インストールするアプリケーションが「スタート」メニューの「プログラム」にフォルダを作成しない場合は、「ランチ-NX」への自動登録は行いません。

- 「ランチ-NX」が起動していないときにアプリケーションのインストールをした場合は、「ランチ-NX」への自動登録は行いません。
「追加アプリケーションのランチ-NXへの自動登録」を行うときは、「ランチ-NX」の起動中にアプリケーションのインストールを行ってください。

- インストールしたアプリケーションが作成したグループ名がすでに存在する場合は、「ランチ-NX」への自動登録は行いません。

- 「登録先のグループ」に登録したアプリケーションのアンインストールにより、「スタート」メニューの「プログラム」のフォルダが削除されると、そのアプリケーションのグループを「ランチ-NX」からも削除するかどうかのウィンドウが表示されます。

アプリケーションのグループを「ランチ-NX」から削除する場合は「はい」を、削除しない場合は、「いいえ」をクリックします。
なお、購入時に登録されているアプリケーションをアンインストールしても、そのグループおよびアプリケーション起動ボタンは削除されません。

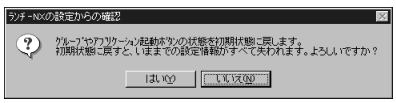
- 登録先のグループを削除すると、自動登録を行わない設定になります。
例えば、購入時の状態で、「ユーザ」グループを削除すると、「ランチ-NX」への自動登録は行われません。

「追加アプリケーションのランチ-NXへの自動登録」を行う場合は「登録先のグループ」をもう一度選んでください。

登録されているグループ、アプリケーション起動ボタンを購入時の状態に戻す

① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「リセット」をクリック。
次の画面が表示されます。

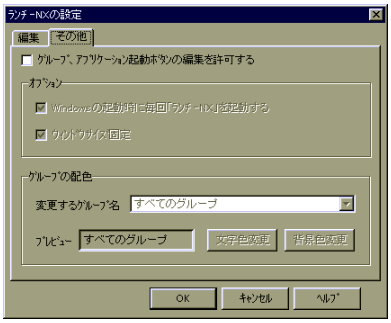


③ 「はい」をクリック。
購入時の状態に戻ります。
購入時の状態に戻さない場合は「いいえ」をクリックします。

チェック!!

購入時の状態に戻すと、グループやアプリケーション起動ボタンの配置や変更など、設定した情報はすべて失われます。

「その他」タブでの設定



グループ、アプリケーション起動ボタンの編集ができるようにする

「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつけると、グループやアプリケーション起動ボタンの編集ができるようになります。

チェック!!

- 購入時の状態ではチェックボックスにチェックがついていないため、グループやアプリケーション起動ボタンの編集はできません。
- 「その他」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつけると、連動して「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスもチェックされます。

Windowsの起動時に毎回ランチ-NXを起動する

① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「オプション」の「Windowsの起動時に毎回ランチ-NXを起動する」のチェックボックスにチェックをつける。
購入時の状態ではチェックされています。

③ 「OK」をクリック。
これでWindowsの起動時に毎回「ランチ-NX」が起動します。

チェック!!

「オプション」の「Windows 起動時に毎回ランチ-NXを起動する」に付けられているチェックマークをはずすと、次回のWindows 起動時には「ランチ-NX」は起動されません。もう一度、Windowsの起動時に毎回、「ランチ-NX」を起動する場合は、「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」から「ランチ-NX」を起動し、[ ]をクリックして、設定を変更してください。

「ランチ-NX」ウィンドウのサイズを変更する

「オプション」の「ウィンドウサイズ固定」のチェックボックスにチェックをつけると、「ランチ-NX」のウィンドウサイズが固定されます。チェックをはずすとウィンドウサイズを変更できます。購入時の状態ではチェックされており、アプリケーション起動ボタンエリアは縦3個×横4個の起動ボタンが表示される大きさになっています。

ウィンドウサイズを変更する手順は次の通りです。

① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「ウィンドウサイズ固定」のチェックボックスのチェックをはずす。

③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウの大きさを他のウィンドウと同じようにドラッグして変更する。

チェック!!

- ウィンドウサイズを変更した場合、横幅に関して大きさを変えることができるのはアプリケーション起動ボタンエリアだけです。
- ウィンドウの最小サイズは、アプリケーション起動ボタンエリア内の起動ボタンが縦3個×横3個表示される大きさです。
- 最大サイズは、解像度によって異なります。

グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色を変更する

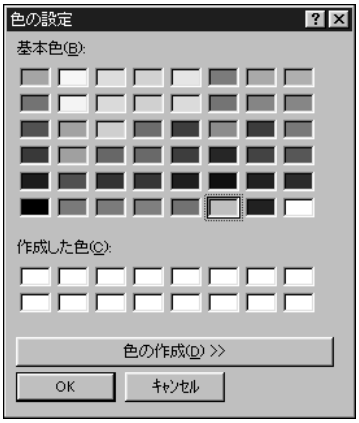
グループエリアのグループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色を設定できます。すべてのグループまたはグループ単位で設定ができます。

設定方法は次の通りです。

① 「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「グループの配色」の「変更するグループ名」の▼をクリックして、背景色を変更するグループを選ぶ。

③ 「グループの配色」の「背景色変更」をクリック。



④ 背景色を指定する。

⑤ 「OK」をクリック。
「色の設定」ウィンドウが閉じます。

⑥ 「ランチ-NXの設定」ウィンドウの「OK」をクリック。
グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色が指定した色に変更されます。

チェック!!

- グループ単位で設定した場合、設定したグループおよびそのサブグループの背景色が変更されます。
- すべてのグループを設定した場合、全グループの背景色が変更されます。
- 新規登録したグループの背景色は、「すべてのグループ」で指定した色になります。
- グループボタンの文字色は、「文字色変更」ボタンにより同じように変更できます。
- グループの配色は、「マウスの右ボタンのクリックによる編集メニュー」でもできます。(→次の「グループを編集する」)

グループを編集する

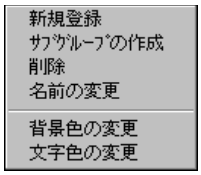
グループを新規登録する

① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集 メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

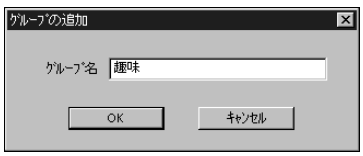
③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで任意のグループを右クリック。
次のメニューが表示されます。

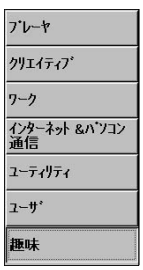


⑤ 「新規登録」をクリック。
「グループの追加」ウィンドウが表示されます。

⑥ 新規登録するグループ名を入力する。
(例 趣味)



⑦ 「OK」をクリック。
これで「趣味」グループが新規登録されます。



サブグループを作成する

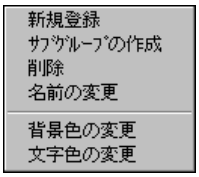
ここでは、例として「趣味」グループの下に「音楽」サブグループを作成します。

① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

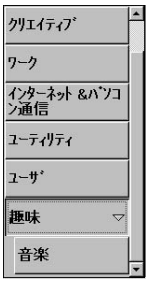
④ 「ランチ-NX」ウィンドウでサブグループを作成したいグループボタン、またはサブグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。
（例 「趣味」グループ）



⑤ 「サブグループの作成」をクリック。
「サブグループの作成」ウィンドウが表示されます。

⑥ 作成するサブグループ名を入力する。
（例 音楽）

⑦ 「OK」をクリック。
これで「趣味」グループの下に「音楽」サブグループが作成されます。



チェック!!

サブグループボタンを作成したグループボタンの右横の「▽」をクリックするとサブグループが表示されなくなります。もう一度クリックすると、表示されるようになります。

グループ、サブグループの名前を変更する

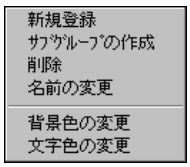
ここでは、例として「インターネット&パソコン通信」グループを「インターネット」グループに名前を変更します。

① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

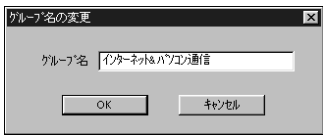
② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

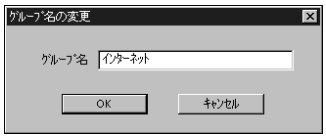
④ 「ランチ-NX」ウィンドウで名前を変更したいグループボタン、またはサブグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。
（例 「インターネット&パソコン通信」グループ）



⑤ 「名前の変更」をクリック。
「グループ名の変更」ウィンドウが表示されます。



⑥ 変更したいグループ名を入力する。
（例 インターネット）



⑦ 「OK」をクリック。
これで「インターネット&パソコン通信」は、「インターネット」に名前が変更されます。

グループの順序を変更する

ここでは、例として「クリエイティブ」グループを「プレーヤ」グループの前に移動します。

①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

②「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

③「OK」をクリック。

④「ランチ-NX」ウィンドウで順序変更したいグループボタン（例 「クリエイティブ」グループボタン）をドラッグ&ドロップで、移動させたい位置にあるグループボタン（例「プレーヤ」グループ）まで移動する。
これで「クリエイティブ」グループは、「プレーヤ」グループの前に移動します。

チェック!!

【Ctrl】を押しながらドラッグ&ドロップした場合、ドロップしたグループのサブグループとして移動します。

グループ、サブグループを削除する

チェック!!

グループを削除すると、同時にそのグループとそのサブグループ内にあるすべてのアプリケーション起動ボタンが削除されます（起動ボタンが削除されるだけで、アプリケーション自体は削除されません）。

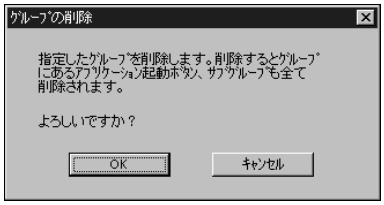
ワイヤレスキーボードのドラッグ&ドロップ操作で削除する

①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

②「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

③「OK」をクリック。

④「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいグループボタンをドラッグ&ドロップでデスクトップ画面の「ごみ箱」アイコンまで移動する。
「グループの削除」ウィンドウが表示されます。



⑤「OK」をクリック。
これでグループ、およびグループ内にあるすべてのアプリケーション起動ボタンが削除されます。

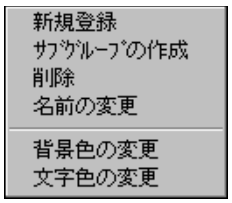
ワイヤレスキーボードの右クリックボタン操作で削除する

①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

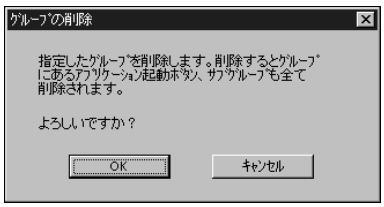
②「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集 メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③「OK」をクリック。

④「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑤「削除」をクリック。
「グループの削除ウィンドウ」が表示されます。



⑥「OK」をクリック。
これでグループ、およびグループ内にあるすべてのアプリケーション起動ボタンが削除されます。

グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色を変更する

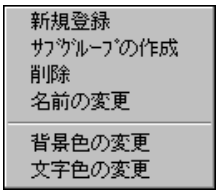
①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示する。

②「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」にチェックマークをつける。

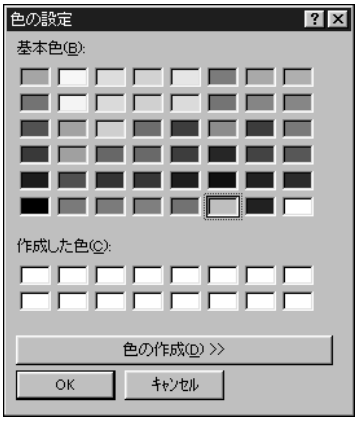
③「編集」タブの「編集方法」で「マウスの右クリックによる編集メニュー」にチェックマークをつける

④「OK」をクリック。

⑤「ランチ-NX」ウィンドウで背景色を変更するグループボタンを右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑥「背景色の変更」を右クリック。



⑦「背景色」を指定する。

⑧「OK」をクリック。
これで、グループボタンおよびアプリケーション起動ボタンエリアの背景色が指定された色になります。

チェック!!
グループボタンの文字色は、「文字色の変更」により同じようにできます。

グループボタンを編集するときの注意

- ポインタが⃠に変わる場所へは、ドラッグ&ドロップはできません。
- グループ表示エリアのグループボタン以外で、ワイヤレスキーボードの右クリックボタンをクリックした場合は、「新規登録」のみが編集できます。
- グループの名前には、次の半角文字は使用しないでください。

「¥」「/」「;」「,」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」

アプリケーション起動ボタンを編集する

アプリケーション起動ボタンを新規登録する

ここでは、例として「エクスプローラ」起動ボタンを「ワーク」グループに新規登録します。

ワイヤレスキーボードのドラッグ&ドロップ操作で新規登録する

①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

②「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

③「OK」をクリック。

④ エクスプローラを起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)

⑤ エクスプローラ上で、「ランチ-NX」に登録したいアプリケーションの起動アイコン(例 C:¥Windows¥スタート メニュー¥プログラム¥エクスプローラのアイコン)をドラッグ&ドロップで、新規登録する「ランチ-NX」ウィンドウのグループボタン(例「ワーク」グループ)に移動する。
これで「エクスプローラ」起動ボタンが「ワーク」グループの最後尾に新規登録されます。

チェック!!
CD-ROMまたはCD-ROMのアプリケーションを登録した場合、CD-ROMを取り出すと、アイコンが または に変わることがあります。

ワイヤレスキーボードの右クリックボタン操作で新規登録する

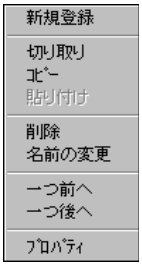
① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

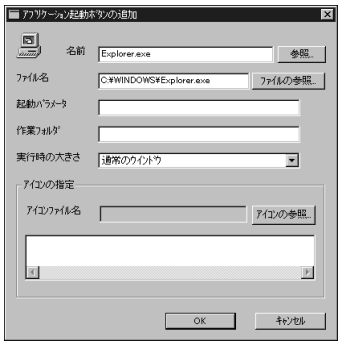
④ 「ランチ-NX」ウィンドウで、アプリケーション起動ボタンを新規登録したいグループボタン（例 「ワーク」グループボタン）をクリック。

⑤ 新規登録したいグループ（例 「ワーク」グループ）の任意のアプリケーション起動ボタン以外のアプリケーション起動ボタンエリアを右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑥ 「新規登録」をクリック。

⑦ 新規登録するアプリケーション起動ボタンの名前を「参照」をクリックして表示されるウィンドウから選ぶ。
（例 エクスプローラ）
連動して「ファイル名」も選ばれます。



⑧ 必要であれば、その他の項目を指定する。

⑨ 「OK」をクリック。
これで「エクスプローラ」起動ボタンが「ワーク」グループの最後尾に新規登録されます。

アプリケーション起動ボタンの名前を変更する

ここでは、例として「クリエイティブ」グループの「Picture Studio（静止画編集）」を「画像編集」に名前を変更します。

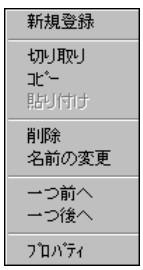
① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで名前を変更したいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン（例 「クリエイティブ」グループ）をクリック。

⑤ 名前を変更するアプリケーション起動ボタン（例 「Picture Studio（静止画編集）」）を右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑥「名前の変更」をクリック。
「アプリケーション起動ボタンの名称変更」ウィンドウが表示されます。

⑦ 変更したいアプリケーション起動ボタン名を入力する。
（例　画像編集）

⑧「OK」をクリック。
これで「Picture Studio（静止画編集）」は、「画像編集」に名前が変更されます。

アプリケーション起動ボタンを移動する

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を「クリエイティブ」グループに移動します。

ワイヤレスキーボードのドラッグ&ドロップ操作で移動する

①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

②「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

③「OK」をクリック。

④「ランチ-NX」ウィンドウで移動したいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン（「ユーティリティ」グループ）をクリック。

⑤ アプリケーション起動ボタン（例 「ペイント」）をドラッグ&ドロップで移動したいグループボタン（例「クリエイティブ」グループ）まで移動する。
これで「ユーティリティ」グループの「ペイント」が「クリエイティブ」グループの最後尾に移動します。

ワイヤレスキーボードの右クリックボタン操作で移動する

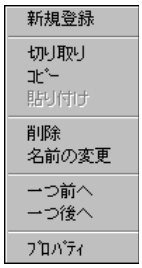
①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

②「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③「OK」をクリック。

④「ランチ-NX」ウィンドウで移動したいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン（例 「ユーティリティ」グループ）をクリック。

⑤ アプリケーション起動ボタン（例 「ペイント」）を右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑥「切り取り」をクリック。
「ペイント」起動ボタンが「ユーティリティ」グループから切り取られ、クリップボードにコピーされます。

⑦ 移動させたいグループ（例 「クリエイティブ」）をクリック。

⑧ 移動させたいグループ（例 「クリエイティブ」）のアプリケーション起動ボタンエリアを右クリック。

⑨「貼り付け」をクリック。
これで「ユーティリティ」グループの「ペイント」が「クリエイティブ」グループに移動します。

アプリケーション起動ボタンをコピーする

ワイヤレスキーボードの右クリックボタン操作でコピーする

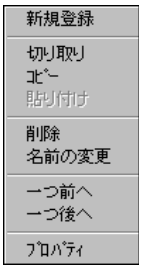
①「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

②「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③「OK」をクリック。

④「ランチ-NX」ウィンドウでコピーしたいアプリケーション起動ボタンのあるグループボタン（例 「ユーティリティ」グループ）をクリック。

⑤ アプリケーション起動ボタン(例 「ペイント」)を右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑥ 「コピー」をクリック。
「ペイント」起動ボタンがクリップボードにコピーされます。

⑦ コピーしたいグループ(例 「クリエイティブ」)をクリック。

⑧ コピーしたいグループ(例 「クリエイティブ」グループ)のアプリケーション起動ボタンエリアを右クリック。

⑨ 「貼り付け」をクリック。
これで「ユーティリティ」グループの「ペイント」が「クリエイティブ」グループにコピーされます。

アプリケーション起動ボタン、サブグループボタンの順序を変更する

2つ以上、前/後ろへ移動する場合

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を「Timer-NX(スケジューラ)」の位置に移動します。

① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン(例 「ユーティリティ」グループ)をクリック。

⑤ 順序を変更したいアプリケーション起動ボタン(例 「ペイント」)を、ドラッグ&ドロップで移動したいアプリケーション起動ボタン(例 「Timer-NX(スケジューラ)」)まで移動する。
これで「ペイント」が「Timer-NX(スケジューラ)」の位置に移動されます。

1つ前/後ろへ移動する場合

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を「電卓」の後ろに移動します。

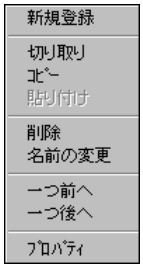
① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集 メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン(例 「ユーティリティ」グループ)をクリック。

⑤ 順序を変更したいアプリケーション起動ボタン(例 「ペイント」)を右クリック。



⑥ 「一つ後へ」をクリック。
これで「ペイント」が「電卓」の後ろに移動されます。

アプリケーション起動ボタンを削除する

ここでは、例として「ユーティリティ」グループの「ペイント」を削除します。

ワイヤレスキーボードのドラッグ&ドロップ操作で削除する

① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン（例「ユーティリティ」グループ）をクリック。

⑤ 「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタン（例「ペイント」）をドラッグ&ドロップでデスクトップ画面の「ごみ箱」アイコンまで移動する。
これで「ペイント」起動ボタンが削除されます。

ワイヤレスキーボードの右クリックボタン操作で削除する

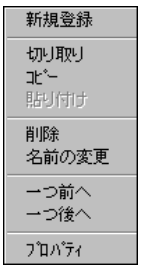
① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集 メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

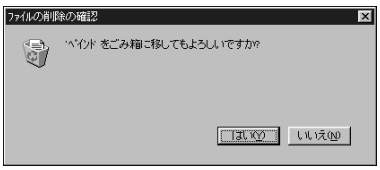
③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで順序を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン（例「ユーティリティ」グループ）をクリック。

⑤ 「ランチ-NX」ウィンドウで削除したいアプリケーション起動ボタン（例「ペイント」）を右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑥ 「削除」をクリック。



⑦ 「はい」をクリック。
これで「ペイント」起動ボタンが削除されます。

アプリケーション起動ボタンの登録内容を変更する

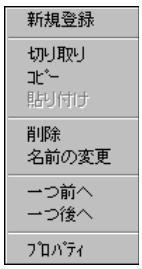
① 「ランチ-NXの設定」ウィンドウを表示して、「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」のチェックボックスにチェックをつける。

② 「編集」タブの「編集方法」で、「マウスの右ボタンクリックによる編集 メニュー」のチェックボックスにチェックをつける。

③ 「OK」をクリック。

④ 「ランチ-NX」ウィンドウで登録内容を変更したいアプリケーション起動ボタンがあるグループボタン（例「ユーティリティ」グループ）をクリック。

⑤ 登録内容を変更したいアプリケーション起動ボタン（例「ペイント」）を右クリック。
次のメニューが表示されます。



⑥ 「プロパティ」をクリック。

⑦ 次の登録内容を必要に応じて変更する。

- 名前
- ファイル名
- 起動パラメータ
- 作業フォルダ
- 実行時の大きさ
- アイコンの指定

⑧「OK」をクリック。
これで登録内容が変更されます。

アプリケーション起動ボタンを編集するときの注意

- ポインタが⃠に変わる場所へは、ドラッグ&ドロップはできません。
- 右ボタンのメニューの項目が使用不可になっている場合は、その項目は使用できません。
- アプリケーション起動ボタンの名前には、次の半角文字は使用しないでください。

「¥」「/」「;」「,」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」

ＣＤ の自動起動〈CD　ランチ〉

「CDランチ」はビデオCDやフォトCD、カーナビゲーション用地図CD-ROM、DVD　VIDEOディスクなどをDVD-ROMドライブにセットしたときに、対応するアプリケーション（「プレーヤ-ＮＸ」、「MapPlayer-NX」、「DVDプレーヤ」など）を自動的に起動します。

CD の自動起動について

Windows 95には、オートラン機能（CDに対応したアプリケーションを自動的に起動する機能）があります。この機能を使うと、CD-ROMドライブにCDをセットするだけで、例えばアプリケーションのCD-ROMの場合では、アプリケーションのセットアップ画面が表示されたり、音楽CDの場合では、CDを再生するアプリケーションが起動するのです。しかし、Windows 95でオートラン機能が使えるのは、基本的に、音楽ＣＤとオートラン機能に対応したＣＤ-ＲＯＭです。フォトＣＤやビデオＣＤなどでは、CD-ROMドライブにCDをセットするだけでは対応したアプリケーションが起動しない場合があります。

このような場合でも、「ＣＤランチ」を使って、CDをCD-ROMドライブにCDをセットするだけで、そのCDに対応したアプリケーションを起動することができます。

起動と終了

「CDランチ」が起動されているときは、タスクバーにインジケータが表示されます。インジケータが表示されていないときは、次の手順で「CDランチ」を起動してください。

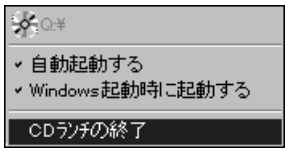
チェック!!

購入時の状態では、本機起動時に自動的に「CDランチ」が起動します。

① 「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「CDランチ」をクリック。
タスクバーの右隅にインジケータが表示されます。

CD ランチの終了

① タスクバーの右隅のインジケータを右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。



② 「CDランチの終了」をクリック。
「CDランチ」が終了します。

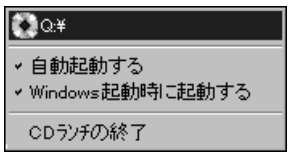
チェック!!

「ＣＤ ランチ」を終了すると、「プレーヤ-ＮＸ」、「MapPlayer-NX」、「DVDプレーヤ」などのアプリケーションの自動起動はされません。

アプリケーションの起動

「CDランチ」からアプリケーションを起動するには、次の3通りの方法があります。（例　CD-ROMを起動する）

- タスクバーのインジケータを右クリックして、表示されるメニューの「自動起動する」にチェックマークがついている状態で、CD-ROMをセットする。
- CD-ROMがセットされているときに、タスクバーのインジケータをダブルクリックする。
- CD-ROMがセットされているときに、タスクバーのインジケータを右クリックして表示されるメニューから「DVD-ROMドライブ」をクリックする。



自動起動できるアプリケーション

「CDランチ」から自動起動できるアプリケーションは次の通りです。

・ビデオCD（カラオケCD）
「プレーヤ-NX」が起動

・フォトCD（フォトCDポートフォリオ）
「プレーヤ-NX」が起動

・カーナビゲーション用地図CD-ROM
「MapPlayer-NX」が起動

・DVD-VIDEOディスク
「DVDプレーヤ」が起動

・その他のCD-ROM
CD-ROMのファイルの内容を表示

チェック!!

- 音楽CDとオートランに対応したCD-ROMは、「CDランチ」を終了した状態でもアプリケーションが起動します（ただし、「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「CD-ROM」→「設定」で「自動挿入」にチェックマークがついている場合）。
- 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」などをセットした場合は、CD-ROMのファイルの内容表示は行われません。

CD ランチの設定

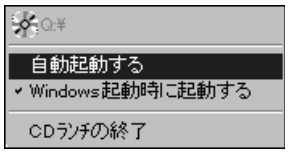
「CDランチ」は右クリックメニューにより次の設定ができます。

自動起動

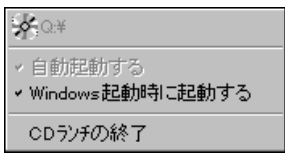
DVD-ROMドライブにCD-ROMをセットしたときに、アプリケーションを自動的に起動するかどうかを設定できます。

チェック!!

チェックマークをつけた場合は自動起動し、はずした場合は自動起動しません。ただし、音楽CDとオートランに対応したCD-ROMは、設定内容にかかわらず、自動起動します。

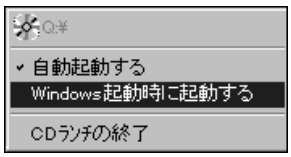


また、「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「CD-ROM」→「設定」で「自動挿入」にチェックがついていない場合は、グレー表示され、選ぶことができません。この場合は、アプリケーションを自動起動できません。



Windows 起動時に起動する

Windows起動時に「CDランチ」を起動するかどうかを設定できます。
次のウィンドウでチェックマークがついている場合は、Windows起動時に「CDランチ」が自動起動します。



CD-ROM が自動起動しないように設定する

CD-ROMの中のファイルを参照する場合は、次の手順で、CD-ROMを自動起動しないように設定してください。

① 「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」）

② 「CD-ROM」をダブルクリック。
「CD-ROM」フォルダの内容が表示されます。

③ 表示されたCD-ROM名をダブルクリック。
プロパティウィンドウが表示されます。

④ 「設定」タブをクリック。
「設定」タブウィンドウが表示されます。

⑤「自動挿入」をクリックして、チェックをはずす。

⑥「OK」をクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウに戻ります。

⑦「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」をクリックしてください。本機が自動的に再起動します。

これでCD-ROMが自動起動しなくなります。CD-ROMの中のファイルを参照する場合は、「エクスプローラ」を使用してください。

チェック!!

自動起動しないように設定しても、「マイコンピュータ」では、CD-ROMアイコンをクリックするとCDに対応したアプリケーションが起動しますので、「エクスプローラ」を使用してください。

英語モードフォントの使用

日本語版Windows 95で、英語版Windows 95のアプリケーションを使用するときは、文字を正しく表示するために、英語モードフォントを使用します。

概要

日本語モードフォントのままで、英語版Windows 95アプリケーションを本機で利用する場合、著作権「©」、登録商標「®」、「\」が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したままで、日本語版Windows 95のアプリケーションを本機で利用する場合、「ｩ」「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを削除します。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

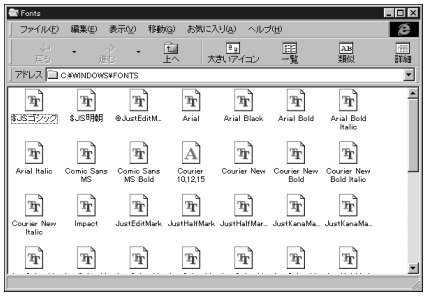
	英語版WINDOWS 95 アプリケーションを使用	日本語版WINDOWS 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ｩ」「®」→「ヨ」「\」→「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ｩ」→「©」「ヨ」→「®」「¥」→「\」

英語モードフォントを使用する

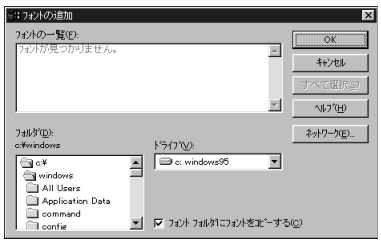
使用するフォントを日本語モードから英語モードへ切り替える操作は次の通りです。

① DVD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする。

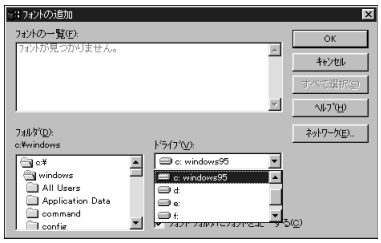
② 「コントロールパネル」の「フォント」をダブルクリック。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「フォント」）
「FONTS」フォルダが表示されます。



③ 「ファイル」メニューの「新しいフォントのインストール」をクリック。
「フォントの追加」ウィンドウが表示されます。

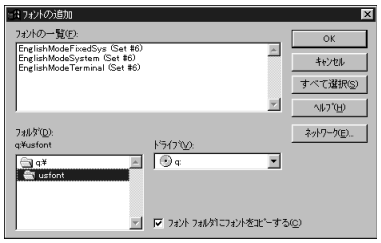


④ 「ドライブ」欄の▼をクリック。
ドライブ一覧のメニューが表示されます。



⑤ DVD-ROMドライブ（通常は「Q:」）を指定する。

⑥「フォルダ」で「usfont」をダブルクリック。
フォント一覧が表示されます。

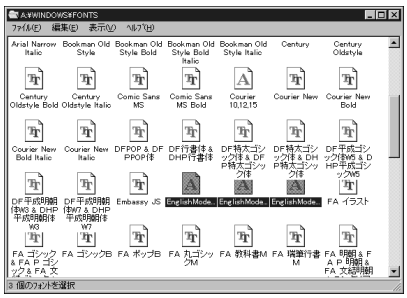


⑦ 次のフォントが表示されることを確認する。

- EnglishModeFixedSys(Set #6)
- EnglishModeSystem(Set #6)
- EnglishModeTerminal(Set #6)

⑧「すべて選択」をクリック。
3種類のフォントが選ばれ、反転表示になります。

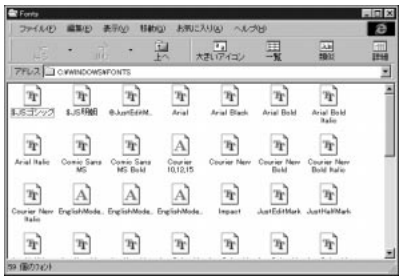
⑨「OK」をクリック。
「FONTS」フォルダに英語モードフォントが追加され、英語モードフォントが使用できます。



日本語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを英語モードフォントから日本語モードフォントに切り替えます。

①「コントロールパネル」の「フォント」をダブルクリック。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「フォント」)
「FONTS」フォルダが表示されます。

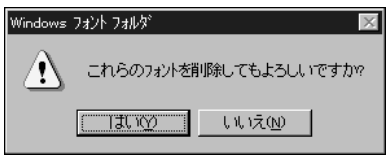


② 次の3つのフォントを選ぶ。

- EnglishModeFixedSys(Set #6)
- EnglishModeSystem(Set #6)
- EnglishModeTerminal(Set #6)

選ばれたフォントは反転表示になります。

③「ファイル」メニューの「削除」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



④「はい」をクリック。
英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。

テキストリーダの使用

「テキストリーダ」は、クリップボードにコピーされた文章(テキストデータ)を、音声で読み上げます。入力した文章を、音声で読み上げて確認したい場合などに利用できます。

テキストリーダの起動

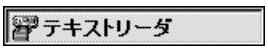
テキストリーダのセットアップ

「テキストリーダ」は本機にはあらかじめセットアップはされていません。

「テキストリーダ」を利用する場合には、「セットアップされていないアプリケーションの使用」をご覧になり、セットアップしてください。

テキストリーダの起動

①「スタート」→「プログラム」→「テキストリーダ」→「テキストリーダ」をクリック。
タスクバーに「テキストリーダ」アイコンが表示されます。



②「テキストリーダ」をクリック。
「テキストリーダ」ウィンドウが表示されます。

テキストリーダを使う

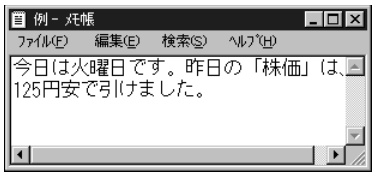
チェック!!

テキストリーダを使うには、別売のスピーカなどを接続して音声が出力できる状態になっている必要があります。

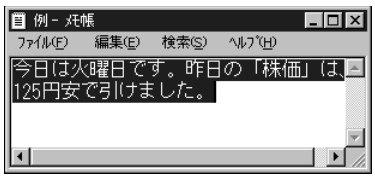
ここでは、「メモ帳」で文章を作成し、「テキストリーダ」で読み上げさせましょう。他のアプリケーションがオーディオデバイスを使用しているときには、読み上げはできません。そのアプリケーションを終了させてください。

①「メモ帳」で文章を作成する。

例



② 文章をトラックボールのドラッグで選ぶ。
文章が反転表示になります。



③「編集」メニューから「コピー」をクリック。
選んだ文章がクリップボードに送られます。

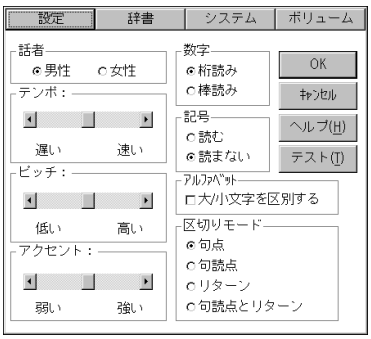
④「テキストリーダ」の ▶ をクリック。
文章が読み始められ、「テキストリーダ」ウィンドウに「読み上げ中」と表示されます。

「テキストリーダ」の設定変更

「テキストリーダ」の設定を変更することにより、男性または女性の音声にしたり、読み上げのテンポ、声の高さ、抑揚の強弱などを調整できます。

① 「テキストリーダ」を起動する。

② 「オプション」をクリック。
次の設定画面が表示されます。



◎「設定」タブのウィンドウの各項目の説明

「話者」
男性の音声か女性の音声を選べます。
「男性」または「女性」の左の○をクリックして選びます。

「テンポ」
読み上げ速度を調整します。
□をトラックボールでドラッグして左右に動かして調整します。

「ピッチ」
音声の高さを調整します。
□をトラックボールでドラッグして左右に動かして調整します。

「アクセント」
抑揚の強弱を調整します。
□をトラックボールでドラッグして左右に動かして調整します。

「桁読み」
数字の読み方を選べます。「123」を「ひゃくにじゅうさん」と読みのが「桁読み」、「いちにさん」と読むのが「棒読み」です。「棒読み」を設定すると、例の文章では、「125円」を「イチニーゴエン」と読みます。
「桁読み」または「棒読み」の左の○をクリックして選びます。

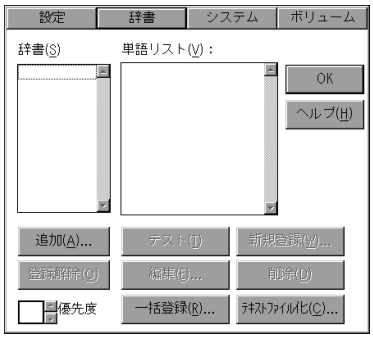
「記号」
記号を読むか読まないかを選びます。「読む」を設定すると、例の文章の「株価」の部分は、「ハジメカギカッコ、カブカ、オワリカギカッコ」と読みます。
「読む」または「読まない」の左の○をクリックして選びます。

「アルファベット」
大文字/小文字を区別するかしないかを選びます。例えば大文字/小文字の区別がされていると、辞書に登録されている「hello」は「ハロー」と読み上げますが、登録されていない「HELLO」は「hello」とは区別して扱われ「エイチイーエルエルオー」と読み上げます。
「大/小文字を区別する」にチェックをつけると大文字/小文字を区別します。

「区切りモード」
読み上げるときの区切りを設定します。
各項目の左の○をクリックして選びます。

◎「辞書」タブのウィンドウ

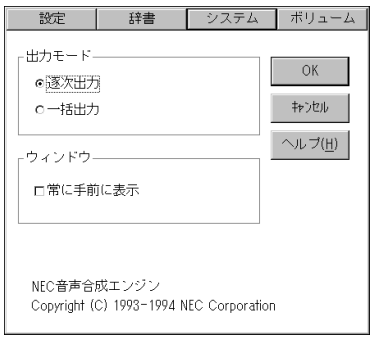
「辞書」タブをクリックすると表示されます。



システム辞書にない単語は、ユーザー辞書を作成して追加できます。ユーザー辞書は15種類まで登録可能です。複数の辞書を登録する場合は、参照する優先順位を指定できます。ユーザー辞書は、常にシステム辞書に優先して参照されます。

◎「システム」タブのウィンドウ

「システム」タブをクリックすると表示されます。



音声信号の合成を、短い単位で行うか、一文単位で行うかを設定します。また、「テキストリーダ」ウィンドウを常にデスクトップの一番手前に置く設定もできます。

◎「ボリューム」タブのウィンドウ

「ボリューム」タブをクリックすると「ボリュームコントロール」ウィンドウ表示されます。

参照
・ボリュームコントロール→PART 5「サウンド機能」

セットアップされていないアプリケーションの使用

本機には、あらかじめ、さまざまなアプリケーションが入っていますが、それ以外にもセットアップされていないものがいくつか添付されています。それらを使用するときには、セットアップが必要です。

セットアップが必要なアプリケーションや機能

本機購入時にはセットアップされていないアプリケーションや機能のセットアップ方法を説明します。セットアップされていない機能やアプリケーションは以下の通りです。

- 一太郎Office8の一部の機能（一太郎モデル）
- Microsoft Excel 97の一部の機能（Wordモデル）
- Microsoft Word 98の一部の機能（Wordモデル）
- Microsoft Outlook 97の一部の機能（Wordモデル）
- Microsoft Outlook 98（Wordモデル）
- Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic（Wordモデル）
- テキストリーダ
- AOL
- NIFTY MANAGER
- Hover

一太郎 Office8（一太郎モデル）

■ セットアップされている機能

本機にセットアップされている一太郎Office8は「標準」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。使用できる機能については、『一太郎Office8セットアップ&オーバービュー』の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」の一覧をご覧ください。

「標準」以外の機能を使用したい場合は、添付の「一太郎Office8CD-ROM」から追加する必要があります。詳しくは、『一太郎Office8セットアップ&オーバービュー』の「アプリケーション追加・削除を利用します」をご覧ください。

また「一太郎8バリューパックプラス」の機能は、購入時にはセットアップされていません。使用したい場合、別途セットアップが必要です。バリューパックプラスのセットアップ方法については、『一太郎8バリューパックプラスセットアップ』をご覧ください。

■ 「JSクイックサーチファイル 自動更新」の登録

本機の購入時は、一太郎8の「JSクイックサーチファイル 自動更新」機能は「スタートアップ」に登録されていません。
登録したい場合は、次の手順で設定してください。

① 「スタート」→「JUSTSYSTEM 一太郎Office」→「JUSTSYSTEM ツール&ユーティリティ」→「アプリケーション追加・削除」をクリック。
「一太郎Office8のセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

② 「次へ」をクリック。
「一太郎Office8の追加と削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの追加・削除」がチェックされていることを確認します。

③ 「次へ」をクリック。
「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

「ファイルの追加」がチェックされていることを確認します。

④ 「次へ」をクリック。
「コピーするファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。

⑤ 「一太郎」をチェックして、「詳細機能を選択」をクリック。
一太郎の詳細機能を選ぶウィンドウが表示されます。

⑥ 「一太郎」をチェックして「OK」をクリック。
「コピーするファイルの詳細選択」ウィンドウに戻ります。

⑦「次へ」をクリック。
「一太郎Office8を登録するグループの選択」ウィンドウが表示されます。

⑧「次へ」をクリック。
「セットアップするフォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

⑨「次へ」をクリック。
「ファイルのコピー開始」ウィンドウが表示されます。

⑩「一太郎Office8 CD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットする。

⑪ しばらく待ってから、「コピー開始」をクリック。
「一太郎Office8のセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

⑫「セットアップ終了」をクリック。
登録が完了します。

Microsoft Excel 97、Microsoft Word 98、Microsoft Outlook 97（Wordモデル）

本機にセットアップされているMicrosoft Excel 97、Microsoft Word 98、Microsoft Outlook 97は「標準セットアップ」でセットアップされており、購入時の状態ですべての機能を利用できるわけではありません。一部の機能は、添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMからセットアップする必要があります。

また、「バリューパック」の機能は、購入時にはセットアップされていません。使用したい場合、別途セットアップが必要です。

「標準セットアップ」では使えない機能のセットアップ方法とバリューパックのセットアップ方法について、詳しくは、Excel 97 & Word 98 & Outlook 97添付の『お使いになる前に』をご覧ください。

Microsoft Outlook 98（Wordモデル）

添付のCD-ROMをDVD-ROMドライブにセットして、セットアップを行ってから使用してください。
セットアップ方法については、Outlook 98の『お使いになる前に』をご覧ください。

Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic（Wordモデル）

添付のCD-ROMをDVD-ROMドライブにセットして、セットアップを行ってから使用してください。
セットアップ方法については、それぞれのCD-ROMに付属のマニュアルをご覧ください。

その他のアプリケーション

次のアプリケーションやゲームは、購入時には本機にセットアップされていません。使いたい場合は、別途セットアップする必要があります。セットアップ方法については、この項で説明します。

- テキストリーダ
- AOL
- NIFTY MANAGER
- Hover

セットアップする前に

購入時には本機にセットアップされていないアプリケーションの概要を説明します。セットアップする前に、必要なことを確認してください。

機能の概要

- テキストリーダ
  文章（テキストデータ）を音声で読み上げてくれるアプリケーションです。入力した文章を耳で聞いて確認したい場合などに便利です。（使い方については→PART1「テキストリーダの使用」）
- AOL
  パソコン通信サービス「AOL」にアクセスして、AOLのさまざまなサービスを利用することができます。
- NIFTY MANAGER
  パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」にアクセスして、NIFTY SERVEのさまざまなサービスを利用することができます。
- Hover
  敵に自分の旗がすべてとられる前に、敵のすべての旗を集めていくゲームです。

上記のアプリケーションの中に、使いたいアプリケーションがある場合は、以降の「セットアップする」をご覧になりアプリケーションをセットアップしてください。使いたいアプリケーションがない場合、これ以降は読む必要はありません。

セットアップする

テキストリーダのセットアップ

「テキストリーダ」のセットアップを説明します。

① 本機添付の「アプリケーションCD-ROM」を用意する。

② 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
（「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」）

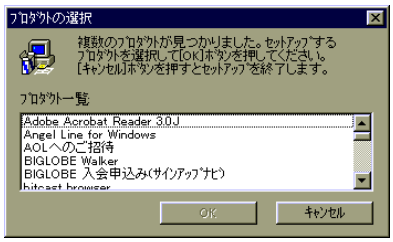
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③ 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

④ 「アプリケーションCD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットして、「次へ」をクリック。
「セットアッププログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

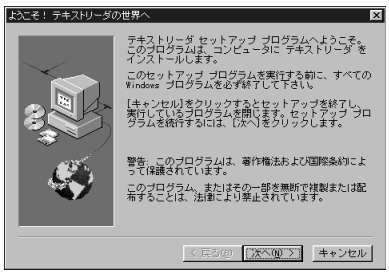
「セットアッププログラムのコマンドライン」欄が、「<DVD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっていることを確認します。<DVD-ROMドライブ名>は通常は<Q>です。

⑤ 確認したら、「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。



⑥ 「テキストリーダ」をクリック。
「テキストリーダ」が反転表示になります。

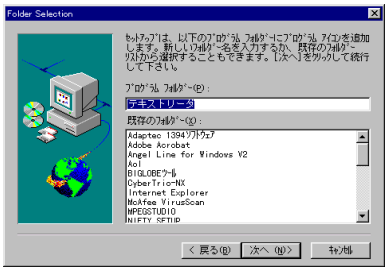
⑦ 「OK」をクリック。
「ようこそ！ テキストリーダの世界へ」ウィンドウが表示されます。



⑧ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

通常は、あらかじめ設定されたインストール先を変更する必要はありません。インストール先を変更したいときは、「参照」をクリックします。

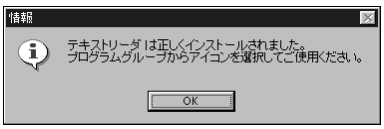
⑨「次へ」をクリック。
次の画面が表示されます。



通常は、あらかじめ設定されたプログラムアイコンの登録先フォルダを変更する必要はありません。プログラムアイコンの登録先フォルダを変更したいときは、「既存のフォルダ」より選ぶか、直接「プログラムフォルダ」に登録するフォルダ名を入力します。

⑩「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

インストールが終了すると次の画面が表示されます。



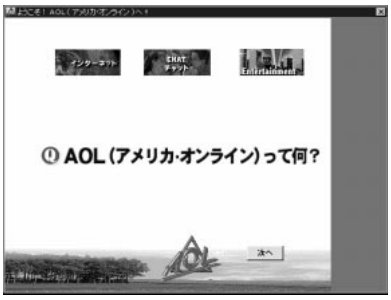
⑪「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

AOLのセットアップ

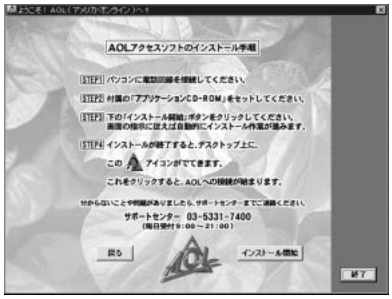
「AOL」のセットアップを説明します。

① 本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットする。

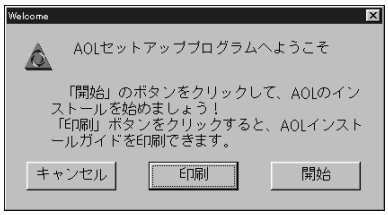
② 「AOLへのご招待」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「AOLへのご招待」または「スタート」→「プログラム」→「AOL」→「AOLへのご招待」)
AOLの紹介画面が表示されます。



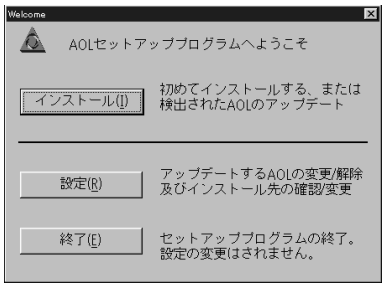
しばらくすると「次へ」ボタンが表示されますので、次々と「次へ」をクリックしていき、画面の内容を読んで操作を進めてください。「次へ」を7回クリックすると、次の画面が表示されます。



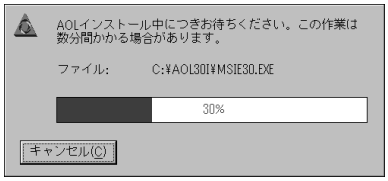
③「インストール開始」をクリック。
次の画面が表示されます。



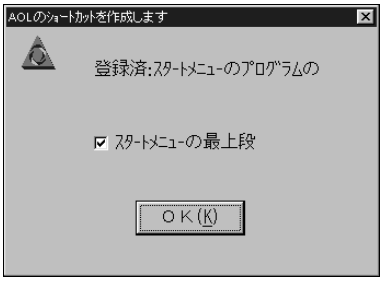
④「開始」をクリック。
次の画面が表示されます。



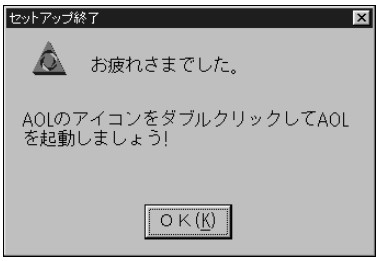
⑤「インストール」をクリック。
インストールが始まります。



途中で「AOLのショートカットを作成します」ウィンドウが表示されます。



⑥「OK」をクリック。
「お疲れさまでした。」と表示されます。



⑦「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

参照
・AOLの使い方→『AOLハンドブック』

NIFTY MANAGERのセットアップ

「NIFTY MANAGER」のセットアップを説明します。

① 本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットする。

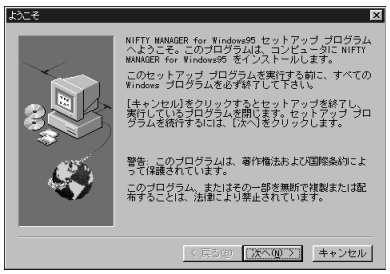
② 「ニフティサーブへようこそ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「ニフティサーブへようこそ」または「スタート」→「プログラム」→「NIFTY SETUP」→「ニフティサーブへようこそ」)
ニフティサーブの紹介画面が表示されます。

Copyright© 1995-1998 NIFTY Corporation. All rights reserved.

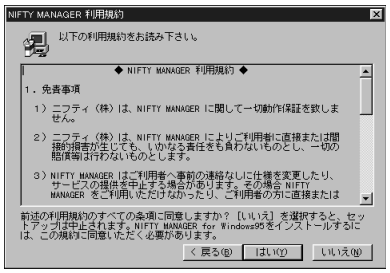
「次へ」ボタンが表示されますので、次々と「次へ」をクリックしていき、画面の内容を読んで操作を進めてください。

「次へ」を6回クリックすると、次の画面が表示されます。

③「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。



④「次へ」をクリック。
「NIFTY MANAGER 利用規約」ウィンドウが表示されます。



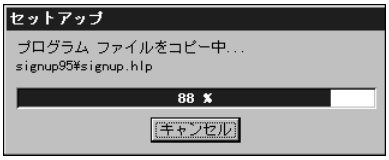
重要なことが記載されています。よくお読みください。

⑤「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

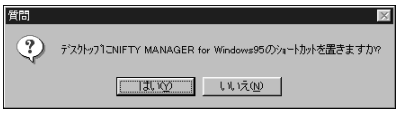
通常は、あらかじめ設定されたインストール先を変更する必要はありません。インストール先を変更したいときは、「参照」をクリックします。

⑥「次へ」をクリック。
「情報を引き継ぎますか?」という内容のメッセージが表示されたときは、「いいえ」をクリックしてください。

インストールが始まります。



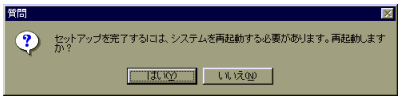
インストールが終了すると、次のメッセージが表示されます。



⑦「いいえ」をクリック。
「質問」ウィンドウが表示されます。

読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックします。ここで読まなくても後でゆっくり読むこともできます。

⑧「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
次の画面が表示されます。



⑨「はい」をクリック。
Windowsが再起動します。
これでインストールは完了です。

チェック!!

NIFTY MANAGERをインストールすると、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」の一覧に「Data Access Objects(DAO)3.5」が追加されますが削除しないでください。
DAOを削除すると、アプリケーションによっては使用できなくなる場合があります。

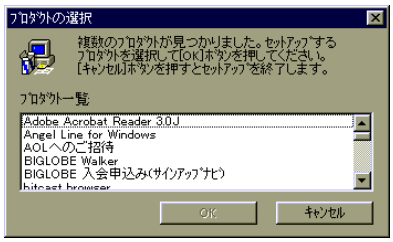
参照

・NIFTY SERVEへの入会方法→『ニフティサーブ イントロパック』

Hoverのセットアップ

「Hover」のセットアップを説明します。

①「テキストリーダのセットアップ」の手順①～⑤を実行する。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。



②「その他のアプリケーション セットアップ」をクリック。
反転表示になります。

③「OK」をクリック。
「その他のアプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。

⑤「カスタム」をクリック。
「カスタム」を選んだ状態になります。

⑥「次へ」をクリック。
「次」のウィンドウが表示されます。

⑦「HOVER」のチェックボックスをクリック（チェックボックスにチェックをつける）して、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると次のウィンドウが表示されます。

⑧「完了」をクリック。
これでインストールは完了です。

削除する

テキストリーダの削除

「テキストリーダ」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

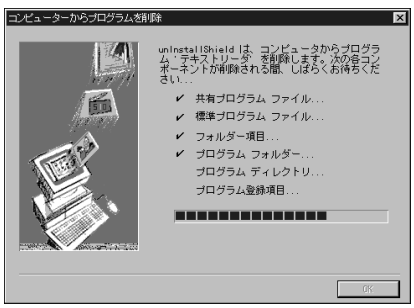
①「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
（「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」）

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

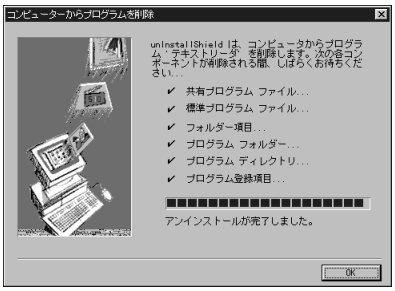
②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から、「テキストリーダ」を選んでクリック。
「テキストリーダ」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
次の画面が表示されます。

④「はい」をクリック。
削除が始まります。



削除が終了すると、次の画面になります。



⑤「OK」をクリック。

チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除完了です。

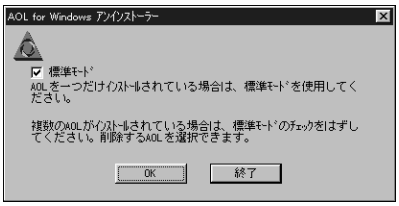
AOLの削除

「AOL」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

①「テキストリーダの削除」の手順①を実行する。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「AOL」をクリック。
「AOL」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「AOL for Windows アンインストーラー」ウィンドウが表示されます。

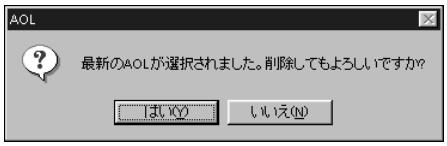


④「標準モード」のチェックマークをはずす。

⑤「OK」をクリック。
「AOL for Windows アンインストーラー」ウィンドウが表示されます。

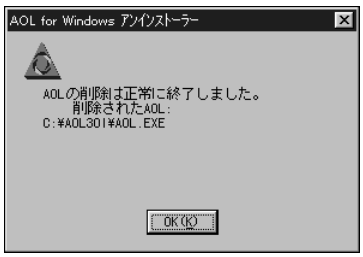
⑥「C:¥AOL301¥AOL.EXE」をクリック(反転表示)する。

⑦「削除」をクリック。
「最新のAOLが選択されました。削除してもよろしいですか?」のメッセージが表示されます。

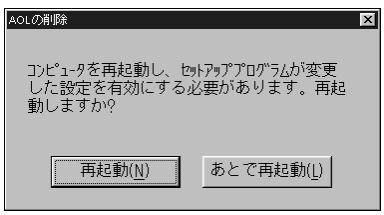


⑧「はい」をクリック。
削除が始まります。

削除が終了すると、「AOLの削除は正常に終了しました。」のメッセージが表示されます。



⑨「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されます。



⑩「再起動」をクリック。
Windowsが再起動します。

チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除完了です。

NIFTY MANAGERの削除

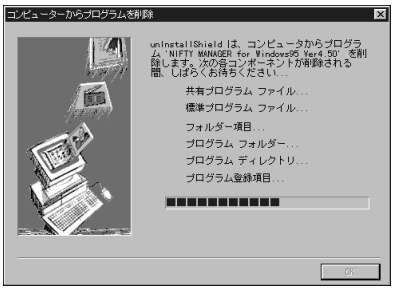
NIFTY MANAGER」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

①「テキストリーダの削除」の手順①を実行する。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

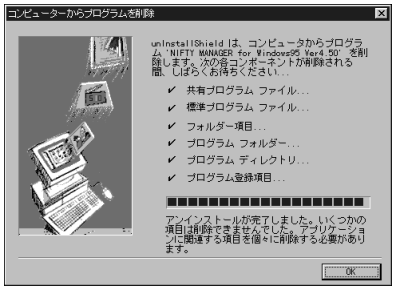
②「セットアップと削除」一覧から「NIFTY MANAGER for Windows95 Ver4.60」をクリック。
反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
削除確認のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
削除が始まります。



⑤「NIFTY MANAGERを再インストールした場合のために登録情報を保存しておきますか?」と表示されたら、「はい」をクリック。
削除が終了すると、次の画面になります。



⑥「OK」をクリック。

チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除完了です。

Hoverの削除

「Hover」が不要になったときは、次の手順で削除できます。

①「テキストリーダの削除」の手順①を実行する。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

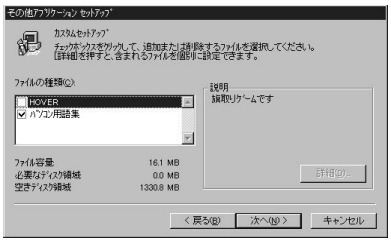
②「セットアップと削除」一覧から「その他アプリケーション セットアップ」をクリック。
反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「その他アプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」のウィンドウが表示されます。

⑤「カスタム」をクリックして、「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。

⑥「Hover」のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。



⑦「次へ」をクリック。
削除が始まります。
しばらくすると次のウィンドウが表示されます。

⑧「完了」をクリック。

チェック!!

「ランチ-NXからの問い合わせ」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

これで削除完了です。

PART

2

インターネット＆パソコン通信

- 音声入力でのメールの送信〈しゃべっていいメール〉
- ホームページを探す〈ジェットサーファー〉
- 利用料金の管理、オートパイロット〈インターネットアクセスマネージャ〉
- パソコン通信
- ダイヤルアップネットワーク

音声入力でのメールの送信〈しゃべっていいメール〉

「しゃべっていいメール」は、ボイスノート機能（音声による文章入力機能）を備えた電子メールソフトです。別売のマイクロホンに向かってしゃべることで、簡単にメールの文章が作成できます。

概要

「しゃべっていいメール」には2つの重要な機能があります。ひとつはマイクロホン（別売）に向かってしゃべることにより文章の入力を行うという機能です。つまりキーボードから入力するのではなく、音声をこのソフトが認識して文章に変換してくれるのです。ただし、ワイヤレスキーボードは使います。たとえば変換された文章が、自分の意図とは異なって変換されたときの修正操作に必要です。

このように音声を文章に変換する機能を「ボイスノート機能」と呼びます。ボイスノート機能を使うには準備が必要です。それはこのソフトがあなたの音声を知らないからであり、またあなたに正しい方法でしゃべってもらう必要があるからです。そこでボイスノート機能を使う前に、「入力レベル調整」や「話者学習」などの準備が必要になるのです。

「しゃべっていいメール」のもうひとつの重要な機能は、電子メール機能です。つまり、電子メールのやり取りをする機能です。この機能があれば、「ボイスノート機能」で作成した文章をメールとして送ることができます。ただし、電子メールのやり取りを行うためには、本機が電話回線に接続されていることはもちろん、電子メールの受け渡しをしてくれるプロバイダという業者が必要です。

このあたりのことを、実際の郵便による手紙のやり取りにたとえて説明しましょう。まず、便箋にペンで手紙を書きます。これは電子メールでは、パソコンを使って行います。次に手紙を封筒に入れて封をし、住所と宛名を書いて切手を貼り、この手紙を郵便局に届けます。これに相当する作業を行うのが電子メールソフトです。届ける手段として電話回線を使います。この郵便局から全国の、あるいは全世界の宛先へあなたの手紙が届くのです。この郵便局に相当するのがプロバイダです。

ただし、プロバイダは郵便局と異なり、契約をした人の手紙しか受け付けてくれません。つまり、電子メールをやり取りしたいときには、このプロバイダとの契約が事前に必要になります。

「しゃべっていいメール」はあくまでも電子メールソフトであり、このソフトを使って、後で説明するようにメールを送るときは、プロバイダと接続されていることが前提となっています。

参照
プロバイダとの接続→『インターネット入門』の「PART3　BIGLOBEに入会する」

準備

ボイスノート機能を使うために

チェック!!

ボイスノート機能を使うには、別売のマイクロホンが接続されている必要があります。

ボイスノート機能を上手にお使いいただくには、次の手順を行ってください。

① 「入力レベル調整」を行う。
入力レベル調整が正しく行われないと、うまく文章を入力できなくなります。

② 「話者学習」を行う。
話者学習をすると、認識率、変換速度が向上します。少なくとも50単語分登録することをおすすめします。

③ 「音声入力の例」を実行する。
ボイスノート機能を使って文章を入力するには、単語単位で区切って発声する必要があります。

例 今日/は/いい/天気/です/ね/。（まる）

チェック!!

音声入力の例を見るには、「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「音声入力の例」を選んでください。その他の例については、「しゃべっていいメールのヘルプ」の「メールを書く」の「音声による文章入力」を参照してください。

④「しゃべっていいメール」または「ボイスペン」を起動して、ボイスノート機能を使って文章を入力する。
間違って変換された単語が入力されていても、あとから候補のなかから選んで修正できますので、とにかく一文を最後まで入力してください。

⑤ 間違って変換された単語を修正する。
正しい文章に変換されたときは引き続き文章を入力してください。

より高速な変換を望まれる方は、「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「はじめにお読みください」内容をご覧ください。

正しい文章に変換されないときは、次の手順に進んでください。

⑥ 間違えた単語の上にカーソルを持ってきて「候補の表示」と発声する。
修正候補の一覧が表示されます。

ここで「再生」をクリックして、今入力した音声を聞いてみてください。

声が小さすぎたり、大きすぎたり、または、息のかかる声や雑音が混じっていないかどうかを確認してください。

該当する場合手順①へ戻ってください。
該当しない場合手順②へ戻ってください。

チェック!!

・レベルメーターが振れない場合は声が小さすぎます。一番上まで振り切っている場合は、声が大きすぎます。もう一度「入力レベル調整」を調整してください。

・息のかかる音や雑音がはいる場合はマイクロホンの扱い方に注意していただく必要があります。詳しくは後述の「マイクロホンを取り扱うときの注意」をご覧ください。

・周囲が少し騒がしいところでお使いになる場合は、弊社製品「ヘッドセットマイク」(PC-9801-128)をお買い求めください。(発売中)

・話者学習は、追加して行うことができます。100単語、150単語、…と追加していくことによって認識率、変換速度が向上していきます。

マイクロホンを取り扱うときの注意

ボイスノート機能を使うときのマイクロホンの扱い方として次のことに注意してください。

・周囲の騒音のため、発声した音声が正しくひろえないことがありますので、できるだけ静かな環境で使用してください。

・マイクロホンに息が吹きかかると、発声した音声がマイクロホンで正しくひろえないことがありますので、マイクロホンから少し口を離す(ヘッドセットマイクでは2cm、その他では10cm程度)、スポンジまたはガーゼ等でマイクロホンを包むなど、マイクロホンに直接息がかからないようにしてください。

・口とマイクロホンの距離は常に一定になるようにして、発声してください。また声の大きさもなるべく一定になるように注意して発声してください。

・うまく文章入力ができていないときは、候補選択ウィンドウを表示させて、再生を行い、発声した音声を聞いてみてください。小さすぎて聞き取りにくかったり、大きすぎて音声が歪んでいたりしませんか?この場合には、「入力レベル調整」をやり直した後、上記のマイクロホンの扱い方に十分に注意して発声するようにしてください。

ボイスノート機能の設定

「しゃべっていいメール」を使う前に、まずボイスノート機能を使うための、次の2つの設定があります。

・「入力レベル調整」
マイクロホンからの音声入力のレベルを適切な値に調整します。ボイスノートを使う場合は、必ず行ってください。

・「話者学習」
発声する人の発声の特徴を本機に記憶させます。必ずしも行う必要はありませんが、これを行うと、音声の認識精度が高くなり、音声から文字への変換の正確さが向上します。

「入力レベル調整」

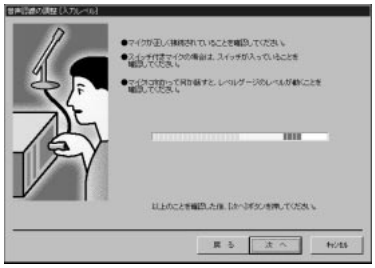
①「入力レベル調整」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「入力レベル調整」)

② 「次へ」をクリック。
マイクロホンを選ぶ画面になります。

③ 使っているマイクロホンのタイプを選ぶ。
使っているマイクロホン名称の前のボタンをクリックしてください。チェックがつきます。

④ 「次へ」をクリック。

⑤ マイクロホンに向かって発声してレベルゲージが動くことを確認する。
レベルゲージが動くことが確認されると、「次へ」が濃く表示されるようになります。



⑥ 「次へ」をクリック。

⑦ BGMが聞こえることを確認する。
BGMの音が小さすぎたり大きすぎたりする場合は、ゲージをドラッグして音量を調整してください。

⑧ 「次へ」をクリック。

⑨ ふかれ音を聞いてみる。
「ふかれ音あり」をクリックするとふかれ音の入った音声が流れます。マイクロホンよりこのような音声が入力されると正しく音声認識ができません。「ふかれ音なし」をクリックして正しい音声と比較してみてください。

チェック!!
「ふかれ音」とは、マイクロホンの入り口に風があたることによって発生する雑音のことです。

⑩ 「次へ」をクリック。

⑪ マイクロホンの扱いについての注意事項を確認する。
画面に表示されるマイクロホンの取り扱いについての注意事項を確認してください。

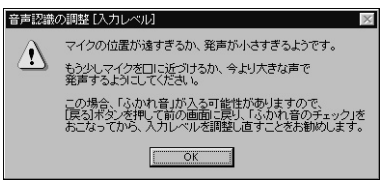
⑫「次へ」をクリック。

⑬ ふかれ音を確認する。
「開始」をクリックしてマイクロホンに向かって発声してください。「再生」をクリックして発声した音を聞いてください。ふかれ音が入っていればマイクロホンの角度を変えたりして「もう一度」をクリックして再発声してください。ふかれ音が入らなくなったら次へ進みます。

⑭「次へ」をクリック。

⑮ 入力レベル（マイクロホンの音量）を自動調整する。
「開始」をクリックして、文章を単語ごとに画面の反転表示に従って発声してください。マイクロホンの音量が自動的に調整されます。音量調整が完了すると画面の中央に「入力レベルの調整が完了しました」のメッセージが表示されます。

入力レベルの調整がうまくできないときは、次のメッセージが表示されます。メッセージに従って、やり直してください。



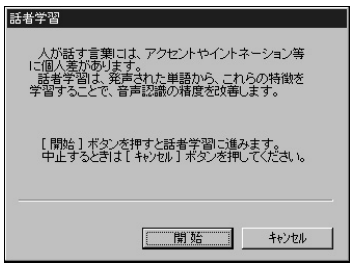
入力レベルの調整がうまくできると、次の画面になります。

⑯「次へ」をクリック。

⑰「終了」をクリック。
これで、入力レベルの調整は完了です。

「話者学習」

①「話者学習」を起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「話者学習」）
「話者学習」ウィンドウが表示されます。



②「開始」をクリック。
「話者学習1/2」ウィンドウが表示されます。

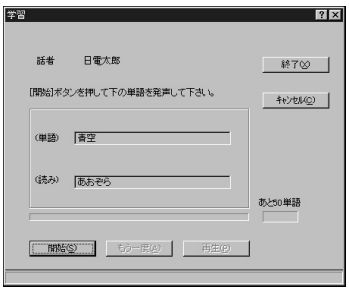
「新しい話者で学習を行います」が選ばれていることを確認します。

③「次へ」をクリック。
「話者学習2/2」ウィンドウが表示されます。

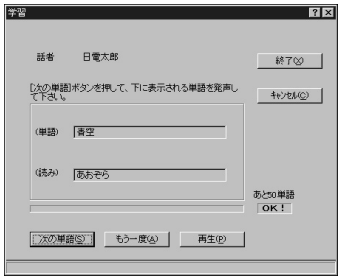
④「話者名」に名前を入力し、「ベースにする話者」を選ぶ。

「共通」というのは特に「男性」「女性」という特徴を持たないモデルタイプです。

⑤「完了」をクリック。
「学習」ウィンドウが表示されます。



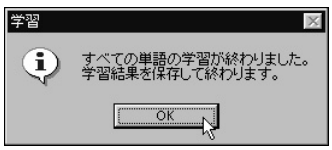
⑥「開始」をクリックして、表示されている単語（1回目は「あおぞら」）をマイクロホンに向かって発声する。
その単語の発声がOKであれば、次のような画面が表示されます。



「もう一度発声することをおすすめします」のメッセージが表示されたときは、「はい」ボタンをクリック後、「もう一度」ボタンをクリックして、もう一度発声を行ってください。「OK」になるまで繰り返してください。

⑦「次の単語」をクリック。
次の単語が表示されますので、次の単語の発声を行ってください。以降、同様に全50単語の発声を行ってください。

最後の単語の発声が終わると次のメッセージが表示されます。



チェック!!

50単語をすべて発音せずに途中で「終了」ボタンをクリックして終了することもできます。その場合は、途中までの単語の学習結果が記憶されます。

⑧「OK」をクリック。
「学習」ウィンドウが閉じます。

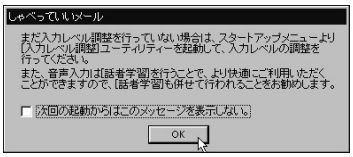
チェック!!

使い始めの頃はマイクロホンに向かって発声することにも不慣れであるため、使い始めの頃に「話者学習」を行ったときの発声が、ボイスノート機能を使い慣れてきたときの発声と違ってきたりすることもあります。ボイスノート機能をある程度使いこなし、マイクロホンに向かって発声することにも慣れてきた時点でもう一度「話者学習」を行うことをおすすめします。

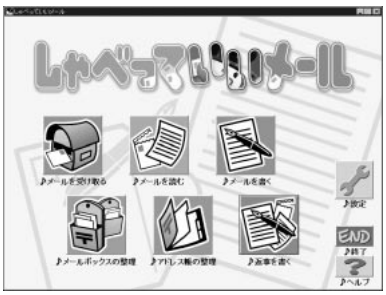
設定

「しゃべっていいメール」を使うために設定しておく必要のある各項目について説明します。手順に沿って、各設定を行ってください。

①「しゃべっていいメール」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」)
次のメッセージが表示されます。

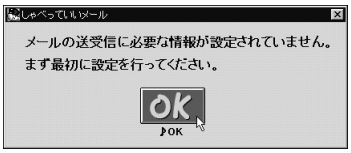


②「OK」をクリック。
「しゃべっていいメール」ウィンドウが表示されます。

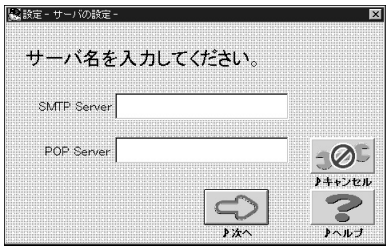


チェック!!

初めて「しゃべっていいメール」を起動した時は「まず最初に設定を行ってください」 のメッセージが表示されますので「OK」をクリックしてください。



③「設定」をクリック。
「設定 － サーバの設定」ウィンドウが表示されます。



④「SMTPサーバ」「POPサーバ」の名称を入力する。

チェック!!

- 「SMTPサーバ」「POPサーバ」の各名称はプロバイダに加入したときにプロバイダから 通知されます。(BIGLOBEでは「インターネットメールサーバ」のことです。)
- 画面に入っているサーバ名は架空のものです。

参照
- BIGLOBEの「インターネットメールサーバ」→『インターネット入門』の「PART3 BIGLOBEの入会手続きを行う」

⑤「次へ」をクリック。
「設定 － メールアドレスの設定」ウィンドウが表示されます。

⑥ 自分のメールアドレスを入力する。

参照
- BIGLOBEの「電子メールアドレス」→『インターネット入門』PART 3「BIGLOBEの入会手続きを行う」

⑦「次へ」をクリック。
「設定 － アカウントの設定 －」ウィンドウが表示されます。

⑧「ユーザ名」と「パスワード」を入力する。

チェック!!

- ユーザ名（IDともいう）とパスワードはプロバイダに加入したときの申請により、プ ロバイダより与えられます。（BIGLOBEではそれぞれ「ユーザ ID」と「パスワード」のことです。）
- 画面に入っているユーザ名は架空のものです。

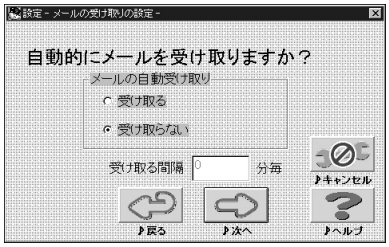
参照

- BIGLOBEの「ユーザ ID」「パスワード」→『インターネット 入門』PART 3「BIGLOBEの入会手続きを行う」

⑨「次へ」をクリック。
「設定 － フルネームの設定 －」ウィンドウが表示されます。

⑩ 自分の名前を入力する。

⑪「次へ」をクリック。
「設定 － メールの受け取りの設定－」ウィンドウが表示されます。



「メールの 自動受け取り」の設定を行います。「受け取る」を設定すると、「しゃべっていいメール」を起動した状態のときに、一定時間間隔で自動的に新しいメールが届いていないかを調べ、届いていれば受け取ります。

「受け取る」とした場合は「受け取る間隔」を数字で入れてください。単位は「分」です。「受け取る間隔」は最大120分です。15分以上に設定することをおすすめします。

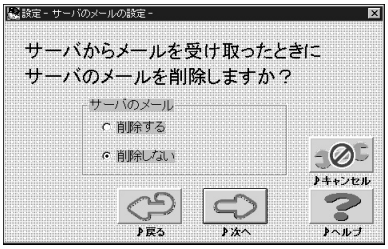
⑫「次へ」をクリック。
「設定 － 送信メールの設定－」ウィンドウが表示されます。

「送信メール」で、送信したメールを送信控えに保管するかどうかを設定します。

「保管する」にすれば、送信したメールはすべて「送信控え」というメールボックスに保管されます（メールボックスとは、メールを入れておく箱と考えてください）。わかりやすく言うと、メールを送信する前にメールのコピーをとって「送信控え」という名前のついたメール用の箱に入れておくということになります。

「保管しない」にすると、メールはどこにも保管されません。送信したメールの内容を後で確認したくなることもありますので、ここでは「保管する」に設定することをおすすめします。

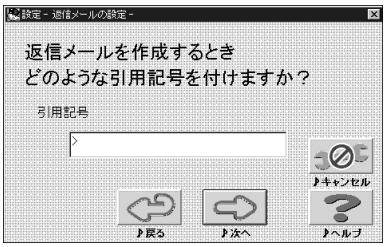
⑬「次へ」をクリック。
「設定 － サーバのメールの設定－」ウィンドウが表示されます。



サーバからメールを受け取ったときに、サーバのメールを削除するかどうかを設定します。設定を「削除する」にすると、メールを受け取ると同時にプロバイダのサーバにあるメールを削除します。

「削除しない」にすると、メールを受け取ってもサーバのメールは削除されません。複数のパソコンで同じメールを受信する必要のある方は、「削除しない」を選んでください。通常は「削除する」を選んでください。

⑭「次へ」をクリック。
「設定 － 返信メールの設定－」ウィンドウが表示されます。



返信メールの引用文字を設定します。メールの返事を書くときに、相手からきた元のメールの各行の先頭に、ここで設定した記号が入ります。元のメールを引用して返事を書く場合、元のメールの部分（各行の先頭に、ここで設定した記号が入っている）と返事の部分の区別がすぐにつくようになります。引用記号のところに任意の記号を入れることができます。

⑮「次へ」をクリック。
「設定 － 署名の設定－」ウィンドウが表示されます。

「付ける」を選ぶと、メールを書くときに、メールの文章を書くところにいつも署名が入るようになります。「付ける」の設定にするときは、次の設定に行く前に「編集」をクリックして、「署名の作成」ウィンドウで署名を作成します。 署名の作り方はメールの書き方と同じです。

ここでは、いったん「付けない」にしておきます。「メールを書いて送る」で実際にメールを書く練習をしてから、ここの設定を「付けない」から「付ける」に変更して署名を作成することをおすすめします。したがって、署名の作り方の説明はここでは省きます。

⑯「次へ」をクリック。
「設定 － ごみ箱メールボックスの設定－」ウィンドウが表示されます。

削除したメールをごみ箱メールボックスに保管するかどうかを設定します。

「保管する」に設定すると各メールボックスよりメールを削除すると、削除したメールはいったん、ごみ箱メールボックスに入ります。誤ってメールを削除した場合でも、すぐにごみ箱メールボックスより持ってくることができます。誤ってメールボックスよりメールを削除したときのことを考えて、ここでは「保管する」に設定することをおすすめします。ごみ箱に入ったメールは「ごみ箱を空にする」と指定すると完全に削除されます。

⑰「OK」をクリック。
これで「設定」は終了です。なお、各設定はこの操作手順通りにやり直すことで、いつでも変更できます。

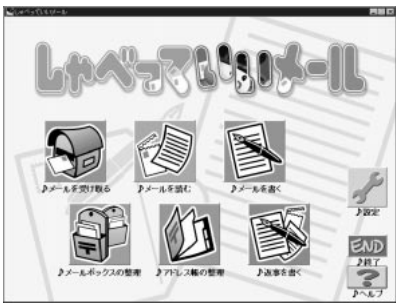
チェック!!

最後に「OK」をクリックしないと、それまでに設定した内容がすべて破棄されます。最後には必ず「OK」をクリックしてください。

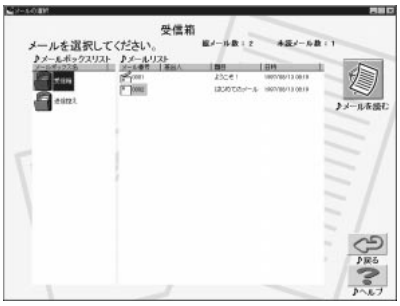
メールを読む

「しゃべっていいメール」の「受信箱」メールボックスには、あらかじめ2件のメールが入っています。これを読んでみましょう。

① 「しゃべっていいメール」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」)



② 「メールを読む」をクリック。
「メールの選択」ウィンドウが表示されます。



③ 読みたいメールの「メール番号」をクリック。
(例 「0002」の「はじめてのメール」を選ぶ)
選ばれたメールの「メール番号」の部分が反転表示になります。

④ 「メールを読む」をクリック。
メールが表示されます。

⑤ 「メール読み上げ」をクリック。
メールの文章が読み上げられます。

⑥ 「戻る」をクリック。
「メールの選択」ウィンドウへ戻ります。

メールを書いて送る

「メールを読む」で見た「はじめてのメール」と同じような内容のメールを実際に書いて送信してみましょう。これは練習ですので、ここで書いたメールは自分のメールアドレスに送信してみます。ここでの操作を行う前に、アドレス帳に自分のメールアドレスを登録しておきます。

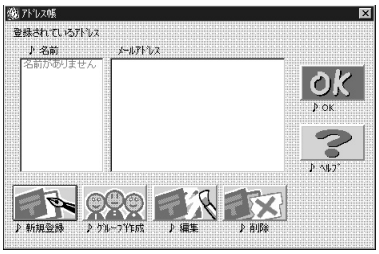
チェック!!

実際のメールのやり取りには、プロバイダと接続されていることが前提となります。

アドレス帳にメールアドレスを登録する

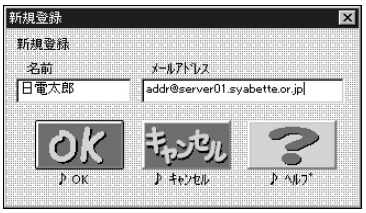
「しゃべっていいメール」では、送信先のメールやアドレスをアドレス帳から選んでメール送信を行います。メールのやりとりを行う相手のメールアドレスはアドレス帳に登録しておきましょう。ここでは、アドレス帳へのメールアドレスの登録方法を説明します。

①「しゃべっていいメール」の初期画面で、「アドレス帳の整理」をクリック。
「アドレス帳」ウィンドウが表示されます。

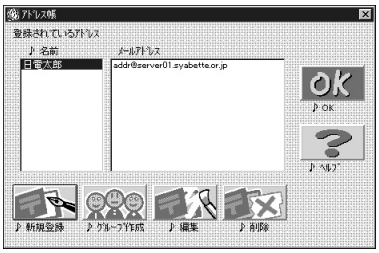


②「新規登録」をクリック。
「新規登録」ウィンドウが表示されます。

③「名前」と「メールアドレス」を入力する。



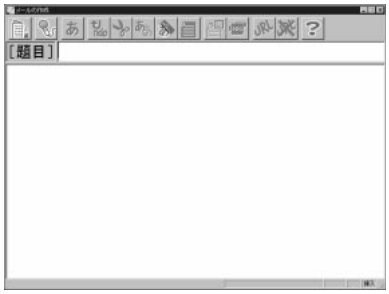
④「OK」をクリック。
「アドレス帳」にメールアドレスが登録されます。



メールを書いて送る

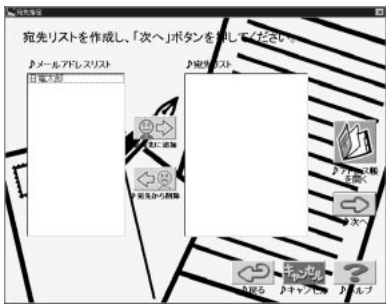
では、実際に「練習のメール」を書いてみます。

①「しゃべっていいメール」の初期画面で、「メールを書く」をクリック。
「メールの作成」ウィンドウが表示されます。

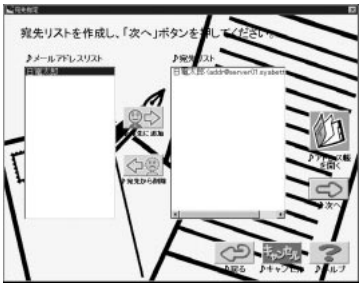


②「題目」に入力してから本文を入力する。

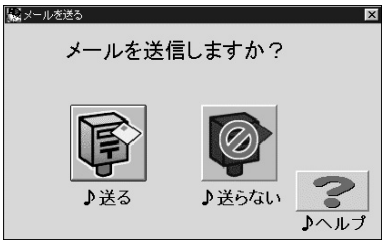
③ 入力が終了したら（作成終了）をクリック。
「宛先指定」ウィンドウが表示されます。



④「メールアドレスリスト」から送信先の名前をクリックして、「宛先に追加」をクリック。
「宛先リスト」に相手の名前と、メールアドレスが表示されます。



⑤「次へ」をクリック。
「メールを送る」ウィンドウが表示されます。



⑥「送る」をクリック。
接続が始まります。表示される指示に従って、接続操作をしてください。

送信が完了すると次のウィンドウが表示されます。

⑦「OK」をクリック。
「しゃべっていいメール」の初期画面に戻ります。

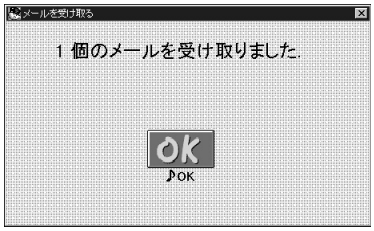
チェック!!

プロバイダとの接続は自動的には切断されません。送信が終了したら、必ず接続を切断してください。接続の切断は、タスクバーの右に表示されている をダブルクリックし、表示されたウィンドウで「切断」をクリックします。

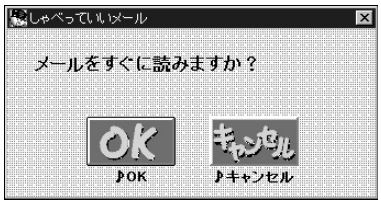
メールを受け取る

自分宛に送信したメールを受け取ってみましょう。

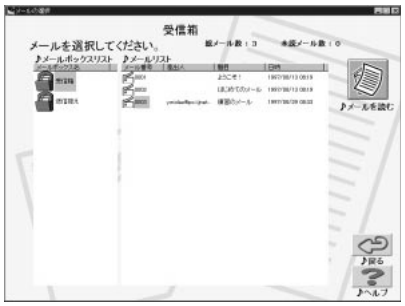
①「しゃべっていいメール」の初期画面で、「メールを受け取る」をクリック。
接続が始まり、しばらくして次のウィンドウが表示されます。



②「OK」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



③「OK」をクリック。
「メールの選択」ウィンドウが表示されます。
自分宛に送信した「練習のメール」が表示されています。



この後の、メールの読み方については、前述の「メールを読む」をご覧ください。

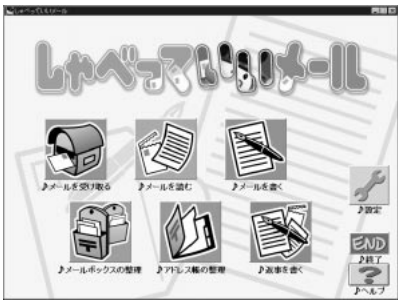
チェック!!

プロバイダとの接続は自動的には切断されません。送信が終了したら、必ず接続を切断してください。接続の切断は、タスクバーの右に表示されている をダブルクリックし、表示されたウィンドウで「切断」をクリックします。

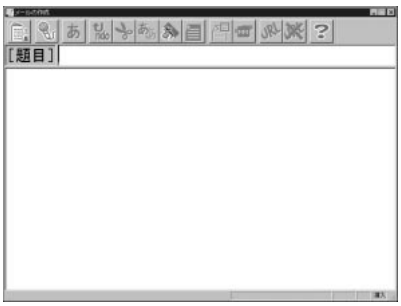
ボイスノート機能を使ってメールを書く

「練習のメール」をボイスノート機能を利用して作成してみます。

① 「しゃべっていいメール」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」)

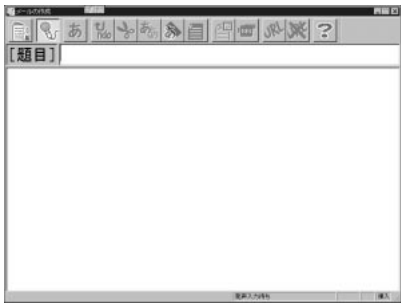


② 「メールを書く」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
「メールの作成」ウィンドウが表示されます。



ボタンの絵の下に「音符」が書いてあるボタンは音声コマンドで操作することができます。「音符」に続く語句を発声すれば、そのボタンをクリックしたのと同じ動作をします。音声コマンドは複数音節の語句でも区切らずに発声してください。うまく行かないときは、「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「音声入力の例」を参考にして練習してください。
文章はボイスノート機能を使って書いていきます。

③ 「入力開始」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
(マイク)が押された状態になります。



④ 「練習のメール」と発声する。
「れんしゅう」「の」「メール」と単語に区切って発声します。発声した文章が入力されますが、そのまま正確に入力されない場合が多いでしょう。

例えば次のように入力されたとします。

◎修正方法

誤っている単語の前にカーソルを移動し、「候補の表示」と発声、または、ダブルクリックします。候補の画面に該当する単語があれば、その単語の番号をマイクロホンに向かって発声します。または、その単語にカーソルを当てて、クリックします。

⑤ 「本文(ほんぶん)へ切り替え」と発声する。
本文の入力ができるようになります。

⑥ 同様に本文を発声しながら、入力する。

チェック!!

- 単語は一つずつ区切るようにマイクロホンに向かって発声してください。
- 「、」は「てん」、「。」は「まる」と発声してください。1文字分の空白を入れるには「ここにスペース」、改行するには「ここで改行」と区切らずに発声してください。

⑦ 文章を入力できたら、「入力終了」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
(マイク)が押されていない状態になり、ボイスノート機能を終了します。

メールを書くときに使用できる音声コマンド一覧

作成終了	さくせいしゅうりょう
音声入力開始	にゅうりょくかいし
音声入力終了	にゅうりょくしゅうりょう
フォント変更	ふぉんとへんこう
元に戻す	もとにもどす
切り取り	ここをきりとり
コピー	ここをこぴー
貼り付け	ここにはりつけ
すべて選択	すべてせんたく
挿し絵選択	さしえせんたく
ビデオ入力	びでおにゅうりょく
リンク設定	りんくせってい
リンク解除	りんくかいじょ
ヘルプ	へるぷひょうじ

カーソル位置を題目へ切り替え	だいもくえきりかえ
カーソル位置を本文へ切り替え	ほんぶんえきりかえ
改行	ここでかいぎょう
スペース入力	ここにすぺーす
候補選択ウィンドウ表示	こうほのひょうじ
カーソルの後ろの文字を削除	ここをさくじょ
カーソルの前の文字を削除	まえをさくじょ
カーソル位置を上へ移動	うええいどう
カーソル位置を下へ移動	したえいどう
カーソル位置を右へ移動	みぎえいどう
カーソル位置を左へ移動	ひだりえいどう
選択されている候補を削除	ここをさくじょ
候補選択ウィンドウを閉じる	こうほをとじる
次のページの候補	つぎのぺーじ
前のページの候補	まえのぺーじ

1番	いちばん
2番	にばん
3番	さんばん
4番	よんばん
5番	ごばん
6番	ろくばん
7番	ななばん
8番	はちばん
9番	きゅうばん
0番	ぜろばん

候補リスト内を上へ移動	うえ
候補リスト内を下へ移動	した
削除	さくじょ
最初	さいしょ
最後	さいご
確定	かくてい
再生	さいせい
再発声	さいはっせい

画像のメールを送る

「しゃべっていいメール」では、写真や絵などの画像をメールで送ることができます。

写真をメールに貼り付ける

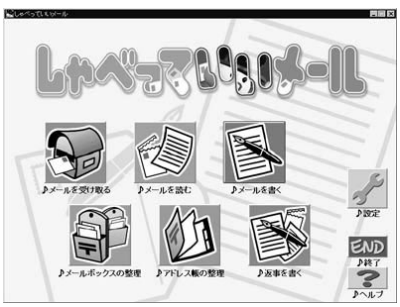
写真をメールに貼り付けて、送ってみましょう。
なお、ここでは、「PictureStudio」で別売のデジタルビデオカメラ(PK-MC201)を使って撮った写真を貼り付けます。

チェック!!

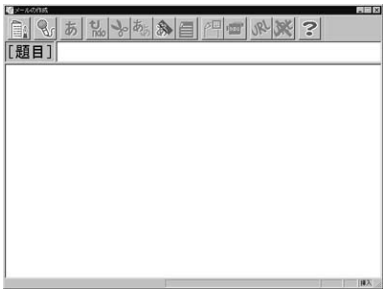
「しゃべっていいメール」では、IEEE1394コネクタに接続するデジタルビデオカメラは使用できません。

参照
・デジタルビデオカメラでの写真の撮りかた→『STEP3 活用』の「PART 4 オリジナルビデオを作ろう」

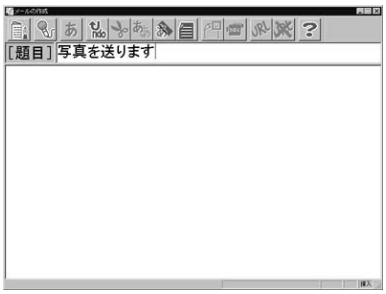
① 「しゃべっていいメール」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」)



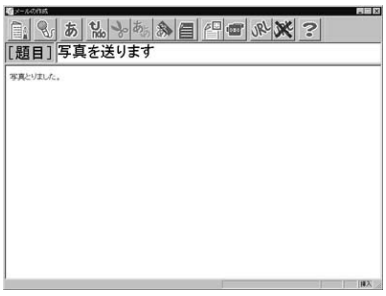
②「メールを書く」をクリック。
「メールの作成」ウィンドウが表示されます。



③「題目」にメールのタイトル（例：写真を送ります）を入力する。



④ 本文を入力する。



⑤ （挿し絵選択）をクリック。
「挿し絵選択」ウィンドウが表示されます。

⑥「フォルダ表示」をクリック。
「フォルダ表示」が「クリップアート表示」に変わり、フォルダの一覧が表示されます。

⑦ 画像の入っているフォルダを選ぶ。
（例：c:¥Program Files¥PictureStudio）
フォルダの中の画像の一覧が表示されます。

⑧ メールに貼り付ける画像を選ぶ。
選んだ画像が太い枠で囲まれます。

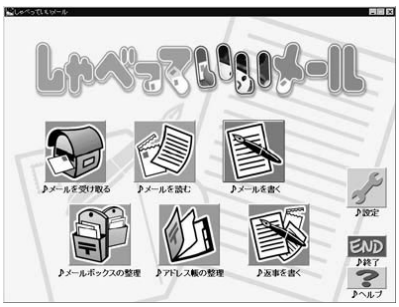
⑨「OK」をクリック。
選んだ画像が「メールの作成」ウィンドウに表示されます。

この後の、メールの送り方については、前述の「メールを書いて送る」をご覧ください。

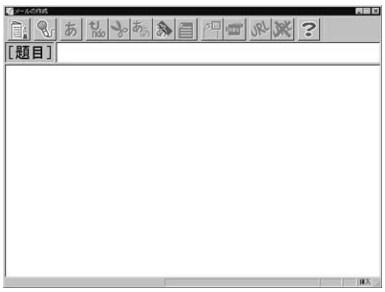
ビデオカメラから写真を撮る

別売のデジタルビデオカメラ（PK-MC201）で写真（静止画像）を撮ることができます。

① 「しゃべっていいメール」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「しゃべっていいメール」または「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「しゃべっていいメール」）

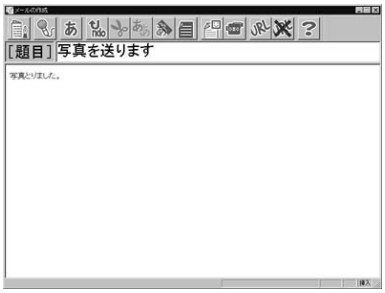


② 「メールを書く」をクリック。
「メールの作成」ウィンドウが表示されます。

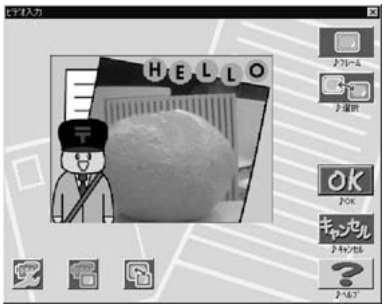


③ 「題目」にメールのタイトル（例：写真を送ります）を入力する。

④ 本文を入力する。



⑤ （ビデオ入力）をクリック。
「ビデオ入力」ウィンドウが表示されます。



⑥ フレーム（イラストなどがついた枠）を変更するには、「選択」をクリック。
「選択（フレーム選択）」ウィンドウが表示されます。

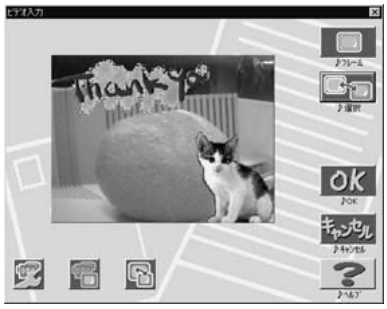
「お楽しみ」と「スペシャル」の2種類のフォルダがあります。ここでは「スペシャル」を選びます。

⑦「スペシャル」をクリック。
「スペシャル」にあるフレームの一覧が表示されます。

⑧「次へ」をクリック。
フレームの一覧の残りが表示されます。

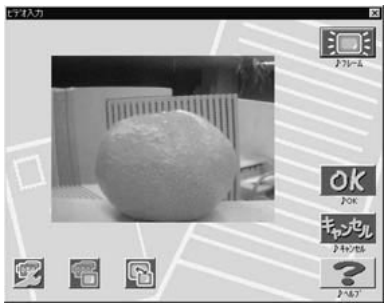
⑨ 使いたいフレームをクリック。
選ばれたフレームの周りが黒く囲まれます。

⑩「OK」をクリック。
選んだフレームの中に、カメラでの映像が表示されています。

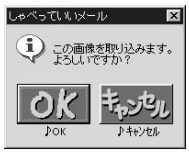


フレームをつけたくない場合は、 「フレーム」をクリックします。

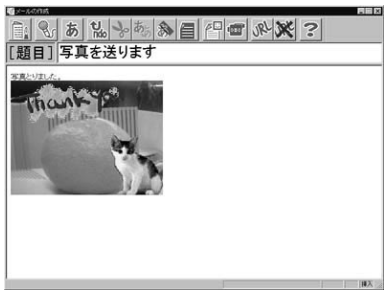
フレームなしの画像になります。



⑪ 取り込みたい画像が決まったら、「OK」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



⑫「OK」をクリック。
画像が「メールの作成」ウィンドウに表示されます。



この後の、メールの送り方については、前述の「メールを書いて送る」をご覧ください。

ボイスペンを使う

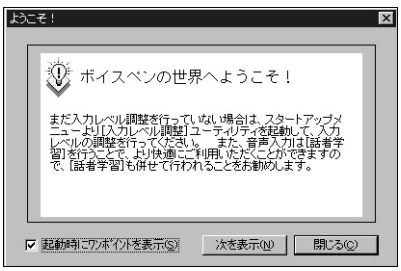
「ボイスペン」は、ボイスノート機能を使って短い文章を作成してアプリケーションに貼り付けるソフトウェアです。「ボイスペン」を使えば、メモ帳、ワープロなどのアプリケーションにボイスノート機能を使って文章を入力することができます（一部、入力できないアプリケーションもあります）。

チェック!!

「しゃべっていいメール」でボイスノート機能を使って文章を入力する場合は、「ボイスペン」をタスクバーからはずしておいてください。はずしかたについては後述の「ボイスペンをタスクバーからはずす」をご覧ください。

ボイスペンを使えるようにする

①「スタート」→「プログラム」→「しゃべっていいメール」→「ボイスペン」をクリック。
「ようこそ!」ウィンドウが表示されます。



②「次を表示」をクリックして、次の説明を表示する。
「次を表示」を何度かクリックすると、はじめの説明に戻ります。ここには「ボイスペン」の使い方を簡単に説明していますので、よく読んでおいてください。

③ 説明をひと通り読み終わったら「閉じる」をクリック。
タスクバーの右隅にボイスペンが登録され、「ボイスペン」のアイコンが表示されます。

これで「ボイスペン」が使える状態になりました。

ボイスペンを使って文章を入力する

ここでは例として「メモ帳」に文章を入力してみましょう。

①「メモ帳」を起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」）

②「入力開始」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
「メモ帳」の画面の下に横長の文字入力域が出てきます。これが「ボイスペン」の画面です。

③「メモ帳」に入力する文章をマイクロホンに向かって発声する。
「ボイスペン」で一度に入力できる文章は、「ボイスペン」の文字入力域のサイズです。「ボイスペン」の文字入力域のサイズ以内の文章を入力してアプリケーションに貼り付け、という操作を繰り返して長い文章を作成することになります。

「ボイスペン」の左端または右端をワイヤレスキーボードで左右にドラッグすると、文字入力域のサイズを変更できます。

④ 誤って入った単語を直す。
誤っている単語の前にカーソルを移動し、「候補の表示」と発声するか、誤っている単語の上でダブルクリックします。候補の画面に該当する単語があれば、その単語の番号をマイクロホンに向かって発声します。または、その単語の上でクリックします。

⑤ 単語を修正して正しい文章になったら、「これで確定」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
「ボイスペン」で入力した文章が「メモ帳」に貼り付けられます。

「ボイスペン」で入力した文章が「メモ帳」に貼り付けられると、「ボイスペン」の文章入力域が空になります。

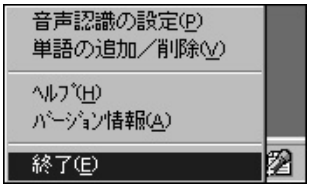
⑥ 手順③～⑤を繰り返して、次々と文章を入力する。

⑦ 文章の入力が終わったら、「入力終了」とマイクロホンに向かって区切らずに発声する。
これで「ボイスペン」での文章入力は終了です。

ボイスペンをタスクバーからはずす

ボイスペンをタスクバーからはずすとボイスペンが使えなくなります。
ボイスペンをタスクバーからはずす方法は次の通りです。

① タスクバーの右隅にある「ボイスペン」のアイコンをクリックしてメニューを表示させる。



② 「終了」をクリック。

ボイスペンを使うときの注意

ボイスペンの音声入力バー（横長の文字入力域）に音声で文章を入力して「これで確定」または「これで貼り付け」と発声しても、目的のアプリケーションに文章が入力できない場合があります。
このような場合は、次の操作を行ってください。

① いったん、ボイスペンをタスクバーからはずす。
目的のアプリケーションは起動したままでOKです。

② もう一度ボイスペンをタスクバーに格納し直す。

③ 目的のアプリケーションの、文章を入力したい箇所をクリックする。

④ 「入力開始」または「入力スタート」と発声する。
目的のアプリケーションの下の方に音声入力バー（横長の文字入力域）が表示されますので、文章の入力を始めてください。

ホームページを探す〈ジェットサーファー〉

「ジェットサーファー」は、インターネットにアクセスするときにホームページがリンクしている先のページの情報をまとめて取ってくるので、ほしい情報のあるページを素早く探し出すことができます。

概要

「ジェットサーファー」の機能を理解するために、例をあげて説明します。たとえば「東京都白書」という膨大な一冊の本から、一般に開放している図書館やスポーツ施設などの公共施設について調べるとします。通常ならば、目次や索引で「図書館」「スポーツ施設」「公共施設」などに関する情報が載っていそうな場所の見当をつけてから、実際にそのページを開いて調べるのがふつうでしょう。しかし、もしその「東京都白書」に目次や索引がなかったとしたらどうしますか。最初のページから順番にめくって調べていくしか方法はありません。もちろん、実際にはこのような本に目次や索引がないということは考えられません。ところが、インターネットのホームページにはこの目次や索引に相当するものがないことがよくあります。そこでクリックを繰り返して順にページを開いて見ていくしかないという場合がよくあります。「ジェットサーファー」はこんなときにとても役に立つソフトです。「ジェットサーファー」は、どんなに複雑に構成されているホームページでも、その目次や索引（正確にいえばそれらに相当するもの）を素早く作成してくれるソフトといえます。ジェットサーファーを上手に使えば、膨大な情報が詰まっているインターネットのホームページから、必要な情報だけを素早く得ることができるのです。

ジェットサーファーの機能

「ジェットサーファー」の機能は、次の通りです。

■ ホームページの分析・表示
ホームページからリンクされている情報を素早く表示することができます。
任意のホームページからリンクされている先にある複数のページのタイトル、文章の内容、使われているメディアファイル（画像・動画・音声ファイルなど）の情報をまとめて取ってきて、それぞれを個別のウィンドウに分割して一覧表示することができます。

■ 文字列検索
文字列検索機能を使って、欲しい情報を簡単に探し出せます。
文字列を指定してホームページの分析を行うと、文字列にマッチした語句を含むページを素早く探し出すことができます。また、一度分析した結果に対しても、文字列を指定して検索することができます。

■ 分析結果のページをブラウザへ表示
「ジェットサーファー」で分析・表示した結果のタイトルをクリックして簡単にブラウザに表示させることができます。
これによりブラウザを使ってリンクをたどっていかなくても深い階層にあるページを素早く見ることができます。

■ 分析結果からファイルのダウンロード
「ジェットサーファー」で分析・表示した結果のファイルをクリックして、簡単に該当のファイルのみをダウンロードすることができます。

■ お気に入り登録
一度分析した情報をお気に入り情報として名前をつけて登録しておくことができます。これによっていつでも好きなときにお気に入りの分析結果を見ることができます。

■ 更新情報表示
以前に分析した情報の中で、更新されているタイトルがわかるように表示します。「ジェットサーファー」の「お気に入り」に登録した情報を表示します。「ジェットサーファー」の「お気に入り」に登録した情報を表示した後、もう一度分析を行うと情報が更新されたページのタイトルアイコンの色を変更して表示します。これにより変更されたページのみを効率良く見ることができます。

使用する前に

ここでは、「ジェットサーファー」の基本的な使い方について説明します。

ここに記載されていないメニュー、ダイアログボックスの設定方法などについては、オンラインヘルプをご覧ください。特に、オンラインヘルプの「はじめに」－「注意事項」（メニューの「ヘルプ」→「トピックの検索」→「目次」タブ→「はじめに」→「注意事項」）は各機能を使用する上で必要な注意事項が記載されています。使用する前に必ずお読みください。

チェック!!

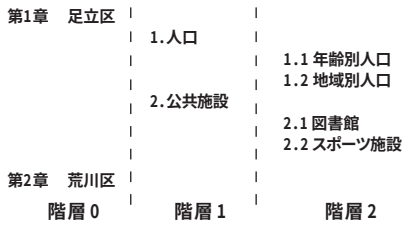
ダイヤルアップIP接続（必要なときだけ電話回線あるいはISDN回線を利用してインターネットに接続すること）をご使用の方で、回線未接続の方は、接続を行ってから分析を実行してください。

分析範囲と階層

ジェットサーファーは、ホームページの「目次」や「索引」を作るためにホームページを分析します。そのときに必要となる「分析範囲」や「階層」について「東京都白書」の例で説明します。「東京都白書」の中に、他の本（たとえば「神奈川県白書」とか「関東近県白書」など）を参照としてあげているとします。この参照先の本の目次や索引までを作成するかどうかを指定するのが「分析範囲」です。

「分析範囲」が「ドメイン内」とは「東京都白書」だけを調べて、目次や索引を作成します。「ドメイン外」とは参照先の他の本、つまり「神奈川県白書」や「関東近県白書」までも調べて、それらの目次や索引を作成します。当然、「ドメイン外」では範囲が広くなり、それだけ時間がかかります。

次に「階層」ですが、これは目次を考えればわかりやすいでしょう。本の目次は章、節、項のようなレベルに分類されています。このときにどのレベルまで掘り下げて調べるのかを指定するのが「階層」です。たとえば「0階層」とは章タイトルのレベルまでを調べ、「1階層」とは節タイトルのレベルまでを範囲として調べます。「階層」も深くすればそれだけ範囲が広がり、時間がかかるようになります。



分析範囲の絞り方

「ジェットサーファー」の特徴は欲しい情報がどこにあるか'早く'探すことができるところにあります。しかし最初から分析範囲や階層数を広くしてしまうと、本当に欲しい情報以外の情報も分析してしまい、余計な時間がかかってしまいます。そこで、次のような分析範囲を絞った使い方をおすすめします。

① まず起点となるURLをドメイン外/0～1階層で分析する。

② 分析結果の中でめぼしいタイトル（URL）をドメイン内/1～2階層で分析する。

③ 手順②を何度か繰り返し、ある程度タイトルを絞り込む。

④ 必要であればドメイン内で階層数を2～3に増やす。

操作の概要

それでは、この分析範囲を絞った使い方を「東京都白書」というホームページがあると仮定して、説明しましょう。

まず、起点となる「東京都白書」というホームページのURL（ホームページの住所のこと）を「URL」欄に入力します。たとえばURLが「www.tokyo.or.jp/hakusyo/」（架空のものです）であれば、次のように入力します。「http://」はホームページにアクセスするときの決まりのようなものです。「階層」欄は「0」または「1」とします。

次に 範囲 （範囲）をクリックして次の「設定－分析範囲」ダイアログボックスで「ドメイン外」にチェックマークを付け、「OK」をクリックします。

「ジェットサーファー」ウィンドウの下の表示が「ドメイン外」になります。

分析を開始するために Go をクリックします。

分析が終了すると、「東京都白書」「神奈川県白書」「関東近県白書」のそれぞれの目次が表示されます。

```
東京都白書
  足立区
  荒川区
    ⋮
神奈川県白書
  横浜市
  川崎市
    ⋮
関東近県白書
  埼玉県
  千葉県
    ⋮
```

チェック!!

階層を「1」にして分析したときは、分析したすべての階層を表示することもできます（「ホームページを分析して結果を表示する」参照）。

今度は分析範囲を「東京都白書」に絞って、さらに深い階層まで調べてみます。「分析範囲」を「ドメイン内」にして、「階層」を「2」にして Go をクリックします。

分析が終了すると、「東京都白書」の目次が表示されます。階層2までを表示すると次のようになります。

```
東京都白書
  足立区
    人口
      年齢別人口
      地域別人口
        ⋮
    公共施設
      図書館
      スポーツ施設
        ⋮
  荒川区
    ⋮
```

チェック!!

分析の途中でも興味があれば、たとえば「足立区」の「公共施設」を起点のURLとして分析を開始することもできます。

このようにして分析範囲を絞っていくことができます。たとえば「足立区」の「図書館」を起点のURLとして分析した結果から、その図書館の蔵書を調べることができます。パソコン関連の本について調べたいときは「パソコン」というキーワードで検索することができます（「文字列を検索したページをブラウザに表示する」）。さらに、目的の本の表紙が画像データとしてホームページにあれば、その画像データを自分のパソコンにダウンロードすることできます（「分析したページからファイルをダウンロードする」参照）。

分析とは

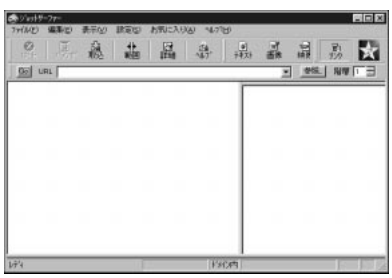
「ジェットサーファー」の中で使われる"分析"という言葉は、指定されたURLを起点として設定された条件の範囲内をアクセスして、次の情報を取り出して、それぞれをわかりやすくまとめて画面に表示するという意味です。

- 張られているリンク（ハイパーリンク）の文字列。
- 含まれているファイル（GIFファイルやAVIファイルなど）の名称、タイムスタンプなど。
- ページに書かれている文章の内容（テキスト情報）。
- 検索文字列（キーワード）を設定している場合、マッチした語句を含むページのタイトル。

ホームページを分析して結果を表示する

「ジェットサーファー」は、最初の分析ではホームページのリンク構造とテキスト内容を表示するだけなので、画面などを表示する、通常使用しているブラウザとは異なり、素早くページの内容が表示できます。このため、階層の深いページも素早く簡単にたどり着くことができ、目的のページ内容の概要が素早く理解できます。

① 「ジェットサーファー」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「ジェットサーファー」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファー」→「ジェットサーファー」）
「ジェットサーファー」の初期画面が表示されます。



② 「URL」欄にURLを入力する。
(例 "http://www.nec.co.jp/"(NECのホームページのアドレス)を入力)

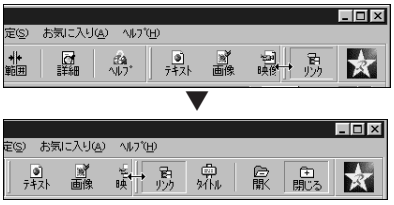
③ Go をクリック。
インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造(ハイパーリンクの語句)、テキストブラウザに文章の内容が表示されます。

すでにブラウザに目的のページが表示されていれば、「ファイル」メニューの「ブラウザからの取り込み」で表示することもできます。

④ 開く をクリック。
分析したすべての階層が表示されます。

チェック!!

開く が表示されていないときは、リンク の左端にある縦の線にカーソルを当て、カーソルが双方向の矢印の形に変ったときに、マウスを左にドラッグすれば表示されます。



タイトル をクリックするとツリービューにはページのタイトルが表示されます

これらを表示することによってホームページにどんな情報があるのか、またはどんな構成でできているのかという概要をつかむことができます。

ツリービュー、テキストブラウザおよびタイトル表示や階層表示の方法の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

ツリービューに表示されるアイコンには、次の種類があります。

◎アイコンの種類

- ツリービューの一番上に表示される起点URL
- 正常に分析した結果のリンク
- 通信時に何らかのエラーが発生して正常に分析できなかったリンク
- 指定された階層分の最下位層にあたるリンク先
- 前回分析時から更新されたリンク先
- アクセスするためにユーザ名/パスワードが必要なリンク先
  ユーザ名/パスワードを入力しなければ、これ以下の階層は分析できません。

◎アイコンの色

・黄色のアイコン
  通常のリンク先

・水色のアイコン
  設定した検索文字列とマッチする語句を含むリンク先

詳しいことは、オンラインヘルプをご覧ください。

インターネットに接続するときの注意

ジェットサーファーからの回線接続は、ご利用になっているブラウザと同じ動作をします。つまり回線未接続の状態で、ブラウザからインターネット上のURLにアクセスしたときに接続ダイアログボックスが表示される場合は、ジェットサーファーでも同じように、分析を実行したときに接続ダイアログボックスが表示

されます。分析を実行したときに接続ダイアログボックスが表示されない場合は先に回線接続を行ってください。

分析にかかる時間とディスク容量について

ホームページに張られているリンクは予想以上に数があります。階層指定を増やす場合は時間とディスク容量に余裕を持って分析を行ってください。分析範囲をドメイン外に設定すると、予想しないURLまでリンクが張られている場合があり、分析にかかる時間およびディスク容量がさらに増加する可能性があります。ドメイン外に設定する場合には、時間とディスク容量には十分余裕をもって分析を行ってください。

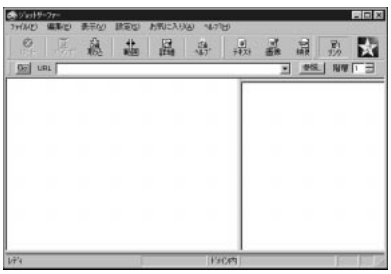
チェック!!

「ジェットサーファー」は分析を行うために、通信によって入手したファイル（HTMLファイル）をディスクに一時保管します。「ジェットサーファー」を終了すればこれらのファイルは削除されます。

文字列を検索したページをブラウザに表示する

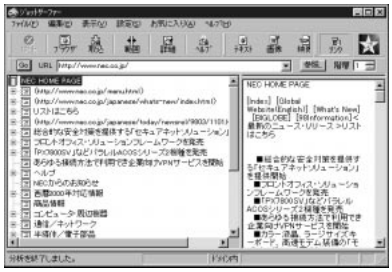
「ジェットサーファー」では、ホームページ内の目的のキーワードまたは情報が分かっている場合、文字列検索をすることで、簡単に目的の内容があると思われるページへたどり着くことができます。

① 「ジェットサーファー」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「ジェットサーファー」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファー」→「ジェットサーファー」）
「ジェットサーファー」の初期画面が表示されます。



② 「URL」欄にURLを入力する。
（例 "http://www.nec.co.jp/"（NECのホームページのアドレス）を入力）

③ Go をクリック。
インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造（ハイパーリンクの語句）、テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



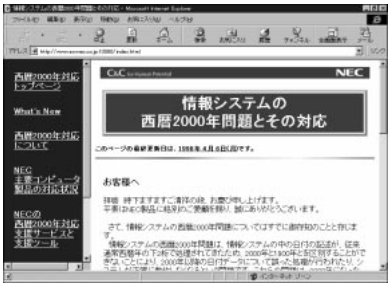
④ 「編集」をクリックして、「文字列検索」→「分析結果から検索」をポイント。

⑤ 反転表示している「分析結果から検索」をクリック。
「文字列検索 － 分析結果から検索」ウィンドウが表示されます。

⑥ 検索したい文字列を「検索する文字列」欄に入力して、「実行」をクリック。
（例 「2000年問題」を入力）
「文字列検索結果」ウィンドウに検索結果が表示されます。

⑦ 分析結果のひとつをクリック。
選択された分析結果が反転表示になります。

⑧「ファイル」をクリックして、「ブラウザに表示」をクリック。
通常使用しているブラウザが起動して、選んだページが表示されます。



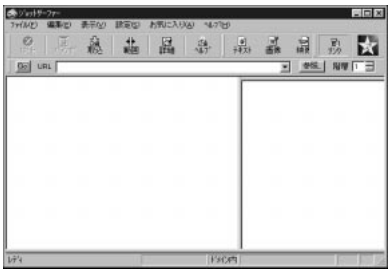
チェック!!

最下位層に当たる マークについてはリンクの語句のみをダウンロードしているため、ページの内容までは表示できません（テキストブラウザには"このページは指定された階層より下にあるため表示できません"と表示されます）。

分析したページからファイルをダウンロードする

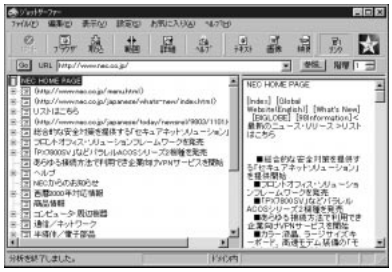
「ジェットサーファー」では、ホームページの中から特定の種類のファイル（AVI,MIDIなど）だけを取り出したい場合、ページに含まれている目的のファイルを一覧表示し、自分のパソコンの中に取り込んで保存（ダウンロード）することができます。

①「ジェットサーファー」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「ジェットサーファー」または「スタート」→「プログラム」→「ジェットサーファー」→「ジェットサーファー」）
「ジェットサーファー」の初期画面が表示されます。

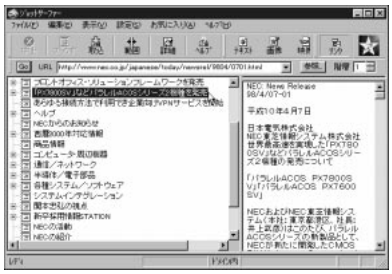


②「URL」欄にURLを入力する。
（例 "http://www.nec.co.jp/"（NECのホームページのアドレス）を入力）

③ Go をクリック。
インターネットに接続し、ツリービューにホームページの構造（ハイパーリンクの語句）、テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



④ ツリービューから目的のページをクリック。
目的のページが反転表示になります。

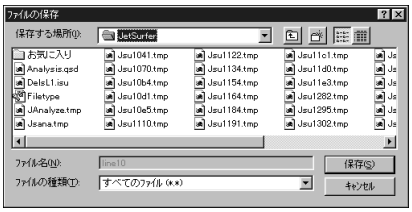


⑤ 目的のファイルの種類のボタンをクリック。
（例 「画像ファイル」ボタンをクリック）
選んだページの中にある画像ファイルがリストビュー内に表示されます。

⑥ リストビューから、ダウンロードしたいファイルをクリック。
選んだファイルが反転表示になります。

複数のファイルを指定する場合は、【Shift】を押しながらファイルをクリックします。

⑦「ファイル」→「ファイルの保存」をクリック。
「ファイルの保存」ウィンドウが表示されます。



⑧ ファイルを保存するフォルダを指定して「保存」をクリック。
（例 フォルダに「JetSurfer」を指定）
ファイルをダウンロードして、指定したディレクトリに保存します。

利用料金の管理、オートパイロット〈インターネットアクセスマネージャ〉

気になる電話料金やプロバイダ料金をしっかり管理します。また、電話料金が安い夜間などに、気に入ったホームページをまるごと自分のパソコンに取り込んであとでゆっくり楽しめるオートパイロットもできます。

概要

インターネットを利用するときは、電話料金とプロバイダの接続料金の両方がかかるので、気に入ったホームページを見つけても、時間が気になってじっくりと見ることができないものです。また、英語のホームページだとよほどの英語の達人でない限り、スムースに読み進めません。どうしても辞書を片手に、ということになり、時間がどんどん経過していきます。そんなときに役に立つのがこの「インターネットアクセスマネージャ」の「オートパイロット」機能です。電話料金の安い深夜にパソコンの電源が自動的に入り、インターネットに接続して気に入ったホームページをまるごと自分のパソコンに取り込み、接続を終了してパソコンの電源を切ってくれるということもできます。あなたが寝ていようが、外出していようが完全に自動で実行してくれるのです。しかも取り込む時間も短くてすむので、まさに一石二鳥です。ホームページを自分のパソコンに取り込んでしまえば、あとは料金もかからず、じっくりと見ることができます。

また、「インターネットアクセスマネージャ」には「料金管理」という機能もあります。インターネットについ夢中になって時間の経つのも忘れ、月末の請求金額を見て真っ青、なんていう経験は多少なりとも誰にでもあるのではないでしょうか。「インターネットアクセスマネージャ」では料金の上限を決めておけば、それを超えたときはメッセージで知らせてくれる機能があります。これなら安心して予算内でインターネットを楽しめます。

「インターネットアクセスマネージャ」は、このようにインターネットを利用する人にとっては非常に役に立つソフトなのです。このほかにも次にまとめてあるように、いくつかの優れた機能があります。

インターネットアクセスマネージャの機能

オートパイロット
指定したホームページを夜間などの電話料金が安い時間に自動巡回して、データをローカルディスクに格納することができます。その後、未接続の状態で料金を気にせずに、しかもスピーディにホームページを見ることができます。

Timer-NXとの連携
「Timer-NX」と連携してオートパイロットの開始時間に電源を入れ、オートパイロット終了後に電源を切ります。

接続時間管理・料金管理
インターネット接続時の、プロバイダと電話のおおよその使用時間・使用料金を自動的に計算し、日単位・月単位で表示することができます。
あらかじめ設定しておいた接続時間・料金を超えたときにアラーム通知を表示することもできます。

チェック!!
表示される料金は目安です。実際の使用料と一致するものではありません。

オートダイヤル
あらかじめ指定しておいた接続先にワンタッチで自動接続・切断ができます。他に接続先を登録しておけばダイヤル先がビジー(混雑している)のときに自動的に次の接続先へダイヤルします。

URL情報の登録・整理
URLに簡単なコメントを付けて登録することができます。チェックする頻度の高いURLを登録しておくと便利です。フォルダを使って階層的にURL情報(URLとコメントを合わせた情報)を整理することができます。

■「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」自動反映

「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」と「インターネットアクセスマネージャ」の「URLリスト」―「インターネットお気に入り」の内容が自動的に同じになります。

チェック!!

「インターネットアクセスマネージャ」の起動時に行われます。

■ 使いやすい操作性

Windows 95の「エクスプローラ」と同様の画面、操作感覚で使用できます。また、ウィンドウサイズを最小化した場合には機能ボタンのみを集めた「ボタンバー」として使用することができます。

利用環境を設定する

「インターネットアクセスマネージャ」の動作環境を設定します。起動後に次の事項の確認や設定をしてください。

・接続先の確認

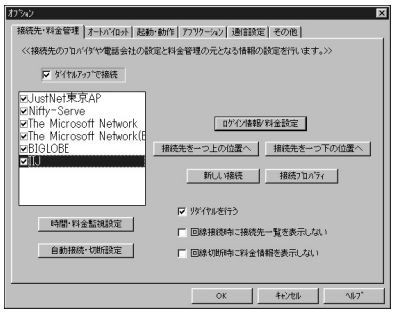
・接続先のユーザー名・パスワード、電話料金、プロバイダ料金の設定

・WWWブラウザの確認

■ 接続先を確認する

① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。(「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)

② メニューバーの「表示」→「オプション」をクリック。「オプション」ウィンドウが表示されます。



「接続先・料金管理」タブのウィンドウで、「ダイヤルアップで接続」にチェックマークが付いていることを確認してください。また、リストの中に、接続先があることを確認します。

「インターネットアクセスマネージャ」では、チェックが付いている接続先が複数あるときは、いちばん上にある接続先から回線接続を行います。回線接続をしたときに、話中だった場合は、次の接続先に回線接続を行います。このように上から順番に接続先を自動的に変更します。

・接続する順番を変えたい場合

接続先を選択して反転表示にした状態で、「接続先を一つ上の位置へ」ボタンをクリックすると、その接続先がひとつ上の位置になります。同様に「接続先を一つ下の位置へ」ボタンをクリックすると、その接続先がひとつ下の位置になり、この両方のボタンで接続先の順番を変更できます。

・接続先として使わない場合

接続先として使わない場合は、各接続先の前にあるチェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。

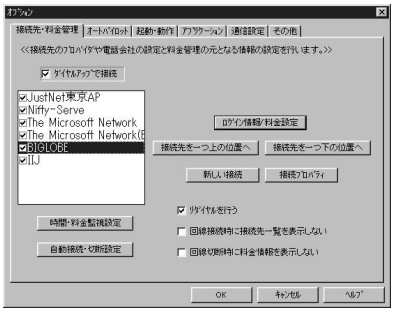
チェック!!

購入時の設定により、「JustNet東京AP」(一太郎モデルの場合)など、ご自分で設定していない接続先が、あらかじめ「接続先」としてチェックマークが付いている場合があります。接続先として設定していない(そのプロバイダと契約していない)場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外してください。

各接続先のユーザ名とパスワードを設定する

① リストの中の"接続先"をクリックして選ぶ。(例 「BIGLOBE」を選ぶ)

選ばれた"接続先"が反転表示になります。



②「ログイン情報/料金設定」をクリック。
「ログイン情報/料金設定 － BIGLOBE」ウィンドウが表示されます。

「ユーザー名」と「パスワード」欄に、接続先プロバイダの"ユーザー名"と"パスワード"が設定されていることを確認します。設定されていない場合は入力してください（使用する接続先プロバイダのみ）。

パスワードを保存する場合は、「パスワード保存」チェックボックスにチェックを付けてください。
なお、「Timer-NX」と連携して、オートパイロットを実行する場合は、必ず「パスワード保存」チェックボックスにチェックマークを付けてください。チェックマークが付いていないと、オートパイロット実行時に、パスワードを入力するウィンドウが表示されるため、オートパイロットの処理が止まってしまいます。

このあと、「接続先・順番」リストにある、他の'接続先'の中で、使用する'接続先'に関しては、同様の手順でユーザー名とパスワードの設定を行ってください。

各接続先の料金を設定する

電話料金やプロバイダ料金の設定は、前項の「ログイン情報/料金設定」ウィンドウで行います。料金管理を行わないときは、この設定は必要ありません。

①「電話料金」タブをクリック。
「電話料金」タブのウィンドウが表示されます。

ここでは、電話料金の管理を行うために必要な"電話料金"の設定を行います（使用しない接続先プロバイダについては設定する必要はありません）。

電話会社一覧および料金に関する項目の中から契約している電話会社の接続先までの距離・割引料金を選びます。接続先までの距離は電話帳などで調べてください。また、電話料金体系、割引料金は最新の情報をもう一度、確認してください。

②「電話料金計算の締め日」欄の右端の▼をクリック。
締め日の一覧が表示されます。

締め日の設定を行います。締め日は"料金を計算する期間"を意味し、電話会社によって異なります。例えば、4月分の料金が「4月6日～5月5日までの使用料金」の場合は、締め日は「5日」に設定します。

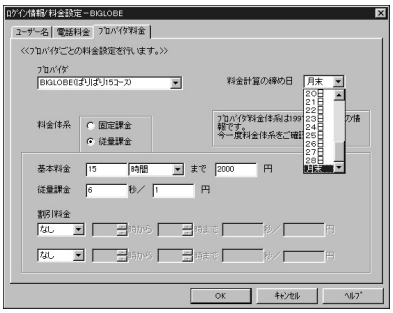
③「プロバイダ料金」タブをクリック。
「プロバイダ料金」タブのウィンドウが表示されます。

ここでは、プロバイダ料金の管理を行うために必要な"プロバイダ料金"の設定を行います。

④「プロバイダ」欄の右端の▼をクリック。
プロバイダー覧が表示されます。

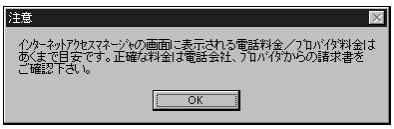
この中から契約しているプロバイダを選びます。選ばれたプロバイダの料金体系を自動的にインターネットアクセスマネージャに設定します。プロバイダの料金体系は変更されている可能性があります。最新の情報をもう一度確認してください。

⑤「料金計算の締め日」欄の右端の▼をクリック。
締め日の一覧が表示されます。

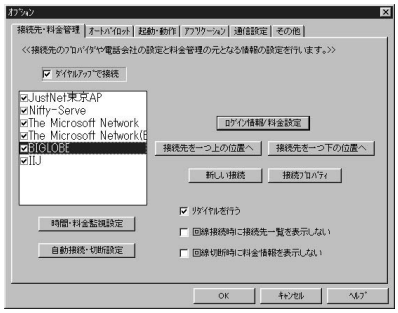


締め日の設定を行います。締め日は"料金を計算する期間"を意味し、プロバイダ各社によって異なります。設定方法は手順②と同じです。

⑥ 締め日の設定が完了したら、「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。



⑦「OK」をクリック。
最初の画面に戻ります。



この後、「接続先・順番」リストにあるほかの"接続先"に関しても、同様の手順で、電話料金、プロバイダ料金の設定を行います。これにより接続先ごとに料金管理ができます。

プロバイダ・電話会社の料金設定が正しく設定されていなければ、料金計算は正しく計算されませんので注意してください。また、プロバイダ・電話会社が料金改訂の場合は、お客様による再設定が必要になります。

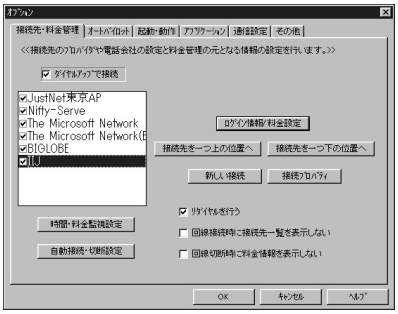
⑧ すべての接続先について設定が完了したら、「OK」をクリック。
料金管理のための設定完了です。

WWW ブラウザを確認する

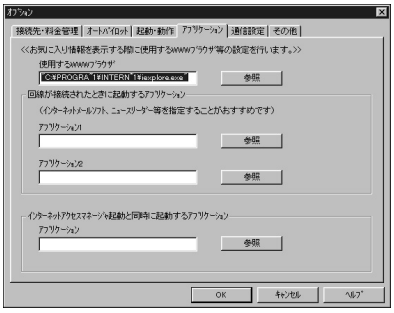
「インターネットアクセスマネージャ」は、WWWブラウザと密接に連携をとって動作します。したがって、連携を取るWWWブラウザが「インターネットアクセスマネージャ」に設定されている必要があります。次の手順で確認してみましょう。

①「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)

② メニューバーの「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



③「アプリケーション」タブをクリック。
「アプリケーション」タブのウィンドウが表示されます。



「ＷＷＷブラウザ」欄に使用しているＷＷＷブラウザが登録されていることを確認してください。もし、登録されていない場合や別のWWWブラウザを指定する場合は、「参照」ボタンをクリックしてWWWブラウザの指定を行ってください。

④ WWWブラウザの確認/指定が終わったら、「OK」をクリック。
「設定」ウィンドウが閉じます。

WWWブラウザの変更

本機には、標準で「インターネットエクスプローラ」がインストールされていますが、すでに「Netscape Navigator」を利用されている方で、「インターネットアクセスマネージャ」に登録されているWWWブラウザを変更した場合、次のことを行ってください。

WWWブラウザを起動すると、"Navigatorはインターネットショートカットを扱うように登録されておりません。Navigatorを通常使うブラウザとして登録しますか?"というメッセージが表示される場合があります。そのとき、「以降このメッセージを表示しない」チェックボックスにチェックを付けて、「はい」をクリックしてください。

チェック!!

「インターネットアクセスマネージャ」で使用するWWWブラウザがNetscapeNavigator4.0の場合、ＷＷＷブラウザが最小化の状態で「ＵＲＬの取り込み」を行うと、WWWブラウザがアクティブ（最小化の状態から元のサイズに戻る）になります。

インターネットアクセスマネージャでの基本的な接続

「インターネットアクセスマネージャ」の使い方を説明する前に、プロバイダに電話をかけてインターネットに接続するための基本的な操作方法を説明します。以降の説明を読む前に次の操作ができるか確認を行ってください。以降"プロバイダに電話をかけます"という説明がある場合は、次の操作を行ってください。

①「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）

② ツールバー左端の接続/切断（接続／切断）をクリック。
「インターネットアクセスマネージャ － 接続（接続先確認）」ウィンドウが表示されます。

チェック!!

「インターネットアクセスマネージャ」は、まず一番上の接続先へ回線接続を行います。もし、話中などの理由で接続できないときは、上から2番目の接続先へ回線接続を行います。このように、チェックマークが付いている接続先へ、上から順番に回線接続を行います。

③「接続開始」をクリック。
接続を開始します。

途中でユーザー名とパスワードについての画面が表示される場合は、必要事項を入力してください。

自動的にプロバイダに電話をかけてインターネットへの接続を行います。画面上で"NIFTY-Serve(00:00:05)"というように接続先名と接続時間を表示されたら、接続が完了です。

また、タスクバーの右側にある をダブルクリックすると、次の画面が表示され、接続状況を確認できます。

オートパイロットを利用する

「オートパイロット」では、ボタンをクリックするだけで、同じページへのアクセス作業を自動化すると同時に、あらかじめ指定されたURLを自動的に巡回してURLの内容を自分のパソコンにダウンロードします。これによって、次の効果があります。

・ブラウザで表示するよりも短時間でチェックしたいURLの内容を入手することができる(電話料金、プロバイダ料金の節約)。

・自分のパソコンにURLの内容があるため、回線を切断した後に電話料金やプロバイダ料金を気にせずゆっくり見ることができる。

オートパイロットの基本的な操作方法

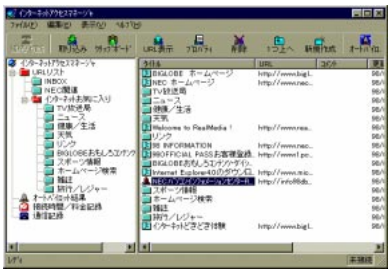
「インターネットアクセスマネージャ」の「URLリスト」に初めから登録してあるURLを例にして実際にオートパイロットの基本的な操作を説明します。

①「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)

②ツリービューにある「URLリスト」をダブルクリック。
次の画面が表示されます。

③「インターネットお気に入り」フォルダをダブルクリック。
登録されているURL情報が表示されます。

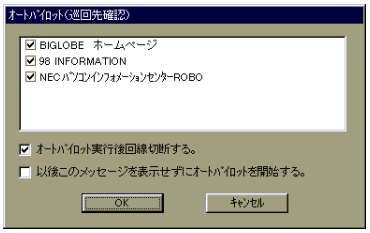
④ リストビューの先頭にある(ファイルのマーク)をクリック。
オートパイロットの巡回先を示す赤色の(ロケットのマーク)に変わります。



これでオートパイロットの巡回先としての登録は完了です。
同じように「URLリスト」に登録してあるすべてのURL情報に対して1回のクリックで巡回先に指定することができます。
もう一度クリックすると(ファイルのマーク)に戻って巡回先からはずれます。

⑤ 他の2つのURLも同様にクリック。
赤色の(ロケットのマーク)に変ります。

⑥ (オートパイロット実行)をクリック。
「オートパイロット(巡回先確認)」ウィンドウが表示されます。



ここで、チェックマークをはずすと、巡回先からはずれます。ただし、「インターネットアクセスマネージャ」ウィンドウのリストビューでは、巡回先であることを示す「ロケットマーク」がついたままなので、次回にオートパイロットを実行するときには、巡回先の対象となります。

「オートパイロット実行後回線切断する」にチェックマークがついているときは、実行終了後に回線を自動的に切断します。

「以降このメッセージを表示せずにオートパイロットを開始する」にチェックマークがついているときは、(オートパイロット実行)をクリックするとこの画面を表示せずにオートパイロットを開始します。

⑦ 「OK」をクリック。
回線を接続してオートパイロットを実行します。
「オートパイロット(巡回中)」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウで表示される読み込みバイト数は、すでに最新のファイルがローカルディスク上にある場合は、"0"と表示されます。これは例えば次のような場合に該当します。

・同じファイルをもう一度巡回した場合。

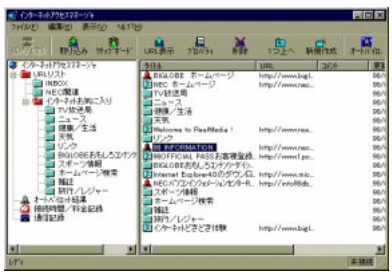
・同じドメイン内で同一ファイルを複数の箇所からリンクしている構造のサーバ(URL)を複数階層指定した場合。

巡回が終了すると、次のメッセージが表示されます。

⑧ 「OK」をクリック。

オートパイロット結果を見る

オートパイロットが終了したとき、「インターネットアクセスマネージャ」ウィンドウは次のようになっています。



ここで、オートパイロットでダウンロードしたURLの内容を見てみます。

① ツリービューの「オートパイロット結果」をクリック。自分のハードディスクにダウンロードされたURLの一覧がリストビューに表示されます。

② リストビューに表示されているURLをダブルクリック。実際のWebサーバにあるURLの内容と同じ内容が表示されます。

このときWWWブラウザの「アドレス」ボックスには、"C:¥"と表示されており、ハードディスクにダウンロードしたデータを表示していることがわかります。

「オートパイロット結果」であるURLの先頭にあるマークは、ダウンロードの結果（正常にダウンロードできたか否か）および、一度でもWWWブラウザ　で表示を行ったか（未読/既読）によって異なります。

アイコン		内　容
青の		正常にダウンロードが完了したURL＜未読のURL＞ 前回と比べて内容が変更されたURL
グレーの		上記の青のアイコンをWWWブラウザで1度でも表示を行ったURL＜既読のURL＞
?付き		内容の一部が欠落したURL サーバが混雑しているなどの理由で、一部のデータがダウンロードできなかったURL
×付きの		サーバー側と通信が行えず、指定したURLのデータが全くダウンロードできなかったURL

一度見たオートパイロットの結果でも再度オートパイロットを実行してURL内容が更新されると、グレーのロケットマークから青のロケットマークに変更されます。

オートパイロット結果を削除する

オートパイロットでダウンロードした結果を削除するには、2つの方法があります。

- 「オートパイロット結果」フォルダをクリックしてリストビューにURL情報を表示させ、削除したいURL情報を右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を削除する」を選びます。この場合、指定されたURL情報の0階層目のデータのみをすべて削除します（2階層、3階層、・・・は他のURL情報が使用している場合や他のURL情報がリンクされている場合があるため削除しません）。

- ツリービューで「オートパイロット結果」フォルダを右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を空にする」を選びます。この場合、今までダウンロードしたデータをすべてフォルダごと削除します。

時間を指定して、オートパイロットする

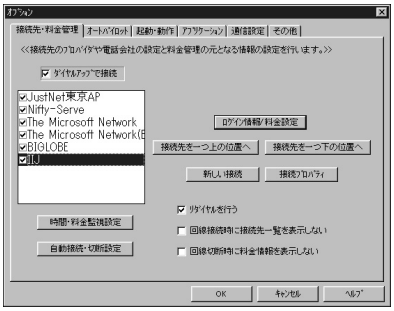
オートパイロットを実行する時間を指定します。
なお、ここでは、すでにオートパイロットの巡回先が設定されているものとして、時間の指定の手順を説明します。
オートパイロットの巡回先の設定の方法、オートパイロット結果の見方については、前述の「オートパイロットの基本的な接続方法」をご覧ください。

チェック!!

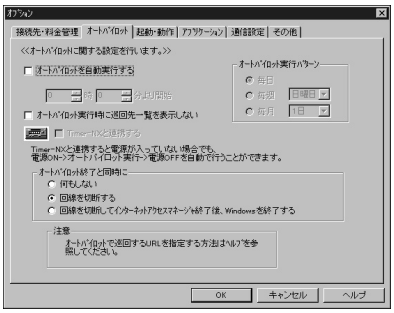
時間を指定して、オートパイロットするためには、指定した時間に、「インターネットアクセスマネージャ」が起動されている必要があります。本機の電源を切っている状態から、オートパイロットする場合は、後述の「Timer-NXと連携して、オートパイロットする」をご覧ください。

① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）

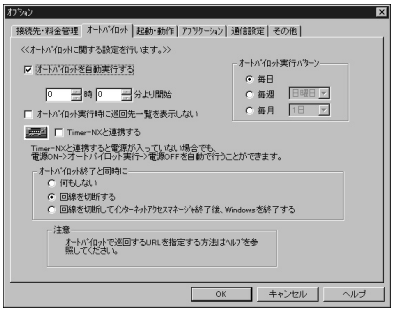
② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



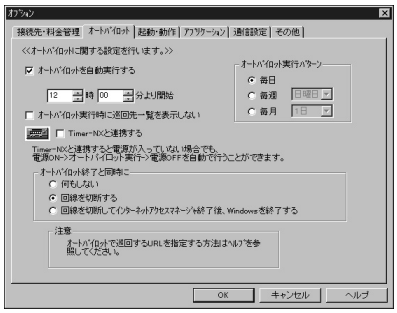
③ 「オートパイロット」タブをクリック。
「オートパイロット」タブのウィンドウが表示されます。



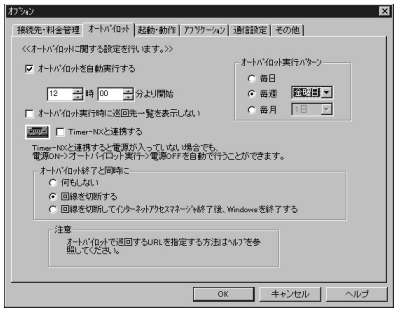
④ 「オートパイロットを自動実行する」チェックボックスをチェックする。
時間指定ができるようになります。



⑤ 自動実行を開始する時刻を設定する。
24時間形式（0:00～23:59）で設定します。
（例 12:00）



⑥ 「オートパイロット実行パターン」を設定する。
（例 毎週・金曜日）



⑦ 「オートパイロット終了と同時に」を設定する。
「何もしない」以外にチェックマークを付けてください。

チェック!!

「何もしない」にチェックマークを付けると、オートパイロット実行後も回線を接続したままの状態となり、電話料金やプロバイダ料金が課金されます。

⑧ 設定が終了したら、「OK」をクリック。
以上で設定は完了です。指定された時間がきたら自動的にオートパイロットが実行されて、指定されたURLを自動的に巡回してデータを自分のパソコンにダウンロードします。ダウンロードが終わったらオートパイロット結果を見てください。

Timer-NX と連携して、オートパイロットする

「Timer-NX」と連携して「オートパイロット」で指定された時間に本機の電源を入れて、オートパイロット終了後に電源を切ることができます。

なお、ここでは、すでにオートパイロットの巡回先が設定されているものとして、「Timer-NX」との連携の手順を説明します。
オートパイロットの巡回先の設定の方法、オートパイロット結果の見方については、前述の「オートパイロットの基本的な接続方法」をご覧ください。

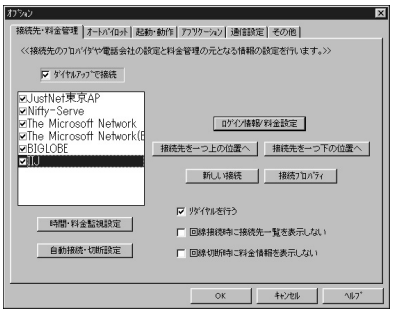
チェック!

「Timer-NX」と連携してオートパイロットを実行するときは、必ずパスワードの保存をしておいてください。パスワードの保存をしておかないと、オートパイロット実行時に、パスワードを入力するウィンドウが表示されるため、オートパイロットの処理が止まってしまいます。また、本機の電源も切ることができなくなってしまいます。

参照

- 「パスワードの保存」→前述の「利用環境を設定する」の「各接続先のユーザ名とパスワードを設定する」

① 「インターネットアクセスマネージャ」のメニューバーで「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。

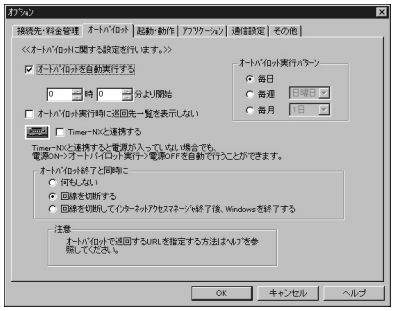


② 「回線切断時に料金情報を表示しない」にチェックマークを付ける。

チェック!

この設定をしないと、オートパイロットの実行後に「OK」をクリックする必要が生じて、パソコンの電源が自動的に切れなくなります。

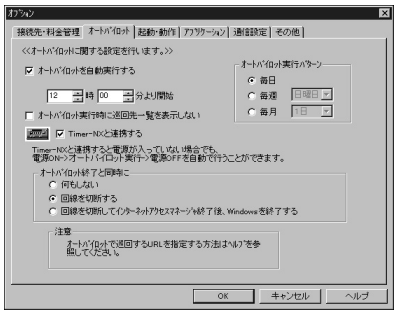
③ 「オートパイロット」タブをクリック。
「オートパイロット」タブのウィンドウが表示されます。



「オートパイロットを自動実行する」チェックボックスにチェックがしてあることを確認します。チェックされてない場合は、チェックを付けてください。

④ 「Timer-NXと連携する」チェックボックスをチェックする。

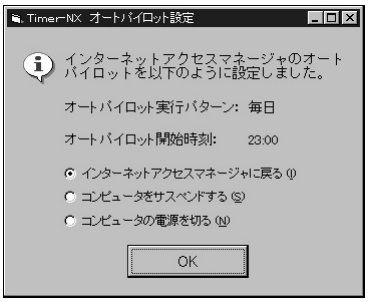
⑤ 自動実行を開始する時刻を設定する。
24時間形式(0:00～23:59)で設定します。
(例 12:00)



⑥「オートパイロット実行パターン」を設定する。
（例 毎週・金曜日）

⑦「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。

⑧「OK」をクリック。
次のメッセージが表示され、「Timer-NX」の設定が完了したことを示します。



⑨ オプションを選んで「OK」をクリック。

◎オプション

・インターネットアクセスマネージャに戻る
・コンピュータをサスペンドする
・コンピュータの電源を切る

これで設定は完了です。指定された時間になると、自動的に本機の電源が入り、インターネットアクセスマネージャが起動され、オートパイロットが実行されます。

チェック!!

・「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合は「オートパイロット終了と同時に」で設定されている内容とは関係なくオートパイロット終了後に回線を切断し、電源を切ります。

・「設定」→「起動/動作」タブで「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」で設定されている内容とは関係なく、起動と同時に回線を接続し、オートパイロットを開始します。

・「Timer-NX」と連携しない場合は、「オートパイロット終了と同時に」、「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」の動作は表示されている設定通りになります。

・「Timer-NX」と連携してオートパイロットを行う場合、オートパイロット終了後の電源オフは、オートパイロット開始より、少なくとも7分ほど経過しないと実行されません。

時間指定するとき、およびTimer-NXと連携するときの注意

ここでは、時間指定をして、オートパイロットをするとき、および、「Timer-NX」と連携して、オートパイロットをするときの注意事項を説明します。オートパイロットについての全般的な注意事項については、後述の「オートパイロットを使用するときの注意」をご覧ください。

・本機能が動作する時刻はWindows 95のシステム時計の時刻に依存しています。「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「日付と時刻」で現在の時刻が正しく設定されているか、もう一度確認してください。

・時間指定で動作するほかのプログラムを使用しているときは、指定の時間が重ならないように注意してください。

・「インターネットアクセスマネージャの起動と同時に」で「回線を接続して、オートパイロットを開始する」を設定し、かつ、「オートパイロット終了と同時に」で「回線を切断してインターネットアクセスマネージャを終了する」の設定をした場合に、オートパイロット結果を確認するときは次の通りに操作してください。

「インターネットアクセスマネージャ」が起動し、オートパイロットの自動実行が開始されるまでの間にダイアログボックスが表示され、オートパイロットが実行されるまで30秒間カウントダウンを行います。ここで「中止」ボタンをクリックします。その後、「オートパイロットの基本的な操作方法」以降を参考にしてダウンロードしたURLの内容を見ます。

・必ずパスワードを保存してください。保存しないと処理が途中で止まってしまい、オートパイロット実行と電源を切ることができません。

参照

- パスワードの保存方法→本項の「利用環境を設定する」の「各接続先のユーザ名とパスワードを設定する」
- 自動実行の設定が済んだら、事前に一度、一連の「自動実行動作（電源を入れる、インターネットアクセスマネージャの起動、回線の接続、オートパイロットの実行）」ができるかどうかを必ず確認してください。「オートパイロット実行中」の画面が表示されればOKです。確認を終了するときは「中止」ボタンをクリックします。
- オートパイロットで何時何分に回線接続して何時何分に回線切断したのか、ダウンロードは正常にできたのかどうかを確認するには「通信結果」フォルダおよび「オートパイロット結果」フォルダをご覧ください。
- 夜間自動実行を行う場合は夜間に自動的に本機の電源が入りますので、安全に使用するために、本機に添付のマニュアルの使用上の注意事項を必ずひと通りお読みください。

自動的にファイルを取得する

「オートパイロット」では、インターネット上にあるβ（ベータ）版やシェアウェアなどのいろいろなソフトウェアを自動的に（指定された時間）に指定されたファイルを自分のパソコンにダウンロードしてくれます。ただし、指定された時間であってもサーバ側の状態（アクセスが集中している等）によっては、ダウンロードできない場合もありますので、ご了承願います。また、前述の「時間を指定するとき、およびTimer-NXと連携するときの注意」をご覧ください。

次に具体的な例を提示しますので、同じような操作でファイルをダウンロードしてください。

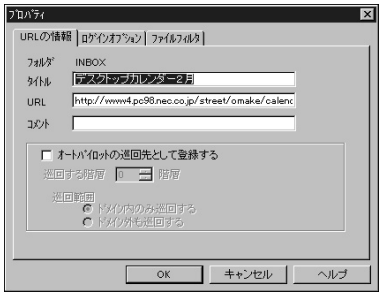
① WWWブラウザ　を起動して、ダウンロードしたいソフトの格納されているページを表示する。

② インターネットアクセスマネージャの「取り込み」ボタンをクリック。

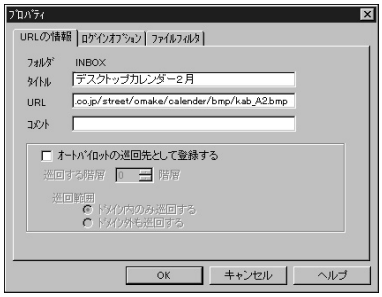
③「インターネットアクセスマネージャ」を最大画面にする。

④ 取り込んだURLを右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。

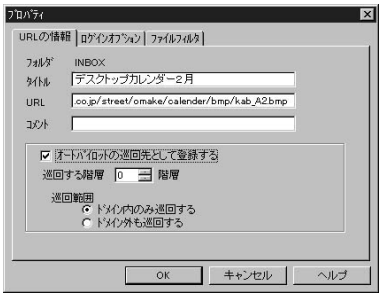
⑤「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



⑥ 登録されているURLの最後にある"vs_13"を削除して、ダウンロードするファイル名を入力する。
（例 「/bmp/kab_A2.bmp」を入力）



⑦「オートパイロットの巡回先として登録する」チェックボックスをチェックする。



⑧「OK」をクリック。

⑨「自動的にホームページを取得する」の手順を参考にオートパイロットを実行する時間の設定を行う。以上で設定は完了です。指定された時間がきたら自動的にオートパイロットを実行して、指定されたファイルを自動的に自分のパソコンにダウンロードします。

指定されたファイルは「インターネットアクセスマネージャ」がインストールされているフォルダに、URLのアドレスと同じようなフォルダ構造で格納されています。

オートパイロットを使用するときの注意

- 「インターネットアクセスマネージャ」のオートパイロットは通常のWWWブラウザ　と同様に指定のURL(サーバ)からダウンロードできない場合があります。これは、サーバがダウン(故障や休止など)しているときやサーバに多数のアクセスが集中している場合やURLがもうなくなっている場合などに起こります。
- 「オートパイロット結果」が不正の場合は、WWWブラウザでアクセスをしてみてください。WWWブラウザで正しくアクセスできないURLはオートパイロットでも正しくアクセス(ダウンロード)できません。
- 「インターネットアクセスマネージャ」のオートパイロットの巡回可能範囲は、次の通りです。

一般的なHTMLファイル、ftpファイル、背景、ShockWave、BGM、Java、ActiveX、クリッカブルマップ、フレーム対応ページ

上記以外のRealAudio、CGIなどは対応していません。

詳しく説明すると、インターネットアクセスマネージャのオートパイロットで認識する<タグ>は、次の通りです。

No.	タグ	意　味
1	<BODY..> BACKGROUND="URL"	背景図
2	<FRAME> SRC="URL"	書類の指定
3	<A HREF="URL">	ハイパーリンク
4	<IMG SRC="URL">	インライン・イメージ
5	LOWSRCE="URL"	解像度の異なる画像の読み込み
6	GYNSRC="URL"	インラインビデオまたはVRML
7	<BGSOUND SRC="URL"..>	バックグラウンド・サウンド
8	<FIG SRC="URL"..>	回り込みインライン・イメージ
9	<EMBED SRC="URL"...>	Shockwaveなど

- サーバ側のデータ構造によっては、ダウンロードが完全にできなかった場合でも、正常にダウンロードできたことを示す青のロケットが表示される場合があります。あらかじめご了承ください。より詳しく説明すると次の通りです。

  サーバによっては、格納されているデータ(GIFファイルなど)のサイズを通知してくるものと通知してこないものがあります。サイズを通知してこないデータに関しては、一定時間データが送られてこなかった場合を、そのデータの終わりとして検出していますが、本当にデータの終わりなのか、サーバが混雑していて"一定時間"データが送られてこなかったのかの判断ができない場合があるためです。

- オートパイロット結果を見るときにダウンロードされていないリンク先をクリックすると、実際のWebにアクセスします(回線が接続されていない場合は回線接続のダイアログボックスが表示されます)。
- URLの内容(サーバのデータ)によってはサーバ側と連携をとりながら、データを表示させるものもあります。オートパイロット結果として、こういったデータをWWWブラウザ　で見る場合には、Windows 95ダイヤルアップネットワークの回線接続ダイアログボックスが表示されたり、"サーバが見つかりません"といった類のメッセージが表示される場合があります。この場合には、必要であれば回線接続を行ってみてください。

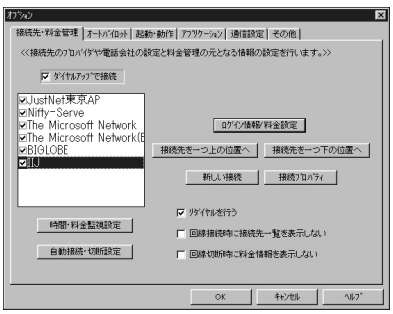
接続時間管理・料金管理

設定した時間・料金を越えたとき、アラームを表示させる

インターネットにかかる電話料金やプロバイダ料金を管理するには「接続管理」機能が便利です。あらかじめ設定した時間や料金を超えると、アラームを表示するため、アラームが出るまでの間は時間や料金を気にしないでインターネットを利用できます。

① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネット アクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）

② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。

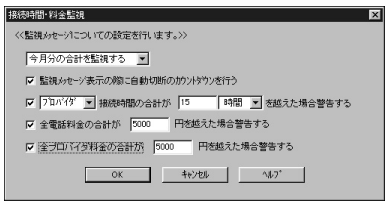


③ 「時間・料金監視設定」をクリック。
「接続時間・料金監視」ウィンドウが表示されます。

④ 画面上部のリストボックスの右端の▼をクリック。
監視条件の一覧が表示されます。

⑤ どういう単位で監視するかリストボックスの中から選んでクリック。
（例　「今月分の合計を監視する」を選ぶ）

⑥ 監視する項目のチェックボックスにチェックマークを付けて「OK」をクリック
（例　今月のプロバイダ（BIGLOBE）の接続時間の合計が15時間を超えた場合と、全電話料金の合計金額が5,000円を超えた場合と、全プロバイダの利用料金が5,000円を超えた場合にそれぞれメッセージを表示させる）



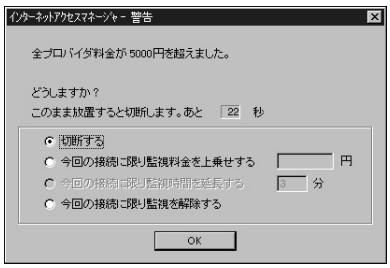
ここで、"今月分の合計を監視する"にした場合、電話会社とプロバイダの料金の計算の締め日によって、監視する期間が異なりますの注意してください。

例（今日が15日の場合）

対象	締め日	監視する期間
プロバイダ	25日	前月の26日～今月の25日
電話会社	5日	今月の6日～来月の5日

このように設定した場合、設定した値を超えると、次のようなアラームメッセージが表示されます。

「全プロバイダの合計が5000円を超えた場合」のアラーム例



ここで、「切断する」がチェックされている状態で「OK」をクリックすると、回線が切断されます。一時的に、監視する料金を変更したい場合は「今回の接続に限り監視料金を上乗せする」をチェックし、上乗せする金額を右端の空欄に指定して、「OK」をクリックします。

また、「今回の接続に限り監視を解除する」をチェックし、「OK」をクリックすると今回の接続に限り警告メッセージが表示されなくなります。

アラームを使用するときの注意

- 表示されるアラームは、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している時間・料金に基づいて表示していますが、これらの時間・料金はおおよその目安です。実際の電話会社・プロバイダからの請求料金とは誤差が生じる可能性があります。計算方式については「使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する」をご覧ください。
- 「インターネットアクセスマネージャ」が起動していないときは、時間・料金の監視はできません。その場合にダイヤルアップネットワークなどから回線接続を行うと、時間・料金の計算、管理はできません。常に時間・料金の計算、管理をしたい場合は「インターネットアクセスマネージャ」はWindows 95のスタートアップに登録することをおすすめします。なお、「インターネットアクセスマネージャ」が起動されていればWindows 95のダイヤルアップネットワークから直接回線接続を行っても、時間の監視はできますが、回線接続は「インターネットアクセスマネージャ」から行うことをおすすめします。
- 「インターネットアクセスマネージャ」で管理している時間は、Windows 95のシステム時計に依存しています。時間・料金を正しく管理するためにはシステム時計が正しく設定されていることが必要です。ご利用になる前に「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「日付と時刻」で現在の時刻が正しく設定されているか、もう一度確認してください。なお「インターネットアクセスマネージャ」を起動しているときはもちろん、起動していないときでも、システム時計は変更しないでください。
「インターネットアクセスマネージャ」を使用した後にシステム時計を変更する場合は、「インターネットアクセスマネージャ」をいったん削除（残ったファイルもすべて削除）し、システム時計を変更した後、「インターネットアクセスマネージャ」を再追加してください。

参照
インターネットアクセスマネージャの削除、再追加→「PART4　アプリケーションの削除と追加」

- 電話料金はインターネット接続以外にも、通常の電話やFAXで使用されている場合がありますので、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している電話料金と実際に請求される料金が異なる場合がありますので、注意してください。また、「インターネットアクセスマネージャ」で管理している電話料金は、基本料金・プッシュホン回線使用料は含みません。
- オートパイロット実行中はあらかじめ設定した時間もしくは料金を超えてもアラーム表示は行いません。オートパイロット終了後、次回の回線接続時にアラーム表示を行います。

使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する

インターネット利用頻度が高い方のためには、その月にかかる電話料金やプロバイダ料金を概算する「接続管理」機能が便利です。あらかじめ設定された料金体系に基づいて、電話料金・プロバイダ料金を自動的に計算してくれるので、クリックするだけでおおよその料金が確認できます。

使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する手順は、次の通りです。

① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）

② ツリービューの「接続時間/料金記録」をクリック。
プロバイダの料金合計と電話の料金合計がわかります。

インターネットアクセスマネージャに登録してあるプロバイダごとの料金情報と電話料金の情報がリストビューに表示されます。

さらに「電話料金」をクリックすると、次のように各月別の料金と各日別の料金が表示されます。

料金を確認するときの注意

・電話料金および、従量制プロバイダの料金計算方式についてインターネットアクセスマネージャでは次のように計算しています。1回の接続（回線接続から回線切断まで）の時間を計測し、課金単位で計算を行います（端数は切り上げ）。1ヶ月の料金は1ヶ月間（料金計算期間）の接続ごとの料金を合計した値となります。

例
60秒 10円の料金とすると1回の接続で90秒接続した場合、20円となる。
90秒 = 60秒 + 30秒
20円 = 10円 + 10円
したがって、実際のプロバイダ側での計算式が異なる場合は、料金も多少違ってくる場合があります。

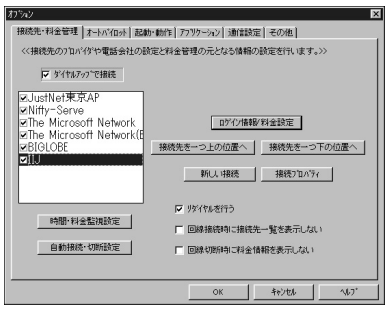
オートダイヤル

「オートダイヤル」では、あらかじめ指定されたアクセスポイントにつながるまで何度でも電話をかけ直します。ただし、電話回線の仕様で、1つの接続先（アクセスポイント）に対して、3分間に3回しかかけられません（最初の電話、1回目のかけ直し、2回目のかけ直し）。3回かけてもなお話し中であれば、次に電話をかけるのは3分後になります。

アクセスポイントを設定する

①「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）

②「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



「接続先・料金管理」タブのウィンドウで、使用する接続先プロバイダにチェックマークを付けます。
ここで、「リダイヤルを行う」チェックボックスにチェックマークがついていることを確認します。購入時の状態ではチェックされています。

③ 確認したら「OK」をクリック。
以上で設定は完了です。回線接続を行って、話し中の場合は自動的に電話をかけ直します。

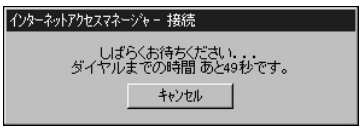
■ 電話をかけるタイミング

最初に電話をかけてから3分間の間は2回しかかけ直しすることができません。
4回目は最初に電話をかけたときから3分後にかけ直します。

回線接続実行
↓
1回目　2回目　3回目　　4回目　5回目
←　　3分間　　→←　　3分間

話し中　話し中　話し中
←　待ち時間　→

3回目にかけてから「話し中」を検出して、次に電話をかけるまでの間（待ち時間）、「接続」ダイアログボックスが表示されます。



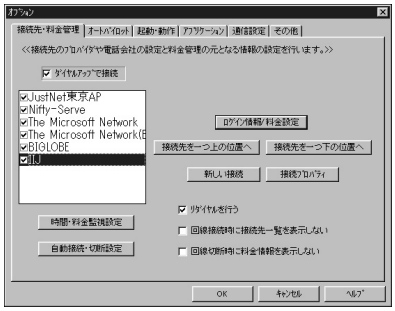
自動的にアクセスポイントを変更する

アクセスポイントが話し中なので、次に近いアクセスポイントにかけ直す、または、固定制プロバイダが話し中なので、従量制プロバイダにかけ直す、というようにアクセスポイントのかけ直しは、大変手間のかかる作業です。これを自動的に行うには「オートダイヤル」が便利です。ただし、電話回線の仕様で、1つ下の接続先（アクセスポイント）に対して、最初に電話をかけてから3分間に3回しかかけられません。2回かけてもなお話し中であれば、次に電話をかけるのは3分後になります。

■ アクセスポイントを設定する

① 「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」）

② 「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



「接続先・料金管理」タブのウィンドウで、アクセスポイントをチェックします。
電話をかけるアクセスポイントを上から順番に並び替えてチェックをつけてください。画面上に設定されているアクセスポイントで、チェックボックスがついているものを上から順番にかけていきます。

- 電話をかけたくないアクセスポイントは、チェックをはずしてください。
- 順番を並び替えたい場合は、該当のアクセスポイントをクリックして反転表示にした後、「接続先を1つ上の位置へ」ボタン、もしくは、「接続先を1つ下の位置へ」ボタンを使用します。

上記の例では、「JustNet東京AP」「NIFTY-Serve」「The Microsoft Network」「IIJ」「BIGLOBE」の順番に電話をかけます。

「リダイヤルを行う」チェックボックスにチェックマークがついていることを確認します。既定値ではチェックされています。

③ 「OK」をクリック。
以上で設定は完了です。回線接続を行って、話し中の場合は自動的に次のアクセスポイントに電話をかけます。さらに、設定されているアクセスポイントがすべて話し中の場合は、もう一度最初から順番に電話をかけ直します。

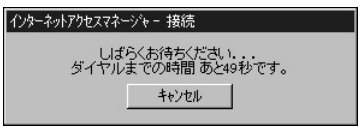
■ 電話のかけ直しについての注意

最初に電話をかけてから3分間の間は1つのアクセスポイントに2回しかかけ直すことができません。4回目は最初に電話をかけたときから3分後にかけ直します。
（例 アクセスポイントが「BIGLOBE」と「JustNet」の2つの場合）

回線接続実行
↓

BIGLOBE	JustNet	BIGLOBE
1回目2回目3回目	1回目2回目3回目	4回目
←	3分間	→ ←
		← →
		待ち時間

1回目にかけてから「話し中」を検出して次に同じアクセスポイントに電話をかけるまでの間（待ち時間）、「接続」ダイアログボックスが表示されます。



URL 情報の登録・整理

登録されているURL にアクセスする

本機の「インターネットエクスプローラ」には、あらかじめ約80にジャンル分けされたURLが登録されており、「インターネットアクセスマネージャ」は、起動時にこれらの「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」の内容を「URLリスト」－「インターネットお気に入り」に自動的に登録します。このため、わざわざURLを入力しなくても、マウスをクリックするだけでホームページにアクセスできます。

チェック!!

インターネット上の情報は、日々変化しているため、目的のホームページのURLが変更されていたり、なくなったりしている場合もあります。

ホームページを整理する

よくアクセスするホームページのアドレス（URL）を覚えておきたい場合や、ブラウザに登録したホームページを整理したい場合は、「URL情報の登録・整理」の機能が便利です。

「インターネットアクセスマネージャ」では、タイトル、URL、コメントをまとめてURL情報と呼びます。
「URL情報の登録・整理」には、次のような特長があります。

- お気に入りのURLをフォルダを使って階層的に登録・整理することができる。フォルダ名の長さは40文字までです。
- 登録するときに簡単なコメントをつけることができるので整理するときに便利。
- URLリストのレビューからダブルクリックで該当のURLをWWWブラウザに表示させることができる。
- Windows 95の「エクスプローラ」と同様なウィンドウ画面と操作性がある。

「インターネットエクスプローラ」の「お気に入り」自動反映

ブラウザの中にお気に入りのURLを登録、一元管理するには、「URLリストの反映」が便利です。「URLリストの反映」では、WWWブラウザの管理しているお気に入りのURLを「インターネットアクセスマネージャ」のURLリストにワンタッチで反映することができます。また、その逆にURLリストをフォルダごとWWWブラウザに反映することができます。
これによって、気に入ったURLを一元管理することができます。

ログファイルを見る

通信記録（ログファイル）を見る

「通信記録」では、過去にアクセスした接続開始時間、終了時間の記録（ログ）をとってあり、一目で確認できます。ただし、記録の保存期間は最長12ヶ月です。保存期間を過ぎた記録は削除されます。

通信記録(ログファイル)を見る

①「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)

② ツリービューの「通信記録」をダブルクリック。

③「月名」をダブルクリック
選ばれた月の接続ごとの接続開始時間、終了時間が表示されます。

記録は一番新しいものがリストビューの一番上に表示されます。

<ツリービュー>

項	表示内容
《日付》	接続を行った日の通信記録を、月単位(1日～末日)で表示します。 接続の記録を、1回の接続ごとに表示します。

<リストビュー>

項	表示内容
《日付》	接続を行った日付を表示します。
《接続》	接続した接続先名を表示します。オートパイロットを実行した場合は、" オートパイロット "と表示します。
《開始時間》	プロバイダに接続し、ログインが完了した時間を表示します。 オートパイロット実行後は、" → "が表示されます。
《終了時間》	回線を切断した時間を表示します。接続中にオートパイロットが行われた場合は、" → "が表示されます。
《通信時間》	《開始時間》から《終了時間》までの時間を表示します。 オートパイロットの場合は、オートパイロットにかかった時間を表示します。
《動作》	接続の動作結果を表示します。

回線接続関連
＊<<接続>>がオートパイロット以外の場合

No.	動作結果	意味
1	接続開始	回線を接続したことを意味します。回線接続後にオートパイロットを実行した場合にこの状態が表示されます。 このとき終了時間は" → "の表示になります。 さらに、回線接続中もこの表示になります。
2	正常	正常に回線接続ができていた状態から回線を切断したことを意味します。
3	回線使用中	回線が使用中であることを意味します。相手先が混雑(ビジー)していたことを示します。
4	回線でエラー発生	モデムの電源が入っていないときなどに表示されます。 回線上で何らかの障害が発生したことを意味します。
5	ログイン失敗	ID/パスワードなどが誤っていてサーバにログインできなかったことを意味します。
6	リモートから切断	サーバ側から切断されたことを意味します。
7	応答なし	サーバからの応答がないとき (サーバが混雑しているときなど)に表示されます。
8	メモリ不足	メモリ不足で処理が継続できなかったことを意味します。
9	不明	上記以外の何らかの異常が発生したことを意味します。

オートパイロット関連
＊<<接続>>がオートパイロットの場合

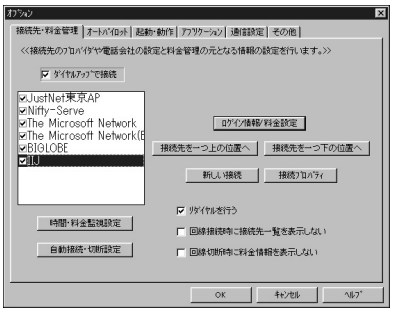
No.	動作結果	意味
1	成功	オートパイロットの実行がすべて正常に完了したことを意味します。
2	一部不正	巡回したURLの中で一部のデータがダウンロードできなかったことを意味します。複数のURLを指定した場合で、その中の1つでもURLに不具合があった場合も、この表示が出ます。
3	中断	ユーザ操作により中断されたことを意味します。
4	タイムアウト	目的のサーバからの応答が一定時間なく、タイムアウトしたことを意味します。
5	アドレス不正	存在しないアドレスを指定されたことを意味します。
6	コネクション失敗	Webサーバ側の理由により通信ができなかったことを意味します。
7	更新なし	巡回したURLが現在、ハードディスク上にあるデータから更新されていないことを意味します。
8	HD容量不足	インターネットアクセスマネージャのインストール先ドライブの空容量が少ないため、オートパイロットを中断したことを意味します。
9	読み込み不可	Webサーバの応答ステータスがエラーもしくは、通信エラーのため、読み込めなかったことを意味します。
10	実行中	オートパイロット実行中にサーバ側から切断されるなどの異常が発生して、オートパイロットを実行中にインターネットアクセスマネージャを終了したことを意味します。

回線接続直後にメールやニュースを読み込む

「インターネットアクセスマネージャ」が回線接続と同時に、あらかじめ指定されたアプリケーション(インターネットメールソフトやニュースリーダーなど)を起動させることができます。いつも使用するメールやニュースリーダーを登録しておくと便利です。

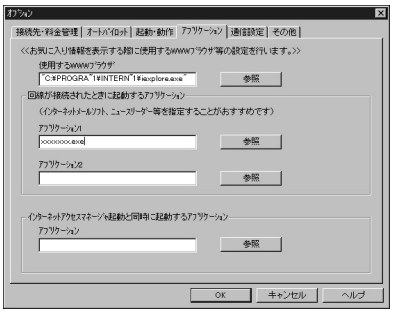
①「インターネットアクセスマネージャ」を起動する。(「ランチ-NX」→「インターネット＆パソコン通信」→「インターネットアクセスマネージャ」または「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「インターネットアクセスマネージャ」)

②「表示」→「オプション」をクリック。
「オプション」ウィンドウが表示されます。



③「アプリケーション」タブをクリック。
「アプリケーション」タブのウィンドウが表示されます。

④「回線が接続されたときに起動するアプリケーション」の欄に、起動したアプリケーションの格納場所を「参照」を使って設定する。



⑤「OK」をクリック。
以上で設定は完了です。回線接続をしてみてください。指定されたアプリケーションが自動的に起動します。

パソコン通信

本機で「BIGLOBE Walker」、「PC-VAN」、「AOL」、「NIFTY SERVE」に接続するための設定方法について説明します。

概要

パソコン通信とは、電話回線を通して、パソコン通信のサービス会社のホストコンピュータに接続し、同じサービスに契約している会員の間で情報をやりとりすることです。「BIGLOBE Walker」、「PC-VAN」、「AOL」、「NIFTY SERVE」は、いずれもパソコン通信サービスで、電子メールやオンラインショッピング、仕事や趣味の共通の話題について話し合える「フォーラム」などのサービスを提供しています。本機には、それぞれのパソコン通信サービス専用の接続ソフトが添付されていますので、簡単にサービスを利用することができます。

パソコン通信を利用する前に

パソコン通信をする前に、本機のFAXモデムボードと電話回線が正しく接続されていることを必ず確認してください。

参照
・電話回線との接続→『STEP1 接続と準備』PART 2「電話回線に接続する」

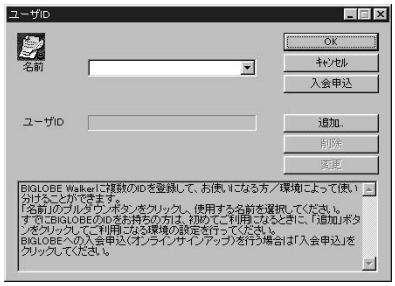
BIGLOBE Walker を利用する

BIGLOBE Walkerは、インターネットに接続したり、電子メールのやりとりをするためのソフトウェアです。インターネットや電子メールに必要な情報も、BIGLOBE Walkerで管理するので、簡単に情報を管理することができます。
BIGLOBE Walkerを利用して、パソコン通信であるPC-VANにも接続できます。

はじめてBIGLOBE Walker を起動する

はじめてBIGLOBE Walkerを起動する場合は、次の手順で操作してください。

① BIGLOBE Walkerを起動する。
(「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「BIGLOBE Walker」または、「スタート」→「プログラム」→「BIGLOBEツール」→「BIGLOBE Walker」→「BIGLOBE Walker」)
「ユーザID」のウィンドウが表示されます。



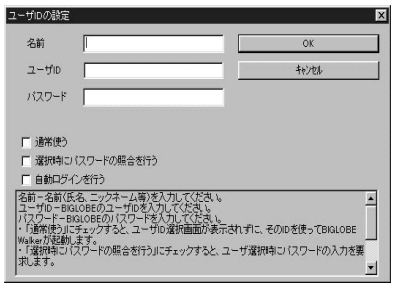
チェック!!

- 「自動サインアップ」のウィンドウが表示された場合、「BIGLOBE」の会員の方(すでに「BIGLOBE」のユーザIDを持っている方)は、「いいえ」をクリックしてください。

  まだ、「BIGLOBE」に入会していない方は、「はい」をクリックして、『インターネット入門』をご覧になって、サインアップしてください。サインアップ後、再び、手順①から行ってください。

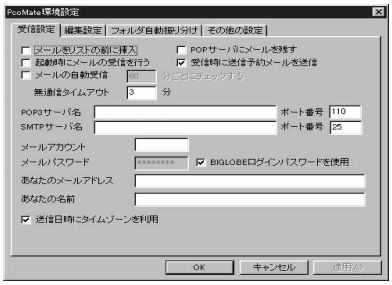
- 「BIGLOBEサインアップナビ」を使ってサインアップした場合は、既に「名前」と「ユーザID」が設定されています。

② 「ユーザID」のウィンドウで「追加」をクリック。
「ユーザIDの設定」ウィンドウが表示されます。



③ 「名前」「ユーザID」と「パスワード」を入力して「OK」をクリック。
「ユーザID」のウィンドウに戻ります。

④ 設定した名前が表示されていることを確認して「OK」をクリック。
「PcoMate環境設定」ウィンドウが表示されます。



必要事項を設定してください。
（例はBIGLOBEのメールアドレスがpstarou@mxx.biglobe.ne.jpの場合）

・POPサーバ名
メール受信時のサーバ（例：mxx.biglobe.ne.jp）

・STMPサーバ名
メール送信時のサーバ（例：mxx.biglobe.ne.jp）

・メールアカウント
メールサーバに接続するときのアカウント（例：pstarou）

・あなたのメールアドレス
送信時のメールアドレス（例：pstarou@mxx.biglobe.ne.jp）

・あなたの名前
メールの送信者名（例：PS太郎）

⑤「OK」をクリック。
BIGLOBE Walkerが起動します。

通信の設定をする

「BIGLOBE Walker」が起動したら、通信の設定を行います。

① メニューバーの「設定」→「通信設定」をクリック。

各項目の詳細については、BIGLOBE Walkerのヘルプをご覧ください。
BIGLOBE Walkerのヘルプはツールメニューの をクリックすると起動することができます。

PC-VAN ナビゲータを利用する

PC-VANナビゲータはBIGLOBE Walkerの画面から起動します。

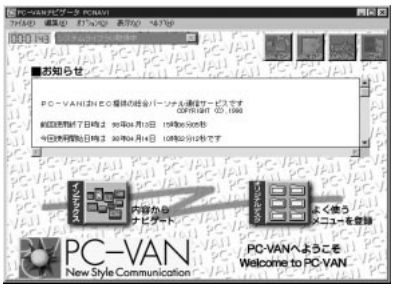
① BIGLOBE Walkerを起動する。
（「ランチ-NX」→「インターネット&パソコン通信」→「BIGLOBE Walker」をクリックまたは、「スタート」→「プログラム」→「BIGLOBEツール」→「BIGLOBE Walker」→「BIGLOBE Walker」）

②「ユーザID」ウィンドウが表示されたら、「名前」で接続先を選んで「OK」をクリック。
BIGLOBE Walkerが起動します。

③ 画面右下の をクリック。

「ダイヤルアップ」ウィンドウが表示されますので、はじめてPC-VANに接続する場合は、「新規作成」ボタンをクリックして、画面の指示に従って接続の設定をしてください。

すでに接続したことがある場合は、自動的に接続されます。
接続が完了すると、PC-VANの画面が表示されます。



AOL を利用する

パソコン通信サービス「AOL（アメリカ・オンライン）」のサービスを利用する場合は、「AOL」を使います。

AOL のセットアップ

本機には、「AOL」はセットアップされていません。本機で「AOL」を利用するには、本機にセットアップされている「AOLへのご招待」を使用して「AOL」をセットアップする必要があります。

参照
・セットアップ方法→PART1「セットアップされていないアプリケーションの使用」

入会手続き（サインアップ）

はじめてAOL（アメリカ・オンライン）を利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、AOL（アメリカ・オンライン）の会員になる必要があります。

参照
・入会方法→『AOLハンドブック』

AOL の起動

「AOL」を起動して、「AOL」を利用します。

① デスクトップの「AOLの世界へようこそ」をクリック。
「AOL」が起動します。

詳しい使い方は本機添付の『AOLハンドブック』をご覧ください。

NIFTY SERVE を利用する

パソコン通信サービス「NIFTY SERVE」のサービスを利用する場合は、「NIFTY MANAGER」を使います。

NIFTY MANAGER のセットアップ

本機には、「NIFTY MANAGER」はセットアップされていません。本機で「NIFTY MANAGER」を利用するには、まずセットアップする必要があります。

参照
・セットアップ方法→PART1「セットアップされていないアプリケーションの使用」

入会手続き（サインアップ）

はじめて「NIFTY SERVE」を利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、「NIFTY SERVE」の会員になる必要があります。「NIFTY SERVE サインアップ」というソフトを使って、「NIFTY SERVE」に入会できます。

参照
・入会方法→『ニフティサーブ イントロパック』

NIFTY MANAGER の起動

「NIFTY MANAGER」を起動して、NIFTY SERVEを利用します。

①「NIFTY MANAGER」を起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「NIFTY MANAGER」→「NIFTY MANAGER」）

「NIFTY SERVE サインアップ」で通信環境を登録した場合は、「ワンポイント」ウィンドウが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。

この場合は、以降の「通信環境の設定」の手順は必要ありません。「NIFTY SERVEへの接続」に進んでください。

「セットアップ」ウィンドウが表示された場合は、以降の「通信環境の設定」の手順を行ってください。

通信環境の設定

「NIFTY SERVE サインアップ」で通信環境を登録しなかった場合や、以前から「NIFTY SERVE」のIDを持っていて、「NIFTY SERVEサインアップ」を利用しなかった場合は、はじめて「NIFTY MANAGER」を起動したときに「セットアップ」ウィンドウが表示されます。次の手順で設定してください。

① 「ユーザーID」と「パスワード」を入力する。
ここに「NIFTY SERVE」のユーザーIDを入力しておくと、接続のつどIDを入力する手間が省けます。

安全のため、パスワードはここには入力せず、接続のつど入力することをお勧めします。

② 「次へ」をクリック。
「セットアップ」が起動します。

③ 「アクセスポイントでの接続を利用する」のチェックボックスを（オン）にする。

④ 「次へ」をクリック。
アクセスポイントを設定するウィンドウが表示されます。

⑤ 一覧から最寄りのアクセスポイントをクリック。

⑥ 「次へ」をクリック。
モデムを選ぶウィンドウが表示されます。

⑦ 使用しているモデムが表示されていることを確認して、「次へ」をクリック。
電話の設定を行うウィンドウが表示されます。

⑧ 「標準」が選ばれていることを確認して、「ダイヤルのプロパティ」をクリック。
「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

⑨ 市外局番を入力する。

⑩ 「OK」をクリックして「次へ」をクリック。

⑪ 「完了」をクリック。
「ワンポイント」ウィンドウが表示されます。

⑫ 「閉じる」をクリック。
これで、設定は完了です。「NIFTY MANAGER」を使って「NIFTY SERVE」にアクセスすることができるようになりました。

NIFTY SERVE への接続

「NIFTY SERVE」に接続します。

① 「NIFTY MANAGER」のツールバーの をクリック
IDやパスワードを設定していない場合は、入力するウィンドウが表示されますので、入力してください。
「NIFTY SERVE」に接続します。

ダイヤルアップネットワーク

通常の電話回線とモデムを利用してインターネットに接続することを、ダイヤルアップ接続といいます。ダイヤルアップ接続を行うときに必要なソフトが「ダイヤルアップネットワーク」です。プロバイダやパソコン通信サービスにオンラインで入会手続きを行うと、自動的にダイアルアップネットワークの設定が行われます。このため、通常はダイアルアップネットワークを気にすることなく、インターネットやパソコン通信が利用できます。

既存のダイヤルアップネットワークの確認

ここでは、例として「BIGLOBE」という「ダイヤルアップネットワーク」の内容を確認してみます。
BIGLOBEで入会申込を行った場合には「BIGLOBE」アイコンが作成されます。

① 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開く。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「ダイヤルアップネットワーク」)

② 「BIGLOBE」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。

③ 「プロパティ」をクリック。
「BIGLOBE」ウィンドウが表示されます。

ここでは、プロバイダへ接続するときのアクセスポイントの電話番号と、使用するモデムについて確認できます。

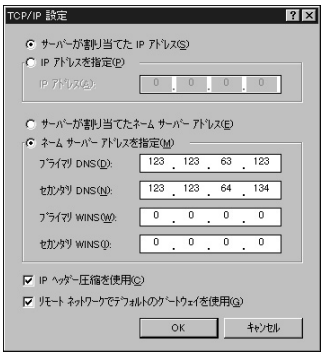
④ 「サーバーの種類」タブをクリック。
「サーバーの種類」タブのウィンドウが表示されます。

ここでは、次の確認ができます。

・「サーバーの種類」
「PPP:Windows 95、WindowsNT 3.5、インターネット」が選択されているか。

・「使用できるネットワークプロトコル」
「TCP/IP」が選択されているか。

⑤「TCP/IP 設定」をクリック。
「TCP/IP 設定」ウィンドウが表示されます。



ここでは、プロバイダによっては、IPアドレスやネームサーバーアドレスが設定されていることもあります。

以上で、「BIGLOBE」の内容が確認できました。

新しいダイヤルアップネットワークの作成

プロバイダによっては、新しいダイヤルアップネットワークを作成する必要がある場合があります。新しくダイヤルアップネットワークを作成するには、次の手順を行ってください。

①「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開く。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「ダイヤルアップネットワーク」)

②「新しい接続」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。

③「作成」をクリック。
「新しい接続」ウィンドウが表示されます。

④「接続名」を入力する。
(例 NEC)

この名前は、ほかの「ダイヤルアップネットワーク」アイコンと区別するためですから、自分で覚えやすい名前を自由につけてかまいません。

本機にターミナルアダプタなどを接続していて変更したい場合は、「設定」をクリックします。

⑤「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。

プロバイダへ接続するためのアクセスポイントの電話番号を入力し、国番号が「日本(81)」になっていることを確認してください。

⑥「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。

⑦「完了」をクリック。
「NEC」という「ダイヤルアップネットワーク」が作成されました。

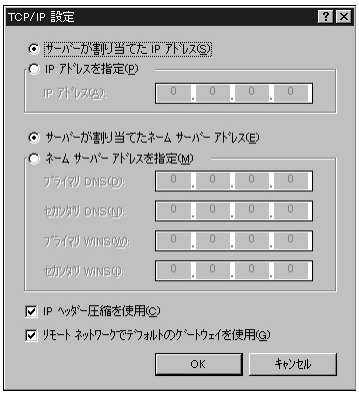
⑧「NEC」を右クリック。
ポップアップメニューが表示されます。

⑨「プロパティ」をクリック。
「NEC」ウィンドウが表示されます。

⑩「サーバーの種類」タブをクリック。
「サーバーの種類」タブのウィンドウが表示されます。

「サーバーの種類」「詳細オプション」「使用できるネットワークプロトコル」の設定を、プロバイダからの指示に従って行います。

⑪「TCP/IP 設定」をクリック。
「TCP/IP 設定」ウィンドウが表示されます。



ここでも、プロバイダの指示に従って設定を行います。

⑫ 設定が完了したら、「OK」をクリック。
「NEC」という「ダイヤルアップネットワーク」の作成/設定が完了しました。

PART

3

パソコンを守るアプリケーション

- パソコンを守るアプリケーション
- 利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉
- Windows 95 の動作の監視〈CyberWarner-NX〉
- ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉

パソコンを守るアプリケーション

本機のシステムを、コンピュータウイルスや、誤操作による設定の変更から守るためのアプリケーションについて説明します。

本機のシステムを守る

本機には、Windows 95の利用環境を限定することにより、システムに影響を与えないようにする機能や、万一コンピュータウイルスに感染した場合でも、ウイルスを発見し、駆除する機能があります。

ただし、購入時には常に使えるようには設定されていない機能もあります。利用状況に合わせて設定してください。なお、設定するとファイルを常時監視し続けたりするため、アプリケーションの動作が多少遅く感じることがあります。

Windows 95の利用環境を限定する（CyberTrio-NX）

「CyberTrio-NX」は、Windows 95の利用環境を、利用者のスキルに合わせて「アドバンストモード」「ベーシックモード」「カスタムモード」の3つのモードを切り替えることができます。

購入時は、「アドバンストモード」に設定されています（タスクバー右隅の アイコンが赤色になっています）。「アドバンストモード」はWindows 95へのフルアクセスが可能です。利用環境を限定しません。システムの設定は、「アドバンストモード」でのみ行うことができます。通常は、このモードで本機をお使いください。
他のモードに変更することもできます。

参照
・他のモードへの変更方法→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

ほかに、次のモードがあります。

◎ベーシックモード

システムに影響を与える機能を制限して、本機のハードウェアやソフトウェアへのダメージを防ぎます。

◎カスタムモード

「マイプログラム」または「カスタムモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみを使用できます。使用できるアプリケーションを限定することにより、パソコンに不慣れな方にもやさしいインターフェイスを提供します。

参照
・カスタムモードでの設定→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」の「カスタムモード」

参照
・CyberTrio-NXの使い方→PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」

Windows 95の動作環境を監視する（CyberWarner-NX）

CyberWarner-NXは、Windows 95の動作に影響を与えるファイルを監視して、操作中にそれらのファイルを削除、または変更しようとすると、警告を発します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

システムの変更を行うときや、アプリケーションの追加や削除、ファイルの削除、変更をするときに起動して使用してください。誤って操作することを防ぐことができます。

チェック!!

購入時には起動されていません。起動してから使用してください。

参照
・CyberWarner-NXの起動方法→PART 3「Windows 95の動作の監視〈CyberWarner-NX〉」

ウイルスを検査、駆除する (VirusScan for Windows 95)

VirusScan for Windows 95は、ディスクのシステム、データ領域、メモリをチェックしてコンピュータウイルス（以降、ウイルス）に感染していないかを調べたり、万一、感染していた場合でも、ウイルスを駆除して、プログラムやシステム領域が元の状態になるまで修復することができます。

チェック!!

購入時は起動されていません。起動してから使用してください。

参照

・VirusScan for Windows 95の起動方法、設定方法
→PART3「ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉」

利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉

このアプリケーションでは、Windows 95を利用するレベルに合わせたモードの変更ができます。

モードの種類

「CyberTrio-NX」では、次の3種類のレベルのモードから選ぶことができます。

◎アドバンストモード

Windows 95へのフルアクセスが可能です。

◎ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぎます。

◎カスタムモード

「マイプログラム」または「カスタムモードのデスクトップ」に登録しているアプリケーションのみが使用できます。

チェック!!

購入時は「アドバンストモード」に設定されています。

モードの変更

Windows 95の利用するレベルは、購入時は「アドバンストモード」に設定されていますが、自由に変更できます。モードに合わせて、タスクバーに表示されている「CyberTrio-NX」のインジケータ の色が次のように変わります。

「カスタムモード」　：緑色
「ベーシックモード」　：黄色
「アドバンストモード」：赤色

チェック!!

「CyberTrio-NX」のモード変更を行う前に、ほかの起動中のアプリケーションを必ず終了させてください。また、編集中の必要なデータなどは保存してください。

アドバンストモードからベーシックモードへの変更

①「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To ベーシックモード」をクリック。
「ベーシックモード」へ変更されます。

チェック!!

- 「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
「ユーティリティ」→「CyberTrio-NX（利用者モード）」→「CyberTrio-NX（利用者モード変更メニュー）」→「ベーシックモード」をクリック。

- 購入時の状態では、再起動すると再起動する前と同じモードで起動します。再起動時のモードを設定する方法は、後述の「起動時のモードの設定」をご覧ください。

アドバンストモード（またはベーシックモード）からカスタムモードへの変更

①「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To カスタムモード」をクリック。
「カスタムモード」へ変更されます。

チェック!!

- 「ランチ-NX」からは次の手順で変更できます。
「ユーティリティ」→「CyberTrio-NX（利用者モード）」→「CyberTrio-NX（利用者モード変更メニュー）」→「カスタムモード」

- 購入時の状態では、再起動すると再起動する前と同じモードで起動します。再起動時のモードを設定する方法は、後述の「起動時のモードの設定」をご覧ください。

カスタムモードからほかのモードへの変更

①「スタート」→「プログラム」→「Go To アドバンストモード」または「Go To ベーシックモード」をクリック。
「アドバンストモード」または「ベーシックモード」へ変更されます。

チェック!!

・「CyberTrio-NX(利用者モード変更メニュー)」で変更することもできます。「キャンセル」をクリックすると元のモードに戻ります。

・購入時の状態では、再起動すると再起動する前と同じモードで起動します。再起動時のモードを設定する方法は、後述の「起動時のモードの設定」をご覧ください。

起動時のモードの設定

本機の電源を入れたときに起動するモードを設定できます。購入時は「アドバンストモード」が設定されています。

①「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NX セットアップ」をクリック。
次のメニューが表示されます。

「前回終了した時のモード」を選ぶと、前回に本機の電源を切ったときに使われていたモードで起動します(購入時の状態ではこのモードになっています)。
「起動時にモードを選択」を選ぶと、本機の電源を入れて起動したときに、「CyberTrio-NX」メニューが表示され、モードを選ぶことができます。

モードの変更時の注意

Windows 95で「ユーザ別の設定」を行っている場合、「CyberTrio-NX」のモードを変更することはできません。「CyberTrio-NX」のモードを変更する場合は、次の手順で「ユーザ別の設定」を解除してください。

①「コントロールパネル」を起動する。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」が表示されます。

②「パスワード」をダブルクリック。
「パスワードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③「ユーザ別の設定」タブをクリック。
「ユーザ別の設定」タブウィンドウが表示されます。

④「すべてのユーザが同じデスクトップを使う」をクリック。

⑤「OK」をクリック。
再起動を促すメッセージが表示されます。

⑥「はい」をクリック。
「ユーザ別の設定」が解除できました。

ベーシックモード

「ベーシックモード」では、「アドバンストモード」に比べて、ユーザーがシステム環境を誤って変更しないように、システムへ影響を与える動作を制限し、本機やアプリケーションへの予期しないダメージを未然に防ぐことを目的としています。

ベーシックモードでの制約

「ベーシックモード」では次の点で制約があります。これらの機能を使う場合は、「アドバンストモード」で使用してください。

参照
・モードの変更→本項「モードの変更」

コントロールパネル

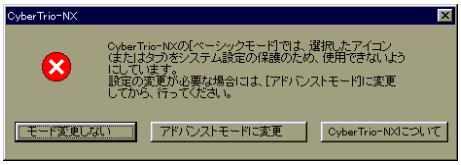
「コントロールパネル」に関して次のような制約があります。
アイコンを起動しようとするとメッセージが表示される。

・ネットワーク

・マルチメディア

・システム

これらのアイコンをダブルクリックしたときには、次の画面が表示されます。



- 「モード変更しない」をクリック・・・ベーシックモードに戻る
- 「アドバンスモードに変更」をクリック・・・自動的にアドバンストモードに変更
- 「CyberTrio-NXについて」をクリック・・・「CyberTrio-NX」についてのヘルプが起動

これらのアイコンを起動したい場合は、「アドバンストモードに変更」をクリックして、モードを変更します。自動的にモードがアドバンストモードになるので、もう一度コントロールパネルから必要なアイコンを起動してください。

また、「プリンタ」で「プリンタの削除」はできません。

タスクバー、デスクトップの設定

変更できません。

レジストリエディタとシステムエディタ

使用できません。

CyberWarner-NXの使用

起動時に「警告あり」のモードになります。起動後に、「警告なし」のモードへの変更は可能です。

参照

- CyberWarner-NX→PART 3「Windows 95の動作の監視〈CyberWarner-NX〉」

ベーシックモードでの注意

「ベーシックモード」では、次の点に注意してください。

設定変更時の注意

「ベーシックモード」では、タスクバーの設定は、ご購入時の状態で使用してください。タスクバーを変更して使用する場合は、「アドバンストモード」で使用してください。

Safeモードで起動した場合の注意

本機に問題があり、Windows95がSafeモードで起動した場合、「CyberTrio-NX」が「ベーシックモード」になっていると、ハードウェアの設定を変更できません。

このような場合は、次の手順で設定の変更を行ってください。

① 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリック。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

② 「名前」に次のように入力する。
c:¥cybertrio¥kiddosc:¥cybertrio¥script¥normal.dtc

③ 「OK」をクリック。
これでハードウェアの設定を変更することができます。「デバイスマネージャ」などで、変更が必要なハードウェアの設定を行ってください。

カスタムモード

使用できるアプリケーションを限定し、パソコンに不慣れな方にもやさしいインタフェースを提供します。

使いたいアプリケーションの設定や、「カスタムモード」の動作設定などは、「アドバンストモード」または「ベーシックモード」からできます。

チェック!!

「カスタムモード」では次の制約があります。

- 「スタート」メニューから選べるのは「Windowsの終了」「ヘルプ」「プログラム」だけです。
- ワイヤレスキーボードの右クリックボタン、メディアコントローラのクリックボタン（上）は動作しません。
- タスクバーには （CyberTrio-NX）と （ボリュームコントロール）のインジケータだけが表示されます。

チェック!!

カスタムモードを使用する場合は、「インターネットエクスプローラ4.01」を削除しないでください。

使いたいアプリケーションの設定

「カスタムモード」で使用できるアプリケーションは、次の手順で設定します。

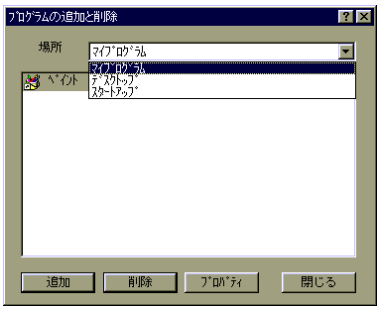
チェック!!

購入時には「デスクトップ」に「CyberTrio-NXメニュー」が追加されています。

①「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「プログラムの追加と削除」をクリック。

②「追加」をクリックし、使用したいアプリケーションを指定する。

③ アプリケーションの追加先に「マイプログラム」または「デスクトップ」を指定する。



④「追加」をクリックし。

チェック!!

- アプリケーションのショートカットを追加するときは、「プログラム」メニューを選んでショートカットを選んでください。
- アプリケーションのファイル名を追加するときは、「参照」メニューを選んで、「ファイルを開く」ウィンドウの中でファイル名を選んでください。
- 使用できるアプリケーションを確認するには、「プロパティ」をクリックします。
- アプリケーションを削除するときは、「削除」をクリックします。
- アプリケーションの追加先を「スタートアップ」に指定してアプリケーションを追加すると、カスタムモードで起動したときやカスタムモードに切り換えたときに追加したアプリケーションが自動起動します。

カスタムモードの動作設定

パスワード、カスタムモードで使用者が利用できる動作条件などの設定ができます。

パスワードの設定

不用意に「カスタムモード」からほかのモードに変更できないように、パスワードを設定できます。パスワードは最大8文字までの英数字で、「アドバンストモード」または「ベーシックモード」から設定します。

チェック!!

購入時には、パスワードは設定されていません。

①「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NX セットアップ」をクリック。
「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

②「パスワードの設定」タブをクリック。

③「パスワードを設定する」にチェックマークをつける。

④「パスワード」にパスワードを入力する。

⑤「パスワードの確認」にもう一度同じパスワードを入力する。

⑥「OK」をクリック。

チェック!!

設定したパスワードを忘れたときは、次の「緊急用パスワード」を入力して、ほかのモードへ変更してから、パスワードをもう一度設定し直してください。

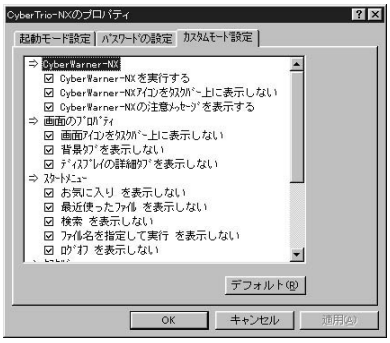
「緊急用パスワード」：71709981

カスタムモードの設定

「カスタムモード」で使用する動作条件を設定できます。使用者のレベルに合わせて選ぶことができます。

① 「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NX セットアップ」をクリック。
「CyberTrio-NXのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

② 「カスタムモード設定」タブをクリック。



③ 「カスタムモード設定」のチェックボックスから制限する項目にチェックを付ける。

④ 「OK」をクリック。

Windows 95の動作の監視〈CyberWarner-NX〉

Windows 95の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイル操作中に削除または変更しようとすると警告を表示します。また、ログファイルを収集して、保守時に利用することもできます。

起動と終了

本機の購入時には、CyberWarner-NXは起動されていません。起動する手順は次の通りです。

①「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

②「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

③「スタートアップ」タブをクリック。

④「開始」をクリック。
◎オプションの説明
- 「起動時にCyberWarner-NXを実行する」
次回から、本機を起動するときは、「CyberWarner-NX」が常駐プログラム（常に監視を続けるプログラム）として実行されます。
購入時の状態では、チェックが外されています。
- 「タスクバーにCyberWarner-NXアイコンを表示する」
「CyberWarner-NX」の実行中は、タスクバーに「CyberWarner-NX」アイコンを表示します。
購入時の状態では、チェックが付けられています。

終了の方法

① タスクバーの右隅にある（CyberWarner-NX）をクリック。

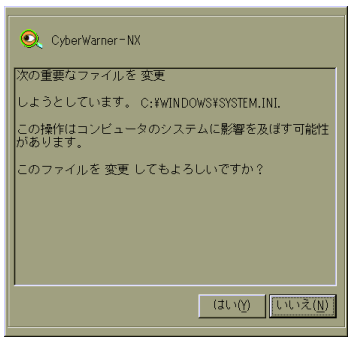
②「終了」をクリック。
「CyberWaner-NXの終了」ウィンドウが表示されます。

③「はい」をクリック。

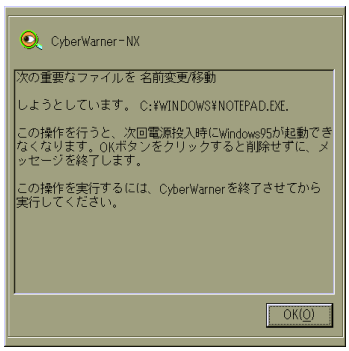
警告メッセージ

Windows 95の動作状況を監視し、動作に影響を与えるファイルを、削除または変更しようとすると、警告メッセージを表示します。
メッセージには操作の確認用メッセージと警告用メッセージがあります。

確認用メッセージ



警告用メッセージ



警告メッセージの表示/非表示

警告メッセージを表示するかどうかを設定できます。
「警告なし」を選ぶと、警告メッセージを表示せずに処理されます。
確認メッセージは、警告メッセージの表示/非表示にかかわらず、表示されます。

①「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

②「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

③「一般」タブをクリック。

④「警告あり」または「警告なし」をクリック。

⑤「OK」をクリック。

チェック!!

「CyberTroi-NX」をベーシックモードに設定すると、自動的に「警告あり」に、アドバンストモードに設定すると自動的に「警告なし」に設定されます。

バックアップファイル

ログ対象ファイルを操作(移動、削除、修正、名前の変更など)した場合、その操作前のファイルが保存されます。

バックアップファイルの設定

バックアップファイルに関する設定ができます。

① コントロールパネルを開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

② 「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

③ 「バックアップ」タブをクリック。
スライダを移動するとバックアップファイルの最大サイズを変更することができます。

◎バックアップ
ログと一緒に収集するバックアップデータを保存しておく場所の容量を設定できます。

ログ対象ファイルの説明

ログファイルの説明

◎CriticalFile
次のファイルを変更したときは、変更の警告メッセージが表示され、変更しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻ること)されます。

¥command.com
¥io.sys
¥windows¥himem.sys
¥windows¥win.com
¥windows¥notepad.exe
¥windows¥regedit.exe
¥windows¥explore.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.*
¥windows¥command.com
¥windows¥system¥sysedit.exe
¥windows¥system¥iosubsys¥*.*
¥windows¥rundll.exe
¥windows¥rundll32.exe
¥windows¥progman.exe
¥windows¥control.exe
¥windows¥winfile.exe
¥windows¥taskman.exe
¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥winsock.dll

◎Non Critical File
次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。

¥autoexec.bat
¥config.sys
¥msdos.sys
¥windows¥command¥*.*
¥windows¥system¥*.dll
¥windows¥system¥*.vxd

◎Special
次のファイルを変更したときは、変更の確認メッセージが表示されます。また、他のアプリケーションをインストールしたときに次のファイルが変更されると、自動的に変更前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini
¥windows¥system.ini

ファイルの削除についての注意

「CyberWarner-NX」で保護されているファイルを削

除する場合、「ごみ箱」の中身がないにもかかわらず、中身があるように表示されることがあります。このような場合には、次の手順で「ごみ箱」の中身の状態と表示を合わせてください。

① デスクトップの「ごみ箱」を右クリック。
メニューが表示されます。

②「ごみ箱のプロパティ」をクリック。
「ごみ箱のプロパティ」が表示されます。

③「OK」をクリック。

ログファイルの表示

「CyberWarner-NX ログビューワ」を使って収集したログ情報を参照できます。

①「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

②「CyberWarner-NX」をダブルクリック。

③「一般」タブをクリック。

④「参照」をクリック。
ログビューワが表示されます。

チェック!!

収集したログファイルは保守モードでのみ操作可能です。ログファイルの操作にはパスワードによる保護がかけられています。この保守モードは、お客様からの問い合わせの際に、NECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は、使用しないでください。

ログビューワの上のリストには次のものが表示されます。

・データ
記録した日時を表示します。

・オブジェクト
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。

・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。

・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します。操作の状態は、次のどちらかになります。

・ユーザ操作

・アプリケーション操作

上のリストで「データ」を選ぶと、下のリストの「フィールド名」と「コンテンツ」には次の項目が表示されます。

・管理者
「ファイル」と表示されます。

・復元する
バックアップファイルが使用可能かどうかを表示します。

・復元されました
ファイルが保守モードでの復元ボタンで、復元されたかどうかを表示します。

1:復元されました
0:復元されていません

・日付
記録した日時を表示します。

・ソース
ログを取得する対象ファイルを絶対パスで表示します。

・バックアップ
バックアップファイルが存在する場合、絶対パスで表示します。

・オーナー
操作を行ったときに使用したアプリケーション名を表示します。

・オペレーション
変更や削除、操作の種類を表示します。

・メモ
操作の状態、および、簡単な説明を表示します(上のリストの、メモと同じです)。

ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉

VirusScanは、ウイルスを検査し、万一ウイルスが発見されたときは、駆除することができます。

概要

コンピュータウイルス（以下、ウイルス）とは、知らないうちにパソコンのハードディスク内に侵入して、アプリケーションやデータに悪影響を及ぼす不正なプログラムです。悪質なウイルスの中には、ハードディスクの内容を完全に破壊してしまうものもあります。ウイルスがパソコンに侵入する経路は、大きく次の2つに分かれます。

・フロッピーディスクなどの記憶媒体を通じて
フロッピーディスク、MO（光磁気ディスク）、CD-R（追記型光ディスク）などの記憶媒体がウイルスに感染している場合、それらの媒体からデータやプログラムをコピーしたときに、ウイルスが侵入します。

・ネットワークを通じて
インターネットやパソコン通信で、ウイルスに感染したソフトウェアをダウンロードしたとき、またはウイルスを含む添付ファイルの付いた電子メールを受け取って開いたときに、ウイルスが侵入します。

自分のパソコンがウイルスに感染するのを防ぐには、VirusScanなどのウイルス検査・駆除ソフトを使って、検査を行う必要があります。

ウイルスを検査するには、次の4通りの方法があります。

・VShield
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスが感染しないように検査します。

・ScreenScan
スクリーンセーバの実行中に、ウイルスが感染していないかを検査します。

・VirusScan コンソール
あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスが感染していないかを検査します。

・VirusScan
その場でウイルスが感染していないかを検査します。

チェック!!

・ワクチンソフトのウイルス検索エンジンは順次更新されます。将来、検索エンジンを新しくしなければ、定期パターンアップだけでは発見できないウイルスが出現することが予測されます。
詳しくは、「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「必ずお読みください」をご覧ください。

・VirusScanでエマージェンシーディスクを作成する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

常に検査する（VShield）

「VShield」はファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査します。

「VShield」は次の手順で設定します。

①「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。
「VirusScan Console」ウィンドウが表示されます。

②「McAfee VShield」をダブルクリック。
「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③「詳細設定」をクリック。
「VShield設定」ウィンドウが表示されます。

④「スタートアップ時に起動」にチェックマークをつける。

⑤「OK」をクリック。
「今すぐに読み込みを行いますか?」のメッセージが表示されます。

⑥「はい」をクリック。
これで、「VShield」の設定が完了です。
次回からの起動時には、自動的に「VShield」が常駐します。

チェック!!

「VShield」は常にファイルのアクセスを監視するために、アプリケーションの動作は多少、遅くなります。

スクリーンセーバ実行中に検査する（ScreenScan）

「ScreenScan」はスクリーンセーバを実行している間に、ウイルスが感染していないかを自動的に検査します。本機を使用していないときに自動的に実行されるため、操作の妨げにはなりません。
「ScreenScan」は次の手順で設定します。

①「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

②「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③「スクリーンセーバー」タブをクリック。
「スクリーンセーバー」タブのウィンドウが表示されます。

④ スクリーンセーバーを設定する

⑤「ScreenScan」タブをクリック。
「ScreenScan」タブのウィンドウが表示されます。

⑥「スクリーンセーバ動作中にスキャンする」にチェックマークをつける。

⑦「OK」をクリック。
これで「ScreenScan」の設定は完了です。

チェック!!

「ScreenScan」の設定をしないで「スタート」→「プログラム」→「ＳｃｒｅｅｎＳｃａｎ」をクリックしても「ScreenScan」は実行されません。

定期的に検査する（VirusScanコンソール）

「VirusScan コンソール」では、1回、毎時、毎日、毎週、毎月などと指定することにより、ウイルス感染の検査を自動的に実行します。
「VirusScan コンソール」は次の手順で設定します。

①「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan コンソール」をクリック。
「VirusScan Console」ウィンドウが表示されます。

②「タスク」メニューの「新規のタスク」をクリック。
「タスクプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③「プログラム」タブをクリック。
「プログラム」タブのウィンドウが表示されます。

④ タスクの名前を入力する。
（例「定期検査」を入力）

⑤「詳細設定」をクリック。
「定期検査の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

⑥「スキャン」タブをクリック。
「スキャン」タブのウィンドウが表示されます。

⑦「自動検査開始」にチェックマークをつける。

⑧「OK」をクリック。

チェック!!

「VirusScan の設定を変更するには、アドバンスドモードにする必要があります。」と表示されたときは、「OK」をクリックしてください。

⑨「スケジュール」タブをクリック。
「スケジュール」タブのウィンドウが表示されます。

⑩「スケジュール有効」にチェックマークをつける。

⑪「実行タイミング」と「開始時間」を設定する。

⑫「OK」をクリック。
これで「VirusScan コンソール」の設定は完了です。
設定した時間に「VirusScan」が実行されます。

VirusScan　コンソールの常駐

指定した時間に、自動的に「VirusScan」を起動するためには、「VirusScan コンソール」が常駐していること（アプリケーションを常に利用可能な状態にしておくこと）が必要です。また、常駐している「VirusScan　コンソール」を終了させると、「VirusScan」が自動的に起動されなくなりますので、注意してください。

「VirusScan コンソール」は次の手順で常駐させます。

①「スタート」→「設定」→「タスクバーと［スタート］メニュー」をクリック。
「タスクバーのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

②「［スタート］メニューの設定」タブをクリック。
「［スタート］メニューの設定」ウィンドウが表示されます。

③「追加」をクリック。
「ショートカットの作成」ウィンドウが表示されます。

④ コマンドラインに次のように入力する。
「"C:¥Program Files¥McAfee¥VirusScan¥Avconsol.exe"」

⑤「次へ」をクリック。
「フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

⑥ フォルダの一覧から「スタートアップ」を選ぶ。

⑦「次へ」をクリック。
「名前の指定」ウィンドウが表示されます。

⑧「完了」をクリック。
これで「VirusScan コンソール」の常駐が設定されます。
次回からは、起動時に「VirusScan コンソール」が常駐します。

すぐに検査する（VirusScan）

外部からフロッピーディスクや文書ファイルを受け取ったときには、「VirusScan」を実行して受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。次の手順で実行してください。

①「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScan」をクリック。
「VirusScan」ウィンドウが表示されます。

② スキャンするドライブ、フォルダ、スキャン対象を設定する。

③「スキャン開始」をクリック。
これで、ウイルスの検査が実行されます。

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「ウイルスの除去」をクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しい説明は、「VirusScan コンソール オンラインヘルプ」をご覧ください。

PART

4

アプリケーションの削除と追加

- アプリケーションの削除
- 削除したアプリケーションの再追加

アプリケーションの削除

本機に標準で添付されているアプリケーションの削除の方法について説明します。

概要

ここで説明するのは、本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除方法です。購入後に、ご自分でインストールされたアプリケーションの削除方法については説明していませんので、アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

次のような場合にアプリケーションを削除してください。

・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合

・通常使わないアプリケーションがある場合

アプリケーションを削除するときの注意

・タスクトレイに がある場合は、アプリケーションを削除する前にビットキャストローダーを終了させてください。
ビットキャストローダーを終了させるには、タスクトレイの をクリックして表示されるメニューで「ビットキャストローダーの終了」をクリックします。

・「CyberTrio-NX」のモードが「カスタムモード」になっている場合、アプリケーションの削除はできません。アプリケーションを削除する前に、「CyberTrio-NX」のモードを「アドバンストモード」または「ベーシックモード」に変更してください。
「アドバンストモード」または「ベーシックモード」への変更のしかたについては、PART3「利用レベルのモード変更<CyberTrio-NX>」をご覧ください。

・「Adobe Acrobat Reader 3.0J」は、「PictureStudio」のオンラインドキュメントや「XGworks取扱い説明書」を読むために必要ですので、「PictureStudio」および「XGworks」を使用する場合は、削除しないようにしてください。

・「ボイスペン」は、「しゃべっていいメール」で使用していますので、「しゃべっていいメール」を使用する場合は、削除しないようにしてください。

・ランチ-NXをそのまま使用する場合（ランチ-NXを削除しない場合）に、ランチ-NXのグループに表示されているアプリケーションを削除しても、ランチ-NXのグループにはアイコンが残ります。この場合、ランチ-NXに残ったそれぞれのアイコンを削除してください。削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

・アプリケーションによっては、削除したときに、一部のフォルダおよびデスクトップやスタートメニューのショートカットが残ることがあります。この状態でも本機を操作する上では支障はありませんが、アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

・「セットアップされていない機能の追加」でセットアップしたアプリケーションを削除する場合は、「セットアップされていない機能の追加」にある「削除する」をご覧ください。

・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共有コンポーネント」などのウィンドウが表示される場合があります。このようなウィンドウは、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このようなウィンドウが表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」などを選んで、ファイルを削除しないようにしてください。

・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、アプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断した場合でも、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その際には本機を再起動した後、アプリケーションを使用してください。

削除の方法について

削除の方法は、アプリケーションによって異なります。

■ コントロールパネルを使って削除するアプリケーション
次のアプリケーションが削除できます。手順については「「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する」をご覧ください。

- その他アプリケーションセットアップ［パソコン用語集］
- BIGLOBE入会申込（サインアップナビ）
- ジェットサーファー
- 駅すぱあと for Windows 95
- 一太郎Office8（一太郎モデルのみ）
- TELFAX-NX
- Microsoft Internet Explorer 4.01 [Microsoft FrontPage Express, Microsoft Music Control, Microsoft NetMeeting 2.1, Microsoft Outlook Express, Microsoft Wallet, Microsoft Web 発行ウィザード 1.51, VDOLive Player]
- Microsoft Chat 2.0
- Microsoft NetShow Player 2.0
- RealPlayer 4.0
- ランチ-NX
- CDランチ
- インターネット無料体験
- MapPlayer-NX
- プレーヤ-NX
- DVDプレーヤ
- しゃべっていいメール、ボイスペン
- PictureStudio
- Adobe Acrobat Reader
- 筆ぐるめ
- 翻訳アダプタII CROSSROAD
- カラオケキング
- Timer-NX
- AOLへのご招待
- ニフティサーブへようこそ
- CyberTrio-NX
- CyberWarner-NX
- bitcast browser
- Classic100選
- Ulead Media Studio Pro 5.0J Video Edition
- XGworks
- MPEGSTUDIO
- ThumbsStudio
- Microsoft IME 98（Wordモデルのみ）

■ CD-ROMを使って削除するアプリケーション
次のアプリケーションを削除できます。手順については「CD-ROMを使って削除する」をご覧ください。

- Microsoft Draw 98（Wordモデルのみ）
- Microsoft Word 98（Wordモデルのみ）
- Microsoft Excel 97（Wordモデルのみ）
- Microsoft Outlook 97（Wordモデルのみ）
- Angel Line for Windows
- BIGLOBE Walker、PC-VANナビゲータ

■ アプリケーションのアンインストール機能を使うもの
次のアプリケーションを削除できます。手順については「アンインストール機能を使って削除する」をご覧ください。

- インターネットアクセスマネージャ
- VirusScan

「アプリケーションの追加と削除」を使って削除する

削除の準備①（ランチ-NXを使う場合）

「ランチ-NX」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

①「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループにある「アプリケーションの追加と削除」をクリック。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。

このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

削除の準備② (コントロールパネルを使う場合)

「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を使って削除するには、まず次の手順を行ってください。

① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

② 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③ 「セットアップと削除」タブのウィンドウが表示されていることを確認する。
このウィンドウで、削除したいアプリケーションをクリックして、「追加と削除」をクリックするとアプリケーションの削除ができます。

その他アプリケーションの削除

次の手順で「その他アプリケーション」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「その他アプリケーション セットアップ」をクリック。
「その他アプリケーション セットアップ」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「その他アプリケーション セットアップ」ウィンドウが表示されます。

④ 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」のウィンドウが表示されます。

⑤ 「カスタム」を選んで、「次へ」をクリック。

⑥ 表示されたウィンドウで、削除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。
次のアプリケーションを削除できます。

・パソコン用語集

⑦ 「次へ」をクリック。
削除が始まります。終了すると「セットアップが完了しました」と表示されます。

⑧ 「完了」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
次のアプリケーションを削除した場合は、ランチ-NXに残ったそれぞれのアイコンを削除してください。削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

・パソコン用語集(「ユーティリティ」グループ)

BIGLOBE 入会申込 (サインアップナビ) の削除

次の手順で「BIGLOBE入会申込(サインアップナビ)」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「BIGLOBE 入会申込(サインアップナビ)」をクリック。
「BIGLOBE 入会申込(サインアップナビ)」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「インターネット&パソコン通信」グループに残った「BIGLOBE 入会申込」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方

法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

ジェットサーファーの削除

次の手順で「ジェットサーファー」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「ジェットサーファーVer1.5」をクリック。
「ジェットサーファーVer1.5」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

- 「ランチ-NX」の「インターネット＆パソコン通信」グループに残った「ジェットサーファー」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。
- アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。したがって、「ジェットサーファー」を使用して作成された「お気に入り」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 95の「エクスプローラ」で「ジェットサーファー」がインストールされている「C:¥Program Files¥JetSurfer」のフォルダごと削除してください。

駅すぱあと for Windows 95 の削除

次の手順で「駅すぱあと for Windows 95」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「駅すぱあと」をクリック。
「駅すぱあと」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「駅すぱあととそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合

- 「ランチ-NX」の「ワーク」グループに残った「駅すぱあと」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。
- アンインストールが完全に完了しても、「駅すぱあと全国版」グループと「駅すぱあとオンラインマニュアル」のショートカット、および「駅すぱあとオンラインマニュアル」のファイルが残ります。これらのファイルを削除する場合は、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥Program Files¥ExpWin32」、「C:¥Windows¥スタート メニュー¥プログラム¥駅すぱあと 全国版」のフォルダをフォルダ内のファイルとともに削除してください。なお、これらのファイルはアプリケーションの追加では再登録されませんので削除する場合は十分に注意してください。

一太郎Office8の削除（一太郎モデルのみ）

次の手順で「一太郎Office8」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリック。
「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「一太郎Office8のセットアップ開始」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「一太郎Office8の追加と削除」ウィンドウが表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
「ファイルの追加・削除」ウィンドウが表示されます。

⑥「ファイルの削除」をチェックして「次へ」をクリック
「削除するファイルの詳細選択」ウィンドウが表示されます。

⑦「全て選択」をクリックして「次へ」をクリック。
「ジャストシステム共通ファイル 削除の確認」ウィンドウが表示されます。

⑧「削除しない」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

チェック!!

「ATOK11をWindowsや他のアプリケーションが使用しているため、コンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されたら「OK」をクリックしてください。

⑨「次へ」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

⑩「次へ」をクリック。
「フォルダの確認」ウィンドウが表示されます。

⑪「次へ」をクリック。
「ファイルの削除開始」ウィンドウが表示されます。

⑫「削除開始」をクリック。
ファイルの削除が始まります。

⑬「一太郎Office8のセットアップ終了」ウィンドウが表示されたら「再起動」をクリック。
これで削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ワーク」グループに残った「一太郎8」「三四郎8」「FullBand」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

TELFAX-NX の削除

次の手順で「TELFAX-NX」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「TELFAX-NX」をクリック。
「TELFAX-NX」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「プレーヤ」グループに残った「TELFAX-NX(FAX&電話)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1の「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Microsoft Internet Explorer 4.01の削除

チェック!!

- 「Microsoft Internet Explorer 4.01」を削除すると、「bitcast browser」を起動できません。「bitcast browser」を使用する場合は、「Microsoft Internet Explorer 4.01」を削除しないでください。
- 「Microsoft Internet Explorer 4.01」を削除する前に、「ごみ箱」に入っている項目を削除してよいのか確認します。デスクトップ上の「ごみ箱」を開いて、保存したい項目を別の場所に移動してください。

次の手順で「Microsoft Internet Explorer 4.01」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリック。
「Microsoft Internet Explorer 4.0」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」が表示されます。

④「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」を選んで、「詳細」をクリック。

⑤「Internet Explorer 4.0と次のコンポーネントをアンインストールする」を選んで、さらに次のコンポーネントにチェックをつけて、「OK」をクリック。

・Microsoft FrontPage Express

・Microsoft Music Control

・Microsoft NetMeeting 2.1

・Microsoft Outlook Express

・Microsoft Web 発行ウィザード 1.51

・VDOLive Player

チェック!!

「VDOLive Player」が見つからない場合は、スクロールボタン▶をクリックしてください。

⑥「Internet Explorer 4.0と共有コンポーネントを削除するには、[OK]をクリックしてください。」と表示されたら「OK」をクリック。
「Microsoft Internet Explorer 4.0を削除しますか?」と表示されます。

⑦「はい」をクリック。
削除が始まります。
削除には数分程度かかります
削除が終了すると、「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定でWindowsを再起動します。」と表示されます。

チェック!!

「Internet Explorer 4.0により、ごみ箱の形式が変更されました」と表示される場合があります。現在「ごみ箱」に入っている項目を保存する場合は「キャンセル」をクリックし、削除処理をいったん終了し、「ごみ箱」の必要な項目を保存した後、手順 ①から始めてください。「ごみ箱」に入っている項目をすべて削除してもよい場合は、「OK」をクリックし、削除処理を続行してください。

⑧「OK」をクリック。
「自動的に閉じることができなかったプログラムがいくつかあります。」と表示された場合は、実行中のプログラムをすべて終了して、「OK」をクリックしてください。

⑨「コンピュータを再起動する必要があります。」と表示されたら「OK」をクリック。
自動的に再起動されます。
再起動後に「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。

「ファイルの種類をActiveMovieに関連付けて、すべて再生できるようにしますか?」と表示された場合は、必要に応じて「はい」か「いいえ」をクリックします。

次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」「いいえ」をクリックしてください。

・Microsoft NetMeeting 2.1

・Microsoft Outlook Express

・Windows デスクトップのアップデート コンポーネント

・インターネット接続ウィザード

・VDOLive Player

・Microsoft FrontPage Express

・Microsoft Internet Explorer 4.0

チェック!!

「Internet Explorer 4.01」を削除した後、再追加する場合は、「Internet Explorer 4.01」を再追加した後に、同様に「CyberTrio-NX」もいったん削除し、再追加してください。

ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「インターネット＆パソコン通信」グループに残った「Outlook Express」のアイコンを削除してください。
ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」のアプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Microsoft Chat 2.0の削除

次の手順で「Microsoft Chat 2.0」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Microsoft Chat 2.0」をクリック。
「Microsoft Chat 2.0」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「Microsoft Chat 2.0を削除します。Microsoft Chatのアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」と表示されます。

④ 「OK」をクリック。
「Microsoft Chat 2.0は正常に削除されました。」のメッセージが表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

Microsoft NetShow Player 2.0の削除

次の手順で「Microsoft NetShow Player 2.0」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Microsoft NetShow Player 2.0」をクリック。
「Microsoft NetShow Player 2.0」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。

RealPlayer 4.0の削除

次の手順で「RealPlayer 4.0」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「RealPlayer 4.0」をクリック。
「RealPlayer 4.0」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「Are you sure you want to completely remove RealPlayer and all of its components?」と表示されます。

④ 「OK」をクリック。
「Uninstallation of the RealPlayer has been successfully completed.」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

ランチ-NXの削除

次の手順で「ランチ-NX」を削除します。

チェック!!

「ランチ-NX」を削除する前に、「ランチ-NX」を終了してください。

① 「削除の準備 ②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「ランチ-NX」をクリック。
「ランチ-NX」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

CD ランチの削除

次の手順で「CDランチ」を削除します。

① 「削除の準備 ①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「CDランチ」をクリック。
「CDランチ」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

インターネット無料体験の削除

次の手順で「インターネット無料体験」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「インターネット無料体験」をクリック。
「インターネット無料体験」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
デスクトップに残った「インターネット無料体験」アイコンを削除してください。
デスクトップに残ったアイコンを削除するには、「インターネット無料体験」アイコンを右クリックし、表示されたメニューで「削除」を左クリックしてください。

MapPlayer-NXの削除

次の手順で「MapPlayer-NX」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「MapPlayer-NX」をクリック。
「MapPlayer-NX」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「プレーヤ」グループに残った「MapPlayer-NX(カーナビCD)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

プレーヤ-NXの削除

次の手順で「プレーヤ-NX」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「プレーヤ-NX」をクリック。
「プレーヤ-NX」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「プレーヤ」グループに残った「プレーヤ-NX(CDプレーヤ)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

DVDプレーヤの削除

次の手順で「DVDプレーヤ」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「DVDプレーヤ」をクリック。
「DVDプレーヤ」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「プレーヤ」グループに残った「DVDプレーヤ」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

しゃべっていいメール、ボイスペン の削除

次の手順で「しゃべっていいメール」を削除します。
「しゃべっていいメール」を削除するときは、「ボイスペン」も削除してください。
「しゃべっていいメール」を削除すると、「ボイスペン」は使うことができなくなります。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「しゃべっていいメール」をクリック。
「しゃべっていいメール」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

⑥「セットアップと削除」タブのウィンドウ一覧から「ボイスペン」をクリック。
「ボイスペン」が反転表示になります。

⑦「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

⑧「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑨「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「しゃべっていいメール」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

PictureStudio の削除

次の手順で「PictureStudio」を削除します。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「PictureStudio」をクリック。
「PictureStudio」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「クリエイティブ」グループに残った「PictureStudio(静止画編集)」、「MorphStudio」「AnimationStudio」、「VideoStudio」のアイコンとデスクトップに残った「PictureStudio」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。
デスクトップに残ったアイコンを削除するには、「PictureStudio」アイコンを右クリックし、表示された

メニューで「削除」を左クリックしてください。

Adobe Acrobat Reader の削除

チェック!!

「Adobe Acrobat Reader 3.0J」はPDF形式のドキュメントを読むためのアプリケーションです。「PictureStudio」のオンラインマニュアルや「XGworks取扱い説明書」はPDF形式で作成されています。「PictuerStudio」のオンラインマニュアルや「XGworks取扱い説明書」以外でPDF形式のファイルを利用する場合は以下の手順 ①～④は行わないでください。

① 「セットアップと削除」タブのウィンドウ一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0J」が反転表示になります。

② 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

③ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

④ 「OK」をクリック。

筆ぐるめの削除

次の手順で「筆ぐるめ」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「筆ぐるめfor Windows 95 Version 4.0」をクリック。
「筆ぐるめfor Windows 95 Version 4.0」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ワーク」グループに残った「筆ぐるめ」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

翻訳アダプタII CROSSROAD の削除

次の手順で「翻訳アダプタ II CROSSROAD」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「翻訳アダプタ II CROSSROAD」をクリック。
「翻訳アダプタ II CROSSROAD」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「翻訳アダプタ II CROSSROADとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「全て残す」をクリックしてください。
終了すると「削除されました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ワーク」グループと「インターネット&パソコン通信」グループに残った「翻訳アダプタII CROSSROAD」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

カラオケキングの削除

次の手順で、「カラオケキング」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「カラオケキング」をクリック。
「カラオケキング」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。
終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「プレーヤ」グループに残った「カラオケキング」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Timer-NX の削除

次の手順で「Timer-NX」を削除します。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Timer-NX」をクリック。
「Timer-NX」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「Timer-NXとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有コンポーネント」ウィンドウが表示された場合は「すべて残す」をクリックしてください。

終了すると「削除されました。」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「Timer-NX(スケジューラ)」のショートカットアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

AOL へのご招待の削除

次の手順で「AOLへのご招待」を削除します。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「AOLへのご招待」をクリック。
「AOLへのご招待」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「インターネット&パソコン通信」グループに残った「AOL へのご招待」アイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

ニフティサーブへようこその削除

次の手順で「ニフティサーブへようこそ」を削除します。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「ニフティサーブへようこそ」をクリック。
「ニフティサーブへようこそ」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」ウィンドウが表示された場合は「すべていいえ」をクリックします。

終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「インターネット＆パソコン通信」グループに残った「ニフティサーブへようこそ」アイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

CyberTrio-NX の削除

「CyberTrio-NX」は「ベーシックモード」、「カスタムモード」からは削除できません。「ベーシックモード」または「カスタムモード」に変更してある場合は、削除する前に「アドバンストモード」へ変更してください。

「アドバンストモード」への変更のしかたについては、PART 3「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」をご覧ください。

次の手順で「CyberTrio-NX」を削除します。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberTrio-NX」をクリック。
「CyberTrio-NX」が反転表示になります。

③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。
Windowsが再起動します。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「CyberTrio-NX(利用者モード)」のアイコンを削除してください。アイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

CyberWarner-NX の削除

次の手順で「CyberWarner-NX」を削除します。

①「CyberWarner-NX」を使用中の場合は、終了させる。
タスクバーにある をクリックして、「終了」をクリックします。

「CyberWarner-NXの終了」ウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックしてください。

②「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

③「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「CyberWarner-NX(2.5.0.2.1)」をクリック。
「CyberWarner-NX(2.5.0.2.1)」が反転表示になります。

④「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

⑤「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールを有効にするために再起動する必要があります。」と表示されます。

⑥「OK」をクリック
Windowsが再起動します。

bitcast browser の削除

次の手順で「bitcast browser」を削除します。
「bitcast browser」を削除すると、「テレビ&bitcast browser」「ADAMS」、「モジモジ-NX」が併せて削除されます。

①タスクトレイにビットキャストローダーアイコン がある場合は、アイコンをクリックし、「ビットキャストローダーの終了」をクリック。

②「削除の準備 ①」または「削除の準備 ②」の手順を行う。

③「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「bitcast browser ver 1.5.1」をクリック。
「bitcast browser ver 1.5.1」が反転表示になります。

④「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

⑤「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

⑥「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「プレーヤ」グループに残った「テレビ&bitcast browser」、「ADAMS」、「モジモジ-NX」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Classic100選の削除

次の手順で「Classic100選」を削除します。

①「削除の準備 ①」または「削除の準備 ②」の手順を行う。
②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「YAMAHA Classic 100選 V1.0」をクリック。
「YAMAHA Classic 100選 V1.0」が反転表示になります。
③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。
④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。
⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「プレーヤ」グループに残った「Classic100選」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Ulead MediaStudio Pro 5.0J Video Editionの削除

次の手順で「Ulead MediaStudio Pro 5.0J Video Edition」を削除します。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「Ulead MediaStudio Pro 5 VE」をクリック。
「Ulead MediaStudio Pro 5 VE」が反転表示になります。
③「追加と削除」をクリック。
削除を確認するメッセージが表示されます。
④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
共有ファイルを削除する旨のメッセージが表示された場合は、すべて「いいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストール完了。」と表示されます。
⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「クリエイティブ」グループに残った「VideoEditor(動画編集)」とデスクトップに残った「VideoEditor」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。
デスクトップに残ったアイコンを削除するには、削除するアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「削除」を左クリックしてください。

XGworksの削除

次の手順で「XGworks」を削除します。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。
②「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「YAMAHA XGworks Ver2.0」をクリック。
「YAMAHA XGworks Ver2.0」が反転表示になります。
③「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。
④「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。
⑤「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「クリエイティブ」グループに残った「XGworks(シーケンサー)」とデスクトップに残った

「XGworks」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。
デスクトップに残ったアイコンを削除するには、「XGworks」アイコンを右クリックし、表示されたメニューで「削除」を左クリックしてください。

MPEGSTUDIOの削除

次の手順で「MPEGSTUDIO」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「MPEGSTUDIO」をクリック。
「MPEGSTUDIO」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「クリエイティブ」グループに残った「MPEGSTUDIO(ストリーム合成)」、「MPEGSTUDIO(ファイル圧縮)」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

ThumbsStudioの削除

次の手順で「ThumbsStudio」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「ThumbsStudio」をクリック。
「ThumbsStudio」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「すべていいえ」をクリックしてください。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「クリエイティブ」グループに残った「ThumbsStudio」のアイコンとデスクトップに残った「ThumbsStudio」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。
デスクトップに残ったアイコンを削除するには、「ThumbsStudio」アイコンを右クリックし、表示されたメニューで「削除」を左クリックしてください。

Microsoft IME 98の削除(Wordモデルのみ)

次の手順で「Microsoft IME 98」を削除します。

① 「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「Microsoft IME98日本語入力システム(削除のみ)」をクリック。
「Microsoft IME98日本語入力システム(削除のみ)」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
Microsoft IME98のすべてのコンポーネントは他の製品に共有されています。そのすべてのコンポーネントを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「OK」をクリック。
「Microsoft IME 98の削除は成功しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。
Windowsを再起動すると、「Microsoft IME98」が削除されます。

⑥ 「スタート」→「Windowsの終了」をクリックして、「再起動する」を選んで、「OK」をクリック。
Windowsが再起動します。

CD-ROMを使って削除する

本機に添付のCD-ROMを使って、アプリケーションを削除します。

あらかじめ、次のCD-ROMを準備してください。

- Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows CD-ROM（Wordモデルのみ）
- アプリケーションCD-ROM

チェック!!

CD-ROMを使ってアプリケーションを削除する場合、削除が終了したら、DVD-ROMドライブからCD-ROMを取り出してください。

Microsoft Draw 98の削除（Wordモデルのみ）

次の手順で「Draw 98」を削除します。

① 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする。
「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。

② 「Draw 98のセットアップ」をクリック。
「Microsoft Draw 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

③ 「すべて削除」をクリック。
「Microsoft Draw 98を削除しますか?」と表示されます。

④ 「はい」をクリック。
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。
終了すると「Microsoft Draw 98 セットアップが完了しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

Microsoft Word 98の削除（Wordモデルのみ）

次の手順で「Word 98」を削除します。

① 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする。
「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。

② 「Word 98のセットアップ」をクリック。
「Microsoft Word 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

③ 「すべて削除」をクリック。
「Microsoft Word 98を削除しますか?」と表示されます。

④ 「はい」をクリック。
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。
終了すると「Microsoft Word 98 セットアップが完了しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ワーク」グループに残った「Microsoft Word」のアイコンを削除してください。
ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Microsoft Excel 97の削除（Wordモデルのみ）

次の手順で「Excel 97」を削除します。

① 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする。
「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。

② 「Excel 97のセットアップ」をクリック。
「Microsoft Excel 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

③ 「すべて削除」をクリック。
「Microsoft Excel 97を削除しますか?」と表示されます。

④「はい」をクリック。
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。
終了すると「Microsoft Excel 97 セットアップが完了しました。」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ - ＮＸ」の「ワーク」グループに残った「Microsoft Excel」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Microsoft Outlook 97 の削除（Word モデルのみ）

次の手順で「Outlook 97」を削除します。

①「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする。
「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」ウィンドウが表示されます。

②「Outlook 97のセットアップ」をクリック。
「Microsoft Outlook 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

③「すべて削除」をクリック。
「Microsoft Outlook 97を削除しますか?」と表示されます。

④「はい」をクリック。
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」ウィンドウが表示されたら、「削除しない」をクリックしてください。
終了すると「Microsoft Outlook 97 セットアップが完了しました。」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ - ＮＸ」の「ワーク」グループに残った「Microsoft Outlook」のアイコンを削除してください。
「ランチ - ＮＸ」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

Angel Line for Windows の削除

次の手順で「Angel Line for Windows」を削除します。

①DVD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする。

②「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリック。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。

③「名前」に「＜DVD-ROMドライブ名＞：¥ANGEL¥UNINST.EXE」と入力する。
＜DVD-ROMドライブ名＞は通常は、「Q」です。

④「OK」をクリック。
「アンインストールは次の内容を消去します。」のメッセージが表示されます。

⑤「続行」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。

⑥「削除」ウィンドウで「確認」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残ったアイコンを削除するには、次のアイコンを削除してください。
・「ユーティリティ」グループの「Angel Line（電話案内）」
・「ユーティリティ」グループの「Angel Line（電話帳）」

「ランチ - ＮＸ」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

BIGLOBE Walker、PC-VAN ナビゲータの削除

次の手順で「BIGLOBE Walker」を削除します。
「BIGLOBE Walker」を削除するときは、「PC-VANナビゲータ」も削除してください。
「BIGLOBE Walker」を削除すると、「PC-VANナビゲータ」を使うことができなくなります。

①「削除の準備①」または「削除の準備②」の手順を行う。

② 「セットアップと削除」タブのウィンドウの一覧から「BIGLOBE Walker」をクリック。
「BIGLOBE Walker」が反転表示になります。

③ 「追加と削除」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

■ ショートカットアイコンが残った場合
ランチ-NXの「インターネット&パソコン通信」グループに残った「BIGLOBE Walker」のアイコンを削除してください。ランチ-NXに残ったアイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

続いて「PC-VANナビゲータ」を削除します。

⑥ 本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットする。

⑦ 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリック。

⑧ 「名前」に「<DVD-ROMドライブ名>:¥PCNAV¥UNINSNAV.EXE」と入力する。
<DVD-ROMドライブ名>は通常は、「Q」です。

⑨ 「OK」をクリック。

⑩ 「プログラムだけ削除」を選んで「OK」をクリック。

チェック!!
「すべて削除」を選ぶと、設定ファイルやアドレス帳なども削除されてしまいます。

「PC-VANナビゲータのプログラムファイルを削除します。」と表示されます。

⑪ 「OK」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「ファイルを削除しました。」と表示されます。

⑫ 「OK」をクリック。
以上で削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合
「すべて削除」を選んだ場合でも、メールフォルダやダウンロードしたファイルなどが一部残ります。これらのファイルを削除する場合は、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「C:¥PCNAVI」フォルダをフォルダ内のファイルとともに削除してください。

アンインストール機能を使って削除する

アプリケーションが持っているアンインストール機能を使用した削除方法を説明します。

インターネットアクセスマネージャの削除

次の手順で「インターネットアクセスマネージャ」を削除します。

① 「スタート」→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」→「uninstallShield」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されます。

② 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
終了すると「アンインストールが完了しました。」と表示されます。

③ 「OK」をクリックします。
以上で削除は完了です。

■ ショートカットアイコンが残った場合
・ランチ-NXの「インターネット&パソコン通信」グループに残った「インターネットアクセスマネージャ」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART 1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンの設定を編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

・アンインストールはセットアップしたファイルの削除のみ行います。したがって、インターネットアクセスマネージャを使用して作成された「通信記録」「オートパイロット結果」などの情報・ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windows 95の「エクスプローラ」でインターネットアクセスマネージャがセットアップされている「C:¥Program File¥Iam」のフォルダごと削除してください。

VirusScan の削除

次の手順で「VirusScan」を削除します。

① 「スタート」→「プログラム」→「McAffee VirusScan」→「VirusScanの削除」をクリック。
「VirusScanの削除が選択されました。本当にVirusScanを削除しますか?」のメッセージが表示されます。

② 「はい」をクリック。
「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」のメッセージが表示されます。

③ 「はい」をクリック。
「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

チェック!!

表示されたメッセージが他のウィンドウにかくれる場合があります。このような場合は、かくれた「ファイル削除の確認」ウィンドウをクリックしてください。

④ 「はい」をクリック。
アプリケーションの削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。

削除が終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。

⑥ 本機を再起動する。

ショートカットアイコンが残った場合

「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループに残った「VirusScan(ウイルスチェッカー)」のアイコンを削除してください。「ランチ-NX」に残ったアイコンの削除方法は、PART1「ランチ-NXの設定」の「アプリケーション起動ボタンを編集する」にある「アプリケーション起動ボタンを削除する」をご覧ください。

削除したアプリケーションの再追加

削除したアプリケーションを再追加する場合の手順について説明します。

概要

ここでは、使用するCD-ROMに分けて、再追加の方法を説明します。

あらかじめ、次のCD-ROMを準備してください。

・アプリケーションCD-ROM

・一太郎バックアップCD-ROM（一太郎モデルのみ）

・Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows CD-ROM（Wordモデルのみ）

追加が終了したら、CD-ROMをDVD-ROMドライブから取り出してください。

アプリケーションCD-ROMを使用する

本機添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して、次のアプリケーションを追加できます。

・その他アプリケーションセットアップ［Hover，パソコン用語集］

・ジェットサーファー

・Angel Line for Windows

・インターネット無料体験

・インターネットアクセスマネージャ

・駅すぱあと for Windows 95

・VirusScan

・TELFAX-NX

・ランチ-NX

・CDランチ

・BIGLOBE Walker、PC-VANナビゲータ

・BIGLOBE入会申込（サインアップナビ）

・MapPlayer-NX

・プレーヤ-NX

・DVDプレーヤ

・しゃべっていいメール、ボイスペン

・PictureStudio

・Adobe Acrobat Reader

・筆ぐるめ

・翻訳アダプタII CROSSROAD

・カラオケキング

・Timer-NX

・AOLへのご招待

・ニフティサーブへようこそ

・CyberWarner-NX

・CyberTrio-NX

・bitcast browser

・Classic100選

・Ulead Media Studio Pro 5.0J Video Edition

・XGworks

・MPEGSTUDIO

・ThumbsStudio

チェック!!

・タスクトレイに がある場合は、アプリケーションを追加する前にビットキャストローダーを終了させてください。
ビットキャストローダーを終了させるには、タスクトレイの をクリックして表示されるメニューで「ビットキャストローダーの終了」をクリックします。

・「CyberTrio-NX」のモードが「カスタムモード」になっている場合、アプリケーションの追加はできません。アプリケーションを追加する前に、「CyberTrio-NX」のモードを「アドバンストモード」または「ベーシックモード」に変更してください。
「アドバンストモード」または「ベーシックモード」へ

の変更のしかたについては、PART3「利用レベルのモード変更＜CyberTrio-NX＞」をご覧ください。

・「アプリケーションCD-ROM」から、削除したアプリケーションを再追加する場合は、アプリケーションのアイコン登録先が、購入時と同じ状態に設定されないことがあります。

追加の準備

追加するアプリケーションを選びます。

① DVD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする。

② 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
（「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」）
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③ 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

④ 「次へ」をクリック。
「セットアップ　プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

⑤ 「セットアッププログラムのコマンドライン」が「＜DVD-ROMドライブ名＞：¥NSETUP.EXE」になっていることを確認する。
＜DVD-ROMドライブ名＞は通常は、＜Q＞です。

⑥ 「完了」をクリック。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

その他アプリケーションの追加

「その他アプリケーションセットアップ」には、次のプログラムが含まれています。

・Hover

・パソコン用語集

チェック!!

「Hover」については、PART1「セットアップされていないアプリケーションの使用」をご覧ください。

① 「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

② 「その他アプリケーション　セットアップ」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「その他アプリケーション　セットアップ」ウィンドウが表示されます。

③ 「次へ」をクリック。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。

④ 「カスタム」を選ぶ。

⑤ 「次へ」をクリック。
表示されたウィンドウで、追加したいアプリケーションのチェックボックスをクリック（チェックボックスにチェックをつける）して、「次へ」をクリック。
選択したアプリケーションの追加が始まります。

チェック!!

途中で「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」のメッセージが表示された場合は「いいえ」を選んでください。

⑥ 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック。

ジェットサーファーの追加

① 「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

② 「ジェットサーファーVer1.5」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると「READMEファイルを読みますか?」というメッセージが表示されます。

⑤ 「いいえ」をクリック。
「はい」を選択した場合、読み終えたら ✕ をクリックします。

⑥ 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

Angel Line for Windowsの追加

① 「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

② 「Angel Line for Windows」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「Angel Line for Windowsインストール」ウィンドウが表示されます。

③ 「続行」をクリック。
「インストールディレクトリの設定」ウィンドウが表示されます。

④ 「続行」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると「インストール終了」ウィンドウが表示されます。

⑤ 「確認」をクリック。
「システム設定」ウィンドウが表示されます。

⑥ 「デフォルト」をクリック。
「接続テスト」ウィンドウが表示されます。

⑦ 「しない」をクリック。
「お疲れさまでした…」と表示されます。

⑧ 「確認」をクリック

インターネット無料体験の追加

① 「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

② 「インターネット無料体験」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると「セットアップが完了しました。続けてインターネット無料体験を開始します。よろしいですか。」のメッセージが表示されます。

⑤ 「いいえ」をクリック。
「プログラムのアイコンをダブルクリックすることで実行できます。」のメッセージが表示されます。

⑥ 「OK」をクリック。

インターネットアクセスマネージャの追加

① 「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

② 「インターネットアクセスマネージャVer2.0」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③ 「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④ 「次へ」をクリック。
「接続方法の設定」ウィンドウが表示されます。

⑤ 「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると、「接続先」、「プロバイダの料金」、「電話料金」を設定するウィンドウが表示されます。

⑥ 各項目を選択して「次へ」をクリック。
上記の項目はセットアップした後に変更することができます。

以前に使用していたときの設定内容が残っている場合は、上記のウィンドウは表示されず、「質問」メッセージが表示されます。この場合は「はい」をクリックしてください。

チェック!!

接続先が1つも作成されていない場合は、手順⑥，⑦は省略されます。この場合は、いったんセットアップを最後まで完了し、その後、接続先を作成してください。また、接続先作成後は、各項目の変更も行ってください。

⑦ 「設定の確認」ウィンドウで、各項目の選んだ内容を確認して「完了」をクリック。
「インターネットアクセスマネージャをスタートアップに登録しますか?」と表示されます。

⑧ 「いいえ」をクリック。
「ReadMeを表示しますか?」と表示されますので、読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックします。
「セットアップが完了しました。」と表示されます。

⑨ 「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

駅すぱあと for Windows 95 の追加

① 「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

② 「駅すぱあと」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して「OK」をクリックしてください。

④「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
「ファイル コピーの開始」ウィンドウが表示されます。

⑥使用者名：NEC-PCuser、法人名：なし（空白）、登録番号：C10410000057、インストール先：を確認したら、「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「駅すぱあとのセットアップが完了しました。」と表示されます。

⑦「終了」をクリック。
これでインストールは完了です。

VirusScan の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「McAfee VirusScan v3.1.0（プリインストール版）」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「McAfeeソフトウェアの使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

③契約に同意の上、「はい」をクリック。
「セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。
「カスタム」を選択します。
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウィンドウの「パス」にインストール先を入力して、「OK」をクリックしてください。

⑤「次へ」をクリック。
「コンポーネントの選択」ウィンドウが表示されます。

⑥「次へ」をクリック。
「オプションの選択」ウィンドウが表示されます。

⑦「次へ」をクリック。
「DOSスキャナ インストール オプション選択」ウィンドウが表示されます。

⑧「ブート時にシステムをスキャン」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

チェック!!
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックをはずさないでインストールした場合は、MS-DOS用アプリケーションが動作しない場合があります。

⑨「エマージェンシーディスクを作成」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

チェック!!
エマージェンシーディスクは「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。

⑩「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

⑪「次へ」をクリック。
「インストール設定の確認」ウィンドウが表示されます。

⑫「次へ」をクリック。
「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されます。

⑬「OK」をクリック。
「この製品についての最新の情報を表示しますか?」のメッセージが表示されます。
最新の情報を読む場合は「はい」、読まない場合は「いいえ」をクリックします。

チェック!!
最新の情報は「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「ウイルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

インストールが終了すると「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されます。

⑭「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで、「終了」をクリック。
Windows 95が再起動します。

⑮「スタート」→「プログラム」→「McAfee VirusScan」→「VirusScanコンソール」をクリック。

⑯「McAfee VShield」の上で右クリックして、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック。
「タスクプロパティ」のウィンドウが表示されます。

⑰「詳細設定」をクリック。
「VShield設定」ウィンドウが表示されます。

⑱「スタートアップ時に起動」のチェックボックスをクリックしてチェックを外す。

チェック!!

スタートアップ時にVShieldを起動すると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

⑲「OK」をクリック。
「今すぐに読み込みを解除しますか?」のメッセージが表示されます。

⑳「はい」→「OK」→ ×をクリック。
これでインストールは完了です。

TELFAX-NX の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「TELFAX-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「ユーザ情報の設定」ウィンドウが表示されます。

④ 各種項目を入力して、「次へ」をクリック。
「情報の一覧」ウィンドウが表示されます。

⑤ 入力した情報を確認して「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

インストールが終了すると、「再起動しますか?」ウィンドウが表示されます。

⑥「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選んで「OK」をクリック。
Windows 95が再起動します。
これでインストールは完了です。

ランチ -NX の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「ランチ-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

⑤「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

CD ランチの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「CDランチ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

⑤「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

BIGLOBE Walker、PC-VAN ナビゲータの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「BIGLOBE Walker」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「警告」ウィンドウが表示されます。

④「OK」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
「BIGLOBE Walkerのインストールを開始します。よろしいですか?」と表示されます。

⑥「はい」をクリック。
あとは自動的にインストールされます。
これで、BIGLOBE Walkerのインストールは完了です。

続いて「PC-VANナビゲータ」を追加します。

⑦「追加の準備」の手順①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

⑧「PC-VANナビゲータ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「他のアプリケーションを終了してからインストールをして下さい」と表示されます。

⑨「OK」をクリック。
「PC-VANナビゲータ　インストール」のウィンドウが表示されます。

⑩「インストール」をクリック。

⑪ 表示されたウィンドウで「インストール ディレクトリ」が「C：¥PCNAVI」になっていることを確認して「OK」 をクリック。

チェック!!

「ディレクトリ(C:¥PCNAVI)を作成しますか?」と表示された場合は、「OK」をクリックしてください。

インストールが完了すると「インストールが完了しました」と表示されます。

⑫「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

BIGLOBE　入会申込（サインアップナビ）の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「BIGLOBE入会申込み（サインアップナビ）」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

⑤「セットアップが完了しました。続けてサインアップを開始します。よろしいですか。」と表示されたら「いいえ」をクリック。

⑥「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

MapPlayer-NXの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「MapPlayer-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダーの選択」ウィンドウが表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

⑥ 再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

プレーヤ-NXの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「プレーヤ-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「Folder Selection」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

⑤「プレーヤ-NXは正しくインストールされました。」と表示されたら「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

DVDプレーヤの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「DVDプレーヤ」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
あとは自動的にインストールされます。
これで、インストールは完了です。

しゃべっていいメール、ボイスペンの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「しゃべっていいメール」をクリック(反転表示)して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

⑤ アイコンを追加したいフォルダを選択して、「次へ」をクリック。
「選択ソフトウェアのご案内」ウィンドウが表示されます。

⑥「次へ」をクリック。
「ソフトウェアの選択」ウィンドウが表示されます。
ボイスペンを追加する場合は、「ボイスペン」を選択してください。

⑦「次へ」をクリック。
「質問」 ウィンドウが表示されます。

⑧「はい」 をクリック。
「しゃべっていいメール」のインストールが始まります。
ボイスペンを追加する場合、しばらくするとボイスペンのインストールが始まり、「ようこそ」ウィンドウが表示されます。手順⑨へ進んでください。
ボイスペンを追加しない場合は、しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。「終了」をクリックし、「入力レベル調整」、「話者学習」を行ってください。

チェック!!
「コントロールパネル」が前面に表示されている場合は、【Alt】＋【Tab】を押して画面を切り替えて「ようこそ」ウィンドウを前面に表示させてください。

⑨「次へ」 をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

⑩「次へ」 をクリック。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

⑪ アイコンを追加したいフォルダを選んで、「次へ」をクリック。
「ボイスペン」のインストールが始まります。
しばらくすると 「セットアップの完了」 ウィンドウが表示されます。

チェック!!
「コントロールパネル」などの他の画面が前面に表示されている場合は、【Alt】+【Tab】を押して画面を切り替えて「セットアップの完了」ウィンドウを前面に表示させてください。

⑫「終了」 をクリック。
この後、「入力レベル調整」、「話者学習」を行ってください。

PictureStudio、Adobe Acrobat Reader の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「PictureStudio」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます

⑤「標準」が選ばれていることを確認して「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

⑥「次へ」をクリック。
「PictureStudio」のインストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

⑦「直ちにReadMeファイルを参照します。」のチェックををはずし、「終了」 をクリック。
「Adobe Acrobat 3.0J インストール」ウィンドウが表示されます。

チェック!!
「PictureStudio」のオンラインマニュアルは「Adobe Acrobat Reader 3.0J」の形式で記載されています。3.0J以降のバージョンの「Adobe Acrobat Reader」をお使いの場合は、手順⑧
で「いいえ」を選んでください。この場合「Adobe Acrobat Reader」は追加されません。

⑧「はい」をクリック。
しばらくすると「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

⑨「次へ」をクリック。
「使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

⑩「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

⑪「次へ」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0J」のインストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

⑫「Acrobat Reader 3.0J Readmeファイルを表示する。」のチェックをはずし、「終了」をクリック。

「Adobe Acrobat Reader 3.0Jセットアップ」ウィンドウが表示されます。

⑬「OK」 をクリック。
これでインストールは完了です。

Adobe Acrobat Reader の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0J インストール」ウィンドウが表示されます。

③「はい」をクリック。
しばらくすると「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。

⑤「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

⑥「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

⑦「Adobe Acrobat Reader 3.0J Readmeファイルを表示する。」のチェックをはずし、「終了」 をクリック。
「Adobe Acrobat Reader 3.0Jセットアップ」ウィンドウが表示されます。

⑧「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

筆ぐるめの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「筆ぐるめfor Windows 95 Version 4.0」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「筆ぐるめfor Windows 95 Version 4.0」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「ユーザ情報登録」ウィンドウが表示されます。

④「ユーザ名」と「会社名」を入力。

⑤「次へ」をクリック。
ユーザ名と会社名を確認する画面が表示されます。

⑥「はい」をクリック。
「インストール先の指定」ウィンドウが表示されます。

⑦「次へ」をクリック。
「インストールタイプの選択」ウィンドウが表示されます。

⑧「標準」を選んで「次へ」をクリック。
「指定通りにインストールします。」というメッセージが表示されます。

⑨「はい」をクリック。
インストールが始まります。
「読み取り専用ファイルの検出」ウィンドウが表示された場合は、すべて「いいえ」をクリック。

⑩「筆ぐるめのセットアップが終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

翻訳アダプタⅡ CROSSROAD の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「翻訳アダプタ II CROSSROAD」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「翻訳アダプタ II CROSSROAD セットアップ」ウィンドウが表示されます。

③「OK」をクリック。
「はじめに」ウィンドウが表示されます。

④「OK」をクリック。
「ユーザ情報の入力」ウィンドウが表示されます。

⑤「シリアルNo：」に「C103B29100」（0は数字のゼロ）、「パスワード：」に「LGPPRFOO」（Oはアルファベットのオー）と入力する。

⑥「インストール」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されます。

⑦ をクリック。
インストールが始まります。

⑧「翻訳アダプタ II CROSSROADのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これでインストールは完了です。

カラオケキングの追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「カラオケキング」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストールする前に」ウィンドウが表示されますので、内容をよくお読みください。

④「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
途中で「簡単に実行できるようにデスクトップ上にアイコンを作りますか。」と表示されます。アイコンをデスクトップ上に作る場合は「はい」を、作らない場合は「いいえ」をクリックしてください。

⑥「セットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。
これで、インストールは完了です。

Timer-NX の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「Timer-NX」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「Timer-NXのセットアップを始めます。」のメッセージが表示されます。

③「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには大きなボタンをクリックしてください。」と表示されます。

④ をクリック。
インストールが始まります。

⑤「Timer-NXのセットアップが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック。

AOL へのご招待の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「AOL へのご招待」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

しばらくすると「情報」ウィンドウが表示されます。

⑤「OK」をクリック。

ニフティサーブへようこその追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「ニフティサーブへようこそ」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
途中で「デスクトップにショートカットを置きますか?」と表示されます。
置く場合は「はい」を、置かない場合は「いいえ」をクリックしてください。

しばらくすると「セットアップが完了しました。」と表示されます。

④「OK」をクリック。

CyberWarner-NX の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「CyberWarner-NX（2.5.0.2.1）」をクリック（反転表示）して「OK」をクリック。
「CyberWarner-NXセットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「CyberWarner-NXをインストールする準備ができました。」と表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されます。

⑥「OK」をクリック。
Windowsが再起動します。
これでインストールは完了です。

チェック!!

「CyberWarner-NX」を再追加すると、本機起動時に「CyberWarner-NX」が常駐されます。

CyberTrio-NX の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「CyberTrio-NX」をクリック（反転表示）して「OK」をクリック。
「CyberTrio-NXセットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と表示されます。

⑤「OK」をクリック。
Windowsが再起動します。
これでインストールは完了です。

bitcast browser の追加

チェック!!

「Microsoft Internet Explorer 4.01」を削除している場合は、「Microsoft Internet Explorer 4.01」を再追加してから、「bitcast browser」を追加してください。

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「bitcast browser」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
bitcast browserのReadmeが表示されます。

⑤ 内容を確認したら×をクリックして画面を閉じる。
「セットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

⑥「終了」をクリック。
「Windowsの再起動」ウィンドウが表示されます。

⑦「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選ばれていることを確認して「OK」をクリック。
Windowsが再起動します。
これでインストールは完了です。

Classic100 選の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「YAMAHA Classic 100選 V1.0」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

⑤「セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」 をクリック。
これでインストールは完了です。

Ulead MediaStudio Pro 5.0J Video Edition の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「Ulead MediaStudio Pro 5 VE」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「ソフトウェア ライセンス契約」ウィンドウが表示されます。

チェック!!

「ソフトウェア ライセンス契約」については、本機添付の書面に従いますので、画面に表示される「ソフトウェア ライセンス契約」は無視してください。

④「はい」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダーの選択」ウィンドウが表示されます。

⑥「次へ」をクリック。
「インストールが始まります。
「セットアップ」ウィンドウが表示されます。

⑦「オンライン登録をします」、「Readmeヘルプを読みます」のチェックを外して、「次へ」をクリック。

⑧「MediaStudio Pro 5.0 ビデオ エディションがインストールされました」と表示されたら「OK」 をクリック。
これでインストールは完了です。

XGworks の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「YAMAHA XGworks Ver2.0」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
しばらくすると「拡張子xwsが既に他のアプリケーションに関連付けされていますが、XGworks.exeに関連付けて良いですか?」と表示されます。

⑤「はい」をクリック。
「拡張子midが既に他のアプリケーションに関連付けされていますが、XGworks.exeに関連付けて良いですか?」と表示されます。

⑥「いいえ」をクリック。
「セットアップが完了しました。」と表示されます。

⑦「OK」をクリック。
「システムを再起動します。」ウィンドウが表示されます。

⑧「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選ばれていることを確認して「OK」をクリック。
Windowsが再起動します。
これでインストールは完了です。

MPEGSTUDIO の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「MPEGSTUDIO」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
インストールが始まります。

⑤「セットアップは終了しました。プログラムメニューに登録しました。」と表示されたら「OK」 をクリック。
これでインストールは完了です。

ThumbsStudio の追加

①「追加の準備」の手順 ①～⑥を行う。
「プロダクトの選択」ウィンドウが表示されます。

②「ThumbsStudio」をクリック（反転表示）して、「OK」をクリック。
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。

③「次へ」をクリック。
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

④「次へ」をクリック。
「プログラム フォルダの選択」ウィンドウが表示されます。

⑤「次へ」をクリック。
インストールが始まります。
あとは自動的にインストールされます。
これでインストールは完了です。

一太郎バックアップCD-ROMを使って追加する（一太郎モデルのみ）

一太郎Office8 の追加

「アプリケーションを削除する」の「一太郎Office8の削除（一太郎モデルのみ）」の手順で、一太郎Office8を削除した場合は、本機に添付されている「一太郎バックアップCD-ROM」を使用することにより、「一太郎Office8」をハードディスクに追加することができます。

ここでは、「一太郎Office8」の追加手順について説明します。

①DVD-ROMドライブに「一太郎バックアップCD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」を起動し、DVD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。

② 「SETUP」をクリック。
セットアップ開始を確認するウィンドウが表示されます。

③ 「セットアップ開始」をクリック。
「Office8のセットアップを行います」と表示されます。

チェック!!

「使用許諾契約の確認」ウィンドウが表示された場合は、「確認」をクリックしてください。

④ 「次へ」をクリック。
「使用者名・法人名の登録」ウィンドウが表示されます。

⑤ 「次へ」をクリック。
「シリアルナンバー・User IDの登録」ウィンドウが表示されます。

⑥ J-Sheetをご覧の上、すべて入力して「次へ」をクリック。
「使用者名・シリアルナンバーの確認」ウィンドウが表示されます。

⑦ 正しく入力されていたら「登録する」をクリック。
「セットアップ方法の選択」ウィンドウが表示されます。

⑧ 「標準」を選ぶ。

⑨ 「次へ」をクリック。
「標準モードでセットアップすると」と表示されます。

⑩ 「次へ」をクリック。
「セットアップするフォルダを設定します」と表示されます。

⑪ 「次へ」をクリック。
「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。

⑫ 「コピー開始」をクリック。
ファイルのコピーが始まります。しばらくお待ちください。

しばらくすると「インターネット接続方法の選択」ウィンドウが表示されます。

⑬ 「はい」を選択して「OK」をクリック。
「JustNetに入会するには」ウィンドウが表示されます。

⑭ 「確認」をクリック。
「一太郎Office8のセットアップ終了」ウィンドウが表示されます。

⑮ 「再起動」をクリック。
Windows 95が再起動します。

これで「一太郎Office8」のセットアップが終了です。

チェック!!

「一太郎Office8」を再追加すると、本機起動時に「一太郎8」が常駐され、画面の右すみに「Office8スタートバー」が表示されます。

Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROMを使って追加する(Wordモデルのみ)

「アプリケーションを削除する」の「Microsoft IME 98の削除(Wordモデルのみ)」および「Microsoft Draw 98の削除(Wordモデルのみ)」、「Microsoft Word 98の削除(Wordモデルのみ)」、「Microsoft Excel 97の削除(Wordモデルのみ)」、「Microsoft Outlook 97の削除(Wordモデルのみ)」でIME 98、Draw 98、Word、Excel、Outlookをそれぞれ削除した場合、本機に添付されている「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 for Windows」CD-ROM(以降、Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROM)を使用することにより、次のアプリケーションをハードディスクにセットアップすることができます。

- Microsoft Outlook 97
- Microsoft Excel 97
- Microsoft IME 98
- Microsoft Word 98
- Microsoft Draw 98

Outlook 97のセットアップ

① 「Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、DVD-ROMアイコンをダブルクリックします。

② 「Outlook 97のセットアップ」をクリック。
Outlook 97のセットアッププログラムが起動します。

③ 「継続」をクリック。
「ユーザー情報の登録」のウィンドウが表示されます。

④ 「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」のウィンドウが表示されます。

⑤「OK」をクリック。
「プロダクトID」を知らせるウィンドウが表示されます。

⑥「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。

⑦ そのまま「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。

⑧「標準セットアップ」をクリック。
Outlook 97のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Outlook 97 セットアップが完了しました」と表示されます。

⑨「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

これでセットアップは完了です。

Excel 97 のセットアップ

① 「Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROM」をDVD-ROMドライブにセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。

自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、DVD-ROMアイコンをダブルクリックします。

②「Excel 97のセットアップ」をクリック。
Excelのセットアッププログラムが起動します。

③「継続」ボタンをクリック。
「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

④「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

⑤「OK」をクリック。
プロダクトID番号を知らせるウィンドウが表示されます。

⑥「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。

⑦ そのまま、「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。

⑧「標準セットアップ」を選んで、「継続」をクリック。
Excelのセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Excel 97 セットアップが完了しました」と表示されます。

⑨「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

これで、セットアップは完了です。

Microsoft IME 98 のセットアップ

① DVD-ROMドライブに「Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。
自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、DVD-ROMアイコンをダブルクリックします。

②「MS-IME 98のセットアップ」をクリック。
MS-IME 98のセットアッププログラムが起動します。

③「継続」をクリック。
「ユーザー情報の登録」のウィンドウが表示されます。

④「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」のウィンドウが表示されます。

⑤「OK」をクリック。
「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください。」と表示されます。

⑥「標準」をクリック。
MS-IME 98のセットアップが始まります。

「MS-IME 98のユーザ辞書が既に存在するので、MS-IME 95/MS-IME 97からのユーザー辞書の変換は行いません。」と表示されます。

⑦「OK」をクリック。
「Microsoft IME 98-Windowsの再起動」のウィンドウが表示されたら、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

これで、セットアップは完了です。

Word 98 のセットアップ

① DVD-ROMドライブに「Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。
自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、DVD-ROMアイコンをダブルクリックします。

② 「Word 98のセットアップ」をクリック。
Wordのセットアッププログラムが起動します。

③ 「継続」をクリック。
「ユーザー情報の登録」のウィンドウが表示されます。

④ 「OK」をクリック。
「ユーザー情報の確認」のウィンドウが表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。
プロダクトID番号を知らせるウィンドウが表示されます。

⑥ 「OK」をクリック。
フォルダを選ぶウィンドウが表示されます。

⑦ そのまま、「OK」をクリック。
セットアップ方法を選ぶウィンドウが表示されます。

⑧ 「標準セットアップ」を選んで、「継続」をクリック。
Wordのセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Word 98 セットアップが完了しました」と表示されます。

⑨ 「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

これで、セットアップは完了です。

Draw 98のセットアップ

① DVD-ROMドライブに「Excel 97 & Word 98 & Outlook 97 CD-ROM」をセットする。
自動的にセットアップを開始するウィンドウが表示されます。
自動表示されない場合は、デスクトップにある「マイコンピュータ」を起動し、DVD-ROMアイコンをダブルクリックします。

② 「Draw 98のセットアップ」をクリック。
Draw 98のセットアッププログラムが起動します。

③ 「継続」をクリック。
「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください。」と表示されます。

④ 「継続」をクリック。
Draw 98のセットアップが始まります。

セットアップが終了すると「Microsoft Draw 98 セットアップが完了しました」と表示されます。

⑤ 「OK」をクリック。
「Windows 95の再起動」のウィンドウが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションをすべて終了した後、「Windowsの再起動」をクリックし、Windowsを再起動してください。

これで、セットアップは完了です。

Internet Explorer 4.01の追加

Internet Explorer 4.01の追加手順について説明します。

Microsoft Chat 2.0、Microsoft NetShow Player 2.0、RealPlayer 4.0の追加

Microsoft Chat 2.0、Microsoft NetShow Player 2.0、RealPlayer 4.0は、「Microsoft Internet Explorer 4.01の追加」の手順(「インストールオプション」は「完全インストール」を選択)を行うことにより再追加することができます。

Microsoft Internet Explorer 4.01の追加

「Microsoft Internet Explorer 4.01」は、ハードディスクから追加します。
Microsoft Internet Explorer 4.01を追加すると、次のアプリケーションや機能も同時に追加されます(「インストールオプション」は「完全インストール」を選択した場合)。

- Microsoft FrontPage Express
- Microsoft Music Control
- Microsoft NetMeeting 2.1
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Wallet
- Microsoft Web 発行ウィザード 1.51
- VDOLive Player
- Microsoft Chat 2.0
- Microsoft NetShow Player 2.0
- RealPlayer 4.0

① 「アプリケーションの追加と削除」を起動する。
(「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」または「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」)

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

② 「セットアップ」をクリック。
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」ウィンドウが表示されます。

③ 「次へ」をクリック。
「セットアッププログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

④ 「セットアッププログラムのコマンドライン」に次のように入力する。
C:¥OPTIONS¥OTHER¥IE401¥IESTART.BAT

⑤ 「完了」をクリック。

チェック!!

「以前のプログラムのインストールは完了していません。」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。

「セットアップの開始」が表示されます。

⑥ 「次へ」をクリックする。
使用許諾契約書が表示されます。

⑦ 「同意する」を選んで、「次へ」をクリックする。
「インストールオプション」が表示されます。

⑧ 「完全インストール」が選ばれていることを確認して「次へ」をクリック。
「デスクトップのアップデート」が表示されます。

⑨ 「インストールしますか?」の「はい」を選んで、「次へ」をクリック。
「インストール先フォルダ」が表示されます。

⑩ インストール先を指定する。

- 購入時と同じフォルダにインストールする場合
次のフォルダが選ばれていることを確認します。

「C:¥Program Files¥Internet Explorer」

- 購入時と別のフォルダにインストールする場合
すでに存在するフォルダの場合は、「参照」をクリックして「フォルダの参照」ウィンドウでインストールしたいフォルダを選んで、「OK」をクリックします。
新規にフォルダを作成する場合は、「インストールフォルダ」に直接フォルダ名を入力します。

インストール先を指定したら「次へ」をクリックします。

チェック!!

新規にフォルダを作成した場合は、「入力したフォルダが存在しないため、作成しますか?」と表示されますので、「はい」をクリックしてください。

インストールが始まります。
インストールには十数分かかりますのでしばらくお待ちください。

チェック!!

「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」と表示された場合は、「すべてのコンポーネントを再インストール」にチェックを付けて、「OK」をクリックしてください。

終了すると、「コンポーネントのインストールは完了しました。」と表示されます。

⑪ 「OK」をクリック。
「自動的に閉じることができなかったプログラムがいくつかあります。」と表示された場合は、実行中のプログラムをすべて終了して、「OK」をクリックしてください。

チェック!!

- 「コンピュータを再起動する必要があります。」と表示された場合は「OK」をクリックしてください。自動的に再起動されます。
- 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。

「Internet Explorer 4.01」関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間数分かかります。

⑫ 「CyberTrio-NX」のモードがベーシックモードになっている場合は、「アドバンストモード」に変更する。
(「スタート」→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「Go To アドバンストモード」)

⑬ 「スタート」→「Windowsの終了」をクリックし、「MS-DOSモードで再起動する」にチェックをつけて、「OK」をクリック。
MS-DOSモードで再起動します。

⑭ キーボードから次のように入力する。
cd ¥options¥other¥ie401【Enter】

⑮ キーボードから次のように入力する。
niesetup【Enter】

⑯ 「終了しました。」と表示されたら、キーボードから次のように入力する。
exit【Enter】

Windows 95が再起動されます。

チェック!!

Microsoft Internet Explorer 4.01を再追加するとスタートページの設定は購入時の状態には戻りません。スタートページを元に戻す方法については『イン

ターネット入門』の「PART4 インターネットをもっと楽しむために」にある「最初に出るページを変える」をご覧ください。

最新のコンポーネントを追加する

「インターネットエクスプローラ4.01」に最新のコンポーネントを追加するには、次の手順があります。いずれの手順も同じWebサイトに接続して、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします。

- 「インターネットエクスプローラ4.01」の「ヘルプ」メニュー→「製品更新」をクリックする。
- 「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で、「Microsoft Internet Explorer 4.0」を選んで、「追加と削除」をクリックして、「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」を選んで「OK」をクリックする。

上記手順でダウンロード可能なアプリケーション(コンポーネント)は次のようになります。
(1998年4月現在)

◎Add-on pageにあるコンテンツ一覧

[Microsoft Internet Explorer 4.0]
- Internet Explorer 4.0 Webブラウザ
- Windows デスクトップのアップデート
- Microsoft VM for Java
- インターネット接続ウィザード

[通信コンポーネント]
- Microsoft NetMeeting
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Chat 2.0

[マルチメディア コンポーネント]
- Microsoft NetShow
- Microsoft インタラクティブ ミュージック コントロールとMSシンセサイザ
- Microsoft VRML 2.0ビューア
- DirectShow
- VDOLive プレーヤー
- Microsoft Agent
- Macromedia Shockwave Director
- Macromedia Shockwave Flash
- RealPlayer by Progressive Networks

[オーサリング コンポーネント]
- Microsoft FrontPage Express
- Microsoft Web発行ウィザード

[エクスプローラ用追加コンポーネント]
- Microsoft Wallet
- 追加 Web フォント
- Internet Explorerサウンド パック
- タスク スケジューラ

[複数の言語サポート]
- 日本語サポート
- 韓国語サポート
- ヨーロッパ各国語サポート
- 繁体字中国語サポート
- 簡体字中国語サポート

PART

5

ハードウェア

- ワイヤレスキーボードの設定
- メディアコントローラの設定
- ハードディスク
- フロッピーディスク
- ディスプレイ
- 別売の 17 インチディスプレイ（PK-DH172）の画面調整
- サスペンド / レジューム機能
- サウンド機能
- マイクロホン
- FAX モデムボード
- デバイスマネージャ
- CD-ROM などの取り扱い

ワイヤレス キーボードの設定

ワイヤレスキーボードの設定には、キーボードのキー入力に関する設定とトラックボールの設定があります。

参照
・ワイヤレスキーボードの使い方について→『STEP2　入門』の「PART3、4ワイヤレスキーボードに慣れよう」
・日本語入力のしかたについて→『STEP2　入門』の「PART3、4　ワイヤレスキーボードに慣れよう」
・PF1～PF6ボタンについて→付録「キーとボタンの名称と役割」の「PF1～PF6ボタンの役割」

メディアコントローラユーティリティで設定する

メディアコントローラユーティリティでは、ワイヤレスキーボードのPF1～PF6ボタンについて設定できます。

A　PF1～PF6
ワイヤレスキーボードのPF1～PF6ボタンを押したときに起動するアプリケーション名が表示されています。

B　起動アプリケーションリスト
ランチ-NXからPF1～PF6ボタンに設定できるアプリケーションの一覧です。アプリケーションの機能別にグループが分けられています。

C　「全てのファイルから選択」ボタン
起動アプリケーションリスト以外からアプリケーションを選ぶ場合に使います。

PF1～PF6ボタンに設定されているアプリケーションを変えるには、次の手順で設定を変更します。

① メディアコントローラユーティリティを起動する
（「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループにある「メディアコントローラユーティリティ」）

②「ワイヤレスキーボード」タブをクリック。

③ PF1からPF6までの割り当てを変更したいアプリケーションの をクリック。

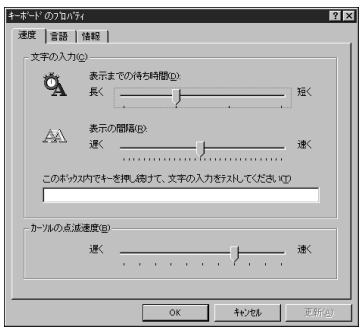
④ ランチ-NXの中から選ぶ場合は、「起動アプリケーションリスト」のグループのフォルダをダブルクリック。
ランチ-NX以外から選ぶ場合は、「すべてのファイルから選択」ボタンをクリック。

⑤ 入れ替えたいアプリケーションを選んで、ドラッグ&ドロップで白い長方形の枠の中に移動する。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでの設定

①「コントロールパネル」を開く
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

②「キーボード」をダブルクリック。
「キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



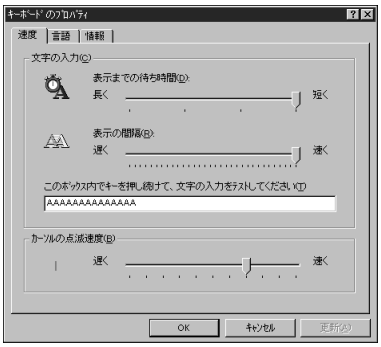
「キーボードのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「速度」タブのウィンドウの他に「言語」「情報」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「速度」タブのウィンドウ

文字の入力

「表示までの待ち時間」では、キーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調整します。「表示の間隔」では、キーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調整します。
調整後に、ボックスでテストすることができます。例えば「A」のキーを押し続けて感じをつかむことができます。

※購入時の状態では、「表示の間隔」は遅めに設定されています。



カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調整します。

「言語」タブのウィンドウ

チェック!!

お使いのモデルによりこの画面は異なります。

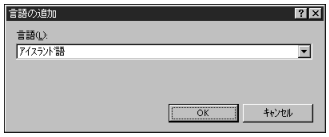
インストールされている言語とレイアウト

◎言語(日本語入力システム)の選択

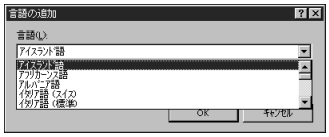
よく使う日本語入力システムを一覧から選んで(反転表示になる)、「標準に設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「標準の言語」の欄に表示されます。

◎言語の追加

「追加」をクリックすると、「言語の追加」ウィンドウが表示されます。



▼をクリックして、追加したい言語を選びます。

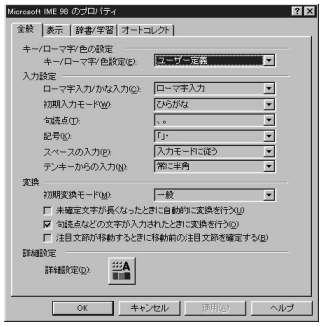


◎キーボードレイアウトの設定

日本語入力システムを一覧から選んで(反転表示になる)、「プロパティ」をクリックすると、「環境設定」ウィンドウが表示されます。

「ATOK11」の場合

「Microsoft IME 98」の場合



ローマ字/かな入力、入力モード/方式、句読点の種類などを設定できます。

◎言語の削除

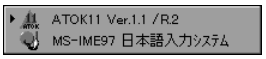
削除したい言語を一覧から選んで（反転表示になる）、「削除」をクリックすると、その言語が一覧から削除されます。

■ 言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選びます。

■ タスクバー上に状態を表示

多国語インジケータをタスクバーに表示します。このインジケータをクリックすると、言語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューが表示されます。



「情報」タブのウィンドウ

■ キーボードの種類

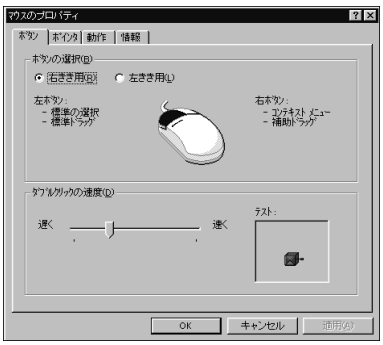
現在使用しているキーボードの名前が表示されています。本機に添付されている以外のキーボードを使用する場合の設定ができます。

トラックボールの設定

トラックボールの設定は、「マウスのプロパティ」ウィンドウで行います。「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、ダブルクリックのタイミングの調整、ポインタの形の選択や動きの調整などができます。

① 「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

② 「マウス」をダブルクリック。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



「マウスのプロパティ」ウィンドウには、ここで表示されている「ボタン」タブのウィンドウの他に「ポインタ」「動作」「情報」タブのウィンドウがあります。タブをクリックすると、そのタブに対応するウィンドウを表示できます。各ウィンドウで行える設定は次の通りです。

「ボタン」タブのウィンドウ

■ ボタンの選択

クリックボタンの左右の機能を交換して、右きき用/左きき用に設定できます。

用語

コンテキストメニュー
現在の本機の状況や、ポインタの位置で可能な操作の一覧が表示されているメニュー。

補助ドラッグ
ファイルやフォルダのコピー、ショートカットアイコンの作成などができるドラッグ。

■ ダブルクリックの速度

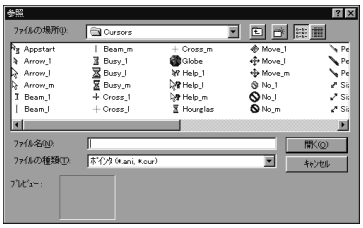
クリックボタンを2回続けてクリックするときの、間隔（タイミング）を調整します。「遅く」にすると間隔が長

く、「速く」にすると間隔が短くなります。調整したタイミングを「テスト」にあるアイコン（びっくり箱）で確認できます。調整したタイミングでダブルクリックをすると、箱が開いて中から人形が飛び出してきます。
※購入時状態では、遅めに設定されています。

「ポインタ」タブのウィンドウ

このウィンドウでは、ポインタの形を選択できます。例として、ポインタの形を矢印から ＋ に変更してみます。

① 「標準の選択」が反転表示している状態で「参照」をクリック。
「参照」ウィンドウ（「Cursors」フォルダ）が表示されます。



② 「Cross_1」をダブルクリック。
「Cross_1」のアイコンが「ポインタ」タブのウィンドウに表示されます。

③ 「OK」をクリック。
ポインタの形が十字の形になります。
「標準設定」をクリックするとポインタの形は元に戻ります。

「動作」タブのウィンドウ

ポインタの速度

トラックボールの動きに対するポインタの動く速度を調整できます。速くすればするほど、トラックボールの少しの動きで、ディスプレイ上のポインタは大きく動きます。設定後に「OK」をクリックします。

ポインタの軌跡

ポインタが動くときに、ディスプレイ上に残像を表示するかしないか設定できます。表示するをチェックしたときは、残像の長さを調整できます。ポインタを見失いやすいときは、残像を表示すると目で追いやすくなります。

「情報」タブのウィンドウ

現在使用しているトラックボールの名前が表示されています。本機に添付されている以外のトラックボールやマウスを使用する場合の設定ができます。

トラックボールの省電力モード

ワイヤレスキーボード、メディアコントローラをしばらく動かさないと（ワイヤレスキーボードは約3時間、メディアコントローラは約30分）、トラックボールが省電力モードになり、トラックボールを動かしても画面上のポインタが動かない場合があります。この場合は、

ワイヤレスキーボードのカーソルキーや、メディアコントローラのカーソルボタンのどれかを押してください。
トラックボールが使えるようになります。

メディアコントローラの設定

メディアコントローラでは、ポインタを操作したり、インターネットに対応したアプリケーションを起動することができます。

メディアコントローラの設定には、メディアコントローラユーティリティで設定する内容とトラックボールの設定があります。

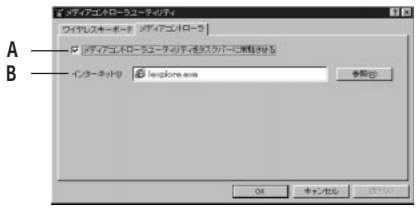
参照

・メディアコントローラの使い方について→『STEP2入門』PART 2「メディアコントローラのトラックボールを使ってみる」

メディアコントローラユーティリティで設定する

① メディアコントローラユーティリティを起動する（「ランチ-NX」の「ユーティリティ」グループにある「メディアコントローラユーティリティ」）

②「メディアコントローラ」タブをクリック。



A「メディアコントローラユーティリティをタスクバーに常駐させる」をクリックしてチェック☑すると、メディアコントローラユーティリティをタスクバーに常駐させることができます。

B インターネット
メディアコントローラのインターネットボタンで起動するアプリケーションを選びます。
ご購入時は、「インターネットエクスプローラ」が登録されています。「参照」をクリックして表示される画面で、起動するアプリケーションを変更することができます。

トラックボールの設定

メディアコントローラのトラックボールの設定は、ワイヤレスキーボードのトラックボールの設定と同じです。

参照

トラックボールの設定→PART5「ワイヤレスキーボードの設定」

ハードディスク

ハードディスクの代表的なツールである、スキャンディスク、デフラグ、ドライブスペースについて説明します。

概要

ハードディスクは、外部記憶装置のひとつです。正確に表現すれば、実際に磁気を利用してデータを記録する円盤（ディスク）と、データの読み書きをするヘッドやアーム、モーターなどからなる装置全体を指し、ハードディスクドライブといいます。ディスクと磁気ヘッドなどの装置は、密封された容器に収められているために、他の外部記憶装置のメディアのように、記憶媒体（ディスク）自体を単独で取り出すことはできません。しかし、ディスクを高速で回転できるために、フロッピーディスクや光磁気ディスク（MO）などに比べて、読み書きするスピードは格段に速くなります。

ハードディスクは外部記憶装置のひとつには違いありませんが、CPUやメモリとともに、パソコンの中心的な存在です。オペレーティングシステム（OS）やアプリケーションソフトなどは、すべてハードディスクに格納されます。ハードディスクのドライブ名は本機では通常は「C」から「E」です。

チェック!!

ハードディスクに関するツールを実行する際には、タスクバーのビットキャストローダーのアイコンをクリックし、「ビットキャストローダーの終了」をクリックして、ビットキャストローダーを終了させてください。

取り扱うときの注意

ハードディスクは、たいへん精密な機械です。取り扱うときには、次のことに十分注意してください。

- 電源が入っているときは、本体に振動や衝撃を加えたり、持ち運んだりしないでください。
- 電源を切って本体を運ぶときでも、できるだけ慎重に扱ってください。
- 電源を切るときは、『STEP1 接続と準備』で説明されている手順に従ってください。Windows 95以外のOSを使用している場合、キーボードの【Esc】を押してから電源スイッチを押してください。

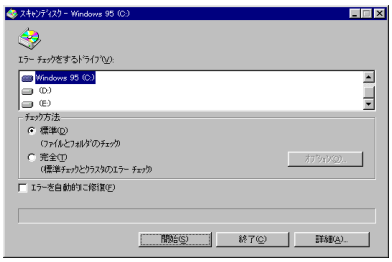
なお、ハードディスクの記憶容量は、1Mバイト＝1,000,000バイト、1Gバイト＝1,000,000,000バイトで計算したときの値を示してあります。Windows 95では、1Mバイト＝1,048,576バイト、1Gバイト＝1,03741,124バイトで値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

スキャンディスク

スキャンディスクとは、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのツールです。実際には、ハードディスクドライブ上のFAT（ファイルアロケーションテーブル）やクラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にスキャンディスクを行って、ハードディスクに障害がないかチェックしてください。エラーが発見されたら、修復するようにしてください。

スキャンディスクは次のように実行します。

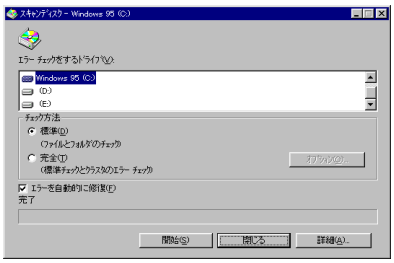
①「スキャンディスク」を起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「スキャンディスク」）



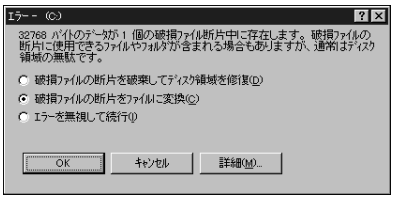
②「エラーチェックをするドライブ」の中から、チェックするドライブをクリック。

「エラーを自動的に修復」をクリックしてチェック（☑）してください。

③「開始」をクリック。
チェックが始まります。
チェックが終了すると、チェックの経過を表示していた場所に「完了」が表示されます。



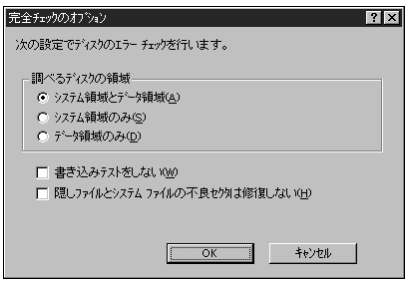
何か問題が検出されたときは、次のような画面が表示されます。この場合は、画面の指示に従ってください。



④「閉じる」をクリックし、もう一度「閉じる」をクリック。スキャンディスクの作業が終了します。

「完全チェックのオプション」ウィンドウ

徹底的なチェックをしたいときは、チェック方法の「完全」をクリックしてから「オプション」をクリックして、次のウィンドウを表示して使いたいオプションを選びます。

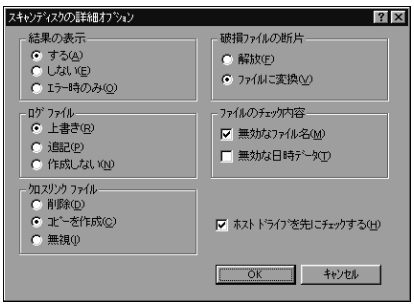


チェック!!

完全チェックはかなり時間がかかります。

「スキャンディスクの詳細オプション」ウィンドウ

「詳細」ボタンをクリックして次のウィンドウを表示すると、さらに細やかな設定ができます。



不良セクタ、スキップセクタ

ハードディスクは、きわめて精密に製造されていますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」と呼びます。パソコンではこのような場所にはデータを記録しないようにしています。

Windows 95の「スキャンディスク」などを実行すると「不良セクタ」または「スキップセクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタ、スキップセクタを使わないように処理されていることを表しており、異常ではありません。

なお、「不良セクタ」または「スキップセクタ」が表示された場合でも、「全ディスク領域」または「全ディスク容量」のバイト数*が次の表の値であれば不良ではありませんので、正常にお使いいただけます。

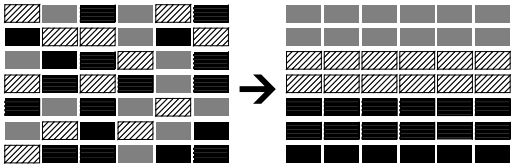
内蔵ハードディスク	16.8Gバイト
正常値	16,800,000,000バイト以上

*内蔵ハードディスクは、3つの領域に分けられています。表の正常値は、3つの領域のバイト数を合計した値です。なお、領域が分けられている場合には、バイト数の合計が、表の正常値より減る場合があります。

デフラグ

ハードディスク(またはフロッピーディスク)を長い間使っていると、データがハードディスクの空いている場所に、バラバラに保存されるようになります。この状態をフラグメンテーションまたは断片化と呼びます。この状態になると、データが連続していないので、データを読み書きする時間が長くなります。また、デジタルビデオカメラの動画の取り込みなど高速にデータを読み書きするときには、データの取りこぼしが発生することもあります。「デフラグ」というツール

を使うと、このようなバラバラになったデータを、最適な場所に整理できます。



デフラグ前　　デフラグ後

デフラグは次のように実行します。

チェック!!

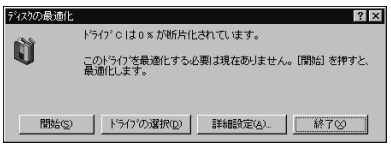
「デフラグ」の実行中は、絶対にサスペンドしたり、本機の電源を切ったりしないでください。サスペンドしたり、電源を切ると、ハードディスクの内容が壊れる場合があります。自動的にサスペンドする設定になっている場合は、「BIOSセットアップユーティリティ」で解除してください。

参照
・「BIOSセットアップユーティリティ」→PART 6「BIOSセットアップユーティリティ」

① 「デフラグ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「デフラグ」)

② ▼ をクリックし、一覧の中から、デフラグするハードディスク(またはフロッピーディスク)のドライブを選ぶ。

③ 「OK」をクリック。
「ディスクの最適化」ウィンドウが表示されます。

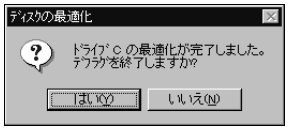


チェック!!

「現在最適化する必要はありません。」と表示された場合は、「終了」をクリックしてデフラグを中止してかまいません。

④ 「開始」をクリック。
デフラグの作業が始まります。

デフラグの作業が終了すると、次のウィンドウが表示されます。



⑤ 「はい」をクリック。
これで、デフラグの作業が終了します。

ドライブスペース

ドライブスペースを使うと、ドライブを圧縮し、空きディスク領域を大きくすることができます。

チェック!!

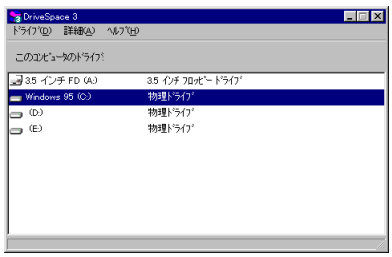
「FAT32」の領域には、ドライブスペースは使えません。
Eドライブは、購入時の状態で「FAT32」になっています。

参照
・FAT32ファイルシステムについて→『困ったときのQ&A』PART 3「FAT32ファイルシステムについて」

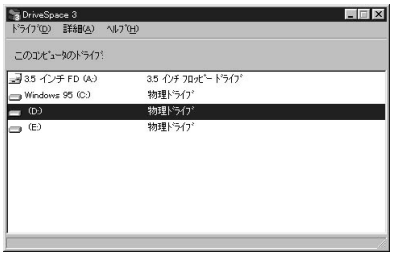
ドライブの圧縮

ここでは、ドライブ(D)を圧縮してみます。

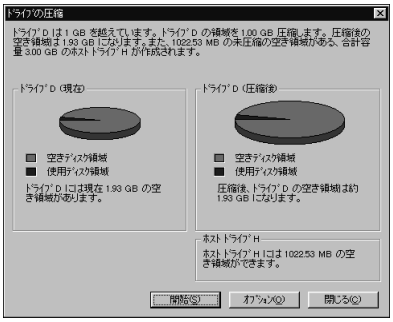
① 「ドライブスペース」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ドライブスペース」)
「Drivespace 3」ウィンドウが表示されます。



② 圧縮するドライブをクリック。
（例 ドライブ(D)を選ぶ）
選ばれたドライブが反転表示になります。



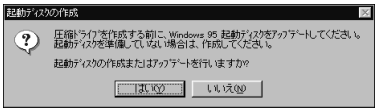
③「ドライブ」をクリックして、「圧縮」をクリック。
「ドライブの圧縮」ウィンドウが表示されます。



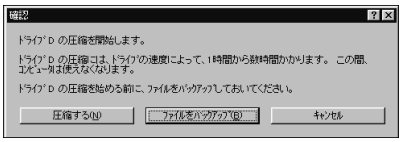
ここで、圧縮前と圧縮後の空き容量がわかります。

④「開始」をクリック。
圧縮を確認するメッセージが表示されます。

「起動ディスク」を作成していない場合は、次のメッセージが表示されます。

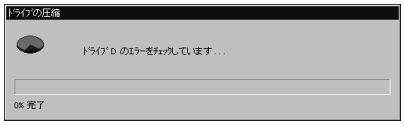


ドライブ(D)のファイルのバックアップをとる場合は、「ファイルをバックアップ」をクリックして、続いて表示されるメッセージに従って操作してください。

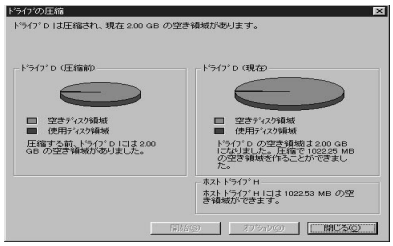


作成またはアップデートする場合は、「はい」をクリックして、続いて表示されるメッセージに従って操作してください。

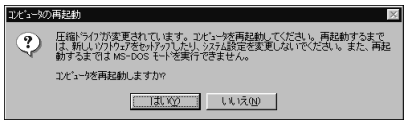
⑤「圧縮する」をクリック。
圧縮が始まります。



圧縮が終了すると、圧縮された結果が表示されます。



⑥「閉じる」をクリック。
「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示されます。

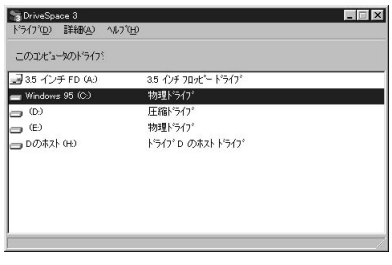


⑦「はい」をクリック。
Windowsが再起動します。

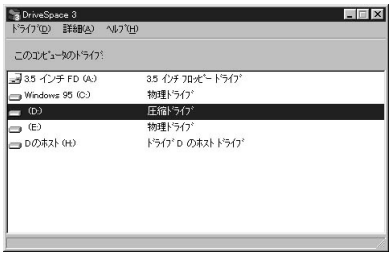
ドライブの圧縮を解除する

圧縮したドライブを元に戻すことができます。

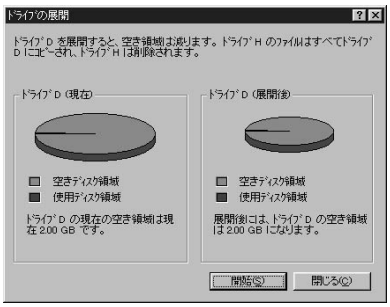
①「ドライブスペース」を起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ドライブスペース」）
「Drivespace 3」ウィンドウが表示されます。



② 圧縮を解除するドライブをクリック。
選ばれたドライブが反転表示になります。

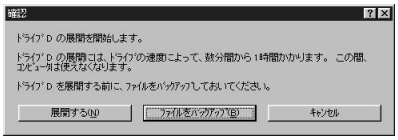


③「ドライブ」をクリックして、「展開」をクリック。
「ドライブの展開」ウィンドウが表示されます。



ここで、展開前と展開後の空き容量がわかります。

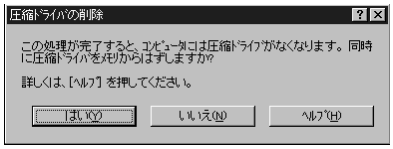
④「開始」をクリック。
確認のメッセージが表示されます。



ドライブ（D）のファイルのバックアップをとる場合は、「ファイルをバックアップ」をクリックして、続いて表示されるメッセージに従って操作してください。

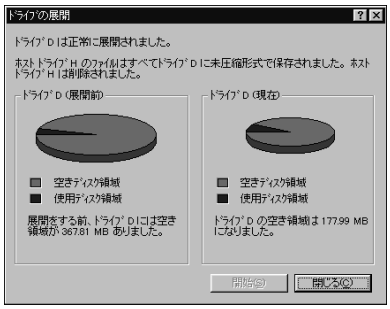
⑤「展開する」をクリック。
展開が始まります。

途中で次のメッセージが表示される場合があります。

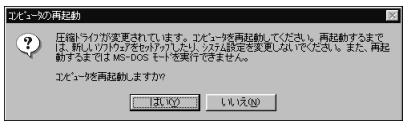


「はい」をクリックしてください。

展開が終了すると、展開された結果が表示されます。



⑥「閉じる」をクリック。
「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示されます。



⑦「はい」をクリック。
Windowsが再起動します。

フロッピーディスク

使用できるフロッピーディスクの種類、バックアップのとりかた、Windows起動ディスクの作成方法などについて説明します。

参照
・フロッピーディスクのフォーマット→『STEP3活用』PART10「フロッピーディスクを使う」

使用できるフロッピーディスクの種類

本機では、以下のようなフロッピーディスクを使用できます。

タイプ	フォーマット（容量）※1			
	1.44MB	1.2MB	720KB	640KB
2HD	○	△ ※2	×	×
2DD	×	×	○	×

※1：MS-DOSまたはWindowsでフォーマットされたものが使えます。

※2：読み書きはできますが、1.2Mバイトでのフォーマットおよびディスクコピーはできません。

フロッピーディスクのバックアップ

フロッピーディスクは非常にデリケートです。ホコリが入ってしまったり、折れてしまったりなど、何らかの事故によって、保存しているデータが壊れてしまうことがあります。万一に備えて、大切なデータは、定期的にバックアップをとることをおすすめします。

① バックアップをとりたいフロッピーディスク（コピー元）をフロッピーディスクドライブにセットする。

チェック!!

・誤って、データを消さないように、コピー元のフロッピーディスクには、あらかじめライトプロテクトしておくことをおすすめします。

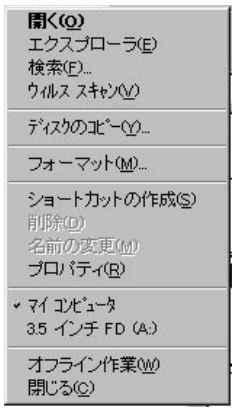
・コピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してください。これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です。

参照
・ライトプロテクトについて→『STEP3活用』PART10「フロッピーディスクにファイルをコピーする」

② 「マイコンピュータ」をダブルクリック。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

③ 「3.5インチFD」をクリック。
「3.5インチFD」アイコンが反転表示になります。

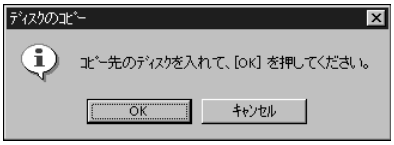
④ 「ファイル」をクリック。
「ファイル」のメニューが表示されます。



⑤「ディスクのコピー」をクリック。
「ディスクのコピー」ウィンドウが表示されます。

⑥「開始」をクリック。
ディスクのコピーが始まります。

しばらくして次の画面が表示されます。



⑦ コピー元のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、コピー先のフロッピーディスクをセットする。

⑧「OK」をクリック。
ディスクのコピーが再開します。

コピーが終了すると次の画面が表示されます。

⑨「閉じる」をクリック。
ディスクのコピー作業が終了し、バックアップの作成が完了します。

Windows 起動ディスク

ハードディスクやWindows 95のシステムに大きな障害を受けると、本機の電源を入れてもWindows 95が起動しなくなってしまうことがあります。このような場合には、「Windows起動ディスク」を使うと、フロッピーディスクからWindows 95のシステムを起動させることができます。万一、システムが起動しなくなったときのために、Windows起動ディスクを作成することをおすすめします。

Windows 起動ディスクの作成

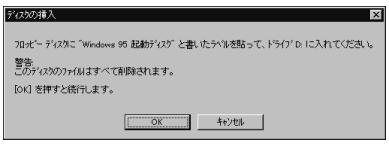
フロッピーディスクを1枚用意してください。未フォーマットのものでもかまいません。

① コントロールパネルを開く。
「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます（「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「アプリケーションの追加と削除」で手順③に進むこともできます）。

②「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③「起動ディスク」をクリック。
「起動ディスク」タブのウィンドウが表示されます。

④「ディスクの作成」をクリック。
起動ディスク作成の準備が始まり、すぐに次のメッセージが表示されます。



⑤ 指示に従い、「OK」をクリック。
起動ディスクの作成が始まります。

終了すると、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

⑥「OK」をクリック。
Windows起動ディスクの作成が完了しました。

Windows 起動ディスクから本機を起動する

① 本機の電源を入れます。

② すぐにフロッピーディスクドライブにWindows起動ディスクをセットします。
「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

③【半角/全角】を押す。
「106キーボードが選択されました」と表示されたあと、「A:¥>_」と表示されます。

これで、Windows起動ディスクからの起動が完了しました。
再びハードディスクから起動したい場合は、フロッピーディスクドライブからWindows起動ディスクを取り出して、本機を再起動してください。

Windows 起動ディスクのコマンドツール

Windows起動ディスクには次のようなコマンドツールがあります。Windows起動ディスクから起動した場合に、これらのコマンドを使用できます。

Edit	テキストファイルを編集します。
Fdisk	ハードディスクの領域を確保します。
Format	ディスクを初期化します。
Scandisk	ディスクのエラーを検査し、修復します。
Sys	起動用のシステムをドライブへ転送します。

ディスプレイ

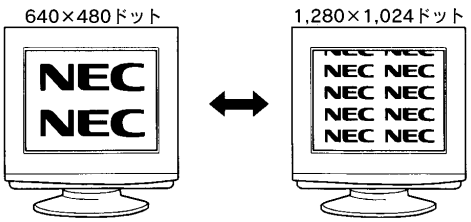
本機には、ウィンドウアクセラレータ機能が標準で搭載されています。お使いの用途に応じた解像度や、発色数に切り替えて使用できます。

概要

解像度

ディスプレイでは文字やグラフィックを、小さな点（ドット）の集まりで画面に表示しています。ディスプレイの解像度とは、ディスプレイの画面上での文字やグラフィックを表現するときの、緻密さの度合いのことです。例えば、640×480ドットというのは、ディスプレイの横（水平）方向に640個のドット（点）、縦（垂直）方向に480個のドットで表示できることを示しています。ドット数が増えるほど、精細な表示ができるようになります。

一度に表示できるドット数を増やすことを「高解像度にする」と表現します。高解像度にすると、緻密な画像を表現できます。また、同じアプリケーションでも、高解像度時には、より広い範囲を表示することができます。ただし、解像度が高くなるにつれて、画面に表示される文字は小さくなっていきます。画面の文字が読みにくくなるときには、解像度を下げるようにしてください。



表示色

ディスプレイの個々のドットを、何種類の色で表現できるかを示す尺度を表示色といいます。本機では通常、次の表示色が表示できます。

- 16,777,216色（1677万色）
- 65,536色（6万5千色）
- 256色
- 16色

また6万5千色で表示することを、「High Color（ハイカラー）表示」、1677万色で表示することを「True Color（トゥルーカラー）表示」あるいは、「Full Color（フルカラー）表示」と呼ぶこともあります。

走査周波数

CRTディスプレイでは、電子ビームを管面の蛍光体に当てて発光させ、文字やグラフィックを表示しています。このとき、電子ビームが画面の左端から右端へ移動することを水平走査、画面の上端から下端へ移動することを垂直走査と呼びます。電子ビームが蛍光体に当たると、発光するのは一瞬ですが、短時間（例えば1秒間）に何度も同じ点が発光すると、残像効果により文字、あるいはグラフィックとして認識できるのです。1秒間に水平方向に走査する回数を水平走査周波数と呼び、同様に1秒間に垂直方向に走査する回数を垂直走査周波数と呼びます。

ディスプレイを使う場合

本機の表示機能は次の表のとおりです。また、本機専用の次のディスプレイでは、標準でこの表の解像度と表示色、走査周波数を表示できます。

- 17インチCRTディスプレイ（PK-DH172）
- BSワイドディスプレイテレビ（PK-DH32W2、PK-DH28W2）

この他のディスプレイを使用する場合は、この表を参考にして、本機に対応したディスプレイを選んでください。

○：表示可　×：表示不可

解像度（ドット）	表示色	水平走査周波数（KHz）	垂直走査周波数（Hz）	17インチCRTディスプレイ（PK-DH172）	BSワイドディスプレイテレビ（PK-DH32W2 PK-DH28W2）
640×480	256色 65,536色 1,677万色	43.3	85.0	○	×
		37.5	75.5	×	○
		31.5	59.9	○	○
800×600	256色 65,536色 1,677万色	53.7	85.1	○	×
		46.9	75.0	×	×
		37.9	60.3	○	○
864×480	256色 65,536色 1,677万色	37.5	75.0	×	○
1,024×600	256色 65,536色 1,677万色	37.9	60.3	×	○
1,024×768	256色 65,536色 1,677万色	68.7	85.0	×	×
		60.0	75.0	○	×
		48.4	60.0	○	×
1,280×1,024	256色 65,536色 1,677万色※1	91.1	85.0	×	×
		80.0	75.0	×	×
		64.0	60.0	×	×

※1：1,280×1,024ドットで1,677万色表示を行う場合はWindowsの画面上でテレビ表示ができません。

※上記以外の解像度、走査周波数ではディスプレイによっては、特定の表示ができなかったり、ディスプレイ側の微調整が必要な場合もあります。

※次の別売ディスプレイは使用できません。
- PC-KM174
- PC-KM212

リフレッシュシートの切り替えについて

リフレッシュシートの既定値は、セットアップが完了したときに本体とモニタの組合せで最も適した値に設定されています。

この設定は[画面のプロパティ]で変更できる場合がありますが、モニタがサポートしていないリフレッシュシートを選択すると表示が乱れます。変更するときはご注意ください。

解像度と表示色の変更

必要に応じて解像度や表示色を変更できます。

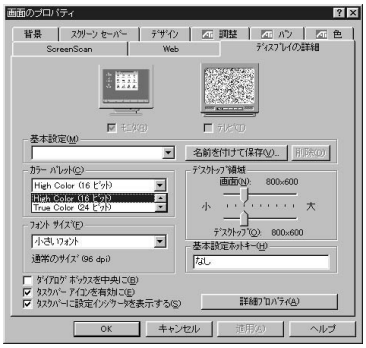
解像度と表示色を変更する

① コントロールパネルを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順③へ進む）

②「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

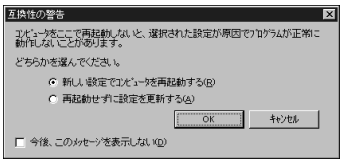
③ 解像度を変更する。
「デスクトップ領域」内の「画面」つまみを「大」の方向にドラッグして動かすと、高解像度になります。低解像度に設定する場合は、つまみを「小」の方向へドラッグして動かします。設定できる解像度は、本体ディスプレイの表示機能によって変わります。
次に、「デスクトップ」のつまみをドラッグして「画面」のつまみと同じ位置になる様に動かします。

④ 「カラーパレット」の ▼ をクリック。
表示色一覧のメニューが表示されます。



⑤ 表示色を選ぶ。
（例 「True Color(32ビット)」を選ぶ）
「True Color(32ビット)」が反転表示されます。

⑥ 「OK」をクリック。
次のメッセージが表示されます。

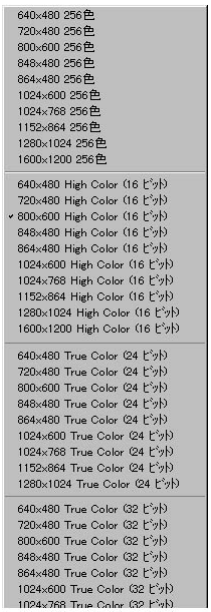


⑦ 「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」をクリック。
本機が再起動されて、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更する（簡易解像度切り替え機能）

解像度と表示色は、タスクバーから簡単に切り替えることができます。

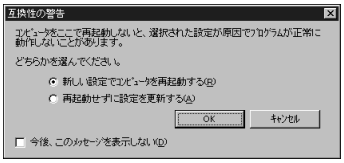
① タスクバー右隅の をクリック。
解像度と表示色の一覧メニューが表示されます。



※画面は接続したディスプレイによって異なる場合があります。

にポインタを当てると、現在の設定を表示できます。

② 変更したい解像度と表示色の組み合わせを選んでクリック。
次のメッセージが表示されます。



③ 「再起動せずに設定を変更する」を選んで「OK」をクリック。

④ 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」→「コンピュータを再起動する」を選んで「はい」をクリック。
本機が再起動されて、設定が変更されます。

解像度と表示色を変更するときの注意

・表示色数を変更した後に、本機を再起動しなかった場合、画面が正しく表示されないことがあります。また、アプリケーションソフトによっては、色が正常に表示されないことがあります。

・解像度や表示色数を変更した場合には、画面位置がずれることがあります。そのときは、ディスプレイの画面位置を調整してください。画面位置の調整方法は、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。PK-DH172の場合は、PART5「別売の17インチディスプレイ(PK-DH172)の画面調整」をご覧ください。

パワーマネージメント機能について

本機に、パワーマネージメント機能を持つディスプレイを接続している場合、パワーマネージメント機能を使うことができます。本機専用のCRTディスプレイ(PK-DH172)、BSワイドディスプレイテレビは、パワーマネージメント機能に対応しています。パワーマネージメント機能は、Windows上で設定し、コントロールパネルで設定した時間内に、まったく操作をしなかった場合、ディスプレイの消費電力を節約する機能です。PK-DH172の場合は、PART5「別売の17インチディスプレイ(PK-DH172)の画面調整」をご覧ください。

パワーマネージメント機能を使う

① 「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順③に進む)

② 「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③ 「スクリーンセーバー」をクリック。
「スクリーンセーバー」タブのウィンドウが表示されます。

④ 「ディスプレイの省電力機能」欄で設定する。

・低電力スタンバイ
「低電力スタンバイ」を選んで、時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイがスタンバイ状態になり、消費電力を節約することができます。

・電源断
「電源断」を選択して、時間を設定すると、設定時間経過後にディスプレイの電源が切れて、「低電力スタンバイ」に設定したときよりも、より消費電力を節約できます。この設定で電源が切れたディスプレイの電源の入れ方については、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

⑤ 設定が終了したら、「OK」をクリック。
パワーマネージメント機能が設定されました。

チェック!!

パワーマネージメント機能が働いて、ディスプレイの電源が切れているときは、本体の電源スイッチを押さないでください。

「MS-DOS プロンプト」でディスプレイの省電力機能を使用する場合の注意

「MS-DOSプロンプト」でディスプレイの省電力機能を使用する場合は、「スクリーンセーバー」もあわせて使用してください。「スクリーンセーバー」を使用しないと、「MS-DOSプロンプト」を使っているときに、ディスプレイの省電力機能は使用できません。

ディスプレイに合わせて設定する

17インチCRTディスプレイ(PK-DH172)、BSワイドディスプレイテレビ以外のディスプレイを使用するときは、ディスプレイに合わせて、本体の設定を変更する必要があります。本体が、ディスプレイに合わせて正しく設定されていないと、ディスプレイに何も表示されないことがあります。また、設定できるはずの解像度が設定できないこともあります。

17 インチ CRT ディスプレイ (PK-DH172)、BS ワイドディスプレイテレビ以外のディスプレイを使用するときの注意

プラグ＆プレイに対応していないディスプレイの場合は、必ず、次の手順を行ってください。
プラグ＆プレイに対応しているディスプレイの場合は、起動時にモニタを検出したことを示すメッセージが表示されます。このメッセージで、ディスプレイが検出されたことが確認できた場合は、この手順は必要ありません。

詳しくは、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

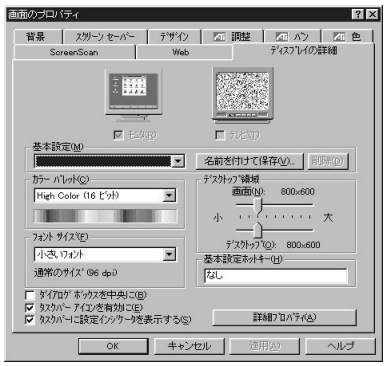
ただし、プラグ＆プレイに対応しているディスプレイであっても、そのディスプレイで表示できるはずの高解像度が、この項の「解像度と表示色の変更」の手順で設定できない場合があります。その場合は、『困ったときのQ&A』をご覧の上、ディスプレイの設定をやり直してください。

① ディスプレイが本体に正しく接続されていることを確認する。

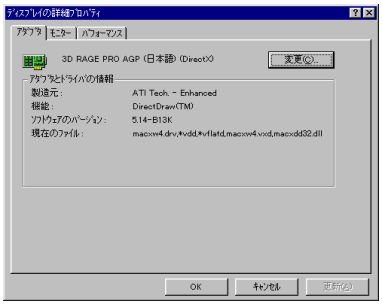
② Windows 95起動後に、「コントロールパネル」を開く。
(または「ランチ-NX」→「ユーティリティ」→「画面の設定」の後、手順③に進む)
「コントロールパネル」が表示されます。

③「画面」をダブルクリック。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

④「ディスプレイの詳細」をクリック。
「ディスプレイの詳細」タブのウィンドウが表示されます。



⑤「詳細プロパティ」をクリック。
「ディスプレイの詳細プロパティ」ウィンドウが表示されます。



⑥「モニター」をクリック。
「モニター」タブのウィンドウが表示されます。

⑦「変更」をクリック。
「デバイスの選択」ウィンドウが表示されます。

⑧「製造元」と「モデル」を選ぶ。
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されない場合は、「製造元」の欄で、「(スタンダードモニター)」を選び、「モデル」の欄で接続したディスプレイがサポートしている解像度を設定してください。

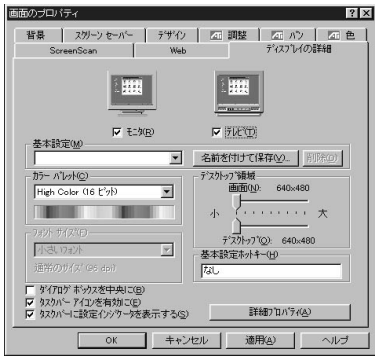
⑨「OK」をクリック。

⑩「閉じる」をクリック。

⑪「OK」をクリック。
Windowsを再起動するようにというメッセージが表示された場合は、ほかのアプリケーションを終了させてから、「はい」をクリックしてください。

本機にディスプレイとテレビを接続した場合の設定

本機にディスプレイとテレビの両方を接続した場合に、テレビに画像が出力されるようにするには、テレビ出力モードに切り替えます。
「画面のプロパティ」の「ディスプレイの詳細」タブの「□テレビ」をクリックして「☑」にしてください。



チェック!!

- テレビを接続する場合は、必ずディスプレイも接続してください。
- 購入時はテレビ出力はオフ(□の状態)になっています。
- テレビ出力できる解像度は、640x480、800x600、848x480ドットです。
- 映像出力端子またはS映像出力端子に外部ビデオ機器を接続していない場合は、テレビ出力をオン(☑)にすることはできません。
- テレビ出力モードに切り替えると、ディスプレイには、正しく表示されません。

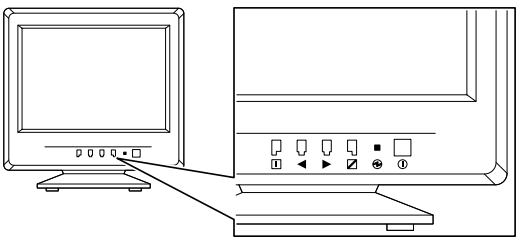
別売の17インチディスプレイ（PK-DH172）の画面調整

本機の電源が入っているとき、17インチディスプレイ前面の画面表示調整ボタンを使って、ディスプレイに表示される内容の表示位置やゆがみなどを調整できます。

BSワイドディスプレイテレビの画面調整については、BSワイドディスプレイテレビの取扱説明書をご覧ください。

画面表示調整スイッチ

画面表示調整スイッチの位置



チェック!!

画像を表示したままディスプレイの向きを変えたりすると、表示に色ムラができることがあります。
このようなときは、次のようにして画像の調整をしてください。

- 一度ディスプレイの電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れます。
- オンスクリーン画面を表示させて、手動消磁をします。
- 消磁機能の動作中は、画面が揺れて見えますが故障ではありません。
- 電源スイッチを押した際、消磁装置の動作音がしますが、故障ではありません。

画面表示の調整

画面表示の調整は、オンスクリーン画面で行います。オンスクリーン画面は、メニュー画面と、メニュー画面上に表示される調整メニューアイコンに対応する調整画面で構成されています。
オンスクリーン画面を起動すると、まず、メニュー画面が表示されます。

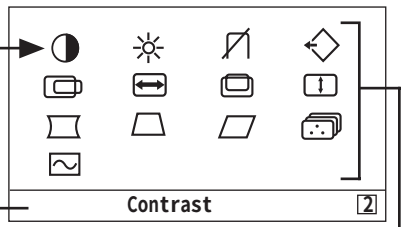
1 オンスクリーン画面の起動

① ディスプレイと本体の電源を入れる。
ディスプレイの消磁が働き、つづいてランチ-NXなどの画面が表示されます。

② ディスプレイ前面の画面表示調整スイッチの 1 キーを押す。

- 本機を使用中にオンスクリーン画面を起動させると、作業中の画面の上にオンスクリーン画面が表示されます。
- 本体の電源を入れずにディスプレイの電源のみを入れたときには、メニュー画面は表示されず、セルフテストの画面が表示されます。

2 メニュー画面の操作



現在選択されている調整項目が表示されます。

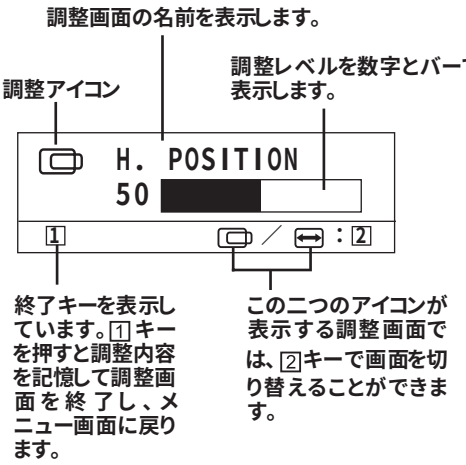
調整メニューアイコン
調整できる項目を表しています。調整は、調整画面で行います。
各アイコンの調整項目についての詳細は、「調整項目について」をご覧ください。

基本操作

① ▶キーを押して、調整したい項目のアイコンに選択マークを移動する。
② 2キーを押す。
選択した項目の調整画面が表示されます。
オンスクリーン画面の操作はディスプレイ前面の画面表示調整スイッチのみで可能です。
メディアコントローラやワイヤレスキーボードでは操作できません。

3 調整画面での画面表示の調整

＊下記の画面は「水平位置調整」画面を選択した場合です。



調整画面の操作は、次のとおりです。
（例：水平位置調整画面の場合）
① ◀▶キーを押して、好みの状態にする。
② 1キーを押す。
調整内容を記憶して、メニュー画面に戻ります。

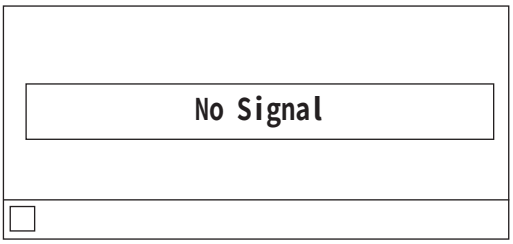
4 オンスクリーン画面の終了

① ディスプレイ前面の画面表示調整スイッチの1キーを押す。

メニュー画面が消えます。

MONITOR SELF-TEST（セルフテスト）

この画面は、ディスプレイが正常に動作していることを表示しています。



次のいずれかの場合に、画面調整スイッチのどれかを押すと表示されます。
・入力同期信号が範囲外の場合
・パワーセーブモードに入っている場合（OFF STATE時のみ表示）
・無信号の場合（本体と接続されていない、本体の電源が入っていないなど）

調整項目について

コントラスト調整（CONTRAST）◑

画像の濃淡を調整します。室内の明るさに応じて調整してください。
◀キーを押すと画像が薄くなり、 ▶キーを押すと画像が濃くなります。
・◀▶キーを押すと、ダイレクトにコントラスト調整画面を表示できます。
・コントラスト調整画面上で、◀▶キーを同時に押すと購入時の設定になります。
・コントラストの調整具合によっては、小さな文字がぼやけたり、細かい横線が二重に見えたりすることがあります。
・画面表示内容によってはコントラストを調整しても一定の明るさ以上にならない場合があります。

輝度調整（BRIGHTNESS）☼

画面の明るさを調整します。室内の明るさに応じて調整してください。
◀キーを押すと画面が暗くなり、▶キーを押すと画面が明るくなります。
・輝度調整画面上で、◀▶キーを同時に押すと購入時の状態になります。
・輝度の調整具合によっては、色の純度が低くなることがあります。

■ 手動消磁(DEGAUSS)
手動での消磁を行います。アイコンを選択すると、数秒間消磁が働きます。
・ディスプレイの電源が入ったときには、自動的に消磁が働きます。
・消磁機能の動作中は画面が揺れて見えますが、故障ではありません。

■ 水平位置調整(H.POSITION)
映像の水平位置を調整します。◀キーを押すと左に移動し、 ▶キーを押すと右へ移動します。
・2キーを押すと、水平サイズ調整になります。

■ 水平サイズ調整(H.SIZE)
映像の水平サイズを調整します。 ◀キーを押すとサイズが小さくなり、 ▶キーを押すとサイズが大きくなります。
・2 キーを押すと、水平位置調整になります。
・映像の位置をあらかじめ画面の中央に設定すると、サイズ調整がしやすくなります。

■ 垂直位置調整(V.POSITION)
映像の垂直位置を調整します。◀キーを押すと下へ移動し、▶キーを押すと上へ移動します。
・2キーを押すと、垂直サイズ調整になります。

■ 垂直サイズ調整(V.SIZE)
映像の垂直サイズを調整します。◀キーを押すとサイズが小さくなり、▶キーを押すとサイズが大きくなります。
・2 キーを押すと、垂直位置調整になります。
・映像の位置をあらかじめ画面の中央に設定すると、サイズ調整がしやすくなります。

■ 垂直ピンクッション調整(V.PINCUTION)
映像の垂直ピンクッションを調整します。◀キーを押すと糸巻き状()に、▶キーを押すと樽型状()になります。

■ 台形歪み調整(TRAPEZOID)
映像の台形ゆがみを調整します。◀キーを押すと上辺が狭く()、▶キーを押すと下辺が狭く()なります。

■ 平行四辺形形歪み調整
(PARALLELOGRAM)
映像の平行四辺形ゆがみを調整します。◀ キーを押すと左倒れ状()に、 ▶キーを押すと右倒れ状()になります。

■ カラー切り替え(Color SELECT)
映像の白色を切り替えることができます。
①◀▶キーで、1(9300K)/2(6550K)/3(User)の中から、白色にしたい色を選ぶ。
3(User)を選ぶとオンスクリーン画面の右下に2が表示されます。
・2 キーを押すとユーザーカラー調整画面が表示されます。

■ ユーザーカラー
映像の白色を自分の好きな色に調整します。
①2 キーでR(赤色)/G(緑色)/B(青色)を選ぶ。
②◀▶キーで好きな色に調整する。

チェック!!
ユーザーカラーは、購入時の状態に戻すことができないので、設定を変更する前に購入時の設定値を控えておいてください。

■ メモリーコール(RECALL)
画面表示の設定を購入時の状態に戻します。
・1キー(YES)を押すと、設定内容をリコールしてメニュー画面に戻ります。(リコール=購入時の状態に戻る)
・2キー(NO)を押すと、設定内容をリコールせずにメモリー画面に戻ります。(リコール選択前の状態に戻る)

チェック!!
・ユーザーカラーは、購入時の状態に戻すことができないので、設定を変更する前に購入時の設定値を控えておいてください。
・コントラストと輝度はリコールされません。コントラストと輝度を購入時の設定に戻すときには、「コントラスト調整」、「輝度調整」それぞれの項目を参照してください。

約30秒間操作しなければ、リコールせずに画面が消えます。

サスペンド/レジューム機能

本機を使っていないときに、電源を切らなくても電力の消費を節約できるサスペンド/レジューム機能について説明します。

概要

本機を使っていないときには、本機の電源を切っておくと、電力の節約になります。しかし、電源を切るには、作業中の状態を終了(アプリケーションを終了したり)して、Windowsを終了する必要がありますので、少しの間だけ、本機を使わない場合には、つい電源を入れっぱなしにしがちです。

しかし、電源が入ったままでも電力消費を抑える機能(省電力機能)が本機には備わっています。これをサスペンド機能といいます。サスペンド機能を使うと、本体は電源が入ったままでも、ハードディスクのモータを止めたり、画面を消したりして、電力消費を抑えることができます。ただし、プリンタやスピーカなどの周辺機器や、通信回線などは自動的に切れないので、注意が必要です。サスペンド中は、作業をしていた内容は保持され、元の状態に戻る(この機能をレジューム機能といいます)と、すぐに作業が再開できます。

電源の状態

本機の電源の状態について説明します。

・電源が入っている状態
通常、本機を使っている状態です。

・電源が切れている状態
Windowsを終了したり、電源スイッチを切ったりして、本機の使用を終了している状態です。

・サスペンド(省電力)状態
消費電力を一部抑えている状態です。電源は入っていますが、本機のさまざまな機能を制御して、通常よりも電力を節約します。

サスペンド状態での本機

サスペンド状態になると、本機は次のようになります。

	電源ランプ	スリープランプ	ディスプレイ	ディスプレイの電源ランプ※1
電源ON	点灯する	点灯しない	表示される	緑色に点灯※2
サスペンド	点灯する	点灯する	表示されない	オレンジ色に点灯※2

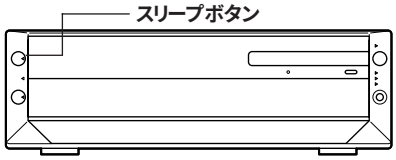
※1 17インチCRTディスプレイ(PK-DH172)、BSワイドディスプレイテレビの場合
※2 使用するディスプレイによっては、異なる場合があります。

サスペンド状態にする

サスペンド状態にする方法について説明します。

スリープボタンを使ってサスペンド状態にする。

① 本体のスリープボタンを1秒以上押す。
サスペンド状態になります。



ワイヤレスキーボード、メディアコントローラのスリープボタンを押しても同じようにサスペンド状態にできます。

スリープボタンを使用できないようにする

スリープボタンを誤って押してもサスペンド状態にならないように、スリープボタンを使ってサスペンド状態になる機能を使用できなくすることができます。次の手順で行います。

① 本機の電源を入れ、Windows 95を起動する。

② 「BIOSセットアップユーティリティ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOSセットアップユーティリティ」)
「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。
「警告」ウィンドウが表示された場合は、「OK」をクリックします。

③ 「セットアップ」→「省電力」をクリック。

④ 「スリープ」タブをクリック。

⑤ 「スリープボタン制御」のチェックボックスをクリックしてオフ(☐)の状態(「使用しない」)にする。

⑥ 「OK」をクリック。

チェック!!

スリープボタンを使用しない場合は、ワイヤレスキーボードのカーソルキーを押すか、メディアコントローラのカーソルボタンを押してレジュームしてください。

自動的にサスペンド状態にする

「BIOSセットアップユーティリティ」で自動的にサスペンド機能を使うように設定しておくと、トラックボールやキーボードからの入力およびハードディスクへのアクセスがなく、一定の時間が経つと、自動的にサスペンド状態になります。
設定についてはこの項の「BIOSセットアップユーティリティで省電力の設定をする」をご覧ください。

Windows でサスペンド状態にする

「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」で「詳細」をクリックして、表示される「詳細のプロパティ」で「〔スタート〕メニューの〔サスペンド〕コマンドの表示」をチェックすると、「スタート」メニューに「サスペンド」が表示されるようになります。この「サスペンド」をクリックすると、すぐにサスペンド状態になります。設定についてはこの項の「Windowsのスタートメニューでサスペンド状態にする」をご覧ください。

タイマー機能でサスペンド状態にする

「Timer-NX」を使うと、指定した時間にサスペンド状態にすることができます。

参照
・「Timer-NX」→PART 1「タイマー機能〈Timer-NX〉」

サスペンド状態から電源が入っている状態にする

サスペンド状態から、電源が入っている状態に復帰する(これをレジュームといいます)方法について説明します。

スリープボタンを使う

① サスペンド状態のときに、本体前面のスリープボタンを1秒以上押す。
ワイヤレスキーボード、メディアコントローラのスリープボタンを押しても同じようにレジュームできます。

ワイヤレスキーボードを使う

① サスペンド状態のときに、ワイヤレスキーボードのキーをどれか(カーソルキーなど)押す。

メディアコントローラを使う

① サスペンド状態のときに、メディアコントローラのカーソルボタンをどれか押す。

チェック!!

・ワイヤレスキーボード、メディアコントローラのトラックボールを操作してもレジュームできます。
ただし、ワイヤレスキーボード、メディアコントローラをしばらく動かさないでいると(ワイヤレスキーボードは約3時間、メディアコントローラは約30分)、トラックボールが省電力モードになってしまいます。この場合は、ワイヤレスボードのキー、メディアコントローラのカーソルボタン、またはスリープボタンのいずれかを押してください。
・別売のUSBキーボード、マウスではレジュームできません。
・ワイヤレスキーボードや、メディアコントローラでレジュームしないようにするには、 BIOSセットアップユーティリティで設定を変更します。

参照
BIOSセットアップユーティリティによる設定→PART 6「BIOSセットアップユーティリティ」の「省電力の設定」

指定した時間に自動的にレジュームする

タイマー機能を使って、指定した時刻に、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

参照
・タイマー機能→PART 1「タイマー機能〈Timer-NX〉」

電話や FAX を受信したときに自動的にレジュームする

電話やFAXを受信すると、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

■ コントロールパネルで設定

①「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

②「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③「詳細」ボタンをクリック。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

④「電話が鳴ったら、コンピュータを元の状態に戻す」のチェックボックスに、チェックがついていることを確認する。
購入時では、チェックがついた状態になっています。

⑤「OK」をクリック。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

⑥「OK」をクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

■ Timer-NXで設定

「Timer-NX」のリング機能を使用して、電話やFAXを受信したときに、自動的に電源が入っている状態に復帰します。

参照
・「Timer-NX」→PART 1「タイマー機能〈Timer-NX〉」

BIOS セットアップユーティリティで省電力の設定をする

「BIOS セットアップユーティリティ」で省電力の設定をします。

参照
・「BIOS セットアップユーティリティ」→PART 6「BIOS セットアップユーティリティ」

自動的にサスペンド状態になるように設定する

①「BIOS セットアップユーティリティ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」)
「BIOS セットアップユーティリティ」が起動します。

②「セットアップ」→「省電力」をクリック。

③「自動スリープ制御」のチェックボックスをクリックしてオン(☑)にする。
「使用しない」から「使用する」に変わります。
購入時には「使用しない」になっています。

④「自動スリープ開始時間」の時間を設定する。

⑤「OK」をクリック。

自動的にサスペンド状態にならないように設定する

①「BIOS セットアップユーティリティ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」)
「BIOS セットアップユーティリティ」が起動します。

②「セットアップ」→「省電力」をクリック。

③「自動スリープ制御」のチェックボックスをクリックしてオフ(☐)にする。
「使用する」から「使用しない」に変わります。

④「OK」をクリック。

ワイヤレスキーボードやメディアコントローラの操作でレジュームしないように設定する

①「BIOSセットアップユーティリティ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOS セットアップユーティリティ」)
BIOSセットアップユーティリティが起動します。

②「セットアップ」→「省電力」をクリック。

③「レジューム」タブにある「入力デバイスでレジューム」のチェックボックスをクリックしてオフ(☐)にする。
「使用する」から「使用しない」に変わります。

④「OK」をクリック。

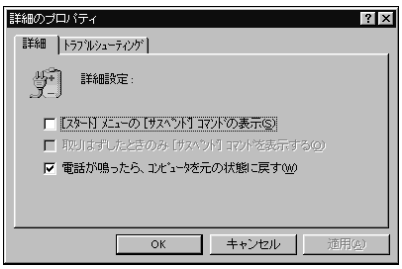
Windows のスタートメニューで サスペンド状態にする

「サスペンド」を「スタート」メニューに追加すると、「スタート」メニューからサスペンドすることができるようになります。

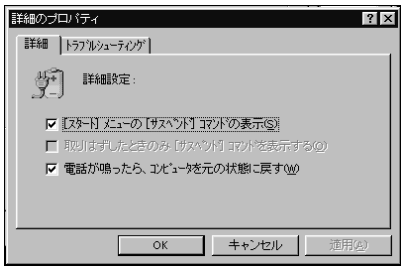
① コントロールパネルを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

② 「パワーマネージメント」をダブルクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③ 「詳細」をクリック。
「詳細のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



④ 「[スタート] メニューの [サスペンド] コマンドの表示」のチェックボックスをクリック。
チェックボックスに ☑ 印がつきます。



⑤ 「OK」をクリック。

⑥ 「電源のプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリック

⑦ 「スタート」をクリック。
「スタート」メニューに「サスペンド」が表示されます。

⑧ 「サスペンド」をクリック。
サスペンド状態になります。

「電源のプロパティ」ウィンドウでの設定

「電源のプロパティ」ウィンドウでは、サスペンド/レジューム機能の設定や、レジューム起動時刻の設定などのほかに、電源管理の設定や内蔵ハードディスクの省電力の設定ができます。

「電源のプロパティ」ウィンドウの表示方法

①「コントロールパネル」を開く。
(「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」)

②「パワーマネージメント」をダブルクリック。
「電源のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

「パワーマネージメント」タブのウィンドウで行う設定

サスペンド/レジューム機能を使用する場合は、「Windowsでコンピュータの電源管理をする」のチェックボックスがオン(☑ 印がついている状態)になっていることが必要です。

チェック!!

このチェックボックスをオフに変更しないでください。変更するとサスペンド/レジューム後、USBポートが動作しなくなります。

「ディスクドライブ」タブのウィンドウで行う設定

「電源がAC電源の場合」のチェックボックスをオンにすると、ハードディスクのモータを停止させるまでの時間を設定できます。ここで設定した時間が経過するまでに、トラックボールやキーボードからの入力がない場合は、ハードディスクドライブのモータが、節電のために停止します。

サスペンド状態にするときの注意

サスペンド/レジューム機能を使用するときには、次のような注意が必要です。これを怠ると、サスペンドの内容が失われたり、サスペンド内容(サスペンドする直前に使用していたアプリケーションやファイルの情報)が復元できないこともあります。サスペンド内容が復元できない場合も、保存済のデータが失われることはありません。

サスペンド/レジューム機能が使用できないとき

使用するアプリケーションソフトによっては、レジュームができなかったり、アプリケーションソフトが正常に動作しないことがあります。このようなアプリケーションの使用時には、サスペンド/レジューム機能を使用しないでください。また、使用する周辺機器によっては、レジュームできないことがあります。

サスペンド内容が失われるとき

サスペンド中に次のことが起きると、電源が切れた状態になるため、サスペンド内容は失われます。

- 電源ケーブルが本体やACコンセントからはずれたとき
- 停電が起きたとき
- 電源スイッチを約4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき

このような場合は、次に電源を入れたときに、「Windowsが正しく終了されませんでした...」と表示されますので、画面の指示に従ってください。

サスペンド内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、サスペンド内容は保証されません。

- サスペンド内容の記憶中、または復元中にフロッピーディスクを入れ替えたとき
- サスペンド内容の記憶中、または復元中にDVD-ROMやCD-ROMを入れ替えたとき

・サスペンド内容の記憶中、または復元中にPCカードの抜き差しをするなど、本機の環境を変更したとき

・サスペンド状態のときに本機の機器構成を変更したとき

また、次のような状態でサスペンド機能を起動しても、サスペンド内容は保証されません。

・Windowsの起動または、終了処理中のとき

・プリンタへ出力中のとき

・モデムなどを使って通信中のとき

・サウンド機能により音声を再生しているとき

・フロッピーディスク、ハードディスクを読み書き中のとき

・DVD-ROMやCD-ROMを読み取り中のとき

・本機に標準添付のワイヤレスキーボード以外のキーボードを接続しているとき

レジューム機能が正しく実行されない場合

次のような場合には、レジューム機能が正しく実行されなかったことを表しています。

・アプリケーションが動作しない

・サスペンド内容を復元できない

・スリープボタンまたは、電源スイッチを押してもレジュームされない

このような状態になるアプリケーションソフトを使用中には、サスペンド/レジューム機能は使わないでください。万一、スリープボタンや電源スイッチを押してもレジュームできなかったときには、電源スイッチを約4秒以上、押し続けてください。電源ランプが消え、電源が強制的に切れます。この場合、BIOSセットアップユーティリティの内容が、ご購入時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は、再設定してください。

その他の注意

・通信ソフトを使用中の場合は、通信ソフトを終了させてからサスペンド状態にしてください。通信状態のままサスペンドすることはできません。

・DVD-ROMドライブにフォトCDが入っているときにサスペンド状態にした場合は、レジュームに多少の時間がかかることがあります。

・CDの再生中にサスペンドした場合、CDは再生され続ける場合があります。サスペンドする前にCDの再生を止めてください。

・「デバイスマネージャ」でドライバなどの設定をしているときや、「プリンタウィザード」や「ハードウェアウィザード」実行中は、サスペンド/レジューム機能を使用しないでください。これらの画面を表示しているときに、サスペンド状態になると、レジュームした後、キーボードとマウスを使用することができなくなります。

・「CDプレーヤー」または「メディアプレーヤー」で音楽CDを再生しているときにサスペンドを実行してレジュームすると、サスペンド時に再生を行っていたトラックの次のトラックから再生が行われます。

・「メディアプレーヤー」でビデオCDやMPEGデータを再生しているとき、サスペンド/レジューム機能を使用することはできません。

・「DVDプレーヤ」再生中は、サスペンド/レジューム機能を使用することはできません。

サウンド機能

本機は、PCM録音/再生機能を備えています。

概要

PCM 録音 / 再生機能

PCM録音/再生機能は、マイクロホンから入力した音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換していろいろな処理を加える機能です。人の音声などを、原音に近い音で再現できます。
インストールされているWindowsのサウンド機能を使えば、ソフトに含まれる音声データを再生したり、入力した音声を編集したり、文書などに貼り付けたりできます。

MIDI 音源（物理モデル音源）

実際の楽器で音が鳴るときの空気の流れや素材の振動を計算して楽器の音を再現する音源です。

チェック!!

本機には各種の音源が内蔵されていますが、スピーカは内蔵されていないため、音声を出力することはできません。音声を出力するには、別途スピーカが必要です。
別売のBSワイドディスプレイテレビをお使いの場合は、テレビの内蔵スピーカから音声が出力されます。

参照
スピーカを接続するには→『拡張の手引き』PART 2の「スピーカを使う」

ボリュームコントロール

「ボリュームコントロール」ウィンドウは、内蔵音源を通じて再生される音量や、内蔵音源を通じて録音するときの入力レベルをコントロールすることができます。各音源の音量が小さい場合や、音量が大き過ぎて音割れや音のゆがみがあるときに調整してください。

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法

「ボリュームコントロール」ウィンドウの表示方法は次の通りです。

① 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。

「プロパティ」ウィンドウ

「ボリュームコントロール」ウィンドウのメニューバーから「オプション」を選んで、「プロパティ」をクリックすると、「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

「プロパティ」ウィンドウでは、「音量の調整」欄で、「再生」「録音」「その他」のどれが選ばれているかにより、表示される項目を切り替えることができます。表示できる項目と、各項目の説明を一覧で示すと次のようになります。

項目名	音量調節の種類*1			説　　明
	再生	録音	その他	
ボリューム コントロール*2	○			音声出力端子から出力される全ての音量を調整します。
レコーディング モニター	○			録音時の音声を音声出力端子から出力する際の音量を調整します（録音の音声は、音量の調整の「録音」で選択しているもので調整します）。
PC ビープ	○			本体のBeep音を調整します。
テレフォン	○	○	○	FAXモデムボードからの入力される音を音声出力端子から出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
マイクロフォン	○	○	○	マイクロホン端子に接続されているマイクロホンから入力される音を音声出力端子から出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
ライン	○	○	○	オーディオ入力端子に接続されているオーディオ機器から入力される音を音声出力端子から出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
CD オーディオ	○	○	○	CDから出力される音を音声出力端子から出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
ビデオ	○	○	○	TVまたは音声入力端子に接続されている機器から入力される音を音声出力端子から出力するときの音量を調整します。
AUX	○	○	○	DVD再生の音を音声出力端子から出力するときの音量を調整します。
ステレオアウト		○	○	音声出力端子から出力される全ての音声を録音するときの音量を調整します。
Wave アウト	○			WAVEデータなどのPCM音源を使用して出力される音量を調整します。
Midi アウト	○			MIDIデータなどのMIDI音源を使用して出力される音量を調整します。
モノ　アウト	○			FAXモデムボードへ出力する音の音量を調整します。

＊1 DVD光デジタル出力端子から出力される音声はボリュームコントロールの設定に関わらず、一定の音量で出力されます。
＊2 光デジタル出力端子から出力される音声は調節できません。

「ヤマハ　DS-XG　設定」について

「ヤマハ　DS-XG設定」では、マイクエコーの設定やシンセサイザーのエフェクト、光デジタル出力端子から出力される音などの設定ができます。

①「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

②「ヤマハ　DS-XG設定」をダブルクリック
「ヤマハ　DS-XG設定」ウィンドウが表示されます。

次の各項目が設定できます。

- シンセサイザーエフェクト
- マイクエコー
- デジタル出力
- 3Dサウンドモード
- ダイレクトサウンド

各項目についての詳しい説明は、「概要」タブにある「ヘルプ」ボタンをクリックして表示されるヘルプをご覧ください。

ヤマハＤＳ－ＸＧ設定

概要

「ヘルプ」をクリックすると、[ヤマハDS－XG設定]について見出しや用語について調べることができます。

「シンセ」の設定について

リバーブ
ホールのような残響音を作る機能です。

コーラス
複数の音が同時に再生されているような音響効果を作ります。音に奥行きや厚みを加えます。

バリエーション
XGフォーマットで規定されているエフェクトで、ディストーション、イコライザー、ピッチチェンジなどの様々な音響効果を作ることが出来ます。

SONDIUS－XG
ヤマハ（株）が提唱しているXGフォーマットというMIDI音源に関する規格に物理モデル音源特許（アメリカのスタンフォード大学とヤマハ（株）が所有する特許）を加えた規格です。

■「エコー」の設定について
マイクエコーの「□有効」をクリックしてチェックするとマイクエコー効果がかかります。購入時はマイクエコーは入っていません。[初期値]をクリックすると購入時の状態に戻ります。

遅延時間
マイクエコーの繰り返し周期を設定します。右に動かすと周期が長くなります。

帰還ゲイン
マイクエコーの繰り返し回数を設定します。右に動かすと長く音が残ります。

■「デジタル出力」の設定について
[初期値]をクリックすると購入時の状態に戻ります。

「デジタル出力」の設定について

本機の光デジタル出力端子から出力される音声には、デジタル音声とアナログ音声があります。

◎デジタル音声
- **PCM**
- **MIDI**

◎アナログ音声
- **電話**
- **マイクロホン**
- **CD**
- **DVD**
- **テレビ**
- **ビデオからの音声**
- **オーディオからの音声**

本体背面の光デジタル出力端子から音声を出力するときは、「ヤマハ DS-XG 設定」の「デジタル出力」タブで、どの音声を出力するかを設定します。

チェック!!
アナログ音声をデジタル出力する場合は、デジタルに変換して出力しています。

	デジタル音声	アナログ音声
OFF	×	×
ON（デジタルソースのみ出力）	○	×
ON（すべて出力）	○※2	○※1※2

購入時は、OFFに設定されています。

※1 サウンドレコーダーなどで音声の録音を行なう場合、録音している間は、光デジタル出力端子からアナログ音声は出力されません。
※2 ON（すべて出力）を選択した場合、本体背面の音声出力端子から音声は出力されません。

■「ダイレクトサウンド」の設定について
[ハードウェア1次バッファ]の「Game Trouble Shooting」は、ダイレクトサウンドを使用するゲームなどで雑音が発生する場合にのみチェックをしてください。雑音の発生を回避できる場合があります。ただし、通常はチェックをはずしておいてください。
[ハードウェア2次バッファ]が、「有効」にチェックされているとハードウェアによるダイレクトサウンドの発音を行います。「すべて無効」にするとソフトウェアによるダイレクトサウンドの発音となります。[初期値]をクリックすると購入時の状態に戻ります。

チェック!!
ダイレクトサウンドの発音がハードウェアの場合は、CPUへの負担を減らし、アプリケーションの実行を速くしますが、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。ダイレクトサウンドの発音がソフトウェアによる場合は、CPUへの負担は増えますが、安定して動作します。

■「ダイレクトサウンド3D」の設定について
[3Dサウンドモード]の設定を「ヘッドフォン」、「スピーカー」、「アプリケーションの設定に従う」の中から選ぶことができます。[初期値]をクリックすると購入時の状態に戻ります。

サウンド全般についての注意

ボリュームコントロールを使用するときの注意

・ディスプレイの解像度が640×480ドットなどの低解像度の場合、「ボリュームコントロール」ですべての音源コントロールが表示されない、または右端の音源コントロールの表示が一部欠ける場合があります。

この場合には、ディスプレイの解像度を変更するか、「プロパティ」ウィンドウの「表示するコントロール」欄で、使用しない音源の選択を解除し、必要なコントロールが表示されるよう変更してください。

なお、「ボリュームコントロール」の表示が一部欠けた状態で解像度の切り替えを行っても、「ボリュームコントロール」の表示は変更されません。一度、「ボリュームコントロール」を終了し、もう一度「ボリュームコントロール」を起動してください。

・CDまたはTVの音を録音し、そのデータを再生したとき、音が小さく感じられる場合があります。これはCD/TVの録音の音量は、CD/TVの出力ボリュームの大きさに依存するためです。したがって、CDまたはTVの録音を行うときにはあらかじめ「ボリュームコントロール」を使用し、CD AUDIO/VIDEOの音量を大きくしておいてください。

CD 音量を設定するときの注意

「プレーヤNX」などでオーディオCDを再生中に、「コントロールパネル」の「マルチメディア」をクリックし、「音楽CD」タブで音量調節を変更した場合、その変更が有効になるのは、次回に「プレーヤNX」などを起動したときからです。

光デジタル出力についての注意

DVD光デジタル出力端子からは、DVDの音声のみが出力されます。

マイクロホン

本機のマイクロホン端子に別売のマイクロホンを接続すると、本機に音声を取り込むことができます。取り込んだサウンドは、ファイルとして保存できます。

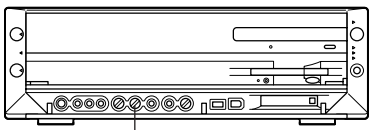
参照
・マイクロホンの接続について→『拡張の手引き』PART 2「マイクを使う」

ボリューム調節

マイクロホンのボリュームを調節するときは、まず本体前面のボリュームつまみで調節します。ボリュームつまみでうまく調節できなかったら、ボリュームコントロールで調節してみます。

マイクロホンボリュームで調節する

本体前面のボリュームつまみで、マイクロホンのボリュームを調節することができます。



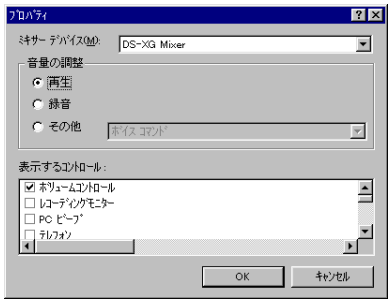
マイクロホンボリューム

ボリュームコントロールで調節する

Windows 95を使用しているときは、マイクロホンのボリューム調節はWindows 95上で行います。
この調節を行うときは、まずマイクロホンボリュームの位置が中央にあることを確認してください。購入時は一番左（最小）になっています。

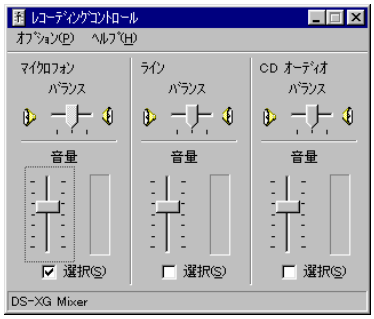
① 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリック。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。

② メニューバーの「オプション」をクリックし、プルダウンメニューの「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。



③ 「音量の調整」欄の「録音」を選ぶ。
「録音」の前にチェックマークがつき、「表示するコントロール」欄の項目も変わります。

④ 「OK」をクリック。
「レコーディングコントロール」ウィンドウが表示されます。



⑤「マイクロホン」の音量つまみの部分をトラックボールでドラッグしてボリュームを調節する。

⑥ 調節が終わったら、 をクリックして、このウィンドウを閉じる。

この操作を行ってボリュームを最大にしても録音レベルが低い場合は、次の操作を行ってください。

①「ボリュームコントロール」の「オプション」→「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

②「音量の調整」欄の「再生」を選ぶ。
「再生」の前にチェックマークが付きます。

③「表示するコントロール」欄の「マイクロホン」にチェックマークが付いていることを確認し、「OK」をクリック。

④「オプション」→「トーン調整」で、「トーン調整」をクリックしてチェックマークを付ける。
「マイクロホン」の部分に「トーン」ボタンが表示されます。

⑤「トーン」ボタンをクリック。

⑥「1(1) Mic20dB Enable」をチェックする。

ハウリング

マイクロホンをスピーカに近づけると、スピーカからキーンという大きな音が出ることがあります。これをハウリング現象といいます。故障ではありません。この場合は、次の対策を行ってください。

- 音量調整ボタンで、音量を小さくする
- マイクロホンをスピーカから遠ざける
- Windows 95の「ボリュームコントロール」の画面で表示される音量つまみでボリュームを小さくする

サウンドレコーダー

「サウンドレコーダー」を使って、マイクロホンから音声を録音することができます。録音したサウンドは、ファイルとして保存することができるので、加工したり、ほかのアプリケーションに取り込んだりすることができます（スピーカとマイクロホンは別売です）。ここでは、自分の声を録音してファイルに保存してみます。

チェック!!

サウンドレコーダーなどで音声の録音を行う場合、録音している間は、光デジタル出力端子からアナログ音声は出力されません。

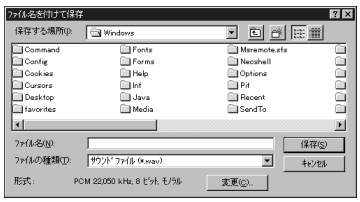
録音とファイル保存

①「サウンド － サウンドレコーダー」ウィンドウを起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「サウンドレコーダー」）

② をクリックしてマイクロホンに向かって録音する。
録音中は、つまみが右に移動し、波形が表示されます。

③ 終了したら、 をクリック。
録音が終了します。

④「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリック。
「ファイル名を付けて保存」ウィンドウが表示されます。



⑤ 保存場所を選んで、ファイル名をつけて「保存」をクリック。
（例 デスクトップに「Sound1」というファイル名で保存）

次のようなアイコンがデスクトップに現れます。

再生

録音したサウンドのファイルを開いて、再生してみます。

① 「サウンド － サウンドレコーダー」ウィンドウを起動する。
（「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「サウンドレコーダー」）

② 「ファイル」→「開く」をクリックして「Sound1」アイコンを表示する。
（例 「Sound1」ファイルはデスクトップにある場合）

③ 「Sound1」をダブルクリック。
「サウンド － サウンドレコーダー」ウィンドウに戻ります。 ▶▶ ▶ ● ボタンが濃く表示され、有効になったことを示しています。

④ ▶ をクリック。
「Sound1」ファイルが再生されます。

ヘルプ

「サウンドレコーダー」のさらに詳しい使い方はヘルプをご覧ください。
（「ヘルプ」→「トピックの検索」）

「サウンドレコーダー」以外に「XGworks」や「Media Studio」などのアプリケーションを使って、音声を取り込むこともできます。

参照
XGworks→『STEP3 活用』PART 5「作曲してみよう」
MediaStudio→『STEP3 活用』PART 4「オリジナルビデオを作ろう」

FAX モデムボード

本機に標準で内蔵されているFAXモデムボードには、ファクシミリ通信機能、データ通信機能、インターネット通信機能、留守番電話機能、スピーカホン機能などがあります。また市販の電話機を接続するためのコネクタがついています。

参照
・ATコマンドについて→付録「ATコマンド」

概要

ここでは、FAXモデムボードの機能を説明します。

データ通信機能

本機にセットアップされている次のパソコン通信ソフトウェアを使用することにより、パソコン通信を行うことができます。

- Microsoft Windows 95のハイパーターミナル
- BIGLOBE Walker
- インターネット無料体験
- AOL
- NIFTY MANAGER
- カラオケキング
- しゃべっていいメール
- Angel Line for Windows

その他のデータ通信ソフトウェアでは動作しない可能性があります。

FAX 通信機能

本機のデータをダイレクトにFAXに送信できます。また、本機でFAXを受信でき、効率的にFAX送受信をサポートします。
FAXモデムボードのFAX通信機能は、本機にインストールされている次のFAXソフトウェアでの動作を保証しています。

- TELFAX-NX
- Microsoft Windows 95 の Microsoft Fax

その他のFAXソフトウェアでは動作しない可能性があります。

FAXテスト交信サービス

「TELFAX-NX」を使用して、FAXの送受信のテストができます。

参照
・TELFAX-NXの使用方法→PART 1「電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」

インターネット通信機能

次のインターネットソフトウェアを使用することにより、インターネットによる通信ができます。
インターネットに接続する方法については、「インターネット入門」をご覧ください。

- Microsoft Windows 95 のインターネットエクスプローラ
- Just View 3.0(一太郎モデルのみ)

そのほかのインターネットソフトウェアでは動作しない可能性があります。

最高 56000bps までの各種通信

電話回線を利用して最高56000bpsの全二重データ通信と最高14400bpsの半二重FAX通信ができます。

送受信：	300/1200/2400/4800 7200/9600/12000 14400/16800/19200 21600/24000/26400 28800/31200/33600bps
受信のみ：	32000/34000/36000 38000/40000/42000 44000/46000/48000 50000/52000/54000 56000bps
FAX：	300/2400/4800/7200 9600/12000/14400bps

留守番電話機能・スピーカホン機能

「TELFAX-NX」を使用することで、留守番電話機能やスピーカホン機能が使えます。

FAX モデムボードを使用するときの注意

チェック!!

FAXモデムボードは取り外さないでください。

適用電話回線について

FAXモデムボードは、加入電話回線に適合するように設計されています。加入電話回線以外と接続すると、FAXモデムボードやパソコン本体等を破損する場合があります。

留守番機能/スピーカホン機能についての注意

- スピーカホン機能とは、本機に接続されているマイクロホンとスピーカを使用して電話のように通話する機能で、ハンズフリー機能と呼ばれることもあります。
- スピーカホン機能をお使いになるときは市販のマイクロホンとスピーカを使用してください。イヤホン、ヘッドホンなどの直接耳に当てる機器はご使用になれません。
- 回線の状態によっては、通話時に雑音が入ることがあります。
- スピーカホン通話中に相手からの声以外の音(保留音など)が入ると、スピーカからの音が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。その場合は、送話の音量レベルを下げてください。
- マイクロホンからの音声がスピーカから出ることがあります。その場合は、通話の音量レベルを下げるか、マイクロホンを口元から離してください。
- 外付け電話機に留守番電話機能がある場合、電話機の機能の一部が使えないことがあります。
- 通常の電話回線を使用する場合、送信レベルは購入時の設定から変更する必要はありません。ただし、回線状態が悪く、うまく接続できない場合は送信レベルの調整が必要な場合があります。送信レベルの調整は、認定された工事担任者以外が行うことは法律で禁じられていますので、送信レベルの調整については、当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

当社指定のサービス窓口の電話番号、受付時間については、『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。

- 接続先からの応答メッセージや音声が、スピーカから聞こえない場合は、内蔵FAXモデムボードに外付け電話機をつなぎ、回線接続後に受話器をあげると、受話器から聞くことができます。

通信するときの注意

- キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。
- FAXモデムボードのダイヤル信号は、ご使用になる加入電話回線のダイヤル信号に合わせた調整が必要です(→付録「ATコマンド」)。加入電話回線がトーン式かダイヤル式かわからないときはNTTに確認してください。
- コードレスホンや親子電話、構内回線など、公衆回線以外の回線をご使用の場合は、正常なデータの送受信ができない場合があります。
- FAXモデムボードはFAX通信網には対応していません。
- FAXモデムボードに接続できる回線は2線式のみです。
- 本体にアース線を接続していない場合や、回線の状態によっては、希望の通信速度で通信できないことや、接続しにくい場合があります。
- FAXモデムボードに接続できる電話機は2線式の回線用のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。また、電話機用モジュラーコネクタに接続されている外付け電話機をパソコン本体から離れたところに設置している場合は、送信/受信の際に外付け電話機が使用されていないことを確認してください。
- データ通信を行う場合、フロー制御はハードウェア(RTS/CTS)(購入時の設定)に設定してください。それ以外に設定するとデータ抜けが生じる可能性があります。
- 留守番電話またはスピーカホン通話から切り替えてFAX送受信をする場合、スピーカからモニタ音が聞こえなくなりますが、FAX送受信は正常にできます。

・FAXを送信する相手が音声応答機能付きのFAXの場合、相手からの音声の内容によってはFAXの送信ができなくなることがあります。この場合は、外付け電話機またはスピーカホン機能で相手からの音声が終わったのを確認してから送信を始めてください。

・回線の状態によっては希望の通信速度で通信できない場合があります。

・電話局の交換機の種類によっては、14400bpsでFAXの通信ができないことがあります。この場合は通信速度を9600bps以下にしてください。

・海外と直接接続した場合、伝送路の特性のため正常に通信できない可能性があります。

ポート番号を変更する。

購入時の状態では、内蔵FAXモデムボードのポート番号はCOM3になっています。内蔵FAXモデムボードを削除して、再度組み込むと、ポート番号はCOM5になります。
内蔵FAXモデムボードのポート番号を変更するには、次のようにしてください。

チェック!!

ポート番号を変更すると、通信アプリケーションによっては、動作しなくなる場合があります。通信アプリケーション側でポートの設定を変更できる場合は変更したポート番号に合わせてください。

① 「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

② 「システム」をダブルクリック。

③ 「デバイスマネージャ」タブをクリック。

④ 「モデム」の「内蔵FAXモデムボード（56K対応）」を選んで、「プロパティ」をクリック。

⑤ 「リソース」タブをクリックして、「自動設定」のチェックをはずす。

⑥ 「リソースの種類」の「I/Oポートアドレス」をダブルクリック。

⑦ 値を変更する。

COM3の場合：03E8-03EF

COM4の場合：02E8-02EF

リソースが競合していないことを確認してください。競合している場合、ポートの変更はできません。

⑧ 「OK」をクリック。
「変更不可の環境設定の作成」ウィンドウが表示されます。

⑨ 「はい」をクリック。
しばらく時間がかかります。

⑩ 画面が元に戻ったら、「システムのプロパティ」で「閉じる」をクリック。

⑪ Windowsを再起動する。

デバイスマネージャ

デバイスマネージャとは、プラグ&プレイ準拠のデバイス管理ソフトです。本機に接続されるデバイスの状態確認のほか、ドライバやリソースの設定/変更などができます。

起動

① コントロールパネルを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

② 「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③ 「デバイスマネージャ」タブをクリック。
「デバイスマネージャ」タブのウィンドウが表示されます。

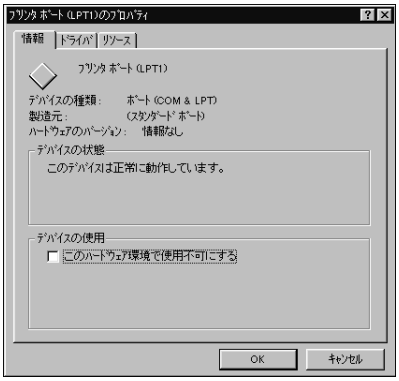
デバイスドライバの変更

ここでは、例としてプリンタドライバを変更してみます。

① 「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」）

② 「ポート（COM & LPT）」をダブルクリック。
「ポート（COM & LPT）」フォルダの内容が表示されます。

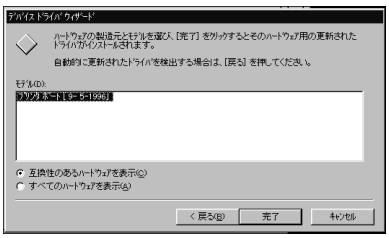
③「プリンタポート（LPT1）」をダブルクリック。
「プリンタポートのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



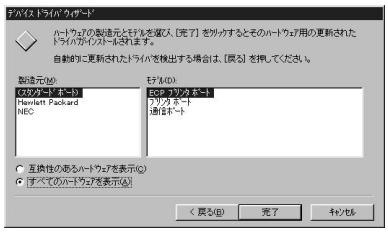
④「ドライバ」タブをクリック。
「ドライバ」タブのウィンドウが表示されます。

⑤「ドライバの更新」をクリック。
「デバイスドライバウィザード」ウィンドウが表示されます。

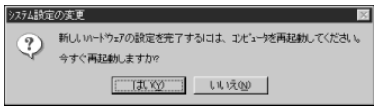
⑥「一覧からドライバを選ぶ」を選んで、「次へ」をクリック。
次のウィンドウが表示されます。



⑦「すべてのハードウェアを表示」を選ぶ。
「モデル」の欄に、デバイスドライバの一覧が表示されます。



⑧ 必要なデバイスドライバを選んで、「完了」をクリック。
「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。



⑨「はい」をクリック。
コンピュータの再起動が始まります。

以上で、デバイスドライバの変更操作は終了です。

デバイスのリソース設定の変更

通常、プラグ&プレイ準拠のデバイスは、デバイスマネージャによって調停されています。つまり、別々のデバイスが、同じリソースを要求する場合、設定変更は自動的に行われます。したがって、どうしても必要な場合を除いては、リソース設定は基本的に変更する必要はありません。しかし、リソース設定固定のデバイスを使用して、他のデバイスと競合する場合は、次のようにしてリソース設定を変更します。

ここでは、プリンタポートのリソースを変更してみます。

①「デバイスマネージャ」タブのウィンドウを開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」）

② 「ポート（COM & LPT）」をダブルクリック。
「ポート（COM & LPT）」フォルダの内容が表示されます。

③ 「プリンタポート（LPT1）」をダブルクリック。
「プリンタポート（LPT1）のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

④ 「リソース」タブをクリック。
「リソース」タブのウィンドウが表示されます。

⑤ 「自動設定」のチェックをはずす。
「設定の変更」ボタンが濃い表示になり、有効になります。

ここで、「リソースの種類」から変更したい「I/Oポートアドレス」または「IRQ」をクリックして、「設定の変更」をクリックすると、リソースの変更ができます。ただし、次のようなメッセージが表示された場合は、リソースの変更はできません。

チェック!!

デバイスによっては、readmeファイル（「はじめにお読み下さい」）に、変更方法が記載されていることがあります。

CD-ROMなどの取り扱い

本機にはDVD-ROMドライブが、標準で装備されています。DVD-ROMドライブで使用できるメディアの取り扱いについて説明します。

概要

本機のDVD-ROMドライブでは、CD-ROMやDVD-ROM(DVD VIDEOディスク)、CD-Rメディア、音楽CD、ビデオCDなどを読み取ることができます。 CD-ROMは、1枚で大きな記憶容量を持ち、電子辞典などの大量のデータを扱うことができます。 DVD-ROMは、CD-ROMよりさらに多くの記憶容量があります。

各種メディアの取り扱いの注意

ディスクの取り扱いの注意

ディスクを壊さないよう、次の点に注意して大切に取り扱ってください。

- 信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ケースの中央を押しながら取り出してください。
- 文字の書かれている面を上にしてディスクをトレイの上にていねいに置いてください。
- ディスクの上にものをのせたり曲げたりしないでください。
- ラベルなどを貼らないでください。
- キズをつけたり字などを書いたりしないでください。
- 落として強い衝撃を与えたり、キズをつけたりしないでください。
- 指紋やホコリが付いたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けて拭いてください。
- 清掃の際は、CD専用のクリーナーを使用してください。
- レコード用のスプレー、クリーナー、ベンジン、シンナーなどは、使用しないでください。
- ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。
- 使用後は収納ケースへ入れるようにしてください。

自動起動について

CD-ROMやDVD-ROMをDVDドライブにセットしたまま本機を起動または再起動すると、再生アプリケーションやオートランプログラムが自動起動することがあります。

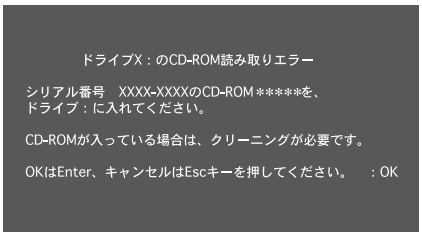
参照
CDの自動起動→PART 1「CDの自動起動」

非常時のメディアの出し方

停電やソフトウェアの暴走などにより、DVD-ROMドライブからDVD-ROMなどのメディアが取り出せなくなったときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

エラーメッセージについて

CD-ROMから起動しているプログラムを実行中に、CD-ROMを取り出すと、次のようなメッセージが表示されます。



この場合は、取り出したCD-ROMをDVD-ROMドライブにセットし直して、【Enter】を押してください。
なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

PART

6

本機の設定を変更する

- BIOS セットアップユーティリティ
- 割り込みレベルと DMA チャネル

BIOSセットアップユーティリティ

「BIOS セットアップユーティリティ」は、セキュリティ、省電力、周辺機器など本機の使用環境を設定することができます。

BIOSセットアップユーティリティでできること

次の設定ができます。

- パスワードによるセキュリティの設定
- 通信、キーボードなどのデバイス設定
- 自動スリープ制御、ハードディスクドライブモータ制御など省電力機能の設定
- 起動デバイスの起動優先順位の設定

チェック!!

- 「BIOSセットアップユーティリティ」の設定を初期化する場合は、本機の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押します。キーの説明が表示されずにWindowsが起動した場合は、いったん電源を切り、電源スイッチを押した後、何度か【F2】を押してください。キーの説明が表示されたら【F9】を押して「F9:全ての設定値を出荷時の状態にして元に戻る」を選択します。

  初期化をしても、設定されたパスワードは解除されません。

  この操作は添付のワイヤレスキーボードで行ってください。

- 「BIOSセットアップユーティリティ」の動作中に「BIOS設定情報が不正です」などのエラーメッセージが表示された場合は、「BIOSセットアップユーティリティ」の設定を上記の手順で購入時の設定に戻してから、もう一度「BIOSセットアップユーティリティ」で設定を変更してください。

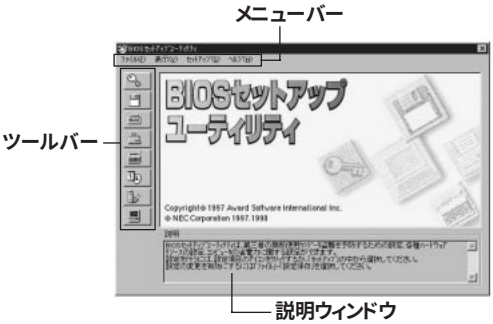
「スーパーバイザーパスワード」、「ユーザーパスワード」が設定されている場合、「BIOSセットアップユーティリティ」起動時にパスワード入力が必要になります。

BIOSセットアップユーティリティを使う

BIOSセットアップユーティリティの起動

①「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOSセットアップユーティリティ」をクリック。
「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。

各部の説明



メニューバー

次のメニューがあります。

ファイル	設定保存	設定した内容を保存します。
	省電力設定ファイルの読み込み	省電力の各項目の設定値を格納している省電力設定ファイルを読み込みます。
	省電力設定ファイルの作成	省電力の各項目の設定値を省電力設定ファイルに格納します。
	アプリケーションの終了	BIOSセットアップユーティリティを終了します。
表示	ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
	説明ウィンドウ	各項目の説明を表示するウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
セットアップ	セキュリティ	パスワードの設定ができます。
	デバイス	通信、キーボードなどのデバイスの設定ができます。
	省電力	自動スリープ制御、HDDモータ制御など省電力機能を設定します。
	起動	起動デバイスの起動優先順位を設定します。
ヘルプ	トピックの検索	オンラインヘルプを表示します。
	バージョン情報	BIOSセットアップユーティリティのバージョン情報、BIOSのレビジョンを表示します。

ツールバー

「セットアップ」で設定できる項目のアイコンが登録されています。

■ 説明ウィンドウ
各項目についての説明を表示します。

BIOSセットアップユーティリティを操作する

① メニューバーの「セットアップ」をクリックし、設定したい項目をクリック。
ツールバーから、設定したい項目のアイコンをクリックして設定画面を表示することもできます。

② 設定項目が表示されたら、各項目の設定を変更する。
設定の変更を行うと、項目名の後ろ、タブの名称の後ろ、アイコンの右側の各々に、項目変更を示す'＊'のマークが表示されます。また、設定の変更により、関連する他の項目の設定も自動的に変更されることがあり、その場合、関連する項目、タブ、アイコンにも'＊'のマークが表示されます。
各項目の設定について、詳しくは、次の「各種の設定」をご覧ください。

③ 設定したい項目をすべて設定したら、メニューバーの「ファイル」をクリックして、「設定保存」または「アプリケーションの終了」をクリック。

チェック!!
- BIOSセットアップユーティリティで設定した内容は、本機を起動したあと有効になります。
- 各設定項目に関する詳しい説明は、説明ウィンドウをご覧ください。

BIOSのレビジョンを調べるには

メニューバーの「ヘルプ」をクリックし、「バージョン情報」をクリックする
BIOSレビジョンのところに現在お使いになっているコンピュータのBIOSレビジョンが表示されます。

省電力設定ファイル

使用する環境毎に省電力の設定を変更する場合、省電力設定ファイルを利用します。

省電力設定ファイルを利用するには、

① メニューバーの「ファイル」の「省電力設定ファイルの作成」をクリックし、省電力設定ファイルを作成する

② 省電力設定ファイルの名称を付けて登録する
現在の省電力設定の情報を、省電力設定ファイルに保存します。

③ 保存した省電力設定ファイルを使用する場合、メニューバーの「ファイル」の「省電力設定ファイルの読み込み」をクリックして省電力設定ファイルを読み込む

④ 読み込んだ設定で問題ない場合、メニューバーの「ファイル」の「設定保存」をクリックする
読み込んだ省電力設定の情報が反映されます。なお、設定変更は本機を再起動したあと有効になります。

各種の設定

セキュリティの設定

メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリックするか、ツールバーの(セキュリティ)アイコンをクリックします。

■「パスワード」
- 「ユーザーパスワード」
「設定」ボタンをクリックしてパスワードを設定します。
「ユーザーパスワード」は「スーパーバイザーパスワード」を入力しないと設定ボタンが表示されません。
- 「スーパーバイザーパスワード」
「設定」ボタンをクリックしてパスワードを設定します。
- 起動時パスワード確認
システムの起動時に、パスワードを確認するかどうか設定します。

購入時:「確認しない」

FDDの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「FDD」をクリックするか、ツールバーの(FDD)アイコンをクリックします。

■「FDD」
- フロッピーディスクドライブの使用
フロッピーディスクを使用するかどうか設定します。
チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

・タイプ
使用するフロッピーディスクのタイプを設定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

1.44MB 3.5”/720KB 3.5”/1.2MB 5.25”/360KB 5.25”

購入時:「1.44MB 3.5”」

通信の設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「通信」をクリックするか、ツールバーの(通信)アイコンをクリックします。

「シリアルポート(A)」

・設定方法
シリアルポート(A)の設定方法を選びます。
▼をクリックして次の中から選んでください。

使用しない/手動設定/自動設定/OSが設定

購入時:「自動設定」

「手動設定」を選んだ場合は、次の詳細設定が必要です。

・I/Oアドレス
I/Oアドレスを設定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

2E8h/3F8h/2F8h/3E8h

・割り込みレベル
割り込みレベルを設定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

IRQ3/IRQ4

パラレルポートの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「パラレルポート」をクリックするか、ツールバーの(パラレルポート)アイコンをクリックします。

「パラレルポート」

・設定方法
パラレルポートの設定方法を選びます。
▼をクリックして次の中から選んでください。

使用しない/手動設定/自動設定/OSが設定

購入時:「手動設定」

「手動設定」を選んだ場合は、次の詳細設定が必要です。
「自動設定」「OSが設定」を選んだ場合、モードの設定ができます。

・I/Oアドレス
I/Oアドレスを設定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

378h/278h/3BCh

購入時:「378h」

・割り込みレベル
割り込みレベルを設定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

IRQ5/IRQ7

購入時:「IRQ7」

・モード
出力モードを指定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

出力のみ/双方向/ECP

購入時:「双方向」

・ECPモードDMAチャンネル
「モード」で「ECP」を選んだ場合に設定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

DMA#1/DMA#2/DMA#3

購入時:「DMA#1」

キーボードの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「キーボード」をクリックするか、ツールバーの(キーボード設定)アイコンをクリックします。

「キーボード」

・起動時のNum Lock
システム起動時にNum Lockを使用するかどうかを設定します。
▼をクリックして次の中から選んでください。

使用する/使用しない

購入時:「使用しない」

システムデバイスの設定

メニューバーの「セットアップ」→「デバイス」→「システムデバイス」をクリックするか、ツールバーの（システムデバイス）アイコンをクリックします。

「日付と時刻」

・日付設定
「年」「月」「日」をそれぞれ設定します。

・時刻設定
「時」「分」「秒」をそれぞれ設定します。

メモリ

購入時には標準で取り付けられているメモリの総容量が表示されています。

PCI割り込み

・設定方法
PCIデバイスの割り込みを設定します。

購入時：スロット#1～4全て「自動認識」

チェック!!

- IRQ14はIDEインタフェース（プライマリ）が固定で使用する割り込みです。PCI割り込みx（x=1～4）にIRQ14を設定すると、ハードディスクドライブからシステムが起動できなくなるため、起動可能なデバイスや媒体を準備する必要があります。
  PCI割り込みにIRQ14を設定した後で、ハードディスクドライブからシステムを起動するためには、システムの設定を工場出荷時の設定に戻してください。ただし、パスワードを除く他の設定についても工場出荷時の状態に戻ります。→「工場出荷時の設定値に戻す」（p.262）
- IRQ15はIDEインタフェース（セカンダリ）が固定で使用する割り込みです。PCI割り込みx（x=1～4）にIRQ15を設定すると、IDEインタフェース（セカンダリ）に接続されたCD-ROMドライブなどのデバイスが使用できなくなります。

省電力の設定

メニューバーの「セットアップ」→「省電力」をクリックするか、ツールバーの（省電力）アイコンをクリックします。

「パワーマネージメント」

・パワーマネージメント
チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

購入時：「使用する」

「使用する」を選んだときに、次の設定ができます。

・設定方法
パワーマネージメントのタイプを選びます。
をクリックして次の中から選んでください。

ユーザー設定/動作時間優先/動作性能優先

購入時：「ユーザー設定」

「ユーザー設定」：各項目を自分で設定できるようになります。

「動作時間優先」：消費電力を抑えた設定になります。

「動作性能優先」：電力消費より性能を優先した設定になります。

「ユーザー設定」を選んだ場合のみ、次の項目を設定してください。

・自動スリープ制御
チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

購入時：「使用しない」

「使用する」を選んだときに、次の「自動スリープ開始時間」を設定できます。

・自動スリープ開始時間
「自動スリープ制御」で「使用する」を選んだ場合にサスペンド状態になるまでの時間を設定します。

次の中から選んでください。

5分/10分/15分/20分/30分/40分/60分

本機に何も入力がない状態になってから、設定した時間が経過すると、本機がサスペンド状態になります。

・HDDモータ制御
チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

購入時：「使用しない」

「使用する」を選んだときに、次の「HDDモータ制御開始時間」を設定できます。

・HDDモータ制御開始時間
「HDDモータ制御」で「使用する」を選んだ場合に、ハードディスクのモータが停止するまでの時間を設定します。

次の中から選んでください。

10秒/15秒/30秒/45秒/1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分

ハードディスクのアクセスがなくなってから、設定した時間が経過すると、ハードディスクのモータが停止します。

■「スリープ」

・スリープボタン
スリープボタンを使用するかどうかを設定します。チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

購入時:「使用する」

チェック!!

・スリープ機能を使用しない場合、「自動スリープボタン制御／開始時間」ならびに「スリープボタン」を使用しないに設定してください。
・「DVDプレーヤ」再生中は、「自動スリープ制御」や「ディスプレイの省電力機能」は使用しないでください。

■「レジューム」

・入力デバイスでレジューム
入力デバイスで、レジュームするかどうかを設定します。レジュームする入力デバイスは、USBを除くハードウェア割り込み(IRQ)を使用しているデバイス全てを指します。
チェックをつけると「使用する」に、チェックをはずすと「使用しない」になります。

購入時:「使用する」

チェック!!

「使用する」に設定していても、別売のUSBキーボード、マウスではレジュームできません。

システムディスクの起動順位の設定

メニューバーの「セットアップ」→「起動」をクリックするか、ツールバーの (起動)アイコンをクリックします。

次に表示される画面で、システムを起動するディスク装置の順番を指定します。

ディスク装置を選んで、ボタンでディスク装置の「起動順位」を変更してください。
次のディスク装置が選べます。

ハードディスク/リムーバブルメディアデバイス/CD-ROM

チェック!!

購入時の設定では、リムーバブルメディアデバイス→ハードディスク→CD-ROMの順に設定されています。

パスワードの設定

本機の電源を入れたときに、パスワードを設定することができます。これによりパスワードを知らない部外者からデータを守ることができます。
BIOSセットアップユーティリティでは、ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの2種類のパスワードを設定することができます。
スーパーバイザーパスワードはコンピュータ管理者のためのもので、コンピュータ管理者以外の人が不用意にシステムを使用しないようにすることができます。

チェック!!

・パスワードを忘れた場合は、本機を起動できなくなります。パスワードは忘れないようにしてください。
・「スーパーバイザーパスワード」「ユーザーパスワード」が設定されている場合、BIOSセットアップユーティリティを起動したときにも、パスワードの入力が必要となります。また「ユーザーパスワード」で起動した場合は「システムデバイス」の「PCI割り込み」および「キーボード」および「セキュリティ」の「パスワード」の「スーパーバイザーパスワード」の変更はできません。

パスワードに使用できる文字と記号

半角英数字のみがパスワードとして使用できます。パスワードは7文字以内でなければなりません。大文字/小文字による区別はありません。また、テンキーは使用できません。

使用できる文字や記号

半角英字:A～Z　a～z
半角数字:0～9

スーパーバイザーパスワードの設定

スーパーバイザーパスワードの登録

次の手順で「スーパーバイザーパスワード」を登録します。

① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。

② 「スーパーバイザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。

③ 「新しいパスワード」の欄に7文字以内のスーパーバイザーパスワードを入力する。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。

④ 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じパスワードを入力する。

⑤ 入力したら「OK」をクリック。

スーパーバイザーパスワードの変更

次の手順で「スーパーバイザーパスワード」を変更します。

① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。

② 「スーパーバイザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。

③ 「古いパスワード」に今まで使っていたスーパーバイザーパスワードを入力する。
このとき入力を間違えると、エラーメッセージが出て、パスワード入力画面がもう一度表示されます。パスワードの入力をやり直してください。

④ 「新しいパスワード」に変更したスーパーバイザーパスワードを入力する。

⑤ 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度「新しいパスワード」に入力したものと同じパスワードを入力する。

⑥ 入力したら「OK」をクリック。

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードの登録

次の手順で「ユーザーパスワード」を登録します。

① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。

② 「ユーザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。

③ 「新しいパスワード」の欄に7文字以内のユーザーパスワードを入力する。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。

④ 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じパスワードを入力する。

⑤ 入力したら「OK」をクリック。

ユーザーパスワードの変更

次の手順で「ユーザーパスワード」を変更します。

① メニューバーの「セットアップ」→「セキュリティ」をクリック。
「パスワード」のウィンドウが表示されます。

② 「ユーザーパスワード」の横の「設定」をクリック。
「パスワード設定」ウィンドウが表示されます。

③ 「古いパスワード」に今まで使っていたユーザーパスワードを入力する。
このとき入力をまちがえると、エラーメッセージが出て、パスワード入力画面がもう一度表示されます。パスワードの入力をやり直してください。

④ 「新しいパスワード」に変更したユーザーパスワードを入力する。

⑤ 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度「新しいパスワード」に入力したものと同じパスワードを入力する。

⑥ 入力したら「OK」をクリック。

パスワード入力時の注意

パスワードを設定し、「システム起動時にパスワードを確認する」を設定すると、本機の電源を入れるたびに「パスワードを入力してください」と表示されます。このとき、次のようにパスワードを入力してください。

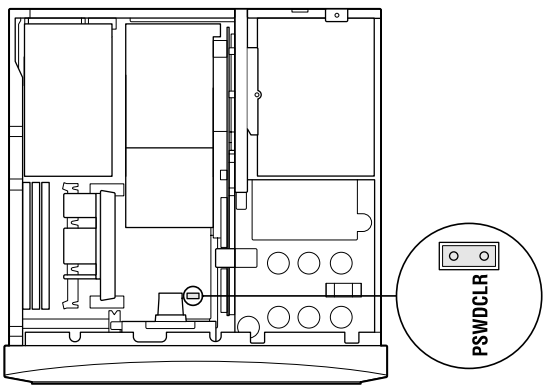
① 登録したパスワードを入力し、【Enter】を押す
このときテンキーは使用できません。

パスワードを忘れた場合

ユーザーパスワードやスーパーバイザーパスワードを忘れた場合は、本機を起動することができなくなります。このような場合は、本体内部にあるストラップスイッチを使います。

ストラップスイッチ

本体内部には、次の図のようなストラップスイッチがあります。このスイッチを取りはずすことでパスワードの解除ができます。



パスワードの解除のしかた

⚠注意

本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

このパソコンの使用直後は、CPU やCPU の周辺に触れないでください。

CPUが高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切ったあと、30分以上たってから行うことをおすすめします。

① 本機の電源を切り、電源ケーブルを抜く。

② 正しい手順でルーフカバーをはずす。

参照
・ルーフカバーの開け方→『拡張の手引き』PART 7「本体の開け方と閉めかた」

③ ストラップスイッチを取りはずす。

チェック!!

取りはずしたストラップスイッチはなくさないようにしてください。

④ 正しい順序でルーフカバーを取り付ける。

参照
・ルーフカバーの閉め方→『拡張の手引き』PART7「本体の開け方と閉めかた」

⑤ 電源ケーブルを接続して、本機の電源を入れる。
Windowsが起動します。

⑥ 本機の電源を切る。

⑦ 電源ケーブルを抜く。

⑧ 正しい手順でルーフカバーをはずす。

⑨ ストラップスイッチを元通りに取り付ける。

⑩ 正しい順序でルーフカバーを取り付ける。

割り込みレベルとDMAチャネル

本機に内蔵されている各種のインターフェイスで使用される「割り込みレベル」、「DMAチャネル」について説明します。

概要

パソコンで使用できる周辺機器は、すべて「リソース」というものを使用しています。リソースには、大きく分けて「割り込みレベル（IRQ）」「DMA」などがあります。

割り込みレベルのことをWindows 95では「IRQ」と呼びます。これは、複数の機器から同時にCPUにアクセスしたときに、どのような順序で処理していくかを決めるものです。

DMAとはCPUを経由せずに周辺機器とメモリとのデータのやり取りを制御する機能のことです。ほとんどの周辺機器は、メモリからデータを読み出したり、書き込んだりするときに、CPUへ処理を依頼します。しかし、一度に大量のデータを転送すると、CPUは作業を中断して、データの転送にかかりきりになってしまいます。そこで、CPUの作業を中断することなくデータの転送を行える機能が考えられました。これがDMA（Direct Memory Access）です。

これらのリソースは、それぞれの機器ごとに違う設定をしなければなりません。リソースが複数の機器に重複して割り当てられている状態を「リソースの競合」と表現します。リソースが競合していると、機器が正常に使用できないばかりか、システム全体の動作も不安定になってしまいます。

Windows 95などのOSでは、ひとつの割り込みレベルを複数の機器で使用できることがあります。このようにリソースを共用することを「リソースをシェアする」と表現します。この場合は、そのまま機器を利用できます。

リソースの設定状況の確認

割り込みレベル、DMAの設定状況は、次のようにして確認できます。

チェック!!

手順中での画面は、機種や周辺機器の接続状況によって異なります。

①「コントロールパネル」を開く。
（「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」）

②「システム」をダブルクリック。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

③「デバイスマネージャ」タブをクリック。

「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

「コンピュータ」が反転表示されていることを確認してください。

反転表示していないときは、クリックして選んでください。

④「プロパティ」をクリック。
「コンピュータのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

リソースは「割り込み要求(IRQ)」が選ばれています。

⑤ 確認したいリソースを選ぶ。

リソースの競合

リソースの競合が最も起きやすいときは、本機に新しい機器を追加接続したときです。また、通常Windows 95は、新しい機器を検知した際にシステムの状態を調べます。新しい機器がプラグ＆プレイに対応している場合は、リソースが競合しないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ＆プレイに対応していない場合でも、リソースが競合する場合には、ドライバを組み込みません。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働いています。

参照
リソースについて→『拡張の手引き』PART 11「リソースに関する問題」

リソースの競合の発生の確認

リソースの競合の発生は、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」で開くことができる「デバイスマネージャ」ウィンドウで確認できます。ドライバの異常、リソースの競合など何らかの障害があると、アイコンに「!」マークか赤い「×」マークが表示されます。このような異常が表示された場合は、まず、その機器を選んで「プロパティ」ボタンをクリックします。「情報」タブのウィンドウの中の「デバイスの状態」の欄で、異常の原因を調べます。異常の原因がリソースの競合である場合は、次の手順で解決してください。
例として、通信ポートに異常があるとします。

①「リソース」タブをクリック。
「リソース」のウィンドウが表示されます。

② 「自動設定」のチェックボックスのチェックマークをはずす。

③ 「リソースの種類」から競合しているリソースを選び、ダブルクリック。

④ 表示されたリソースの設定値を変更する。

チェック!!

選んだ機器やリソースの種類によっては、次のようなメッセージが表示されて、設定値を変更できない場合があります。

その場合は、競合しているもう一方の機器の設定値を変更してください。

本機を拡張するときの注意

PCIボードを取り付けたときに、本機の割り込みレベルが不足することがあります。この場合はデバイスマネージャで、現在使用していないボードのプロパティを開き、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックボックスをチェックして、割り込みレベルを解放してください。

機器によって使用できるリソースが限定される場合があります。ボードなどに添付のマニュアルをご覧になってから機器の取り付けを行ってください。

付　録

- Windows 95 で MS-DOS モードを利用する
- 本体の各部の名称
- キーとボタンの名称と役割
- メディアコントローラの各ボタンの名称と役割
- メディアコントローラ操作早見表
- 機能仕様
- FAX モデムボード機能仕様
- AT コマンド

Windows 95でMS-DOSモードを利用する

Windows 95のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOS モードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、MS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOS モードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

① 「スタート」→「Windowsの終了」をクリック。

② 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリック。
本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOS モードを終了する

① コマンドプロンプトの画面から、次のように入力。
EXIT【Enter】
Windows 95が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。

「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。

「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 95上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

①「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリック。
「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

なお、コマンドやアプリケーションによっては、「MS-DOSモード」からは使用できないものや「MS-DOSプロンプト」からは使用できないものがあります。

CD-ROM ドライバ（本機内蔵DVD-ROM ドライブ）

本機は、購入時の状態では、MS-DOS モードでDVD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで本機内蔵のDVD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOS モードで本機内蔵のDVD-ROM ドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合、MS-DOSモード上でDVD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

①「スタート」→「Windowsの終了」をクリック。

②「MS-DOSモードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。
本機がMS-DOSモードで再起動します。

③ コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。

SETCD /A【Enter】

DVD-ROM ドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

④ コマンドプロンプトの画面から次のように入力します。

EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

⑤「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

⑥「再起動する」を選んで、「OK」をクリック。
本機を再起動します。

⑦「スタート」→「Windows の終了」をクリック。

⑧「MS-DOSモードで再起動する」を選んで、「OK」をクリック。
MS-DOSモードが起動し、DVD-ROMドライブがQドライブに設定されます。

新しいMS-DOS 設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定して、MS-DOSモード上でDVD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

① 「エクスプローラ」を起動する。
(「スタート」→「プログラム」→「エクスプローラ」)

「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。

② 新しいMS-DOS設定を指定したいプログラム(COMMAND.COM)をクリック。
プログラム名が反転表示されます。

③ 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリック。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

④ 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリック。
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

⑤ 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける。
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

⑥ 「OK」ボタンをクリック。
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが閉じます。

⑦ 「OK」ボタンをクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが閉じます。

⑧ 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定を指定したプログラムをダブルクリック。
MS-DOSモードが起動します。

⑨ コマンドプロンプトの画面から次のように入力する。
SETCD /A【Enter】
DVD－ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

⑩ コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT【Enter】
Windows95が再起動します。

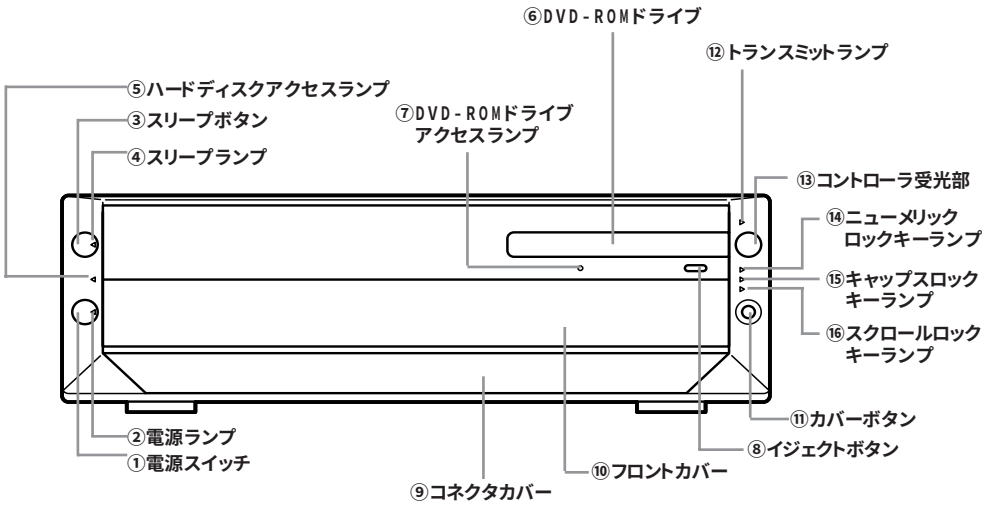
⑪ 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する。

⑫ 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリック。
MS-DOSモードが起動し、DVD-ROMドライブがQドライブに設定されます。

本体の各部の名称

本体の各部の名称とその役割について説明しています。

本体前面



① 電源スイッチ(⏻)
電源を入れるスイッチ。電源を切るときは、Windows 95の「スタート」メニューで「Windowsの終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源スイッチを切る/入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。

チェック!!
このボタンは1秒以上押し続けないと有効になりません。

チェック!!
ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源スイッチを約4秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。 なお、この場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。

停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源スイッチを押しても電源を入れることはできません。

② 電源ランプ
電源の入/切状態を表示するランプ。 電源を入れると点灯します。

③ スリープボタン( )
本機をサスペンド状態(省電力状態)にするボタン。電源が入っている時に1回押すとサスペンド状態になり(スリープランプが点灯)、もう1回押すと通常の状態に戻ります。

チェック!!
このボタンは1秒以上押し続けないと有効になりません。

④ スリープランプ
サスペンド状態を表示するランプ。サスペンド状態で点灯します。

⑤ ハードディスクアクセスランプ( )
ハードディスクの動作中に点灯するランプ。

チェック!!
点灯中は電源スイッチを押さないでください。 ハードディスクの内容が壊れることがあります。

⑥ DVD-ROMドライブ
DVD-ROMや、CD-ROM、音楽CDを入れるところです。

⑦ DVD-ROMドライブアクセスランプ
データを読み出しているときに点灯します。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、CD-ROMを取り出したりしないでください。DVD-ROMドライブの故障の原因となります。

⑧ イジェクトボタン
ディスクをのせるトレイを出し入れするためのボタン。

⑨コネクタカバー
カバーを開けるといろいろなコネクタがあります。

チェック!!

コネクタカバーを開閉するときは、フロントカバーを閉じてから開閉してください。
中央部を軽く押すとカバーが開きます。

⑩フロントカバー
カバーを開けるとフロッピーディスクドライブがあります。

⑪ カバーボタン
ボタンを押すとフロントカバーを開けることができます。

⑫トランスミットランプ(»◯)
ワイヤレスキーボード、またはメディアコントローラからの信号が受信されているときに点滅します。

⑬ コントローラ受光部
ワイヤレスキーボード、またはメディアコントローラからの信号を受信するところ。

チェック!!

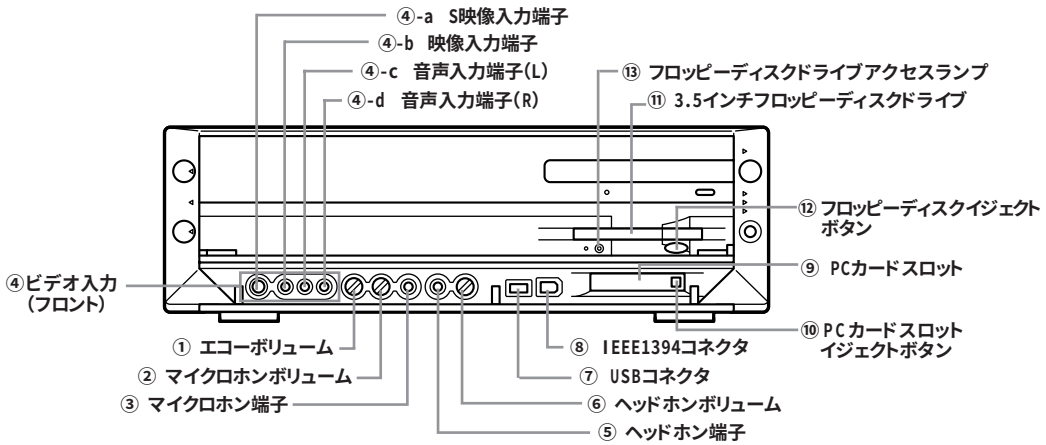
添付の赤外線延長ユニットを接続している場合は、コントローラ受光部では受信できません。

⑭ ニューメリックロックキーランプ(1)
ニューメリックロックキーをロックしているときに点灯します。

⑮ キャップスロックキーランプ(A)
キャップスロックキーをロックしているときに点灯します。

⑯ スクロールロックキーランプ(⇅)
スクロールロックキーをロックしているときに点灯します。

本体前面（フロントカバーとコネクタカバーを開いたところ）



① エコーボリューム（）
マイクロホンのエコーを調節するつまみ。

② マイクロホンボリューム（）
マイクロホンの入力音量を調節するつまみ。

③ マイクロホン端子（）
市販のマイクロホンを接続するためのミニジャック端子。

④ ビデオ入力（フロント）

④-a S映像入力端子（S VIDEO）
S映像出力付きのテレビやビデオ機器のS映像出力端子と接続する。

④-b 映像入力端子（）
テレビやビデオの映像を入力するための端子。

④-c 音声入力端子（L）
テレビやビデオの音声（左）を入力するための端子。

④-d 音声入力端子（R）
テレビやビデオの音声（右）を入力するための端子。

チェック!!

ビデオ入力（フロント）に機器を接続している場合は、ビデオ入力（リア）は使用できません。

⑤ ヘッドホン端子（ステレオ）（ ）
市販のオーディオ用ヘッドホンなどを接続するためのミニジャック端子。ヘッドホンプラグの形状によっては、使用できないものがありますので、注意してください。

⑥ ヘッドホンボリューム（）
ヘッドホンの音量を調節するつまみ。

⑦ USBコネクタ（ ）
USB対応機器を接続するためのコネクタ。
Windows 95でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

⑧ IEEE1394コネクタ
IEEE1394対応機器を接続するためのコネクタ。

⑨ PCカードスロット（）
PCカードを入れるところ。

⑩ PCカードイジェクトボタン
PCカードを取り出すときに使うボタン

⑪ 3.5インチフロッピーディスクドライブ
3.5インチサイズのフロッピーディスクを入れるところ。

⑫ フロッピーディスクイジェクトボタン
フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すときに使うボタン。

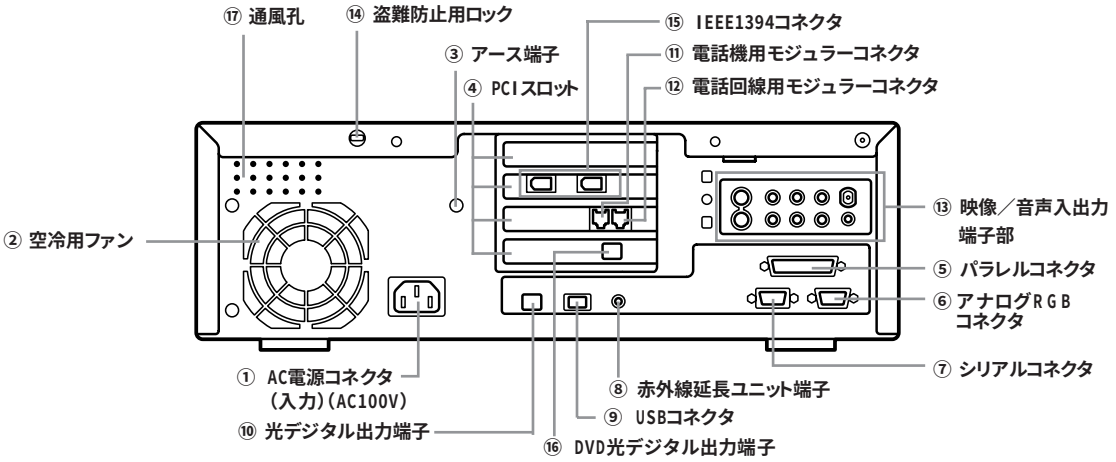
⑬ フロッピーディスクドライブアクセスランプ
フロッピーディスクドライブの動作中に点灯するランプ。

チェック!!

点灯中は電源を切ったり、フロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

本体背面

各アイコンの向きは、下の説明と異なることがあります。



① AC電源コネクタ（入力）（AC100V）
ACコンセントから本体に電源を供給するためのコネクタ。添付の電源ケーブルを接続します。
本体添付の電源ケーブルは、ACコンセント側が普通の2ピン、本体側が特殊な3ピンになっています。

② 空冷用ファン
本体内部の熱を逃がすためのファン。壁などでふさがないように注意してください。

③ アース端子（ ⏚ ）
アース線を接続するための端子。

④ PCIスロット
本機の機能を強化したり拡張したりするための各種ボードを、挿入するためのスロット。
高速なデータ転送ができるPCIバスに対応。下から順にスロット#1、#2、#3、#4、になります。購入時には#1にDVD再生ボード、#2にFAXモデムボード、#3にIEEE1394ボードが取り付けられています。
スロット#4にはフルサイズのPCIボードを取り付けることができます。

⑤ パラレルコネクタ（ 🖹 ）
プリンタなどを接続するためのコネクタ。

チェック!!
PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを接続する場合は、別売のプリンタインタフェース変換アダプタ（PK-CA101）が必要です。

⑥ アナログRGBコネクタ（ 🖵 ）
アナログRGB対応ディスプレイを接続するためのコネクタ。

⑦ シリアルコネクタ（ 101 ）
周辺機器を接続するためのコネクタ。
通信を行うときに必要な通信機器や、イメージスキャナなどの周辺機器を接続します。

チェック!!
- PC-9800シリーズ用の機器を接続する場合は、別売のRS-232C変換アダプタ（PK-CA102）が必要です。
- 周辺機器によっては、変換アダプタを使用すると動作しないことがあります。

⑧ 赤外線延長ユニット端子
赤外線延長ユニットを接続するための端子。

チェック!!
添付の赤外線延長ユニットを接続している場合は、コントローラ受光部では受信できません。

⑨ USBコネクタ（ ⇄ ）
USB対応機器を接続するためのコネクタ。
Windows 95でのみ使用可能。USBコネクタに接続する周辺機器が本機で使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

⑩ 光デジタル出力端子(DIGITAL OUT)
本体の音声を光デジタルで出力するための端子。出力される音声はモードによって異なります。モードの設定方法は249ページをご覧ください。

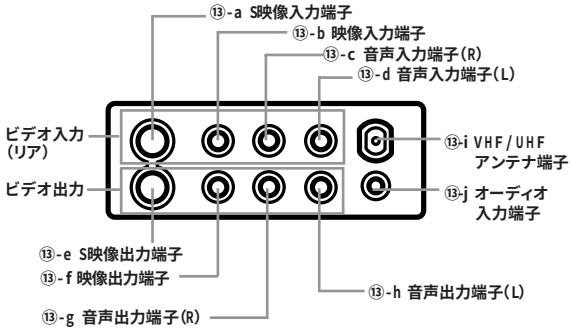
チェック!!

購入時には、保護キャップが取り付けられています。機器を接続するときには保護キャップを外してください。機器を取り付けない場合は、必ず保護キャップを取り付けておいてください。

⑪ 電話機用モジュラーコネクタ( )
電話機を接続するためのコネクタ。

⑫ 電話回線用モジュラーコネクタ( )
電話回線を接続するためのコネクタ。

⑬映像/音声入出力端子部



ビデオ入力(リア)(S VIDEO)
⑬-a S映像入力端子
S映像出力付きのテレビやビデオのS映像出力端子と接続する端子。

⑬-b 映像入力端子()
テレビやビデオの映像を入力するための端子。

⑬-c 音声入力端子(R)
テレビやビデオの音声(右)を入力するための端子。

⑬-d 音声入力端子(L)
テレビやビデオの音声(左)を入力するための端子。

チェック!!

ビデオ入力(フロント)に機器を接続している場合、ビデオ入力(リア)は使用できません。

ビデオ出力
⑬-e S映像出力端子(S VIDEO)
S映像入力付きのテレビやビデオのS映像入力端子と接続する端子。

⑬-f 映像出力端子()
本機の映像を出力するための端子。

⑬-g 音声出力端子(R)
本機の音声(右)を出力するための端子。

⑬-h 音声出力端子(L)
本機の音声(左)を出力するための端子。

チェック!!

ビデオ出力からは、アナログRGBコネクタから出力される画像と同じ画面が表示されます。ただし、DVD再生中に最大表示にした場合、テレビにはDVDの画面のみが表示されます。

⑬-i VHF/UHFアンテナ端子(VHF/UHF)
テレビ放送を受信するためのアンテナ端子。VHFとUHFの共用端子です。

⑬-j オーディオ入力端子(AUDIO IN)
本機に音声を入力するための端子。

⑭ 盗難防止用ロック( )
市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続できます。
盗難防止用ロックを使用することで、ルーフカバーがロックされるため、本体内部のハードディスクやRAMサブボードなどの盗難を予防できます。

チェック!!

盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、次の通りです。(1998年1月現在)

日本ポラロイド株式会社
電子映像営業グループ
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号
第30森ビル
Tel : 03-3438-8879
Fax : 03-5473-1630

⑮ IEEE1394コネクタ
IEEE1394対応機器を接続するためのコネクタ。

チェック!!

このコネクタからの供給電力は3端子(前面1、背面2)合計で15Wです。

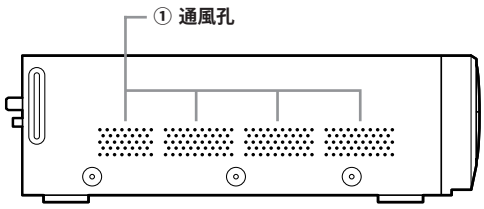
⑯ DVD光デジタル出力端子(DIGITAL OUT PCM/AC3)
ドルビーサラウンドAC-3に対応した機器に接続するための光デジタル出力端子。
DVDプレーヤでの再生音のみが出力されます。

チェック!!

購入時には、保護キャップが取り付けられています。機器を接続するときには保護キャップを外してください。機器を取り付けない場合は、必ず保護キャップを取り付けておいてください。

⑰ 通風孔
本体内部の熱を逃がすための孔です。壁などでふさがないようにしてください。

本体左側面



① 通風孔
本体内部の熱を逃がすための孔です。
壁やスピーカなどでふさがないように注意してください。

キーとボタンの名称と役割

ここでは、各キーの名称と一般的な機能を説明します。

キーの役割

一般的なキーの役割です。

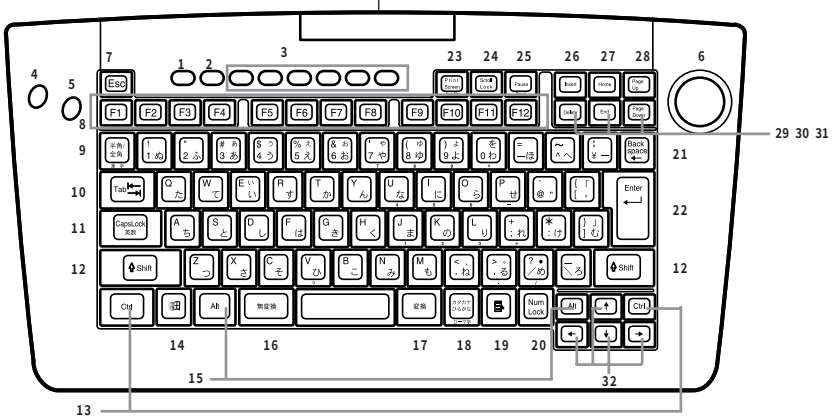
・薄いグレーのキー
英数字やカタカナ、記号などの文字を入力するキーです。

・濃いグレーのキー
コンピュータに直接指示を与えるためのキーです。このキーの働きは、お使いになるアプリケーションによって違います。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

キーとボタンの名称

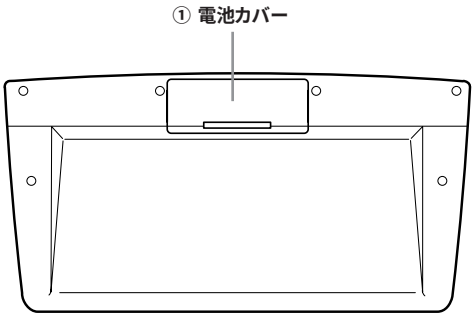
キーボード正面

1 電源ボタン
2 スリープボタン
本体前面の電源スイッチ、スリープボタンと同じ働きをします。
3 PF1～PF6ボタン
4 左クリックボタン
5 右クリックボタン
6 トラックボール
7 【Esc】:エスケープキー
8 【F1】～【F12】:ファンクションキー
9 【半角/全角/漢字】:半角/全角/漢字キー
10【Tab】:タブキー
11【CapsLock】:キャップスロックキー
12【Shift】:シフトキー
13【Ctrl】:コントロールキー
14【 】:Windowsキー
15【Alt】:オルトキー
16【無変換】:無変換キー
17【変換】:変換キー
18【カタカナ/ひらがな/ローマ字】:
カタカナ/ひらがな/ローマ字キー
19【 】:アプリケーションキー
20【NumLock】:ニューメリックロックキー
21【Back Space】:バックスペースキー
22【Enter】:エンターキー
23【Print Screen/Sys Rq】:
プリントスクリーンキー/システムリクエストキー
24【ScrLK】:スクロールロックキー
25【Pause/Break】:ポーズ/ブレークキー
26【Insert】:インサートキー
27【Home】:ホームキー
28【Page Up】:ページアップキー
29【Delete】:デリートキー
30【End】:エンドキー
31【Page Down】:ページダウンキー
32【↑】【↓】【←】【→】:カーソルキー



ワイヤレスキーボード裏面

① 電池カバー
ワイヤレスキーボードの乾電池を入れるケースのカバーです。



キーのロック

【NumLock】と【CapsLock】がロックされているかいないかでキーの機能は異なります。
ロック状態はそれぞれのキーを押すたびに切り替わります（【CapsLock】は【Shift】と同時に押します）。

それぞれのキーがロックされているときには本体前面のランプが点灯します。

	ロックのしかた	ロックされているとき	ロックされていないとき
【Caps Lock】	【Shift】を押しながら【CapsLock】を押すとロックされます。もう一度押すとロックが解除されます	英字が大文字で入力されます	英字が小文字で入力されます
【Num Lock】	【Num Lock】を押すとロックされます。もう一度押すとロックが解除されます。購入時はロックが解除された状態になっています	キー前面に青で表示されている数字や記号が入力されます	キー上面の文字が入力できます
【Scroll Lock】	【Scroll Lock】を押すとロックされます。もう一度【Scroll Lock】を押すとロックが解除されます	アプリケーションによって機能が異なります	

ＰＦ１～ ＰＦ６ボタンの役割

購入時は、PF1～ PF6ボタンを押すとそれぞれ次のアプリケーションが起動するように設定されています。

PF1：DVDeck　　PF4：PictureStudio
PF2：VideoEditor　　PF5：XGworks
PF3：ThumbsStudio　PF6：なし

起動するアプリケーションは、「メディアコントローラユーティリティ」で変更することができます。

参照
メディアコントローラユーティリティ→PART 5「ワイヤレスキーボードの設定」

アプリケーションとWindowsキーについて

アプリケーションとWindowsキーはWindows95で使用できるキーです。アプリケーションによってどのように利用できるかは異なりますが、標準で次のような機能が割り当てられています。

アプリケーションキー ( )

アプリケーションキーを押すと、マウスで右クリックしたときと同じ状態になります。

Windowsキー ()

Windowsキーを押すと、「スタート」メニューを表示します。

Windowsキーを押しながら次のキーを押すと、次のような機能を利用することができます。

【 】+【R】	「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示する
【 】+【M】	現在起動しているウィンドウをすべてアイコン化する
【Shift】+【 】+【M】	【】+【M】でアイコン化しているウィンドウを元に戻す
【 】+【F1】	Windowsのヘルプを起動する
【 】+【F】	ファイルやフォルダを検索するウィンドウを表示する
【Shift】+【 】+【F】	コンピュータを検索するウィンドウを表示する
【 】+【Tab】	タスクバーに表示されているボタンを順番に切り替える
【 】+【Pause】	「システムプロパティ」ウィンドウを表示する

PC-9800シリーズのキーボードとのキーの違い

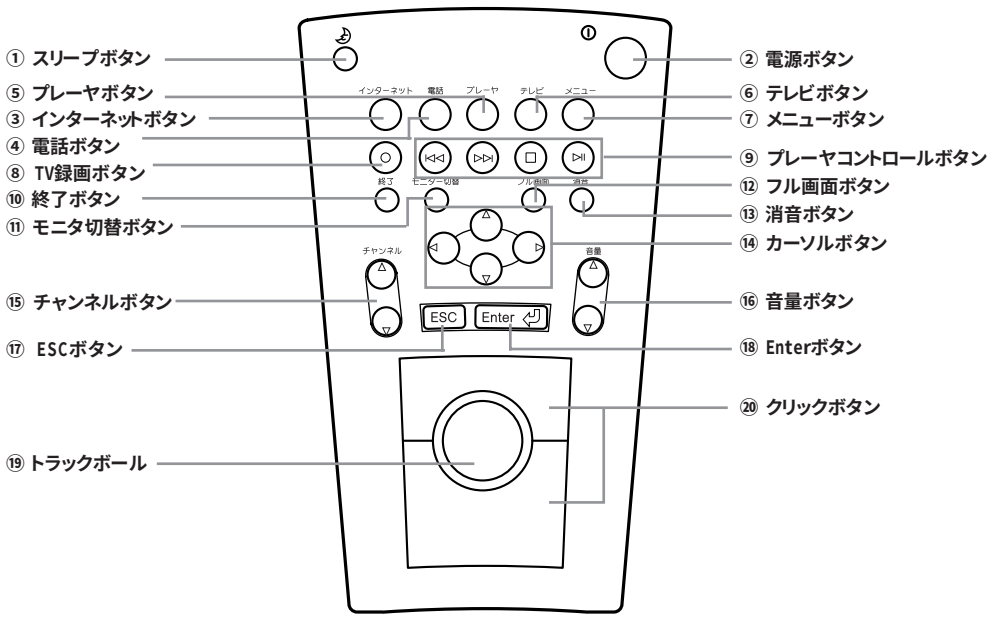
PC-9800シリーズに添付されているキーボードと本機のキーボードとのキーの違いは以下のとおりです。

PC9800シリーズのキーボード	本機のキーボード	備　考
【リターン】	【Enter】	
【GRPH】	【Alt】	
【BS】	【BackSpace】	
【STOP】	【Ctrl】+【Pause】	
【CAPS】	【Shift】+【CapsLock】	大文字
【ROLL UP】	【Page Down】	
【ROLL DOWN】	【Page Up】	
【CTRL】	【Ctrl】	
【DEL】	【Delete】	
【HELP】	【End】	
【ESC】	【Esc】	
【f・1】-【f・10】	【F1】-【F10】	
【vf・1】-【vf・2】	【f11】-【f12】	
【HOME CLR】	【Home】	
【INS】	【Insert】	
【SHIFT】	【Shift】	
【COPY】	【PrintScreen】	
【TAB】	【Tab】	
【XFER】	【変換】	
【NFER】	【無変換】	
【CTRL】+【XFER】	【Alt】+【半角/全角】	日本語入力
【かな】	【Ctrl】+【英数】	

メディアコントローラの各ボタンの名称と役割

ここでは、メディアコントローラの各ボタンの名称と機能を説明します。

ボタンの役割



①スリープボタン

パソコン本体をサスペンド状態（省電力状態）にするボタン。

電源が入っている時に1回押すとサスペンド状態になり（スリープランプが点灯）、もう1回押すと通常の状態に戻ります。

チェック!!

このボタンは1秒以上押し続けないと有効になりません。

②電源ボタン

パソコン本体の電源を入れるボタン。電源を切るときは、Windows 95の「スタート」メニューで「Windowsの終了」をクリックして「電源を切れる状態にする」を選んで「OK」をクリックします。電源を切る/入れる操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間隔をあけてください。

チェック!!

- このボタンは1秒以上押し続けないと有効になりません。
- ソフトウェアが明らかに停止している状態になった場合は、電源ボタンを約4秒以上押し続けることで、強制的に電源を切ることができます。 なお、こ

の場合、作成中のデータなどは消えてしまいます。
・停電や、電源ケーブルを抜いているために本体に電源が供給されていないときは、電源ボタンを押しても電源を入れることはできません。

③インターネットボタン
インターネットソフトウェアを起動します。
起動するアプリケーションは「メディアコントローラユーティリティ」で変更することができます。

④電話ボタン
TELFAX-NXを起動します。

⑤プレーヤボタン
DVD-ROMドライブにセットされているメディアに対応した各種プレーヤを起動します。

⑥テレビボタン
テレビを起動します。

⑦メニューボタン
ランチ-NX使用時、ランチ-NXに戻ります。

⑧TV録画ボタン
テレビ/ビデオの画像を録画します。

⑨ プレーヤコントロールボタン
ビデオCDやオーディオCD、TELFAX-NXの留守録の再生、DVDプレーヤの再生、テレビ/ビデオの録画画像の再生に使います。

⑩ 終了ボタン
操作中のアプリケーションを終了します。

⑪ モニタ切替ボタン
コントロールパネルを表示します。

⑫ フル画面ボタン
テレビやDVDなどの画面を拡大表示(フルスクリーン表示)にします。テレビを接続してDVD再生中はこのボタンを押すと、テレビにはDVDの映像がフルスクリーンで表示されます。

⑬ 消音ボタン
音声を一時的に消します。

⑭ カーソルボタン
キーボードの↑ ↓←→と同じ働きをします。

⑮ チャンネルボタン
テレビ受信時にチャンネルを切り替えます。

⑯ 音量ボタン
音量を調節します。

⑰ ESC ボタン
キーボードの【ESC】と同じ働きをします。

⑱ Enterボタン
キーボードの【Enter】と同じ働きをします。

⑲トラックボール
ワイヤレスキーボードのトラックボールと同じ働きをします。

⑳ クリックボタン
ボールの上側のボタンは、ワイヤレスキーボード左上の右クリックボタン、下側のボタンは左クリックボタンと同じ働きをします。

チェック!!
メディアコントローラの各ボタンの機能はアプリケーションによって異なります。

参照
メディアコントローラを使った操作→付録「メディアコントローラ操作早見表」

メディアコントローラ操作早見表

メディアコントローラでの操作の一覧表です。

共通の操作

操作	ボタン
本機の電源をONにする	電源
ランチ-NXを表示する(ランチ-NX使用時)	メニュー
アプリケーションを終了する	終了
キーボードの【Enter】キーを押す	Enter ⏎
キーボードの【Esc】キーを押す	ESC
音量を調整する	音量
音を一時的に消す(消えている場合は解除)	消音
インターネットアプリケーションを起動する*1	インターネット
TELFAX-NXを起動する	電話
プレーヤ-NXまたはDVDプレーヤまたはMapPlayer-NXを起動する*2	プレーヤ
TVを起動する*3	テレビ
コントロールパネルを表示する	モニタ切替
サスペンドを行う	スリープ

*1 購入時の状態では、インターネットエクスプローラが起動するように設定されています。起動するインターネットアプリケーションはメディアコントローラユーティリティで変更することができます。メディアコントローラユーティリティについて、詳しくはPART5「メディアコントローラの設定」をご覧ください。
*2 DVD-ROMドライブにセットされているディスクに対応したプレーヤソフトを起動します。
*3 TVは、ビットキャストブラウザのTVコントロールウィンドウを起動します。

ビットキャストブラウザの操作

操作	ボタン
bitcast browserを起動する	テレビ
bitcast browserを終了する	終了
チャンネルを変える	チャンネル
音量を調節する	音量
音声を一時的に消す（消えている場合は解除）	消音
全画面表示にする（非全画面表示時） 元の画面へ戻す（全画面表示時）	フル画面
フリーズ（非静止画/動画キャプチャパネル表示時） 静止画を取り込む（静止画キャプチャパネル表示時） 動画を取り込む（動画キャプチャパネル表示時）	●
現在選択されている動画を再生する（動画キャプチャパネル表示時）	▶II
現在選択されている動画の先頭に戻す（動画キャプチャパネル表示時）	I◀◀
動画の再生を終了する（再生時） 動画の録画を終了する（録画時） TV画面に戻す（録画終了時）	■

プレーヤ -NX の操作

操作		ボタン
プレーヤ-NXを終了する		終了
CDを再生する		▶II
CDの再生を停止する		■
一時停止する		▶II
一時停止を解除する		▶II
早送りする		▶▶I（押し続ける）
巻き戻す		I◀◀（押し続ける）
曲の頭出しをする		I◀◀ ▶▶I
プレイバックコントロールウィンドウを操作する	前の画面へ戻る	▶
	次の画面へ進む	◀
	数値を増やす	▲
	数値を減らす	▼
	メニュー画面にもどす	ESC
	選択画面を表示する	Enter ⏎
	選択した番号を決定する	Enter ⏎
音量を調整する		音量
CDをイジェクトする		■

TELFAX-NX の操作

操作	ボタン
TELFAX-NXを起動する	電話
留守録を再生する	▶II
留守録の再生を停止する	■
次の留守録を再生する	▶▶I
再生している留守録を最初から再生する	I◀◀

Timer-NX の操作

操作		ボタン
カーソルを移動する	右へ移動する	▶
	左へ移動する	◀
カーソルが時刻表示にあるときに、時刻表示を変更する	1ずつ大きくなる	▲
	1ずつ小さくなる	▼

MapPlayer-NX の操作

操作	ボタン
地図を一段階詳細な表示に変更する	⏮
地図を一段階広域な表示に変更する	⏭
地図をスクロールする	▲ ▼ ◀ ▶ （4方向）

ＤＶＤプレーヤの操作

操作	ボタン
DVDプレーヤを終了する	終了
再生する	⏯
停止する	■
一時停止	⏯
早送りで再生する	⏭（押し続ける）
早戻しで再生する	⏮（押し続ける）
曲（画面）の頭出しをする	⏮ ⏭
イジェクトする	■
再生ウィンドウを最大化する（フルスクリーン表示モード）	フル画面
再生ウィンドウを元のサイズに戻す（ウィンドウ表示モード）	フル画面

機能仕様

モデル			CE33D/SZ model CD2 CE33D/SZ model DD2
CPU			Pentium®II プロセッサ クロック333MHz
			キャッシュメモリ32Kバイト セカンドキャッシュメモリ512Kバイト（CPUに内蔵）
メモリ	BIOS ROM		256KB、プラグ＆プレイ対応
		メインRAM	64Mバイト（最大384Mバイトまで増設可能） ＊ユーザーズメモリ63.6Mバイト（最大383.6Mバイト）
	RAM※1		DIMMスロット×3（うち1スロットに64Mバイトメモリ取り付け済）
	ビデオRAM		4Mバイト
表示機能	ウィンドウアクセラレータ		ATI Technologies社製 3D Rage™ Pro搭載（AGP対応）AGPのアップグレードは不可
	グラフィック表示		640×480ドット　16色/ 256色/65,536色/1,677万色
			864×480（ビデオ出力時848×480ドット）※2 ※4　256色/65,536色/1,677万色
			800×600ドット　256色/65,536色/1,677万色
			1,024×600※2　256色/65,536色/1,677万色
			1,024×768ドット※3　256色/65,536色/1,677万色
			1,280×1,024ドット※3 ※4　256色/65,536色/1,677万色※5
サウンド機能	サウンドチップ		YAMAHA製 YMF724
	音源	PCM音源	PCM録音/再生機能 PCM 8 / 16ビット 5～48KHz（ただし、アプリケーションに依存）
		MIDI音源	ハードウェアシンセサイザー機能搭載（64音同時発音、XG・GM演奏モード対応、VA音源）
	3D機能		Direct Sound 3D対応
	スピーカ		オプション※6
補助記憶装置	フロッピーディスクドライブ		3.5 インチフロッピーディスクドライブ1台内蔵 720Kバイト、1.2Mバイト、1.44Mバイトフロッピーディスク使用可能
	ハードディスク		約16.8Gバイト
			Microsoft Windows 95をインストール済
	DVD-ROM		DVD-ROM内蔵（DVD-ROM読み取り2倍速相当、CD-ROM読み取り20倍速相当）
入力装置	キーボード※7		ワイヤレスキーボード、トラックボール装備、JIS標準配列（英数、かな）、12ファンクションキー、Windowsキー、 アプリケーションキー、電源キー、スリープキー、6ユーザ定義キー付
	メディアコントローラ		付属、トラックボール装備（電源ボタン、スリープボタン、アプリケーション起動ボタン、プレーヤコントロールボタンなど）
映像関係機能	TVチューナ		音声多重対応、 受信チャンネル：VHF（1～12ch）、UHF（13～62ch）、ケーブルTV（13～38ch）
	データ放送受信		地上波データ放送（Bitcast、ADAMS）、文字多重放送受信可能
	映像合成表示機能		全画面表示は最大で1,280×960、ウィンドウ表示は40×30～1,240×930までの任意サイズ（縦横比固定、横40ドット、縦30ドット単位）
	ビデオキャプチャ機能		TV放送及び外部ビデオの静止画像及び動画像取り込み可能（本体側ビデオ入力によるアナログ入力）
	ビデオ出力機能※8		ビデオ入力を持つ機器（TV、ビデオ等）へPC画面及びDVD画面を出力可能（解像度640×480ドット、800×600ドット、 848×480ドット、本体側ビデオ出力による接続） （ビデオ出力機能使用時はRGB出力は正常に出力されません）
	DVD-VIDEO再生機能※9		映像：ハードウェアによるMPEG2方式 音声：DVD光デジタル音声出力端子に市販のドルビーデジタルデコーダを接続することにより5.1chのドルビーデジタルサウンドが出力可能、またはライン出力端子に市販のドルビープロロジックデコーダを接続することにより4chのドルビーサラウンドが出力可能
DVデータ取り込み機能（IEEE1394）			DV端子を持つデジタルビデオ機器※10からの動画像取り込み／書き込み可能（本体側IEEE1394端子接続によるデジタル入出力）
通信機能	モデム		データ転送速度 最大送信33.6Kbps/最大受信56Kbps、K56flex、V.34、V.32bis、V.32、V.22bis、V.22、V.21、 エラー訂正V.42/MNP4、データ圧縮V.42bis/MNP5、ボイス機能、ハンズフリー機能対応
	FAX		データ転送速度 最大14,400bps（V.17）、FAX制御 CLASS 1

モデル			
インターフェイス	ディスプレイ		アナログRGBセパレート信号出力（75Ωアナログインターフェイス、カラー、ミニD-Sub 15ピン）
	ビデオ関連	入力	ビデオ入力端子×2（コンポジット，S-ビデオ，ステレオ音声、本体前面/背面、排他使用） （金メッキ端子使用、ビデオ表示/編集等映像入力）
		出力	ビデオ出力端子（コンポジット，S-ビデオ，ステレオ音声、本体背面） （金メッキ端子使用、PC画面/DVD画面等出力）
	サウンド関連	アナログ	オーディオ入力（ステレオ、ミニジャック）入力インピーダンス10KΩ　入力レベル最大2Vrms　ゲイン6dB、 マイク入力（モノラル、ミニジャック、金メッキ端子使用、エコー付）入力インピーダンス10KΩ　入力レベル最大100mVrms ゲイン20dB、 ヘッドホン出力（ステレオ、ミニジャック、金メッキ端子使用）出力レベル最大500Vrms（負荷インピーダンス33Ω）
		デジタル	光デジタル音声出力×2（2系統2出力、角型コネクタ） （DVDのAC-3/PCM出力1系統、及びPCのPCM再生/MIDI音源のPCM等出力1系統）
	TVチューナ部		アンテナ入力（U/V混合、75Ω、同軸F型）
	FAXモデム部		ライン（モジュラージャック2芯）/TEL（モジュラージャック2芯）
	プリンタ		パラレルインターフェイス（D-Sub25ピン）
	シリアル	チャネル1	最大115,200bps（D-Sub 9 ピン）
	IEEE1394※11		3ポート内蔵（転送速度400Mbps）
	USB※11		2ポート内蔵
	赤外線延長ユニット		ミニジャック
PCIスロット			4スロット（うち3スロットはDVD再生ボード、FAXモデムボード、IEEE1394ボードで占有済）
PCカードスロット			TYPE II ×1 スロット（PC Card Standard準拠、Card Bus対応、ZVポート未対応）
カレンダー時計			電池によるバックアップ
電源			AC 100V±10%、50/60Hz
温湿度条件			10～35℃、20～80%※12（ただし結露しないこと）
外形寸法		本体	430（W）×430（D）×138（H）㎜
		キーボード	380（W）×193（D）×40（H）㎜
重量		本体	約13.0㎏
		キーボード	約0.7㎏（電池含まず）
消費電力			標準構成時 約50W 内蔵オプション最大接続時 約150W サスペンドモード時 約43W以下 スタンバイモード時 約5W

※1　利用OSにより、使用可能なメモリ容量は異なります。
※2　この解像度に対応したモニター接続時のみ表示可能。
※3　BSワイドディスプレイテレビ（PK-DH32W2/PK-DH28W2）接続時は表示不可。
※4　ディスプレイ（PK-DH172）接続時は表示不可。
※5　Windows画面上ではテレビ映像の表示はできません。
※6　本体側にはスピーカを内蔵していないため、BSワイドディスプレイテレビ（PK-DH32W2、PK-DH28W2）または別売のスピーカなどが別途必要になります。
※7　キーボードレイアウトはPC-9800シリーズとは異なります。
※8　接続する機器によっては、文字が見づらいこともあります。
※9　本機には、「DVDプレーヤに関するコピー制限技術」を搭載しています。
※10　接続可能なデジタルビデオカメラについての最新情報は、インターネット、パソコン通信、FAX情報サービスでご確認ください。
※11　接続する周辺装置及び利用するソフトウェアが、本インタフェースに対応している必要があります。
※12　18～28℃、45～75%での使用を推奨します。

■別売の17インチディスプレイ（PK-DH172）

ブラウン管		17インチフラット90度偏向 ドットタイプブラックマトリクス ノングレア処理 帯電防止処理
ドットピッチ		0.27mm
入力信号	信号方式	セパレート信号方式
	映像信号	アナログ0.73Vp-p（入力インピーダンス75Ω）
	水平同期信号	TTLレベル
	垂直同期信号	TTLレベル
入力端子		アナログRGB入力（15Pコネクタ）
解像度＊		640ドット×480ライン 800ドット×600ライン 1,024ドット×768ライン
接続ケーブル長		約1.5m
外形寸法		約410（W）×444（D）×416（H）mm
重量		約17.5kg
消費電力		約115W（パワーマネージメント動作時サスペンドステート約30W以下、オフステート約8W以下）

＊：解像度とは、ブラウン管画面上で発光できるドット数、ライン数のことをいいます。ただし、必ずしも目視で判別できるドット数、ライン数ではありません。また、1ドットごとに違う色を指定した場合、ミスコンバージェンス、フォーカス特性などによって1ドットごとの色がディスプレイ上で再現できない場合もあります。

FAX モデムボード機能仕様

CPU I / F	・パラレル接続（PCIインターフェイス） ・16550A相当（I/Oアクセス、割り込み）
NCU部	・回線接続切り替え機能 ・ダイヤルパルス送出機能 ・リンガ検出機能 ・外付け電話フックオフ検出機能
モデムチップセット部	・115.2Kbpsまでのデータ・モデム・スループット K56flex V.34 V32bis V.32、V.22bis、V.22、V.21 V.42LAPMおよびNMP4エラー訂正 V.42bisおよびMNP5データ圧縮 ・最高14.4Kbpsのファックス・モデム送受信速度 V.17、V.29、V.27ter、V.21チャンネル2 ・HayesATコマンドセット AT Sレジスタ ・ビルトインDTEインターフェイス 最高115.2kbpsのDTEスピード パラレル16550A UARTインターフェイス ・回線品質モニタリングおよびオートリトレイン ・受信ライン信号品質に基づく自動ライン・スピード選択 ・フロー制御およびスピード・バッファリング ・最高115.2Kbpsの自動フォーマット／スピード検出 ・パラレル非同期データ ・自動ダイヤルおよび自動アンサー ・トーンおよびパルスダイヤリング（DTMFトーン、ダイヤルパルス制御）

項目	規格
交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
適用回線	加入電話回線
同期方式	半二重調歩同期方式
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps ※
通信方式	ITU-T V.17/V.29/V.27ter/V.21ch2
変調方式	QAM：14400/12000/9600/7200bps DPSK：4800/2400bps FSK：300bps
送信レベル 受信レベル	-6～-15dBm（出荷時 -15dBm） -10～-40dBm
制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド（CLASS 1）

※ **回線状態によって通信速度が変わる場合があります。**

項　目	規　格
適用回線	加入電話回線
同期方式	全二重調歩同期方式
通信速度	送 受 信:33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600 7200/4800/2400/1200/300bps ※ 受信のみ:56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/40000/38000/36000 34000/32000bps ※
通信規格	K56flex ITU-T V.34/V.32/V.32bis/V.22/V.22bis/V.21
変調方式	TCM：56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/40000/38000/ 36000/34000/32000/33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/ 16800/14400/12000/9600/7200bps QAM：9600/7200bps DPSK：4800/2400/1200bps FSK：1200/300bps
エラー訂正	ITU-T V.42（LAPM）MNP class4
データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
送信レベル	-6～-15dBm（出荷時 -15dBm）
受信レベル	-10～-40dBm
制御コマンド	HayseATコマンド

※　**回線状態によって通信速度が変わる場合があります。**

項　目	規　格
適用回線	加入電話回線
ダイヤル方式	パルスダイヤル（10/20PPS） トーンダイヤル（DTMF）
NCU形式	AA（自動発信／自動着信型） MA（手動発信／自動着信型） MM（手動発信／手動着信型） AM（自動発信／手動着信型）
制御コマンド	HayesATコマンド準拠 EIA-578拡張ATコマンドAT（CLASS 1）

AT コマンド

ATコマンドとは、電話回線に対してDTE（パソコンなどの端末機器）からのコマンドにより自動発着信を行うために米国Hayes社が開発したコマンド体系で“ AT ”で始まることからこのように呼ばれています。

コマンドの構成

ATコマンドセット（A/コマンドを除く）では、DTEが送る各コマンドラインはキャラクターシーケンスATで始まり、キャリッジリターンで終了しなければなりません。ATシーケンスは、いくつものコマンドをその次に続けることができます。ただし、Z、D、Aのようなコマンドは除きます。コマンドラインの最大キャラクタ数は48です。もしコマンドラインのどこかで構文エラーが見つかった場合には、ラインの残りは無視されます。

A	T	コマンド列	C R

コマンド一覧

■基本 AT コマンド

種　類	ATコマンド	機　能
アンサーモードで回線接続	A	アンサーモードで回線に接続し,通信状態になる。自動応答にしていない状態で,応答する場合に使用する。
コマンドの再実行	A /	直前に実行したコマンドを再実行する。このコマンドの前には「AT」はつけない。また,最後の（↵）もつけない。
ダイヤルの実行	D	指定された電話番号にダイヤルし,接続する。 P…… パルスダイヤル（ダイヤル回線）。 T…… トーンダイヤル（プッシュ回線）。 W ……S6レジスタで指定された時間,ダイヤルトーンを待つ。 @……5秒間の無音状態を検出する。検出できない場合は「NO ANSWER」を返す。 .…… S8レジスタで指定された時間,ポーズを置く。構内交換機,ゼロ発信等でダイヤルを待つ場合に使用する。 0～9、＊、＃…… 相手の電話番号をダイヤルする。ダイヤル番号を見やすくするために、スペース、「－」.「()」.「[]」等が使用できる。なお,「＊」.「＃」はトーンダイヤルのみ使用できる。 ;……ダイヤル後コマンドモードに戻る。 !……S29レジスタで指定された時間.回線をオンフックする。（フラッシュダイヤルモディファイ） S=n……&Znで登録した電話番号にダイヤルする。 L……最後にかけた番号にリダイヤルする。
コマンドエコー有無の設定☆	E	DTE（パソコン側）から送られたコマンドのエコー（文字をそのまま送り返す）の有無を指定する。 E 0　コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返さない。 E1　コマンドモード時DTEから入力したコマンド文字をDTEに返す（初期値）。
回線の接続／切断	H	H 0　回線を切断（オンフック）する。 H 1　回線を接続（オフフック）する。
識別コード表示	I	モデムの識別コードを表示する。 I0　製品コードを表示する。 I1　ROMのチェックサムコードを表示する。 I2　ROMのチェックを実行する。 I3　ファームウェアのレビジョンを表示する。
モニタースピーカ　☆ 最大音量設定	L	FAXモデムボードの内蔵スピーカの音量を設定する。 L 0　音量小。 L1　音量小（初期値）。 L 2　音量中。 L 3　音量大。

☆AT&Wnでバックアップ可能

種　類	ATコマンド	機　能
モニタースピーカの　☆ 動作設定	M	内部モニタースピーカのON,OFFのタイミングを設定する。 M 0　スピーカを常にOFFにする。 M 1　キャリアを検出するまでONにする(初期値)。 M 2　スピーカを常にONにする。 M 3　ダイヤル終了からキャリア検出までONにする。
オンラインモードに戻る	O	オンラインモード中にエスケープコマンド(+++)によってコマンドモードになったときに,再びオンラインモードに戻るのに使用する。 O 0　オンラインモードに戻る。 O 1　トレーニングを再度実行して,オンラインモードに戻る。
パルス回線(ダイヤル回線) モードの設定	P	ダイヤルをパルスで行うモードに設定する。
リザルトコードの設定　☆	Q	リザルトコードをDTE(パソコン側)に返すか,返さないかのモードを指定する。 Q 0　リザルトコードをパソコンに返す(初期値)。 Q 1　リザルトコードをパソコンに返さない。
Sレジスタの読みだし	S r ?	Sレジスタrの内容を読みだす。ATS0?(↵)でS0レジスタの内容を読みだす。
Sレジスタの設定	S r = n	Sレジスタrを設定する。 ATSr=n(リターン)でrに設定したいレジスタの番号,nにレジスタの値を10進数で設定する。 ATS2=43(リターン)でS2レジスタに43(10進数)を設定する。
トーン回線(プッシュ回線) モードの設定	T	ダイヤルをトーンで行うモードに設定する。
リザルトコードタイプの 設定　☆	V	ATコマンドのリザルトコードの形式を指定する。 V 0　リザルトコードを数字表示に設定する。 V 1　リザルトコードを文字表示に設定する(初期値)。
リザルトコードのスピード 表示　☆	W	リザルトコードのスピード表示を指定する。 W 0　DTEスピードを表示する(初期値)。 W 1　DCEスピード,エラー訂正プロトコル,DTEスピードの順に表示する。 W 2　DCEスピードを表示する。
接続時のリザルトコードの 設定　☆	X	モデム接続時のリザルトコードの拡張方法を指定する。 X 0　リザルトコードの拡張は行わない。 X 1　リザルトコードに接続時のスピードを付加する。1200bps以上のスピードで接続された場合、「CONNECT　XXXX」とスピードを表示する。 X 2　X1に加えて,ダイヤル時にダイヤルトーンの検出を行う。ダイヤル時に5秒以内にダイヤルトーンを検出できなかったら「NO　DIALTONE」を表示する。 X 3　X1に加えて,ビジートーン(話中音)の検出を行う。ビジートーンを検出したら「BUSY」と表示する。 X 4　X2,X3をあわせて表示,または検出する(初期値)。

☆AT&Wnでバックアップ可能

種　類	ATコマンド	機　能
ブレーク信号の動作指定 ☆	Y	ブレーク信号に関する動作を指定する。 Y0　ブレーク信号を受信しても、回線を切断しない(初期値)。 Y1　ブレーク信号を1.6秒間以上受信すると、回線を切断する。回線切断時(ATH等のコマンド)は、ブレーク信号を相手モデムに4秒間送出する。 ※ダイレクト,ノーマルモード接続時のみ有効。エラー訂正プロトコル(V.42.MNP)で接続されている場合は、プロトコルの動作に従う。
モデムの初期化	Z	モデムを不揮発性メモリの保存内容で初期化する。 Z0　不揮発性メモリのプロファイル0の保存内容で初期化する。 Z1　不揮発性メモリのプロファイル1の保存内容で初期化する。
キャリア検出信号(CD)の動作 ☆	&C	CD信号(DCD)の動作を指定する。 &C0　CD信号を常にONにする。 &C1　CD信号はキャリアが検出されるとONになる(初期値)。
データ端末レディ(DTR)の動作 ☆		&D　DTR信号がONからOFFに変化した場合の動作を指定する。 &D0　DTR信号は無視し、常にONとして扱う。 &D1　DTR信号がOFFになると、コマンドモードになる。 &D2　DTR信号がOFFになると、回線を切断しコマンドモードになる(初期値)。 &D3　DTR信号がOFFになると、初期化される。(ATZコマンド実行状態になる)。
パラメータの初期化	&F	各種パラメータを工場出荷時の設定に戻す。
DTEのフロー制御 ☆	&K	DTE(パソコン側)のフロー制御(RTS/CTS.XON/XOFF)を指定する。 &K0　フロー制御をしない。 &K3　RTS/CTSフロー制御をする(初期値)。 &K4　XON/XOFFフロー制御をする。 &K5　透過XON/XOFFフロー制御をする。 &K6　RTS/CTSとXON/XOFFフローを同時に行う。
通信モードの設定	&M	通信モードを指定する。 &M0 ダイレクト非同期モードで接続する。
ダイヤルパルススピードの設定 ☆	&P	ダイヤルパルスのスピードを指定する。 &P0　ダイヤルパルスを10PPSにする。 &P1　ダイヤルパルスを10PPSにする(初期値)。 &P2　ダイヤルパルスを20PPSにする。 &P3　ダイヤルパルスを20PPSにする。
モデムの状態表示	&V	現在設定されているコマンドの一覧と、不揮発性メモリに保存されている内容を表示する。
パラメータの書き込み	&W	現在の設定されている状態を、不揮発性メモリに書き込む。 &W0　不揮発性メモリのプロファイル0に書き込む。 &W1　不揮発性メモリのプロファイル1に書き込む。 ※この値は、電源をオンしたとき(AT&Ynコマンドで0.1を指定)、またはATZnコマンドで初期化したときに使われる。各々のコマンドを参照。
プロファイルの設定	&Y	電源立ち上げ時のファイル読み込みを設定する。 &Y0　プロファイル0を指定する。 &Y1　プロファイル1を指定する。

☆AT&Wnでバックアップ可能

<table>
<tr><th>種　類</th><th>ATコマンド</th><th>機　能</th></tr>
<tr><td>電話番号の保存　☆</td><td>&Z</td><td>ATDS=〈n〉コマンドでダイヤルする場合の、電話番号を指定する。
&Zn=XXXXXXX
n=0～3、XXXXは電話番号（34桁以下）
例）AT&Z2=03-1234-5678
ダイヤル番号バッファ2に指定の番号を保存する。
※電話番号として使用できるのは、ATDコマンドの電話番号のうち「:」、「S=n」以外のコマンド。</td></tr>
<tr><td>データ圧縮の指定　☆</td><td>%C</td><td>データ圧縮の方法を指定する。
%C0　データ圧縮をしない。
%C1　MNP5のデータ圧縮を行う。
%C2　V.42bisのデータ圧縮を行う。
%C3　V.42bis／MNP5のデータ圧縮を行う（初期値）。</td></tr>
<tr><td>リトレーニング等の
自動再実行　☆</td><td>%E</td><td>回線の状態を監視して、状態が変化した場合や悪い場合に、トレーニングシーケンスの再実行
（リトレーニング）、回線速度を変更するかどうかの指定をする。
%E0　リトレーニングを自動で再実行しない。
%E1　リトレーニングを自動で再実行する。
%E2　回線速度の変更を可能にする（初期値）。
※データエラーが多い場合のリトライ動作を指定するものではない。</td></tr>
<tr><td>最大ブロックサイズの設定 ☆</td><td>￥A</td><td>MNPで接続するときのブロックサイズを設定する。
￥A0　最大ブロックサイズ　64
￥A1　最大ブロックサイズ　128（初期値）
￥A2　最大ブロックサイズ　192
￥A3　最大ブロックサイズ　256</td></tr>
<tr><td>相手モデムに対するブレーク
信号の送出</td><td>￥B</td><td>非エラー訂正モード時に，モデムから相手モデムにブレーク信号を送出する。
￥B1～￥B9　100ms単位のブレーク信号長（初期値：￥B3）</td></tr>
<tr><td>ブレーク信号の動作　☆</td><td>￥K</td><td>ブレーク信号を受けたときの動作を指定する。
<table>
<tr><th></th><th>オンラインモード（V.42／ノーマルモード）時にパソコンからブレーク信号を受けた</th><th>オンラインコマンドモード時にパソコンから￥Bコマンドによるブレークを受けた</th><th>オンラインモード（V.42／ノーマルモード）時に相手モデムからブレークを受けた</th></tr>
<tr><td>n=0</td><td>コマンドモードになる。相手モデムにはブレークを送らない</td><td rowspan="2">データバッファを空にして、相手モデムにブレークを送る</td><td rowspan="2">データバッファを空にして、パソコンにブレークを送る</td></tr>
<tr><td>n=1</td><td>データバッファを空にして、相手モデムにブレークを送る</td></tr>
<tr><td>n=2</td><td>￥K0と同じ</td><td rowspan="2">バッファのデータより優先して相手モデムにブレークを送る</td><td rowspan="2">バッファのデータより優先してパソコンにブレークを送る</td></tr>
<tr><td>n=3</td><td>バッファのデータより優先して相手モデムにブレークを送る</td></tr>
<tr><td>n=4</td><td>￥K0と同じ</td><td rowspan="2">バッファのデータを送った後で相手モデムにブレークを送る</td><td rowspan="2">バッファのデータを送った後でパソコンにブレークを送る</td></tr>
<tr><td>n=5</td><td>バッファのデータを送った後で，相手モデムにブレークを送る</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

☆AT&Wnでバックアップ可能

種　類	ATコマンド	機　能
通信モードの設定　☆	￥N	エラー訂正プロトコルの動作を設定する。 ￥N0 ノーマルモードで通信する。V.42,MNP等は使用しない。 ￥N1 ￥N0と同じ。 ￥N2 V.42,MNPモードで接続する。 相手モデムがV.42,MNPでない場合は接続しない。 ￥N3 V.42,MNPモードで接続する(初期値)。 相手モデムがV.42,MNPでない場合は,ノーマルモードで接続する。 ￥N4 V.42モードで接続する。 相手モデムがV.42でない場合は,接続しない。 ￥N5 MNPモードで接続する。 相手モデムがMNPでない場合は、接続しない。 ※V.42、MNPの場合は,V.42→MNPの順に相手モデムとの接続を試す。
変調方式の指定	+MS	+MS=(変調方式)、(自動モード)、(最低スピード)、(最高スピード) 2番目以降のパラメータは,省略可能(途中の省略は不可)。相手モデムとの通信方式,手順,スピード等を指定する。 変調方式 0 :V.21　300bpsで接続される。 1 :V.22　1200bpsで接続される。 2 :V.22bis　2400/1200 bpsで接続される。 9 :V.32　9600/4800 bpsで接続される。 10:V.32bis　14400～4800 bpsで接続される。 11:V.34　33600～2400 bpsで接続される。 56:K56flex　56000～32000で接続される(初期値)。 自動モード　接続時の自動ネゴシエーションの指定を行う。 0:自動モード(V.8)を使用しない。 1:自動モード(V.8)を使用する。 最低スピード　最低の変調速度を指定する(初期値300)。 300,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600,24000, 26400,28800,31200,33600が指定できる。 最高スピード　最高の変調速度を指定する(初期値56000)。 300,1200,2400,4800,7200,9600,12000,14400,16800,19200,21600,24000, 26400,28800,31200,32000,33600,34000,36000,38000,40000,42000,44000, 46000,48000,50000,52000,54000,56000が指定できる。
エスケープ	+++	オンラインモードのとき,パソコンから前後1秒間(S12レジスタで設定可能)の時間をあけて、「+++」のコマンドが入力されると、回線を切断することなく,コマンドモードに移る「+++」の前後に他の文字入力されるとエスケープコマンドと判断されないので(リターン)等は入力しないこと。

☆AT&Wnでバックアップ可能

チェック!!

相手FAXが音声応答FAXの場合、接続できない可能性があります。その場合は以下のコマンドによりBUSYトーン検出をOFFにしてください。
コマンド構文:ATX0

チェック!!

外付け電話機使用中に以下に示すATコマンドを実行すると回線が切り替わります。
コマンド構文:ATD、ATH1、ATA

■リザルトコード

数 字	文 字	内 容
0	OK	コマンドラインの実行確認
1	CONNECT	300bpsで接続および接続
2	RING	リンギング検出
3	NO CARRIER	キャリアおよびリングバッグ検出せず
4	ERROR	コマンド構文違いおよび存在しないコマンド
5	CONNECT 1200	DCE-DCE間,DTE-DCE間を1200bpsで接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーン検出せず
7	BUSY	BUSYトーン検出
8	NO ANSWER	S7タイマーが切れるまで連続的にリングバッグを検出
9	CONNECT 0600	DCE-DCE間､DTE-DCE間を600bpsで接続
10	CONNECT 2400	DCE-DCE間､DTE-DCE間を2400bpsで接続
11	CONNECT 4800	DCE-DCE間､DTE-DCE間を4800bpsで接続
12	CONNECT 9600	DCE-DCE間､DTE-DCE間を9600bpsで接続
13	CONNECT 7200	DCE-DCE間､DTE-DCE間を7200bpsで接続
14	CONNECT 12000	DCE-DCE間､DTE-DCE間を12000bpsで接続
15	CONNECT 14400	DCE-DCE間､DTE-DCE間を14400bpsで接続
16	CONNECT 19200	DTE-DCE間を19200bpsで接続
17	CONNECT 38400	DTE-DCE間を38400bpsで接続
18	CONNECT 57600	DTE-DCE間を57600bpsで接続
19	CONNECT 115200	DTE-DCE間を115200bpsで接続
24	DELAYED	ダイヤルした番号が‘遅延’と判断された
33	FAX	FAXモードでFAXモデム接続
35	DATA	FAXモードでデータモデム接続
40	CARRIER 300	0～300bpsデータレート検出
46	CARRIER 1200	1200bpsデータレート検出
47	CARRIER 2400	2400bpsデータレート検出
48	CARRIER 4800	4800bpsデータレート検出
49	CARRIER 7200	7200bpsデータレート検出
50	CARRIER 9600	9600bpsデータレート検出
51	CARRIER 12000	12000bpsデータレート検出
52	CARRIER 14400	14400bpsデータレート検出
53	CARRIER 16800	16800bpsデータレート検出
54	CARRIER 19200	19200bpsデータレート検出
55	CARRIER 21600	21600bpsデータレート検出
56	CARRIER 24000	24000bpsデータレート検出
57	CARRIER 26400	26400bpsデータレート検出
58	CARRIER 28800	28800bpsデータレート検出
59	CONNECT 16800	DTE-DCE間を16800bpsで接続
61	CONNECT 21600	DTE-DCE間を21600bpsで接続
62	CONNECT 24000	DTE-DCE間を24000bpsで接続
63	CONNECT 26400	DTE-DCE間を26400bpsで接続
64	CONNECT 28800	DTE-DCE間を28800bpsで接続
66	COMPRESSION:CLASS5	MNPクラス5で接続
67	COMPRESSION:V.42BIS	V.42bisで接続
69	COMPRESSION:NONE	データ圧縮なしで接続
70	PROTOCOL:NONE	エラー訂正なしで接続
77	PROTOCOL:LAP-M	V.42LAPMエラー訂正モードで接続
78	CARRIER 31200	31200bpsデータレート検出
79	CARRIER 33600	33600bpsデータレート検出
80	PROTOCOL:ALT	MNPエラー訂正モードで接続

数 字	文 字	内 容
84	CONNECT 33600	DTE-DCE間を33600bpsで接続
91	CONNECT 31200	DTE-DCE間を31200bpsで接続
150	CARRIER 32000	32000bpsデータレート検出
151	CARRIER 34000	34000bpsデータレート検出
152	CARRIER 36000	36000bpsデータレート検出
153	CARRIER 38000	38000bpsデータレート検出
154	CARRIER 40000	40000bpsデータレート検出
155	CARRIER 42000	42000bpsデータレート検出
156	CARRIER 44000	44000bpsデータレート検出
157	CARRIER 46000	46000bpsデータレート検出
158	CARRIER 48000	48000bpsデータレート検出
159	CARRIER 50000	50000bpsデータレート検出
160	CARRIER 52000	52000bpsデータレート検出
161	CARRIER 54000	54000bpsデータレート検出
162	CARRIER 56000	56000bpsデータレート検出
165	CONNECT 32000	DCE-DCE間を32000bpsで接続
166	CONNECT 34000	DCE-DCE間を34000bpsで接続
167	CONNECT 36000	DCE-DCE間を36000bpsで接続
168	CONNECT 38000	DCE-DCE間を38000bpsで接続
169	CONNECT 40000	DCE-DCE間を40000bpsで接続
170	CONNECT 42000	DCE-DCE間を42000bpsで接続
171	CONNECT 44000	DCE-DCE間を44000bpsで接続
172	CONNECT 46000	DCE-DCE間を46000bpsで接続
173	CONNECT 48000	DCE-DCE間を48000bpsで接続
174	CONNECT 50000	DCE-DCE間を50000bpsで接続
175	CONNECT 52000	DCE-DCE間を52000bpsで接続
176	CONNECT 54000	DCE-DCE間を54000bpsで接続
177	CONNECT 56000	DCE-DCE間を56000bpsで接続
+F4	+FCERROR	高速FAXデータが予想され,V.21信号を受信

■Sレジスタ

Sレジスタ	機　能	説　明
S0	自動着信する呼び出し回数設定　☆	呼び出し音(リング)の何回目で自動着信するかを設定。 S0=0　自動着信しない(初期値)。 S0=1～255　n回目の呼び出しを受けると自動着信。
S1	呼び出し回数のカウント	呼び出し音の回数をカウント。呼び出し音が検出されると,S1レジスタの値が+1される。 なお,呼び出し音が止まってから8秒たつとS1は0になる。 S0が0の場合は,S1は+1されない。初期値はS1=0。
S2	エスケープコードの文字設定　☆	エスケープコードに使うキャラクタコードを0～127の値の間で設定。 初期値はS2=43(キャラクタ「+」)。
S3	復帰(キャリッジリターン)コードの文字設定	復帰コードのキャラクタコードを0～127の値で設定。 初期値はS3=13(16進数で0D)。
S4	改行(ラインフィード)コードの文字設定	改行コードのキャラクタコードを0～255の値で設定。 初期値はS4=10(16進数で0A)。
S5	バックスペースコードの文字設定	バックスペースコードのキャラクタコードを設定。 コマンドの1文字訂正に使用。0～32および127が設定可能。 このレジスタには表示可能なコード(33～126)は設定できない。 初期値はS5=8 (16進数で08)。
S6	ダイヤル開始までの待ち時間　☆	オンフックしてからダイヤルするまでの待ち時間を設定。 Xコマンドがダイヤルトーンを検出しない場合(X0,1,3)に有効。 ダイヤルトーンを検出する場合(X2,4)はS6レジスタの値は無効。 4～12の値を秒単位で指定。初期値はS6=4(4秒)。
S7	接続待ち時間の設定　☆	ダイヤルしてから接続されるまでの接続待ち時間を0～58の間で秒単位で設定。 設定した時間内に接続されないと「NO CARRIER」がパソコンに返される。 初期値はS7=50 (50秒)。
S8	ポーズコマンドの時間設定　☆	ダイヤル時のポーズコマンド「,」の待ち時間を2～7の値で秒単位で設定。 初期値はS8=2 (2秒)。
S9	キャリア検出の時間設定　☆	相手モデムからのキャリアを検出する時間を設定。 接続時に,設定した時間以上連続してキャリアが検出されると,回線を接続。 0～255の値を0.1秒単位で設定。初期値はS9=6(0.6秒)。
S10	キャリア断検出の時間設定　☆	回線の接続中に,設定した時間以上連続してキャリアが検出できない場合にキャリア断として回線を切断。0～255の値を0.1秒単位で設定。 S10=255の場合はキャリア断を無視(キャリアが切れても回線を切断しない)。 初期値はS10=14(1.4秒)。
S12	エスケープコードのガードタイムの設定　☆	エスケープコマンド(+++)の前後のガード時間を設定。 エスケープコマンドの前後には,設定されたガード時間以上データのない時間が必要であり+と+の間はこの時間より短くなければならない。 0～255の値を1/50秒単位で設定。初期値はS12=50(1秒)。
S25	DTR遅延設定	DTRが変化したことを検出するまでの遅延時間を 0～255の値の間で0.01秒単位で設定。初期値はS25=5。
S29	フラッシュダイヤルモディファイ時間	ダイヤル時に、フラッシュダイヤルモディファイを受け取ったときにオンフックになる時間を設定。 0～255の値を0.01秒単位で設定。初期値はS29=0。
S30	無通信タイマ	データの送受信が行われない場合の回線切断タイマで0～255の値で10秒単位で設定。S30=0の場合はデータの送受信が行われない場合でも回線切断は行わない。初期値はS30=0。

☆AT&Wnでバックアップ可能

Sレジスタ	機　能	説　明
S38	回線切断の時間設定	切断コマンドATH0(DTR信号で切断するようにコマンドされているとき)によって切断されるまでの時間を設定。 S38=0～254の場合 設定した時間リモートモデムを待機させ,バッファ内のデータを読みとってから切断。データを送る前にタイムアウトしたときは「NO CARRIER」となり、タイムアウト前にすべてのデータを送出したときは「OK」を返す。 S38=255の場合 タイムアウトしないで、接続が切れるまで、またはデータを送り終わるまでバッファ内のデータを送信。 初期値はS38=20(20秒)。
S95	拡張リザルトコードの設定　☆	リザルトコードの返し方を設定。 b0　CONNECTのスピードをDCEスピードで返す(W2)。 b1　/ARQのエラー訂正をCONNECTの後ろにつける。 b2　接続中にCARRIER XXXXのリザルトを返す。 b3　接続中にPROTOCOL XXXXのリザルトを返す。 b5　接続中にCOMPRESSION XXXXのリザルトを返す。初期値はS95=0。

☆AT&Wnでバックアップ可能

チェック!!

相手端末の応答を自動的に確認する場合で応答の確認ができない場合,選択信号送出終了後直流回線を解放するまでの時間は,ATコマンドのS7レジスタにて0 ～58秒に設定可能ですが,小さい値を設定すると回路が接続される前に切れてしまう可能性があります。また,交換機へも悪影響を与えますので,30秒以上に設定してください。

チェック!!

S0レジスタを0以外の値でバックアップすると,通信用アプリケーションの起動状態によらずに設定された呼び出し回数で着信します。

索　引

英数字

2DD 229
2HD 229
3.5インチフロッピーディスクドライブ 229
17インチCRTディスプレイ 238
Adobe Acrobat Reader 191 207
AC電源コネクタ 279
Angel Line for Windows 79 197 201
Angel Line アドレス帳 81
AnimationStudio 3
AOL..... 103 105 109 161
AOL へのご招待 192 208
BIGLOBE Walker..... 159 197 204
BIOS セットアップユーティリティ 262
bitcast browser 193 209 288
BSワイドディスプレイテレビ 233
CD ランチ..... 94 188 204
CD-ROMドライバ 274
CD-ROM 260
CD音量..... 250
Classic100選..... 67 194 209
CyberTrio-NX 170 193 209
CyberWarner-NX 175 193 208
DMAチャネル 269
DVD VIDEOディスク 17
DVD プレーヤ 17 189 205 290
DVDeck 3
DVD-ROMドライブアクセスランプ 276
DVD-ROMドライブ 17 276
DVD光デジタル出力端子 279
Excel 97 ..... 196 212
FAX..... 32 186 204 289
FAXモデムボード 294
FAX情報サービス 42
FAX送受信ログ 53
FAX通信機能..... 294
FAXを受ける..... 41
FAXを送る 38
FAXを送る準備 38
Hover 7 103 107 110
IEEE1394コネクタ 279
IIS(Integrated Information Services) ... 29
MapPlayer-NX 24 189 205 290
Microsoft Chat 2.0 ..... 188 213
Microsoft Excel 97 ..... 196 212
Microsoft Internet Explorer 186 213
Microsoft NetShow プレーヤー 188 213
Microsoft Outlook 97 ..... 197 211
Microsoft Outlook 98 .....7 103
Microsoft /Shogakukan Bookshelf Basic 7 103
Microsoft Word 98 ..... 196 212
MorphStudio 3
MPEGSTUDIO 195 210
MS-DOSモード 274
NIFTY MANAGER..... 103 106 110 161
NIFTY SERVE 161
Outlook 97 ..... 197 211
PCカードイジェクトボタン 278
PC-VAN 159
PC-VANナビゲータ 160 197 204
PCIスロット 279
PCM 247
PhotoMuseum 7
PictureStudio 190 206
RealPlayer 4.0 ..... 188 213
S映像出力端子 280
S映像入力端子 280
ScreenScan 179
TELFAX-NX 32 186 204 289
ThumbsStudio 195 210
Timer-NX 56 192 208 290
Ulead Media Studio Pro 5.0J Video Edition 194 209
URL..... 139 156
USBコネクタ 278 279
VHF／UHFアンテナ端子 280
VideoEditor 3
VideoStudio.....3
VirusScan 178 199 203
VirusScanコンソール 179
Vshield 178
Windows起動ディスク 230
Word 98 ..... 196 212
WWWブラウザ..... 142
XGworks 194 210

ア行

アクセスポイント 155
アタッチメントファイル 53
アドレス帳 51
アナログRGBコネクタ 279
アプリケーション 2
アプリケーション起動ボタン 82 88
アラーム 152
アンインストール機能 198
一太郎Office8 ..... 102 185 210
インストール 6
インターネット 113
インターネット カラオケキング 191 208
インターネットアクセスマネージャ 139 198 202
インターネット通信機能 254
インターネット無料体験 189 202
ウイルスの検査と駆除 178
英語モードフォント 97
駅すぱあと for Windows 95 ..... 185 202
エコーボリューム 278
エラーメッセージ 53 260 271
オートパイロット 139 144
オフタイマ機能 64
音楽CD 10
音声コマンド 126
音声入力端子 278

カ行

解像度 232 233
回線異常 53
カーナビCD 24
カーナビゲーション用地図CD-ROM 24
カバーページ 36 39 54
カスタムモード 172
カラオケCD 13
キーボードのプロパティウィンドウ 218
キャッチホンサービス 53
グループ 85
グループボタン 85
警告メッセージ 175
ゲーム 103

サ行

サインアップ 161
サウンドドライバ 53
サウンドレコーダー 252
サウンド機能 247
削除の準備① 183
削除の準備② 184
サスペンド機能 241
ジェットサーファー 132 185 201
システムディスクの起動順位の設定 266
システムデバイスの設定 265
しゃべっていいメール 114 190 205
省電力の設定 265
シリアルコネクタ 279
スーパーバイザーパスワードの設定 267
スキップセクタ 225
スキャナ 48
スキャンディスク 224
スピーカ 247
スピーカホン機能 33 254 255
スリープボタン 242 276
赤外線延長ユニット端子 279
セキュリティの設定 263
走査周波数 232

タ行

タイマー機能 56
タイマプログラム 56
ダイヤルアップネットワーク 163
ダウンロード 137
通信ソフト 52
通信記録 156
通信設定 79 160 162
データ通信機能 254
テキストリーダ 99 103 104 108
ディスプレイ 232 238
デバイスドライバ 257
デバイスマネージャ 257
デフラグ 225
電源のプロパティウィンドウ 245
電話 32 254 255
電話機能 33
電話番号検索サービス 79

盗難防止用ロック 279
トラックボールの設定 220
ドライブスペース 226
ドライブの圧縮 226
電話回線用モジュラーコネクタ 279
電話機用モジュラーコネクタ 279

ナ行

日本語モードフォント 98

ハ行

ハードディスク 224
ハウリング 252
パスワードの設定 266
パラレルコネクタ 279
パラレルポートの設定 264
パワーマネージメント機能 235
光デジタル出力端子 279
ビデオ入力 278
ビデオCD 13
表示色 232 233 234 235
フォトCD 14
筆ぐるめ 72 191 207
不良セクタ 225
ブラウザ 142
プレーヤ-NX 10 189 205 289
フロッピーディスク 229
フロッピーディスクのバックアップ 229
プロバイダ料金 139
プロパティウィンドウ 218 220 245 247
ベーシックモード 171
ヘッドホン端子 278
ヘッドホンボリューム 278
別売のディスプレイ 238 293
ボイスノート機能 114 125
ボイスペン 130 131
ホームページ 132
ボリュームコントロール 247
ボリューム調整 251
翻訳アダプタII CROSSROAD 191 207

マ行

マイクロホン 251
マイクロホン端子 278
マウスのプロパティウィンドウ 220
メール 114
メールアドレス 123
メールボックス 44
メディア 260
メディアコントローラ 223 285 287
メディアコントローラの設定 223
メディアコントローラ操作早見表 287

ヤ・ラ・ワ行

ヤマハDS-XG設定 248
ユーザーパスワードの設定 267
ユーザー用ランドマーク 27
ユーティリティ 5
ランチ-NX 82 188 204
ランチ-NXの設定ウィンドウ 82
ランドマーク 26
リソース 258 269
リモート操作 47
リング 60
リング機能 60
ルーヴル美術館 70
留守番電話機能 43 54 254 255
レジューム機能 241
ログファイル 156 176
ワイヤレスキーボードの設定 218
話者学習 117
割り込みレベル 269

リファレンス

もっと使いこなすための
パソコン百科

PC98-NX SERIES

CEREB NX

初版　1998年6月
NEC
P

808-878730-005-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。